

講義科目名称：大学教育入門	授業コード：44101
英文科目名称：	ナンバリング：RH101

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
1Q	1	1	必修	講義
担当教員				
安部 恵美子 ほか				

授業概要	<p>長崎短期大学生としての自覚を深め、短期大学での学びの基本を養う。</p> <p>①建学の精神を理解する。</p> <p>②短期大学での学び、ルールやマナーを身につける</p> <p>③社会人基礎力・職業適性診断により自己の社会人基礎力を理解する</p> <p>④講義を通して短期大学での2年間の見通しを持つ</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	長崎短期大学の学生として建学の精神を理解することができる	振り返りレポート(第4回)	20%
確かな専門的知識や技能			
コミュニケーション能力			
課題解決能力	長崎短期大学での学び、ルールやマナーについて理解し、短大生としての自覚を深めることができる	振り返りレポート(第1,6,7回)	60%
主体的に学ぶ力	社会人への準備段階として自己の社会人基礎力を知り、今後の学びにつなげることができる	振り返りレポート(第3,5回) 授業への参加・態度	20%
合計			100%
補足事項			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目 4月7日	短大での学びかたについて(小玉) 短大生として基本的な生活習慣と社	面接授業	予習：学生便覧の教育課程、学生生活要綱を読んでおくこと(2h)

	会でのルールやマナーについて（友廣）		復習：配布プリントなどを読み直すこと(2h)
2回目 4月14日	キャリアステップ	面接授業	予習：卒業後の進路について考え、短大2年間の学修計画を構想する(2h) 復習：
3回目 4月21日	アカデミックライティング その1 (新井)	面接授業	予習：小論文・レポートの書き方について調べておくこと(2h) 復習：配布プリントなどを読み直すこと(2h)
4回目 4月28日	建学の精神について（安部）	面接授業	予習：学生便覧の短大沿革史、学則、3ポリシーを読んでおくこと(2h) 復習：配布プリントなどを読み直すこと(2h)
5回目 5月12日	アカデミックライティング その2 (新井)	面接授業	予習：小論文・レポートの書き方について調べておくこと(2h) 復習：配布プリントなどを読み直すこと(2h)
6回目 5月19日	メディアリテラシーについて（小浦）	面接授業	予習：SNSに関連した時事問題について調べておくこと(2h) 復習：配布プリントなどを読み直すこと(2h)
7回目 5月26日	図書館の活用方法～参考資料って何？～（岩崎）	面接授業	予習：参考資料の定義について調べておくこと(2h) 復習：配布プリントなどを読み直すこと(2h)
8回目 6月2日	キャリアステップの結果を受けて社会人基礎力トレーニングを行う	面接授業	復習：配布プリントなどを読み直すこと(3h)

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	なし
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後で対応します
備考・メッセージ	

講義科目名称：データサイエンス基礎	授業コード：44201
英文科目名称：	ナンバリング：BS101

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
2Q	1年	1単位	必修	講義
担当教員				
前原 成美				

授業概要	Society5.0 に向けて、文章や情報を正確に読み解き対話する力、科学的に思考・吟味し活用する力、価値を見つけ出す感性と力、好奇心・探求力を持った人材が求められています。本講義では、多くの情報の中から有用なものを選択する手段、選択した情報を活用する手段等について学びます。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
確かな専門的知識 や技能			
コミュニケーション能力	グループワークを通じ、他人の意見を傾聴し、自分の意見を述べるができる。	レポート	20%
課題解決能力	提示された課題に対し、インターネットや図書館で資料を収集し、レポートとしてまとめることができる。	レポート	40%
主体的に学ぶ力	社会人への準備段階として必要な知識を身に付け、今後の学びにつなぐことができる	レポート	40%
合計			100%
補足事項			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1 回目 6月16日	社会で起きている変化を知り、数理・データサイエンス・AI を学ぶことの意義を理解する	オンライン	予習： 復習：身の回りでデータが活用されている事例について考える(3h)
2 回目 6月23日	データを活用した新しいビジネス/サービスを知る。どんなデータが集められ、どう活用されているかを知る。	オンライン	予習：GAFA・5G 等、身近で起きている事柄について調べる(3h) 復習：

3 回目 6月30日	データ・AI 利活用の最新動向 データを見てみる	オンライン	予習：身近で AI などが活用されている事例について調べる(2h) 復習：身の回りの AI 活用技術を確認する(2h)
4 回目 7月7日	データを扱うための基礎知識	オンライン	予習： 復習：興味のある分野の事象についてデータを集める(3h)
5 回目 7月14日	身近にあるデータを読む データを見つける	オンライン	予習：自分の興味のあるデータを見つける(2h) 復習：自分で設定した事象についてデータを利用して説明する(2h)
6 回目 7月21日	データを読む データを説明する データを扱う	オンライン	予習：データの読み取り分析を通して、自分の考えをまとめる(3h) 復習：
7 回目 7月28日	データを読む データを説明する データを扱う	オンライン	予習：データの読み取り分析を通して、自分の考えをまとめる(3h) 復習：
8 回目 8月4日	まとめ	オンライン	最終レポート作成(6h)

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	必要に応じプリントを配布します
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後で対応します
備考・メッセージ	

講義科目名称：茶道文化 I	授業コード：
英文科目名称：	ナンバリング：RH102

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期	1年	1単位	必修	演習
担当教員				
安部直樹 嶋内麻佐子 萩原宏美				

授業概要	<p>①茶室は神聖な場所であることを理解する。 茶の心を学び、先生を敬い、相手を思いやり、自らを慎む。(和敬清寂)</p> <p>②礼法(座礼、立礼)を覚える。和室での心得を学ぶ。(毎回反復練習をする。)</p> <p>③茶室に必要な道具名を覚える。点前道具の名称を覚える。道具を大切に扱う。</p> <p>④風炉薄茶点前を一人で出来るようになる。</p> <p>⑤茶の歴史を学ぶ。鎮信流について学ぶ。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	日本の礼儀作法を学び、相手を思いやる行動ができる。	<ul style="list-style-type: none"> 授業への参加意欲 授業態度 	15%
確かな専門的知識や技能	日本の文化を学び、謂れなどを知り、関心を持っている。 薄茶点前が一人でできる。	<ul style="list-style-type: none"> 正確な薄茶点前が出来る 実技試験 	60%
コミュニケーション能力	茶道文化で身に付けたマナーや礼法を茶室以外の生活の中でも実践できる。	<ul style="list-style-type: none"> アンケート調査 自己点検など。 	5%
課題解決能力	正しい箸の使い方や柄杓の扱いができる。 掃除の仕方を知り、実践できる。 自主練習により薄茶点前ができる。	<ul style="list-style-type: none"> 授業の感想文 教科書や学習帳利用状況 講義内容の理解度。 	10%
主体的に学ぶ力	茶の歴史を知り、自分に置き換えて行動できる。	<ul style="list-style-type: none"> 授業準備や片付け態度 自主練習態度 	10%
合計			100%
補足事項			

<p>2回目</p>	<p>風炉薄茶点前①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・茶道具の説明 ・お菓子の取り方、食べ方を体験する <p>【禅語：看脚下】文系：宗教学</p> <p>【ワンポイント】文系：文化人類学</p> <p> 箸の扱い方</p> <p>【授業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①茶道具の説明（教科書 P37～P50） ②服紗の畳み方扱い方を学ぶ（教科書 P53～55） ③服紗の付け方、捌き方（他流の付け方との違い） ④挨拶の仕方・礼法・歩き方（畳半畳3歩） ⑤席入り・退席の仕方 ⑥服紗の扱い方・棗、茶杓の清め方（教科書 P56） ⑦お菓子の取り方、食べ方を学び体験する（黒文字の使い方） 	<p>面接授業</p>	<p>【予習】(0.5 時間)</p> <p>茶道文化の意義 教科書 P7～P12 を読んでくる。</p> <p>【復習】（1 時間）</p> <p>教科書 P2～P6 を 読み返し、学習帳 の1 回目の授業内 容も確認し、授業 の振り返りと一般 常識問題を解いて おく。</p>
<p>3回目</p>	<p>風炉薄茶点前②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕込み茶碗を体験する <p>【禅語：洗心】文系：宗教学</p> <p>【ワンポイント】文系：文化人類学</p> <ul style="list-style-type: none"> ①上着の扱い方 ②掃除の方法 雑巾の絞り方、拭き方、掃除機の掛け方 <p>【授業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①風炉薄茶点前（見本・説明） ②茶道具の準備と片付け方について学ぶ ③仕込み茶碗の仕方を学び体験する ④服紗の扱い・棗、茶杓の清め方の復習 	<p>面接授業</p>	<p>【予習】(0.5 時間)</p> <p>茶巾の扱い方 教科書 P59～P61</p> <p>【復習】(0.5 時間)</p> <p>礼法、正しい 靴の脱ぎ方</p>
<p>4回目</p>	<p>風炉薄茶点前③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・柄杓の扱い方 <p>【禅語：大道無門】文系：宗教学</p> <p>【ワンポイント】文系：文化人類学</p> <ul style="list-style-type: none"> ①柄杓の扱い方 <p>【授業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①柄杓の扱い方・茶道具の持ち方を体験する ②服紗の付け方、捌き方の復習をする ③茶巾の絞り方、茶巾さばき、仕込み茶碗の復習をする 	<p>面接授業</p>	<p>【予習】(0.5 時間)</p> <p>箸と柄杓の 扱い方</p> <p>【復習】(0.5 時間)</p> <p>茶道具の扱い 準備と片付けにつ いて 学習帳で復習</p>
<p>5回目</p>	<p>風炉薄茶点前④</p> <ul style="list-style-type: none"> ・茶筌通し 	<p>面接授業</p>	<p>【予習】(0.5 時間)</p> <p>教科書 P59 を見</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・茶巾の扱い方 ・茶碗の拭き方を体験する <p>【禅語：喫茶去】文系：宗教学</p> <p>【ワンポイント】文系：文化人類学</p> <p>①茶筥通し、茶巾の扱い方、茶碗の拭き方</p> <p>【授業内容】</p> <p>①道具の置き合わせを学び、体験する</p> <p>②棗清め、茶杓清め、柄杓の扱い方の復習</p>		<p>て、理解してくる ように</p> <p>【復習】(0.5 時間)</p> <p>茶道具の名前、席 入りの仕方</p>
6 回目	<p>風炉薄茶点前⑤</p> <ul style="list-style-type: none"> ・茶筥通し ・茶碗の拭き方 <p>【禅語：清風匝地】文系：宗教学</p> <p>【ワンポイント】文理系：倫理学</p> <p>①敬語について（尊敬語、謙譲語、丁寧語）</p> <p>②研究室への入り方を学び体験する</p> <p>③訪問のマナー</p> <p>【授業内容】</p> <p>①茶筥通し・茶巾の扱い方・茶碗の拭き方まで復習する。</p> <p>②道具の置き合わせから茶筥通し、お湯を捨てて、茶巾で茶碗を拭き、抹茶を入れ、お湯を入れて茶筥でお茶を点て、飲むまで体験する。（点て出しをする）</p> <p>③道具の片付け</p>	面接授業	<p>【予習】(0.5 時間)</p> <p>教科書 P74 を見ながら、理解してくる。</p> <p>【復習】(0.5 時間)</p> <p>茶道具について・片付け方までを教科書を見ながら確認しておく。</p>
7 回目	<p>風炉薄茶点前⑥</p> <ul style="list-style-type: none"> ・茶筥通し ・茶碗拭きまで復習 <p>【禅語：歩々是道場】文系：宗教学</p> <p>【ワンポイント】文系：文化人類学・民俗学</p> <p>①衣替えについて</p> <p>【授業内容】</p> <p>①初めから茶筥通し、お湯を捨てて、茶巾で茶碗を拭くまでを復習する。</p> <p>②道具の片付け</p>	面接授業	<p>【予習】(0.5 時間)</p> <p>点前の 自主練習</p> <p>【復習】(0.5 時間)</p> <p>敬語について、 学習帳で確認 片付け方確認</p>
8 回目	<p>風炉薄茶点前⑦</p> <ul style="list-style-type: none"> ・抹茶の入れ方 ・水指の蓋の扱い方 ・湯の入れ方 ・茶の点て方 <p>【禅語：日々是好日】文系：宗教学</p>	面接授業	<p>【予習】(0.5 時間)</p> <p>教科書 P15～P18 を 読んでくる。<u>まう</u> <u>た。</u></p> <p>【復習】(0.5 時間)</p>

	<p>【ワンポイント】理系：栄養学</p> <p>①茶の種類（緑茶・ウーロン茶・紅茶）</p> <p>【授業内容】</p> <p>①お茶を点てるまでを復習する</p> <p>②道具の片付け</p>		茶道具について。
9回目	<p>風炉薄茶点前⑧</p> <p>・客点前</p> <p>・茶碗の取り込み方</p> <p>【禅語：且座喫茶】文系：宗教学</p> <p>【ワンポイント】理系：薬学・栄養学</p> <p>①喫茶法（団茶法・抹茶法・煎茶法）</p> <p>【授業内容】</p> <p>①風炉薄茶前半点前復習</p> <p>②客点前を体験する</p> <p>③道具の片付け</p>	面接授業	<p>【予習】(0.5時間)</p> <p>教科書</p> <p>P19～P22 までを 読んでくる。</p> <p>【復習】(0.5時間)</p> <p>茶の種類</p> <p>緑茶</p> <p>ウーロン茶</p> <p>紅茶</p>
10回目	<p>風炉薄茶点前⑨</p> <p>・薄茶点前前半点前復習</p> <p>【禅語：思無邪】文系：宗教学</p> <p>【ワンポイント】文系：歴史学</p> <p>①佗び茶にかかわった人</p> <p>村田珠光・武野紹鷗・千利休</p> <p>【授業内容】</p> <p>①風炉薄茶前半点前復習</p> <p>②道具の片付け</p>	面接授業	<p>【予習】(0.5時間)</p> <p>教科書</p> <p>P23～P25を 読んでくる。</p> <p>【復習】(0.5時間)</p> <p>茶の飲み方</p> <p>・団茶法</p> <p>・抹茶法</p> <p>・煎茶法</p>
11回目	<p>風炉薄茶点前⑩</p> <p>・薄茶点前前半点前（内検）</p> <p>【禅語：明珠在掌】文系：宗教学</p> <p>【ワンポイント】文系：文化人類学</p> <p>①試験を受ける時の心構え</p> <p>姿勢・位置・落ち着き</p> <p>【授業内容】</p> <p>①服装、身だしなみチェックシートに記入</p> <p>②風炉薄茶前半点前（内検）</p>	面接授業	<p>【予習】（1時間）</p> <p>薄茶点前前半の 自主練習を行う</p> <p>【復習】(0.5時間)</p> <p>佗び茶について、 再確認</p> <p>・村田珠光</p> <p>・武野紹鷗</p> <p>・千利休</p>
12回目	<p>風炉薄茶点前⑪</p> <p>・薄茶点前後半の見本</p> <p>・説明</p> <p>【禅語：処々全真】文系：宗教学</p> <p>【ワンポイント】文系：歴史学</p>	面接授業	<p>【予習】(0.5時間)</p> <p>教科書</p> <p>P26～P28を 読んでくる。</p> <p>【復習】(0.5時間)</p>

	<p>①武家茶にかかわった人 古田織部・小堀遠州・片桐石州</p> <p>【授業内容】</p> <p>①風炉薄茶点前後半の見本・説明 ②風炉薄茶後半点前練習 ③道具の片付け</p>		<p>点前の三要素、試験時に気を付ける点</p>
13 回目	<p>風炉薄茶点前⑫ ・薄茶点前練習</p> <p>【禅語：啐啄同時】 文系：宗教学 【ワンポイント】 文系：文化人類学</p> <p>実技試験のチェックポイント</p> <p>【授業内容】</p> <p>①薄茶点前練習 ②道具の片付け</p>	面接授業	<p>【予習】（1 時間） 点前の自主練習</p> <p>【復習】(0.5 時間) 武家茶について再確認</p> <p>・古田織部 ・小堀遠州 ・片桐石州</p>
14 回目	<p>風炉薄茶点前 確認 (実技試験)</p> <p>【禅語：在眼前】 文系：宗教学 【ワンポイント】 文系：文化人類学</p> <p>実技試験について全体説明</p> <p>【授業内容】</p> <p>①薄茶点前前半確認（実技試験） ②実技試験を受けたら、客点前をする。 ③終わった順に速やかに退席する。</p>	面接授業	<p>【予習】（1 時間） 不文軒で自主練習を行う。</p> <p>【復習】(0.5 時間) 今までの復習</p>
15 回目	<p>前期のまとめ（学習帳記入）</p> <p>・点前確認 ・自己点検 ・アンケート（スマホ持参）</p> <p>【禅語：一期一会】 文系：宗教学 【ワンポイント】 文系：倫理学</p> <p>・利休七則</p> <p>【授業内容】</p> <p>①薄茶点前の実技の確認 ②各班で成績発表 ③自己評価 ④アンケート記入 ⑤学習帳回収</p>	面接授業	<p>【予習】(0.5 時間) 前期の自己点検を行い、感想を書いてくる。</p> <p>【復習】（1 時間） 教科書、学習帳のまとめと直し</p>

--	--	--	--

科目（教職課程用）	なし
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
教科書・参考書	テキスト：嶋内麻佐子著「茶道文化基礎編」 テキストを補う為に、必要に応じて学習帳やプリントを使用する。
履修条件	長崎短期大学に入学した本科生
履修上の注意	茶室は神聖な場所ですので、茶室に来る時は、必ず白靴下を持参して下さい。 TPOを考え、茶室では私語は慎み、服装や髪型にも気を付けて下さい。 毎回の授業範囲を教科書や学習帳で予習、復習し、専門用語の意味など調べておいて下さい。 授業開始5分前には、席入りを完了し、気持ちを鎮め授業に臨んで下さい。
オフィスアワー	茶室不文軒での授業が入っていない空きコマは、不文軒での自主練習が可能です。 空きコマでの点前指導を行いますので、研究室に声を掛けてください。
備考・メッセージ	茶道文化の授業は、2年間の必修科目になっています。 卒業時には、茶道鎮信流の初歩伝の免許状がもらえます。 お点前を覚える早道は、繰り返すことが一番です。 茶道の点前だけでなく、社会人として必要な知識やマナーもしっかり身に付けて下さい。

講義科目名称：茶道文化Ⅱ	授業コード：
英文科目名称：	ナンバリング：RH201

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
後期	1年	1単位	必修	演習
担当教員				
安部直樹 嶋内麻佐子 萩原宏美				

授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ①風炉薄茶点前を一人でできる。 ②茶花について学ぶ。禅語について学ぶ。 ③大寄せの茶会の心得を学ぶ。茶会の客の作法を学ぶ。季節と客組を学ぶ。 ④上座と下座について学ぶ。学んだ礼法を日常でも使うことができる。 ⑤和室での立ち居振る舞いを身に付ける。
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	茶道点前を通して身に付けたマナーや作法を茶道文化の授業以外でも役立てることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・茶道大会への参加意欲 ・授業準備や片付けの態度 	10%
確かな専門的知識や技能	薄茶点前が一人でできる。日本の文化を学び、謂れなどを知り、関心を持っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・風炉薄茶点前が出来る ・筆記試験 	60%
コミュニケーション能力	茶会に関する基本的な知識を学び、理解を深めることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート調査 ・自己点検など。 	5%
課題解決能力	茶道大会に参加し、自分の役割を責任を持って果たすことができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・学習帳の利用状況 ・授業の感想文 	10%
主体的に学ぶ力	季節の移ろいを感じることができる。禅語の意味を理解できるようになる。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・講義内容の理解度。 ・自主練習態度 	15%
合計			100%

補足事項
<ul style="list-style-type: none"> ・茶室は神聖な場所です。「不文軒」に来る時は白靴下を持って来ること。履いてきません。 ・学習帳は授業の内容の流れに従って作成しています。予習と復習をしっかりと行って授業に臨んでください。

※新型コロナウイルスの関係で、急遽対面授業（面接授業）ではなく、動画配信や課題を提出してもらう場合も出てくる可能性もあります。

茶道文化を学ぶ意義を理解し、目標を立てて授業を受けてください。

- ①茶道を通して、相手を思いやる心を学びましょう。
- ②心を鎮めて、点前畳に座りましょう。
- ③点前を通して、清らかな精神を創りましょう。
- ④日本古来の総合芸術に触れ、自分の感性を磨きましょう。
- ⑤日本の伝統文化を再発見し、真の国際人を目指しましょう。
- ⑥日本の礼法を学びましょう。
- ⑦茶道鎮信流を通して、地域文化の発展に貢献しましょう。
- ⑧教師と学生との対話促進により、信頼関係を築きましょう。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	風炉薄茶点前① 【禅語：清風万里秋】 文系：宗教学 【ワンポイントレッスン】 文系：社会学 薄茶点前のポイント確認 【授業内容】 ①本学における茶道の考え方 ②茶道文化の意義（教科書：P7-12） ③準備当番、茶室での約束事 ④玄関での心得について ⑤礼法、服紗捌き、道具の清め方 ・仕込み茶碗などを復習する。 ⑥道具の片付け	面接授業	茶室「不文軒」に来る時は白靴下を持って来る。 履いてきません。 【復習】 （1時間） 茶道文化の意義 教科書 P7～P12 を読み直し 薄茶点前の流れの 仮の道具を見立て て練習
2回目	風炉薄茶点前② 【禅語：平常心是道】 文系：宗教学 【ワンポイントレッスン】 文系：社会学 茶道大会の映像を見る（DVD） 【授業内容】 ①風炉薄茶点前練習 ②道具の片付け	面接授業	【予習】 （0.5時間） 薄茶点前のイメージ トレニング 【復習】 （0.5時間） 薄茶点前自主練習
3回目	風炉薄茶点前③ 【禅語：桂花露香】 文系：宗教学 【ワンポイントレッスン】 文系：民族学	面接授業	【予習】 （0.5時間） 薄茶点前のイメージ トレニング

	着物の種類 【授業内容】 ①風炉薄茶点前練習		【復習】(0.5 時間) 薄茶点前自主練習
4 回目	風炉薄茶点前④ 【禅語：行雲流水】 文系：宗教学 【ワンポイントレッスン】 文系：社会学 上座と下座 1 【授業内容】 ①風炉薄茶点前練習	面接授業	【予習】(0.5 時間) 薄茶点前のイメージトレーニング 【復習】(0.5 時間) 薄茶点前自主練習
5 回目	風炉薄茶点前⑤ 【禅語：別無工夫】 文系：宗教学 【ワンポイントレッスン】 文系：社会学 上座と下座 2 【授業内容】 ①風炉薄茶点前練習	面接授業	【予習】(0.5 時間) 薄茶点前のイメージトレーニング 【復習】(0.5 時間) 薄茶点前自主練習
6 回目	風炉薄茶点前⑥ 【禅語：耕不尽】 文系：宗教学 【ワンポイントレッスン】 理系：天文学 旧暦について学ぶ (1 月～12 月) 【授業内容】 ①風炉薄茶点前練習	面接授業	【予習】(0.5 時間) 薄茶点前のイメージトレーニング 【復習】(0.5 時間) 薄茶点前自主練習
7 回目	薄茶点前確認 【禅語：放下着】 文系：宗教学 【授業内容】 文系：社会学 ①風炉薄茶点前を一人で行う。 ②亭主と客の作法を体験する。	面接授業	【予習】(0.5 時間) 薄茶点前のイメージトレーニング 【復習】(0.5 時間) 薄茶点前自主練習
8 回目	【禅語：泥多仏大】 文系：宗教学 【ワンポイントレッスン】 理系：栄養学 煎茶の入れ方 出し服紗の畳み方・濃茶の飲み方 客点前を学ぶ 【授業内容】 ①各班で煎茶の入れ方を体験する。 ②立礼点前置き合わせ確認	面接授業 班別：煎茶セット	【予習】(0.5 時間) 学習帳の煎茶の入れ方に目を通しておく。 【復習】(0.5 時間) 学習帳で煎茶の入れ方を確認する
9 回目	茶道大会の濃茶席 客点前の練習 【禅語：無功德】 文系：宗教学	面接授業	【予習】(0.5 時間) 客点前について

	<p>【ワンポイントレッスン】理系：栄養学 和食の基本</p> <p>【授業内容】 濃茶席の客点前を行う。</p>		<p>【復習】(0.5 時間) 薄茶点前と濃茶点 前の客点前の違い を確認する。</p>
10 回目	<p>茶道大会で使用する道具について学ぶ</p> <p>【禅語：徳不弧】文系：宗教学</p> <p>【授業内容】文系：文化人類学 会記について学ぶ</p> <p>①茶道大会で使用する道具について</p>	面接授業	<p>【予習】(1 時間) 教科書 P36～50 を 読んでおく。</p> <p>【復習】(0.5 時間) 使用道具名の確認</p>
11 回目	<p>茶道の歴史について (合同講義)</p> <p>【茶道の歴史について】文系：歴史学 第 3 章 茶の湯に関わった人々 (教科書 P23～P28)</p> <p>第 4 章 鎮信流の茶 (教科書 P29～P33)</p>	面接授業	<p>【予習】(1 時間) 教科書 P23～33 ま で読んでおく。</p> <p>【復習】(0.5 時間) 茶道の歴史の確認</p>
12 回目	<p>茶道大会に参加する 濃茶席・立礼席に客点前で参加</p> <p>2 年生の授業を見学</p> <p>【禅語：知足】文系：宗教学</p> <p>【ワンポイントレッスン】文系：民俗学</p> <p>①縁起物について ②正月飾りについて</p> <p>【授業内容】 2 年生の授業に参加し、 濃茶席と立礼席の客点前を行う。</p>	面接授業	<p>【予習】(0.5 時間) 濃茶席、立礼席の 客点前確認</p> <p>【復習】(0.5 時間) 客点前の確認 薄茶点前自主練習</p>
13 回目	<p>初釜</p> <p>【軸：高砂・松竹梅鶴亀】文系：民俗学</p> <p>【授業内容】</p> <p>①薄茶点前拝見 ②初釜の道具組・床飾りについて説明を聞く ③各班で新年の抱負を述べ、 主菓子を取り方を学ぶ。</p>	面接授業	<p>【予習】(0.5 時間) 薄茶点前自主練習</p> <p>【復習】(0.5 時間) 初釜の道具につい て学習帳を見直す</p>
14 回目	<p>松芳忌</p> <p>【授業内容】文系：社会学</p> <p>①礼拝の仕方の練習 ②松芳先生の経歴紹介 ③献茶 ④教職員、学生の順に礼拝</p>	面接授業	<p>【予習】(0.5 時間) 教科書 P 7～12 を 読んでおくこと</p> <p>【復習】(0.5 時間) 今までの復習</p>

	⑤講話		
15回目	<p>学習のまとめ</p> <p>【禅語：一以貫之】文系：宗教学</p> <p>【ワンポイントレッスン】</p> <p>ワンポイントレッスンの振り返り（1年間分）</p> <p>【授業内容】</p> <p>①学習帳まとめ</p> <p>②自己評価</p> <p>③アンケート記入</p> <p>④学習帳回収</p>	面接授業	<p>【予習】（1時間）</p> <p>今まで出てきた禅語の意味を学習帳で見直ししておく</p> <p>【復習】（1時間）</p> <p>教科書、学習帳の見直し</p>
16回目	定期試験	筆記試験	

科目（教職課程用）	なし
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
教科書・参考書	<p>テキスト：嶋内麻佐子著「茶道文化基礎編」</p> <p>テキストを補う為に、必要に応じて学習帳やプリントを使用する。</p>
履修条件	茶道文化Ⅰを履修していること
履修上の注意	<p>茶室は神聖な場所ですので、茶室に来る時は、必ず白靴下を持参して下さい。</p> <p>TPOを考え、茶室では私語は慎み、服装や髪型にも気を付けて下さい。</p> <p>毎回の授業範囲を教科書や学習帳で予習、復習し、専門用語の意味など調べておいて下さい。</p> <p>授業開始5分前には席入りを完了し、気持ちを鎮め授業に臨んで下さい。</p>
オフィスアワー	茶室不文軒での授業が入っていない空きコマは、不文軒での自主練習が可能です。空きコマでの点前指導を行いますので、研究室に声を掛けてください。
備考・メッセージ	<p>茶道文化の授業は、2年間の必修科目になっています。</p> <p>卒業時には、茶道鎮信流の初歩伝の免許状がもらえます。</p> <p>お点前を覚える早道は、繰り返すことが一番です。</p> <p>茶道の点前だけでなく、社会人として必要な知識やマナーもしっかり身に付けて下さい。</p> <p>茶道文化を学ぶ意義を理解し、目標を立てて授業を受けてください。</p> <p>①茶道を通して、相手を思いやる心を学びましょう。</p> <p>②心を鎮めて、点前畳に座りましょう。</p> <p>③点前を通して、清らかな精神を創りましょう。</p> <p>④日本古来の総合芸術に触れ、自分の感性を磨きましょう。</p> <p>⑤日本の伝統文化を再発見し、真の国際人を目指しましょう。</p>

- | | |
|--|--|
| | <p>⑥日本の礼法を学びましょう。</p> <p>⑦茶道鎮信流を通して、地域文化の発展に貢献しましょう。</p> <p>⑧教師と学生との対話促進により、信頼関係を築きましょう。</p> |
|--|--|

※新型コロナの関係で、急遽対面授業ではなく、動画配信や課題を提出してもらう場合も出てくる可能性もあります。

講義科目名称：茶道文化Ⅲ	授業コード：
英文科目名称：	ナンバリング：RH301

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期	2年	1単位	必修	演習
担当教員				
安部直樹 嶋内麻佐子 萩原宏美				

授業概要	<p>①濃茶点前の道具名を覚える。薄茶点前と濃茶点前の違いを知る。</p> <p>②仕覆の扱いを覚える。水次の扱いを覚える。濃茶の練り方を学ぶ。</p> <p>③亭主と客の作法を学ぶ。相客間の心構えを学ぶ。茶花に関する知識を深める。</p> <p>④武家茶について学ぶ。鎮信流発祥の地、平戸について学ぶ。鎮信流歴代の宗家を知る。</p> <p>⑤上座、下座を理解し、家庭や実習先でもマナーに気を付けるようになる。</p> <p>言葉遣いに気を付けるようになる。</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	亭主と客の心得などを習得し、先生や相手に対して心遣いができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業への参加意欲 ・授業態度 ・講義内容の理解度。 	15%
確かな専門的知識や技能	濃茶席で使用する茶道具の名前を覚え、正しく使用できる。 正確な濃茶点前ができる。 道具を大切に扱うことができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・正確な濃茶点前ができる ・実技試験 	60%
コミュニケーション能力	お茶の心や鎮信流の基礎的な知識を身につけている。 日常生活に役立てている。	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート調査 ・自己点検など。 	5%
課題解決能力	繰り返し練習し、自然な点前を身に付けることができた。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の感想文 ・教科書や学習帳の利用状況 	10%
主体的に学ぶ力	茶道の歴史を学び、鎮信流について説明できる。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業準備や片付けの態度 ・放課後練習態度 	10%
合計			100%
補足事項			

- ・茶室は神聖な場所です。「不文軒」に来る時は白靴下を持って来ること。履いてきません。
- ・学習帳は授業の内容の流れに従って作成しています。予習と復習をしっかりと行って授業に臨んでください。

※新型コロナウイルスの関係で、急遽対面授業（面接受業）ではなく、動画配信や課題を提出してもらう場合も出てくる可能性もあります。

茶道文化を学ぶ意義を理解し、目標を立てて授業を受けてください。

- ①茶道を通して、相手を思いやる心を学びましょう。
- ②心を鎮めて、点前畳に座りましょう。
- ③点前を通して、清らかな精神を創りましょう。
- ④日本古来の総合芸術に触れ、自分の感性を磨きましょう。
- ⑤日本の伝統文化を再発見し、真の国際人を目指しましょう。
- ⑥日本の礼法を学びましょう。
- ⑦茶道鎮信流を通して、地域文化の発展に貢献しましょう。
- ⑧教師と学生との対話促進により、信頼関係を築きましょう。

茶道文化を学ぶ意義を理解し、目標を立てて授業を受けてください。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	風炉濃茶点前① 【禅語：和敬清寂】 文系：宗教学 【ワンポイント】 文系：社会学 「礼儀作法・伝えたい TPO」 【授業内容】 ①風炉濃茶点前（見本・説明） ②出し服紗の畳み方確認・茶入の紐の結び ③茶入、仕覆の扱い方、茶入の清め方 ④礼法復習 （双手礼・爪甲礼・会釈・敬礼・最敬礼） ⑤席入り、退席の仕方再確認	面接受業	【予習】 （0.5 時間） 教科書（P1～P6） を再度読んでおく 【復習】 （0.5 時間） 濃茶点前の自主練習
2回目	風炉濃茶点前② 【禅語：梨花一枝春】 文系：宗教学 【ワンポイント】 文系：社会学 「冠・婚・葬・祭」 【授業内容】 風炉濃茶点前前半①	面接受業	【予習】 （0.5 時間） 教科書、学習帳で 茶道文化の意義確認 【復習】 （0.5 時間） 濃茶点前の自主練習

3回目	<p>風炉濃茶点前③</p> <p>【禅語：花看半開】文系：宗教学</p> <p>【ワンポイント】文系：社会学</p> <p>「熨斗の知識」</p> <p>【授業内容】</p> <p>三種類の柄杓の扱い (切り柄杓・引き柄杓・止め柄杓)</p> <p>風炉濃茶点前前半②</p>	面接授業	<p>【予習】 (0.5 時間)</p> <p>礼法 正しい靴の脱ぎ方 席入りと退席の仕方</p> <p>【復習】 (0.5 時間)</p> <p>濃茶点前の自主練習</p>
4回目	<p>風炉濃茶点前④</p> <p>【禅語：薰風自南来】文系：宗教学</p> <p>【ワンポイント】文系：社会学</p> <p>「袱紗について」</p> <p>【授業内容】風炉濃茶点前前半③</p>	面接授業	<p>【予習】 (0.5 時間)</p> <p>濃茶点前の流れ</p> <p>【復習】 (0.5 時間)</p> <p>濃茶点前の自主練習</p>
5回目	<p>風炉濃茶点前⑤</p> <p>【禅語：悟無好悪】文系：宗教学</p> <p>【ワンポイント】文系：社会学</p> <p>「食事前に心がけること」</p> <p>【授業内容】風炉濃茶点前後半①</p>	面接授業	<p>【予習】 (0.5 時間)</p> <p>座礼、立礼の確認</p> <p>【復習】 (0.5 時間)</p> <p>濃茶点前の自主練習</p>
6回目	<p>【禅語：千里同風】文系：宗教学</p> <p>【ワンポイント】文系：社会学</p> <p>「器の扱い方」</p> <p>【授業内容】風炉濃茶点前後半②</p>	面接授業	<p>【予習】 (0.5 時間)</p> <p>濃茶点前の柄杓の扱い方3種類の確認 茶道具とその意味</p> <p>【復習】 (0.5 時間)</p> <p>濃茶点前の自主練習</p>
7回目	<p>風炉濃茶点前⑦</p> <p>【禅語：本来無一物】文系：宗教学</p> <p>【ワンポイント】文系：社会学</p> <p>「嫌い箸について」</p> <p>【授業内容】風炉濃茶点前総復習①</p>	面接授業	<p>【予習】 (0.5 時間)</p> <p>茶道具とその意味</p> <p>【復習】 (0.5 時間)</p> <p>濃茶点前の自主練習</p>
8回目	<p>風炉濃茶点前⑧</p> <p>【禅語：無事】文系：宗教学</p> <p>【ワンポイント】文系：文化人類学</p> <p>「五節句について」</p> <p>【授業内容】</p> <p>風炉濃茶点前総復習②</p>	面接授業	<p>【予習】 (0.5 時間)</p> <p>濃茶点前後半の流れ 茶道具について</p> <p>【復習】 (0.5 時間)</p> <p>濃茶点前の自主練習</p>
9回目	<p>風炉濃茶点前⑨</p> <p>【禅語：無心】文系：宗教学</p> <p>【ワンポイント】文系：社会学</p>	面接授業	<p>【予習】 (0.5 時間)</p> <p>点前の3要素 喫茶法</p>

	「身だしなみチェックシート」 【授業内容】 風炉濃茶点前総復習③		3種類の柄杓の扱い 嫌い箸について 【復習】(0.5時間) 濃茶点前の自主練習
10回目	風炉濃茶点前(内検) 【禅語:白珪尚可磨】文系:宗教学 【ワンポイント】文系:社会学 「試験を受ける心構え」 (姿勢・位置・落ち着き) 【授業内容】 風炉濃茶点前(内検)	面接授業	【予習】(0.5時間) 点前の3要素を意識 した濃茶点前の流れ 【復習】(0.5時間) 濃茶点前の自主練習
11回目	風炉濃茶点前⑪ 【禅語:萬法一如】文系:宗教学 【ワンポイント】文系:社会学 「実技試験のチェックポイント」 【授業内容】 風炉濃茶点前練習	面接授業	【予習】(1時間) 点前の3要素 柄杓の扱い 濃茶点前の自主練習 【復習】(0.5時間) 濃茶点前の自主練習
12回目	濃茶点前実技試験 【禅語:平常心是道】文系:宗教学 実技試験のための全体説明 【授業内容】 ①濃茶点前確認(実技試験) 実技試験を受けたら、客点前をする。 終わった順に速やかに退席する。	面接授業	【予習】(1時間) 点前の3要素を意識 した濃茶点前練習 【復習】(0.5時間) 濃茶点前の自主練習
13回目	茶会の流れと花寄せ 【禅語:王三昧】文系:宗教学 【ワンポイント】理系:生物学 「禁花について」 【授業内容】 ①花寄せ ②ミニ茶会計画・練習 ③学習帳	面接授業	【予習】(0.5時間) 禁花について 茶会の流れ 花寄せの流れ 【復習】(0.5時間) 禁花について 茶会の流れ 花寄せの流れ
14回目	合同講義 合同講義 文系:宗教学 第4章 鎮信流の茶(教科書P29~P33) 第5章 茶道における諸機能と茶道具 (教科書P34~P50)	面接授業	【予習】(0.5時間) 教科書P29~P33を 読んでおく。 【復習】(0.5時間) 教科書P34~P50を 読みかえす。

15 回目	班別ミニ茶会 点前確認 自己点検 アンケート 【禅語：一期一会】文系：宗教学 【ワンポイント】文系：民俗学 「夏を涼しく」 【授業内容】 ①班別ミニ茶会 ②道具片付け ③自己評価 ④アンケート記入 ⑤学習帳回収	面接授業	【予習】（1時間） 学習帳 P60～62 を記入しておく 学習帳のまとめ 【復習】（0.5時間） 濃茶点前の自主練習
-------	---	------	--

科目（教職課程用）	なし
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
教科書・参考書	テキスト：嶋内麻佐子著「茶道文化基礎編」 テキストを補う為に、必要に応じて学習帳やプリントを使用する。
履修条件	茶道文化Ⅰ、Ⅱを履修していること
履修上の注意	茶室は神聖な場所ですので、茶室に来る時は、必ず白靴下を持参して下さい。 TPOを考え、茶室では私語は慎み、服装や髪型にも気を付けて下さい。 毎回の授業範囲を教科書や学習帳で予習、復習し、専門用語の意味など調べておいて下さい。 授業開始5分前には、席入りを完了し、気持ちを鎮め授業に臨んで下さい。
オフィスアワー	茶室不文軒での授業が入っていない空きコマは、不文軒での自主練習が可能です。空きコマでの点前指導を行いますので、研究室に声を掛けてください。
備考・メッセージ	茶道文化の授業は、2年間の必修科目になっています。 卒業時には、茶道鎮信流の初歩伝の免許状がもらえます。 お点前を覚える早道は、繰り返すことが一番です。 茶道の点前だけでなく、社会人として必要な知識やマナーもしっかり身に付けて下さい。 茶道文化を学ぶ意義を理解し、目標を立てて授業を受けてください。 ①茶道を通して、相手を思いやる心を学びましょう。 ②心を鎮めて、点前畳に座りましょう。 ③点前を通して、清らかな精神を創りましょう。

- | | |
|--|--|
| | <ul style="list-style-type: none">④日本古来の総合芸術に触れ、自分の感性を磨きましょう。⑤日本の伝統文化を再発見し、真の国際人を目指しましょう。⑥日本の礼法を学びましょう。⑦茶道鎮信流を通して、地域文化の発展に貢献しましょう。⑧教師と学生との対話促進により、信頼関係を築きましょう。 |
|--|--|

※新型コロナの関係で、急遽対面授業ではなく、動画配信や課題を提出してもらおう場合も出てくる可能性もあります。

講義科目名称：茶道文化IV	授業コード：
英文科目名称：	ナンバリング：RH401

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
後期	2年	1単位	必修	演習
担当教員				
安部直樹 嶋内麻佐子 萩原宏美				

授業概要	<p>①風炉濃茶点前を一人で出来る。炉濃茶点前を覚える。美味しい濃茶を練るようになる。</p> <p>②季節感豊かな茶花の種類を知る。正月の床飾りを学ぶ。法事の床飾りを学ぶ。</p> <p>③和室での歩き方を学ぶ。繰り返しにより自然な動きを身に付けることができる。着物の種類について学ぶ。</p> <p>④地域文化の継承に貢献する。茶道大会で自分の役割を果たす。自己の修養、自己の成長を学ぶ。</p> <p>⑤人や物を大切にする。おもてなしの心を学ぶ。</p> <p>茶道ウイークの週は、1年生を客に迎えミニお茶会を行い、茶会の流れを学ぶ。</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	茶道文化で身に付けた茶の心を、学校や生活の中で役立て、相手の気持ちを理解できる。	・茶道大会への参加意欲 ・授業準備や片付けの態度	10%
確かな専門的知識や技能	季節に応じた茶室、茶道具のあしらいに気付くことができる。	・筆記試験。	60%
コミュニケーション能力	茶道大会の運営に参加し、自分の役割は責任を持って果たすことができた。	・アンケート調査 ・自己点検など。	5%
課題解決能力	繰り返しの練習により、点前がスムーズに流れ、美味しいお茶を点てることができる。	・学習帳や教科書の利用状況 ・授業の感想文	10%
主体的に学ぶ力	茶道の授業を受けることにより、和室での自然な立ち居振る舞いができる。	・授業態度 ・講義内容の理解度。 ・自主練習態度	15%
合計			100%

補足事項

- ・茶室は神聖な場所です。「不文軒」に来る時は白靴下を持って来ること。履いてきません。
- ・学習帳は授業の内容の流れに従って作成しています。予習と復習をしっかりと行って授業に臨んでください。

※新型コロナウイルスの関係で、急遽対面授業（面接授業）ではなく、動画配信や課題を提出してもらう場合も出てくる可能性があります。

茶道文化を学ぶ意義を理解し、目標を立てて授業を受けてください。

- ①茶道を通して、相手を思いやる心を学びましょう。
- ②心を鎮めて、点前畳に座りましょう。
- ③点前を通して、清らかな精神を創りましょう。
- ④日本古来の総合芸術に触れ、自分の感性を磨きましょう。
- ⑤日本の伝統文化を再発見し、真の国際人を目指しましょう。
- ⑥日本の礼法を学びましょう。
- ⑦茶道鎮信流を通して、地域文化の発展に貢献しましょう。
- ⑧教師と学生との対話促進により、信頼関係を築きましょう。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	・茶室・路地・炭点前・炉濃茶点前確認 【禅語：月白風清】 文系：宗教学 【ワンポイント】 理系：森林科学 「炭の力」 【授業内容】 ①炭点前 DVD ②炭の説明 ③炉濃茶置き合わせ確認① ④炉濃茶点前前半確認	面接授業	茶室「不文軒」に来る時は白靴下を持って来る。履いてきません。 【予習・復習】 (1時間) 教科書 P63～P69 風炉炭点前 風炉の濃茶点前の自主練習を行う
2回目	炉・風炉・濃茶点前① 【禅語：水急不流月】 文系：宗教学 【ワンポイント】 理系：天文学 「中秋の名月」 【授業内容】 炉濃茶点前前半復習② 道具の片付け	面接授業	【予習・復習】 (1時間) 炉の濃茶点前、 風炉の点前の自主練習
3回目	炉・風炉・濃茶点前② 【禅語：釣月耕雲】 文系：宗教学	面接授業	【予習・復習】 (1時間) 炉の濃茶点前、

	<p>【ワンポイント】理系：建築学 「和室の名称①」</p> <p>【授業内容】 炉濃茶点前前半練習② 道具の片付け</p>		風炉の点前の自主練習
4回目	<p>炉・風炉・濃茶点前③</p> <p>【禅語：悠然見南山】文系：宗教学 【ワンポイント】理系：建築学 「和室の名称②」</p> <p>【授業内容】 炉濃茶点前後半練習① 道具の片付け</p>	面接授業	【予習・復習】(1時間) 炉の濃茶点前、 風炉の点前の自主練習
5回目	<p>炉・風炉・濃茶点前④</p> <p>【禅語：独座大雄峰】文系：宗教学 【ワンポイント】文系：文化人類学 「二十四節気について」</p> <p>【授業内容】 炉濃茶点前後半練習②</p>	面接授業	【予習・復習】(1時間) 炉の濃茶点前、 風炉の点前の自主練習
6回目	<p>立礼点前披露①</p> <p>【禅語：直心是道場】文系：宗教学 【ワンポイント】文系：文化人類学 「雑節について」</p> <p>【授業内容】 立礼見本点前・立礼点前確認</p>	面接授業	【予習・復習】(1時間) 風炉薄茶点前練習 炉の濃茶点前自主練習
7回目	<p>炉・風炉・濃茶点前・立礼点前</p> <p>【禅語：教外別伝不立文字】 文系：宗教学 【ワンポイント】文系：社会学 「祝日・休日について」(1月～6月)</p> <p>【授業内容】 立礼、炉濃茶点前練習1</p>	面接授業	【予習・復習】(1時間) 点前の自主練習
8回目	<p>炉・風炉・濃茶点前・立礼点前</p> <p>【禅語：古今無二路】文系：宗教学 【ワンポイント】文系：社会学 「祝日・休日について」(7月～12月)</p> <p>【授業内容】 立礼、炉濃茶点前練習2</p>	面接授業	【予習・復習】(1時間) 点前の自主練習

9 回目	<p>茶道大会に向けての練習</p> <p>【禅語：守拙全天真】文系：宗教学</p> <p>【ワンポイント】文系：民俗学</p> <p>「縁起物（達磨・鶴亀・松竹梅）」</p> <p>【授業内容】</p> <p>茶道大会の水屋、接待、客点前など パート別の仕事内容を学ぶ (3パートを20分ずつローテーション)</p> <p>客点前：出し服紗の使い方 ・濃茶の飲み方・主菓子の頂き方</p> <p>水屋：濃茶を練る。</p> <p>接待：縁高や濃茶を客へ出す。</p>	<p>面接授業</p> <p>抹茶・湯使用</p> <p>茶道大会を意識した、 パート別練習</p>	<p>【予習・復習】(1時間)</p> <p>点前の自主練習</p> <p>半東：半東文を覚える</p>
10 回目	<p>茶道大会に向けての練習</p> <p>【禅語：報恩謝徳】文系：宗教学</p> <p>【ワンポイント】文系：文化人類学</p> <p>「会記について(テーマ)」</p> <p>【授業内容】</p> <p>茶道大会の道具説明</p> <p>茶道大会当日の役割の練習に参加する</p>	<p>面接授業</p>	<p>【予習・復習】(1時間)</p> <p>点前の自主練習</p>
11 回目	<p>茶道ウイーク</p> <p>【禅語：門外有松風】文系：宗教学</p> <p>【正月飾りについて】</p> <p>【授業内容】</p> <p>濃茶席、立礼席に1年生を客として迎える。 水屋で濃茶を練り、薄茶を点てる。 接待が客に運ぶ。 亭主は点前を行い、半東は質問に答える。</p>	<p>面接授業</p> <p>濃茶班・立礼班 パート別 茶席運営 1年生客点前</p>	<p>【予習・復習】(1時間)</p> <p>各自で茶会の流れに沿って自主練習を行っておく。 一年生が客点前をし、正客が挨拶や道具の質問をするので、それに答えられるように勉強しておく。</p>
12 回目	<p>初釜</p> <p>【軸：高砂・松竹梅鶴亀】文系：宗教学</p> <p>【授業内容】</p> <p>初釜(濃茶点前) 点前拝見・主菓子の取り方、食べ方 濃茶の飲み方 初釜の道具組について説明を聞く 各班に分かれて新年の抱負を語る</p>	<p>面接授業</p>	<p>【予習・復習】(1時間)</p> <p>点前の自主練習</p> <p>学習帳をまとめる。</p>
13 回目	<p>松芳忌</p> <p>【ワンポイント】文系：宗教学</p>	<p>面接授業</p>	<p>【予習・復習】(1時間)</p> <p>点前の自主練習</p>

	「愛別離苦」 【授業内容】 松芳忌、礼拝練習、経歴紹介（映像にて） 献茶、教職員、学生礼拝、講話		学習帳をまとめる。
14 回目	学習のまとめ 【禅語：一華開五葉】文系：宗教学 【ワンポイント】文理系：倫理学 茶道文化の意義・利休七則 【授業内容】 筆記試験について・学習帳まとめ 自己点検・アンケート・学習帳提出	面接授業	【予習・復習】（1時間） 教科書、学習帳で、 今までの復習をする。 点前は薄茶、濃茶の 自主練習を行う。
15 回目	卒業記念茶会 【禅語】「白珪尚可磨」 【授業内容】 ①茶会の流れ②客点前 ③点て出し	面接授業	【予習・復習】（1時間） お別れの茶会の冊子に 目を通して置く
16 回目	定期試験	筆記試験	

科目（教職課程用）	なし
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
教科書・参考書	テキスト：嶋内麻佐子著「茶道文化基礎編」 テキストを補う為に、必要に応じて学習帳やプリントを使用する。
履修条件	茶道文化Ⅰ・Ⅱ・Ⅲを履修していること
履修上の注意	茶室は神聖な場所ですので、茶室に来る時は、必ず白靴下を持参して下さい。 TPOを考え、茶室では私語は慎み、服装や髪型にも気を付けて下さい。 毎回の授業範囲を教科書や学習帳で予習、復習し、専門用語の意味など調べておいて下さい。 授業開始5分前には、席入りを完了し、気持ちを鎮め授業に臨んで下さい。
オフィスアワー	茶室不文軒での授業が入っていない空きコマは、不文軒での自主練習が可能です。 空きコマでの点前指導を行いますので、研究室に声を掛けてください。
備考・メッセージ	茶道文化を学ぶ意義を理解し、目標を立てて授業を受けてください。 ①茶道を通して、相手を思いやる心を学びましょう。 ②心を鎮めて、点前畳に座りましょう。 ③点前を通して、清らかな精神を創りましょう。

- ④日本古来の総合芸術に触れ、自分の感性を磨きましょう。
- ⑤日本の伝統文化を再発見し、真の国際人を目指しましょう。
- ⑥日本の礼法を学びましょう。
- ⑦茶道鎮信流を通して、地域文化の発展に貢献しましょう。
- ⑧教師と学生との対話促進により、信頼関係を築きましょう。

※新型コロナの関係で、急遽対面授業ではなく、動画配信や課題を提出してもらう場合も出てくる可能性があります。

講義科目名称：日本国憲法	授業コード：51152、54151
英文科目名称：The Constitution of Japan	ナンバリング：BS102

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期	1年	2単位	必修	講義
担当教員				
中野 明人				

授業概要	<p>幼児教育に携わる人材にはさまざまな能力が求められるが、この講義においては、日本国憲法の意義を理解し、主として2つの柱「基本的人権」「日本の国の仕組(三権分立)」について学ぶ。具体的には、</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 明治憲法と日本国憲法との違いを理解する。日本国憲法の三大原則について理解する。天皇制について理解する。 ② 明治憲法における人権について理解する。日本国憲法の主体について理解する。近代憲法の特徴について理解する。 ③ 平等権について理解する。自由権について理解する。社会権について理解する。 ④ 新しい人権の生まれた背景について理解する。新しい人権について具体的に知る。新しい人権について事例を通して学ぶ。 ⑤ 国会の仕組みについて理解する。内閣の仕組について理解する。裁判所の仕組について理解する。三権分立について理解する。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	・人権の基本的な意義を理解し、子どもたちをめぐるさまざまな人権について説明することができる。	・筆記試験	60%
確かな専門的知識や技能	・三権分立について理解し、政治を取り巻く課題について自分の考えを持つことができる。	・筆記試験	30%
コミュニケーション能力	・授業で得た知識をもとの自分の考えを授業の最後に行うコミュニケーションシートに表現することができる。	・授業後アンケート (コミュニケーションシート)	5%
課題解決能力			
主体的に学ぶ力	・日本国憲法が幼稚園教諭に必要な専門知識であることを理解し、積極的な学習ができる	・授業への参加・態度	5%

合計	100%
補足事項	
<ul style="list-style-type: none"> ・本授業では、定期試験 90%、授業後アンケート 5%、授業への参加・態度 5%の割合で評価する。 ・授業後に行うコミュニケーションシート以外にも、「Merry」での質問も大いに歓迎します。 	

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1 回目	ガイダンス この授業が目指すもの	①保育学科でなぜ「日本国憲法」を学ぶのか、資格要件の観点や、実際に保育者に求められる視点から学ぶ。 ②15回を通して何を学ぶのかを概観する。	・予習：保育学科で取得できる資格である「幼稚園教諭」の免許取得には何を学ぶことが求められるか調べておく。
2 回目	憲法制定の歴史的経緯を振り返る	①明治憲法から日本国憲法に移り変わる経緯について学ぶ。 ②民主主義の意味について学ぶ。 ③日本国憲法と明治憲法の違いを学ぶ	・予習：明治憲法の特徴を調べておく ・復習：保育学科で日本国憲法を学ぶ意義について振り返る。
3 回目	日本国憲法の三大原則について	①国民主権は生まれた背景を学ぶ。 ②基本的人権の尊重が生まれた背景を学ぶ。 ③平和主義の生まれた背景について学ぶ。	・予習：現代社会における平和主義の意義を考えてみる。 ・復習：明治憲法の抱える問題点について整理しておく。
4 回目	基本的人権総論	①人権の世界的な歴史について振り返る。 ②基本的人権が何故生まれてきたのかについて振り返る。	・予習：中学や高校の歴史の教科書を読み、日本国憲法が生まれてきた背景を調べておく。 ・復習：日本国憲法の三大原則について確認する。
5 回目	包括的基本権	① 人権が時間を経ていかに拡大していったのかについて学ぶ。 ② 社会権の概念の登場について学ぶ。 ③ 新しい人権について学ぶ。	・予習：新しい人権という言葉調べる。 ・復習：基本的人権は最初は何から生まれたのかを確認する。
6 回目	平等権	①平等権が生まれてきた歴史的背景を学ぶ。	・予習：「差別」について調べておく。

		<p>②平等権にはどのようなものがあるか具体的に学ぶ。</p> <p>③どのようなときで「不平等」を感じるのか考えてみる。</p>	<p>・復習：新しい人権についてまとめておく。</p>
7回目	精神的自由権	<p>①思想・良心の自由について学ぶ。</p> <p>②信教の自由について学ぶ。</p> <p>③学問の自由について学ぶ。</p> <p>④表現の自由について学ぶ。</p>	<p>・予習：自分が考えると「表現」についてまとめておく</p> <p>・復習：平等権の具体的な内容をまとめておく。</p>
8回目	経済的自由権	<p>①居住移転の自由について学ぶ。</p> <p>②職業選択の自由について学ぶ。</p> <p>③財産権について学ぶ。</p>	<p>・予習：自分のなりたい職業についてまとめておく。</p> <p>・復習：表現の自由がなぜ重要なのかについてまとめておく。</p>
9回目	身体的自由権	<p>①この人権がないとなぜ困るのかについて学ぶ。</p> <p>②刑事手続き全般そして基本原則について学ぶ。</p> <p>③被疑者の人権、被告人の人権について学ぶ。</p> <p>④死刑制度について学ぶ。</p>	<p>・予習：黙秘権という言葉について調べておく。</p> <p>・復習：職業を選択できる意義についてまとめておく。</p>
10回目	参政権	<p>①参政権の意義について学ぶ。</p> <p>②選挙制度について学ぶ。</p> <p>③現代社会における選挙制度の抱える問題点について学ぶ。</p>	<p>・予習：最近の選挙の結果について調べておく。</p> <p>・復習：死刑制度について自分の考えをまとめておく。</p>
11回目	社会権	<p>①生存権が生まれてきた経緯について知りその意義について学ぶ。</p> <p>②教育を受ける権利について学ぶ。</p> <p>③勤労権について学ぶ。</p> <p>④労働基本権について学ぶ。</p>	<p>・予習：生活保護という言葉について調べておく。</p> <p>・復習：投票に行き、政治に参加する意義についてまとめておく。</p>
12回目	国会	<p>①三権分立について学ぶ。</p> <p>②国会の組織と権能について学ぶ。</p> <p>③国会議員の実際の活動を知る。</p>	<p>・予習：自分の住んでいる街の国会議員について調べる。</p> <p>・復習：生存権の意義についてまとめておく。</p>
13回目	内閣	<p>①内閣制度について学び、これまでの内閣の変遷を振り返る。</p> <p>②内閣の組織と権能について学ぶ。</p>	<p>・予習：首相官邸のホームページを見ておく。</p> <p>・復習：衆議院と参議院の</p>

		③現在の政権を例に、内閣の実際について学ぶ。	違いについてまとめておく。
14回目	裁判所	①裁判所の組織について学ぶ。 ②裁判官の権能について学ぶ。 ③裁判員裁判について学ぶ。	・予習：裁判員裁判という言葉調べておく。 ・復習：内閣総理大臣の役割についてまとめておく。
15回目	まとめ	①この授業で何を学んだのかについて振り返る。 ②学んだことがこれからの保育士や幼稚園教諭としてどのような観点から役立つのかについて確認する。 ③日本国憲法を学び、この15回を通して何を身につけたかを各人が考える。	・予習：これまでのノートをふりかえる。 ・復習：裁判所の基本的な機能についてまとめておく
16回目	定期試験		

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	① テキスト：「よくわかる憲法」（嵯峨野書院） ② 参考書：授業内容に合わせて別途指示する。
履修条件	
履修上の注意	日頃からニュースなど時事問題に関心を持つことが大切です。必ずニュースに目を通して授業に臨んでください。
オフィスアワー	・木曜日の放課後をオフィスアワーとして設定しています。事前に予約を取って研究室を訪問してくださると助かります。 ・また、水曜日以外の昼休みもオフィスアワーとして利用できますので、ぜひ質問にきてください。
備考・メッセージ	日本国憲法は、とっつきにくい印象をもたれがちですが、なるべく今の世の中で起きている事象に結び付けてわかりやすく解説をし、考えてもらおうと思います。

講義科目名称：ジェンダー論	授業コード：
英文科目名称：	ナンバリング：B S 2 0 1

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
後期	1	2	選択	講義
担当教員				
川原ゆかり				

授業概要	<p>ジェンダーとは何か、教育とは何か？ジェンダーと教育はどのようにつながるのか考える。歴史的・文化的・社会的に作られた「女」「男」の性別による「当たり前さ」や「常識」「自然」という考え方の中の女性の生き方について基本的な知識を修得する。</p> <p>性に不随した「ジェンダー役割」についての理解を深め、エンパワーメントについて見識を高めることができる。</p> <p>各論として、女性と家族、母子世帯と社会福祉、貧困、結婚、子育て・労働・高齢者問題、DV、児童虐待などについての理解に必要な知識を養う。また、LGBTなどセクシャリティの多様性についての知識や理解を深めることで、多様な生き方を受け入れる事ができるようになる。</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	多様な生き方・様々な考え方・価値観を知り、受容できるようになる。	レポート	10%
確かな専門的知識や技能	女性を取り巻く社会情勢の中の様々な課題や問題点、福祉制度などについて理解し、自らの生き方の考察に繋げることができる。	定期試験	60%
コミュニケーション能力	多様な生き方・様々な考え方・価値観を知るために、グループディスカッションを通して、自己覚知することができる。	グループディスカッション	10%
課題解決能力	講義で得た知識や他の生き方を通して、自己課題を発見し、問題解決する力をレポート等で言語化して再認識し、行動かできる力を身に付ける。	定期試験 レポート	10%
主体的に学ぶ力	積極的に他とディスカッションし、新聞記事等の関連情報に自らリサーチできるようになる。	予習・復習力 レポート	10%
合計			100%

補足事項

定期試験（60％） レポート（30％） グループ討議（10％） を総合して評価する。

- ①オンラインで実施する場合は、事前に配布します。保育者としての自分を認識するため予習・復習をして受講して下さい。
- ②保育者としての自分を認識するための各種の心理テスト等は予習・復習として実施して下さい。対面授業時に説明及び自己採点と解釈をします。
- ③オンライン授業時は、カメラは基本的に「ON」、発言時以外は、マイクは「OFF」にして下さい。
- ④課題やレポートは Word や Excel を必要に応じて活用して下さい。
- ⑤授業開始から 15 分以前の早退及び授業時間中 15 分以上離席した際は欠席扱い、授業開始から 15 分経過した遅刻 3 回で欠席 1 回とみなします。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1 回目	ジェンダー総論 現代を取り巻く社会構造・概論とジェンダー	面接授業 オンライン可	予習：まずは女性の生き方のモデルに触れる（2時間） 予習：女性から見た社会構造をまとめる（2時間）
2 回目	ジェンダーの発達心理学 「女」になる、「男」になることとは？	面接授業 オンライン可	予習：学友と、性別・性差等についてディスカッションする。
3 回目	性同一性の形成① 性の多様性（LGBT等）について理解を深める。 実話「ボーイズ・ドントクライ」を視聴する。	面接授業 オンライン可	予習：LGBTの文献を読む（1時間） 予習：資料を読み、LGBTの認識を深める（2時間）
4 回目	性同一性の形成② トランスジェンダーについて理解を深める。	面接授業 オンライン可	予習：女性のトランスジェンダーに関する記事を読む（1時間） 復習：女性のトランスジェンダーの生きづらさをまとめる（2時間）
5 回目	ジェンダーフリーと結婚 ジェンダーと結婚について考え、世界の結婚・日本の結婚の定義について学ぶ。	面接授業 オンライン可	結婚とは何か、結婚の意義や社会的意味について学友とディスカッションする。
6 回目	ジェンダーと出産について 世界10か国の女性の出産のドキュメンタリーを視聴し、性と生について考える。	面接授業 オンライン可	予習：出産に関する正しい知識を学ぶ（1時間） 復習：命がこの世に生まれ

			る神秘をまとめる(1時間)
7回目	ジェンダーについて 社会的・文化的・歴史的慣習の中のジェンダー意識を理解する。差別と区別を知る。	面接授業 オンライン可	予習：自分と身近なジェンダー意識に気づく(1時間) 復習：女性誌研史を読む(2時間)
8回目	男子の生きる世界とジェンダー 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する(DV法)法律について学ぶ。DVD「DV」を視聴する。	面接授業 オンライン可	予習：DVに関する文献を読む(2時間) 復習：DV法の趣旨とDVに対する自分の考えをまとめる(1時間)
9回目	生と性のグラデーション(共依存) 男女間で陥りやすい共依存について認識を深める。自立と依存について学ぶ。	面接授業 オンライン可	予習：依存に関する文献を読む(1時間) 復習：DV被害者の保護・その社会資源について知る(1時間)
10回目	老いとジェンダー革命 少子高齢社会の中の生き方を考える。一生の時間軸と人生の一般的なエピソードについて理解する。	面接授業 オンライン可	予習：人口構造について調べる(1時間) 復習：自分の10年後・30年後の人生をイメージしてまとめる。(2時間)
11回目	ひとり親家庭と養育放棄 実話「誰も知らない」を視聴。ひとり親家庭の親子の生きざまや実態を理解する。	面接授業 オンライン可	予習：子どもにとっての親とは何か、学友とディスカッションする(2時間) 復習：親の立場から子育ての困難性を想像する(1時間)
12回目	ひとり親家庭と養育 経済的・社会的・法的・社会構造からみたひとり親家庭の位置づけを考える。	面接授業 オンライン可	予習：養育放棄・ネグレクト関連の図書を読む(2時間) 復習：子どもの予後を理解し、社会的養護に関する文献を読む(2時間)
13回目	女性のジェンダー意識と「幸せな家庭の幻想」 女性の就業と社会的自立に伴う子人生設計・自立の困難性及び育て環境の変化、保育制度について理解する。	面接授業 オンライン可	予習：多様な働き方と保育ニーズについて調べる(2時間) 復習：現代社会における保育制度と保育者を目指す自己理解をするために考えを

			まとめる（2時間）
14回目	総活・まとめ ジェンダー概論から各論にいたる一連の学びを整理し、時代と共に変化するデータ（数値）や概念をまとめる。	面接授業 オンライン可	予習：1～13回の資料を読む（2時間） 復習：諸々の概念や数値を理解し、記憶する（2時間）
15回目	模擬テスト 各種制度や概念、時代と共に変化する数値の意味と社会構造を理解し、総まとめとして正しい知識を得る。	面接授業 オンライン可	予習：記憶するための「穴空きプリント」を勉強する（1時間） 復習：定期試験の準備（3時）
16回目	定期試験（筆記試験（持ち込み不可））	面接授業	定期試験の勉強（10時間）

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	ジェンダーで学ぶ教育 少子化時代のジェンダーと母親意識
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	特に定めません。質問がある場合は昼休み・放課後に行います。
備考・メッセージ	<p>①原則対面授業ですが、オンライン授業を行う場合もあります。オンライン授業時は、カメラは基本的に「ON」、発言時以外は、マイクは「OFF」にして下さい。</p> <p>②オンライン授業のパワーポイント資料は事前に配布します。オンライン授業は課題提出を義務化し、出席とみなし、レポートの内容から教育効果の検証を行います</p> <p>③ジェンダー論の観点から女性のリアルな生きざまと女性特有の取り巻く環境・価値感を指南しながら、実例や現状と課題を通して、自立した女性の生き方を探っていきます。</p> <p>④一人の人間・女性としての自立の先にある保育者としての子育て支援の視点を体現できる授業を通して、理論に結びつけていきます。</p> <p>⑤課題やレポートはWordやExcelを必要に応じて活用して下さい。</p>

講義科目名称：実践国語演習	授業コード：
英文科目名称：	ナンバリング：B S 2 0 2

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
後期	1年	2単位	選択	講義・演習
担当教員				
山本 みづほ				

授業概要	<p>保育者としてふさわしい国語力を修得するために、「会話表現」と「文章表現」の基礎を学び、応用力を身に付ける。子ども、保護者、職場の人それぞれに対する言葉遣いと気遣いのできる人間力を養う。</p> <p>本講義では、①保育現場において正しい言葉遣いで対応することができる、②広い視野で物事を捕らえ保育の実践をすることができる、③読みやすい文字で順序立てた文章を書くことができることを目標とする。</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	・ビブリオバトルを通して自分の思いを伝えることができる。	・授業での発表	10%
確かな専門的知識や技能	・総合的な国語力を身に付けている。 ・保育士としての思いを的確に文章で表現できる。	・定期試験	50%
コミュニケーション能力	・グループ内で協力して「事例カード」による寸劇を作り上げることができる。	・グループディスカッションと授業での発表	10%
課題解決能力	・保育に関する新聞記事を読み、有効な解決策を考えることができる。	・レポート	10%
主体的に学ぶ力	・毎回の講義の感想や質問を文章で表現できる。	・授業への参加・態度 ・振り返りのメモ	20%
合計			100%
補足事項			
・本授業では、定期試験50%、毎回の授業の振り返り感想・質問メモと授業への参加・態度20%、及びビブリオバトル、グループディスカッション、レポート各10%の割合で評価する。			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「オリエンテーション」 講義の進め方、保育士に求められる国語力	対面授業 オンライン可	予習：自己紹介（保育園・幼稚園時代の思い出エピソード）

	について説明する。		ード)を覚えておくこと(2時間) 復習:シラバスを再度確認しておく(2時間)
2回目	「会話表現1」 聞き取りやすい話し方の基本について説明する。 ・正しい発声、アクセント、プロミネンス	対面授業 オンライン可	予習:P20~P25を読んでおく(2時間) 復習:早口言葉を書き、声に出して言う(2時間)
3回目	「会話表現2」ビブリオバトル 4人グループで予選を行い、チャンプ本を決め、全体で代表者による決戦大会を行う。 ・本を持参(図書館で借りても良い)	対面授業 オンライン可	予習:紹介する本を準備し、5分間で話す練習をしておく(2時間) 復習:チャンプ本のどこに惹かれたかについてまとめる(2時間)
4回目	「会話表現3」 敬語について説明する。 ・敬語の種類 ・二重敬語に注意	対面授業 オンライン可	予習:P26~P30を読んでおく(1時間) 復習:敬語の種類についてまとめる(3時間)
5回目	「会話表現4」 実習先での自己紹介について説明する。(先生方、子ども、保護者の3つのパターン) 演習シートを用いて授業の理解を深める。	対面授業 オンライン可	予習:P32~P36を読んでおく(1時間) 復習:発表した内容の振り返りをする(3時間)
6回目	「会話表現5」 電話の応対について説明する。 ・ロールプレイ式 ・伝言メモの取り方	対面授業 オンライン可	予習:P37~P39、P55~P56を読んでおく(2時間) 復習:的確な応対に必要な知識をまとめる(2時間)
7回目	「会話表現6」 保育現場での話し方について説明する。 事例カードごとに園児役、先生役に分かれての寸劇 ・役になりきることが重要	対面授業 オンライン可	予習:P40~P45を読んでおく(2時間) 復習:各グループの良かった点をまとめる(2時間)
8回目	「文章表現1」 文字を正しく書くことについて説明する。 ・ペンの正しい持ち方 ・正しい表記	対面授業 オンライン可	予習:P58~P65を読んでおく(2時間) 復習:自分の文字の癖を再認識する(2時間)
9回目	「文章表現2」 文章作成上の留意点について説明する。 ・当て字、隠語、記号の使い方、重複表現、同じ言葉の多用	対面授業 オンライン可	予習:P66~P71を読んでおく(2時間) 復習:自分の文章の癖を再認識する(2時間)
10回目	「文章表現3」 文章の基本的な書き方について説明する。 ・毎回書いている振り返りメモを参考	対面授業 オンライン可	予習:P72~P76を読んでおく(2時間) 復習:自分の文章の癖を文章化する(2時間)

11 回目	「文章表現 4」 実習日誌の書き方を説明する。 ・ある保育士の 1 日のビデオを参照	対面授業 オンライン可	予習：P78~P87 を読んでおく（2 時間） 復習：実習日誌を完成させる（2 時間）
12 回目	「文章表現 5」 指導計画、連絡帳の書き方について説明する。 ・指導計画の見本から学ぶ ・連絡帳を実際に書く	対面授業 オンライン可	予習：P88~P92 及び P125~P132 を読んでおく（2 時間） 復習：グループで交換して見た連絡帳の長所をまとめる（2 時間）
13 回目	「文章表現 6」 小論文の書き方を説明する。 ・原稿用紙の使い方、作文と小論文の違い、構成 ・過去に出されたタイトルから一つを選び実際に書く	対面授業 オンライン可	予習：P112~P124 を読んでおく（2 時間） 復習：時間内に提出した小論文の振り返りをする（2 時間）
14 回目	「文章表現 7」 手紙、はがき、メールの書き方を説明する。 ・年賀状を書く	対面授業 オンライン可	予習：P93~P106 を読んでおく（1 時間） 復習：実際に年賀状を書いて出す（3 時間）
15 回目	「文章表現 8」「会話表現 7」 履歴書の書き方と面接の受け方を説明する。 ・履歴書を書き、それをもとにグループで面接練習をする。	対面授業 オンライン可	予習：P107~P111 及び P46~P50 を読んでおく（2 時間） 復習：今日の学びの振り返りをする（2 時間）
16 回目	定期試験	対面のみ	

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教科書：『保育者になるための国語表現』2020 改訂版 4 刷 萌文書林 参考書、資料に関しては授業で提示する
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後で質問に対応します
備考・メッセージ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 座席指定とする ・ 欠席の場合は欠席願（届）を必ず提出すること ・ 常に保育関連の新聞記事やニュースに注目しておくこと ・ 演習形式の授業なので、積極的に取り組み国語力を養おうとする意欲のある学生を望みます

講義科目名称：英語 I	授業コード：
英文科目名称：	ナンバリング：B S 1 0 3

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期	1	2	必修	演習
担当教員				
本土 源太郎				

授業概要	<p>保育現場で役立つ英語表現（以下参照）の学習。</p> <p>手遊び英語歌（Ten Little Pumpkins など）、保護者との英会話、ネイティブ講師との打合せに必要な英語、アレルギーや医療品に関する英語、園行事や遊具に関する英語などを学ぶ。</p> <p>また実習形式で、スクラブル等の教具の体験、浦島太郎などの洋書の読み聞かせを行う。さらに、各国のクリスマス事情などの調べ学習を通して異文化理解を深め、教養の涵養も促す。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	社会の様々な立場の人に親和的な態度で積極的に働きかけることができる。	授業への参加・態度	20%
確かな専門的知識や技能	英語で保育現場に役立つ身近な表現と語彙を用いて活用することができる。	定期試験 小テスト	50% 30%
コミュニケーション能力	英語で相手や目的・場面に応じて自らの意志を的確に表現、理解することができる。	グループディスカッション・プレゼンテーション	
課題解決能力	指示を待つのではなく、自らやるべきことを見つけて積極的に取り組むことができる。	レポート	
主体的に学ぶ力	自己について深く理解し、興味関心に基づき保育について考えることができる。		
合計			100%

補足事項

授業中の携帯電話の使用は禁止します。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1 回目	オリエンテーション 英語の会話に最低限必要な表現	面接授業	予習・復習の内容を説明

2回目	Unit 1 自己紹介に関する英語表現	面接授業	PreUnit の復習と予習 (4時間)
3回目	Unit 2 場所に関する表現を説明する	面接授業	Unit1 の復習と予習 (4時間)
4回目	Unit 3 体調に関する英語表現を学習する	面接授業	Unit2 の復習と予習 (4時間)
5回目	Unit 4 好き嫌いに関する英語表現	面接授業	Unit3 の復習と予習 (4時間)
6回目	Unit 5 存在・状態に関する英語表現	面接授業	Unit4 の復習と予習 (4時間)
7回目	Unit 6 時間に関する英語表現	面接授業	Unit5 の復習と予習 (4時間)
8回目	Unit 7 病気・アレルギーに関する表現	面接授業	Unit6 の復習と予習 (4時間)
9回目	Unit 8 緊急事態に関する英語表現	面接授業	Unit7 の復習と予習 (4時間)
10回目	Unit 9 行事に関する英語表現	面接授業	Unit8 の復習と予習 (4時間)
11回目	Unit 10 天気に関する英語表現	面接授業	Unit9 の復習と予習 (4時間)
12回目	Unit 11 禁止・助言に関する英語表現	面接授業	Unit10 の復習と予習 (4時間)
13回目	Unit 12 病気に関する英語表現	面接授業	Unit11 の復習と予習 (4時間)
14回目	Unit 13 電話での応対に関する英語表現	面接授業	Unit12 の復習と予習 (4時間)
15回目	Unit 14 感謝の気持ちを表す英語表現	面接授業	Unit13 の復習と予習 (4時間)
16回目	定期試験		試験勉強 (4時間)

科目 (教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	Happy English for Childcare 保育のための基礎英語
履修条件	
履修上の注意	教科書を忘れないこと。
オフィスアワー	(前期) 月曜日の2～4限目
備考・メッセージ	授業中の携帯電話の使用は禁止 毎回小テストを行うので必ず既習内容の復習を行うこと。

講義科目名称：国際コミュニケーション演習	授業コード：
英文科目名称：International Communication	ナンバリング：B S 2 0 3

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
後期	1年	2単位	選択	講義
担当教員				
近藤 直美				

授業概要	本授業では幼児英語教育の内容に沿って英語を用いたコミュニケーションの意義を理解し、楽しんで実社会に役立てる英語力を養うことを目標とする。英語のスキル向上に心がけ、卒業後も学び続ける意欲を持てるよう動機付けを行っていく。また今後の幼児教育ならびに幼保小連携に役立つような教育スキルを身につける。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育園や幼稚園で必要となる語彙を増やす ・ 正確なリスニング力をつける ・ 保護者や園児とのコミュニケーションにおいて必要な表現を学ぶ ・ 幼児英語教育で使える英語活動について学ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期試験 ・ 小テスト ・ 課題 ・ 授業への参加・態度 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 50% ・ 20% ・ 20% ・ 10%
異文化知識・対応能力			
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業に関する質問は授業内ほかオフィスアワー、Google クラウドで受け付けます。 ・ 本授業では定期試験 50%、小テスト 20%、課題 20%、授業への参加・態度 10%の割合で評価します。 ・ 15分以上の遅刻は欠席とします。 ・ 授業に関係のない私語や居眠り、許可のない携帯電話の使用は口頭で注意の上、改まらない場合は減点対象とします。 ・ 必要な場合、遠隔での授業を行う場合もあります。 	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション：授業の進め方 Pre-Unit: 英語でコミュニケーションをするときの基本表現	対面授業	復習 ・テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する（3時間） 予習 ・授業で学習した単語を覚え、小テストに備える（1時間）
2回目	Unit 1: ・挨拶・自己紹介 ・人に何かを頼む表現 ・保育時間 ・英語での自己紹介	対面授業	復習 ・テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する（3時間） 予習 ・授業で学習した単語を覚え、小テストに備える（1時間）
3回目	小テスト：Unit 1 Unit 2: ・園内の案内 ・位置を伝える表現 ・園の構成員 ・戸外での道案内	対面授業	復習 ・テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する（3時間） 予習 ・授業で学習した単語を覚え、小テストに備える（1時間）
4回目	小テスト：Unit 2 Unit 3: ・登園時の会話 ・今日の調子を聞く・答える表現 ・持ち物 ・数字 ・手遊び歌“Ten Little Pumpkins”	対面授業	復習 ・テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する（3時間） 予習 ・授業で学習した単語を覚え、小テストに備える（1時間）
5回目	小テスト：Unit 3 Unit 4: ・工作時間の会話 ・好きなもの／嫌いなものを聞く ・工作やお絵かきで使う道具 ・英語で「かぐや姫」読む	対面授業	復習 ・テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する（3時間） 予習 ・授業で学習した単語を覚え、小テストに備える（1時間）
6回目	小テスト：Unit 4 Unit 5: ・園外散歩での会話 ・場所を表す表現 ・集団で行う園活動	対面授業	復習 ・テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する（3時間） 予習 ・授業で学習した単語を覚え、小テスト

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教室内のものの場所を示す 		に備える（1時間）
7回目	<p>小テスト：Unit 5</p> <p>Unit 6：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 園庭での会話 ・ 人に何かするよう／しないように言う表現 ・ 遊具の名前 ・ 英語で「桃太郎」を読む 	対面授業	<p>復習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する（3時間） <p>予習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業で学習した単語を覚え、小テストに備える（1時間）
8回目	<p>小テスト：Unit 6</p> <p>Unit 7：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保護者からの相談 ・ 食に関する好き嫌い、アレルギーの有無を伝える表現 ・ 手洗いや歯磨き ・ 食材の名前 ・ 肉じゃがのレシピを英語で書く 	対面授業	<p>復習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する（3時間） <p>予習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業で学習した単語を覚え、小テストに備える（1時間）
9回目	<p>小テスト：Unit 7</p> <p>Unit 8：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ お昼寝時間の会話 ・ しなければならないこと・する必要があることを伝える表現 ・ お昼寝に関する表現 ・ 英語圏のジェスチャー ・ 手遊び歌 “Twinkle, Twinkle, Little Star” 	対面授業	<p>復習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する（3時間） <p>予習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業で学習した単語を覚え、小テストに備える（1時間）
10回目	<p>小テスト：Unit 8</p> <p>Unit 9：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 降園時の会話 ・ 1日の活動と様子を伝える表現（動詞の過去形） ・ クリスマスについて調べる 	対面授業	<p>復習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する（3時間） <p>予習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業で学習した単語を覚え、小テストに備える（1時間）
11回目	<p>小テスト：Unit 9</p> <p>Unit 10：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 園行事予定についての会話 ・ 「もし～なら」という仮定の表現 ・ 園行事の英語名 ・ 体操の名称 	対面授業	<p>復習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する（3時間） <p>予習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業で学習した単語を覚え、小テストに備える（1時間）
12回目	小テスト：Unit 10	対面授業	復習

	Unit 11 : ・ ネイティブとの打ち合わせ ・ Shall I / we ...?と Will you ...?を用いた表現と応答 ・ 時刻を表す英語 ・ 歌“Old MacDonald Had a Farm”		・ テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する (3時間) 予習 ・ 授業で学習した単語を覚え、小テストに備える (1時間)
13 回目	小テスト : Unit 11 Unit 12 : ・ 体調不良の園児との会話 ・ 病気やけがの症状を伝える表現 ・ 医療品の英語 ・ 身体の部位・家系図	対面授業	復習 ・ テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する (3時間) 予習 ・ 授業で学習した単語を覚え、小テストに備える (1時間)
14 回目	小テスト : Unit 12 Unit 13 : ・ 保護者との電話 ・ 電話対応に便利な表現 ・ 留守番電話の英語 ・ 英語で「浦島太郎」を読む	対面授業	復習 ・ テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する (3時間) 予習 ・ 授業で学習した単語を覚え、小テストに備える (1時間)
15 回目	小テスト : Unit 13 Unit 14 : ・ 最後の日の会話 ・ お礼の表現 ・ 動きの表現 ・ 誕生日カード	対面授業	今まで学習した範囲を復習する (4時間)
16 回目	定期試験		

科目 (教職課程用)	なし
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
教科書・参考書	Happy English for Childcare 保育のための基礎英語 (教員による注文)
履修条件	なし
履修上の注意	自己目標を明確にして意欲的に授業に臨みましょう
オフィスアワー	後期木曜 3・4 時限 (研究室) その他空きコマ
備考・メッセージ	わからないことがあれば遠慮なく質問する勇気を身につけて、一緒に「英語」の世界を探検していきましょう。

講義科目名称：スポーツ科学	授業コード：
英文科目名称：Sports Science	ナンバリング：BS301

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期	2年	1	必修	演習
担当教員				
中尾健一郎				

授業概要	<p>①スポーツと人との関わりについて、自からのスポーツとの関わりについて振り返る</p> <p>②健康と運動との関わり、効果的な体力維持向上の方法、食生活と運動とのかかわりについて理解する</p> <p>③日本のスポーツの現状、スポーツ基本法、スポーツ基本計画について理解する</p> <p>④トップアスリートのパフォーマンスについて、スポーツ科学的視点から理解する</p> <p>⑤熱中症対策や自らの生活とスポーツとの関わりについて説明し、生涯スポーツの観点について理解する</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
確かな専門的知識や技能	<ul style="list-style-type: none"> ・する・みる・支える・創るなど人とスポーツの関わりについて生涯スポーツの観点から説明できる ・スポーツ基本法、スポーツ基本計画について説明できる ・スポーツの科学的視点からトップアスリートのパフォーマンスを理解できる ・熱中症対策について説明できる 	課題レポート 期末レポート	30% 30%
コミュニケーション能力			
課題解決能力			
主体的に学ぶ力	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者を目指すものとして、自らの生活と運動やスポーツとの関わりについて説明できる 	期末レポート リフレクションカード 授業への参加・態度	30% 5% 5%
合計			100%
補足事項			

- ・オンライン・オンデマンド配信授業については、課題提出で出席とみなす
- ・毎回、授業のポイント、意見・質問、授業態度の自己評価をリフレクションカードとして提出
- ・課題レポートは授業内で回収し、意見・質問なども含めコメントは google classroom 等や授業内にて行う。
- ・期末レポート 60%、課題レポート 30%、リフレクションカード 5%、授業への参加・態度 5%の割合で評価する

【面接授業における遅刻、早退、欠席について】

- ・授業開始 15 分までを遅刻とし、それ以降は欠席とする。また、早退については 75 分間授業を受けていない場合は欠席とする。遅刻 3 回で 1 回の欠席としてカウントする

授業計画	授業内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1 回目 対面	「オリエンテーション・スポーツと人の関わりと生涯スポーツの考え方について」 これまでの自分の運動やスポーツへの関わりについて考える	面接授業 (オンライン等の対応可能)	予習：これまでの自分の運動やスポーツへの関わりについて振り返る(1.5 時間) 復習：配布資料を参考に運動やスポーツとの関わりについてまとめる(1.5 時間)
2 回目 対面	「健康・体力づくりに果たす運動・スポーツの役割について①」 運動やスポーツに関する実態調査(新体力テスト等)を実施し、自分の健康づくりに向けて運動やスポーツへの関わりについて考えるきっかけとする。	面接授業 (オンライン等の対応可能)	予習：現在の体力・運動能力について振り返る(1.5 時間) 復習：体力測定の結果を振り返り、運動やスポーツとの関わりについて考える(1.5 時間)
3 回目	「熱中症対策について」 熱中症について学び、その対策及び対応について学ぶ	オンデマンド 配信授業	予習：熱中症対策について調べる(1.5 時間) 復習：配布資料を参考に子どもの熱中症対策について振り返る(1.5 時間)
4 回目	「健康・体力づくりに果たす運動・スポーツの役割について②」 健康づくりの観点から休養・栄養・運動について理解し、有酸素運動の効果、筋力トレーニングの効果について学ぶ	オンデマンド 配信授業	予習：健康・体力づくりと食生活との関わりについて調べる(1.5 時間) 復習：配布資料を参考に健康体力づくりに果たす運動・スポーツの役割についてまとめる(1.5 時間)
5 回目	「日本のスポーツの現状と課題、日本のスポーツ推進策について」	オンデマンド 配信授業	予習：日本のスポーツ振興の現状について調べる(1.5

	統計データから日本のスポーツの現状と課題、スポーツ基本法、スポーツ基本計画について学ぶ		時間) 復習：配布資料を参考にスポーツ振興の現状と課題についてまとめる(1.5時間)
6回目	「トップアスリートのパフォーマンスとスポーツ科学的視点①」 トップアスリートを支える仕組みについて学ぶ	オンデマンド 配信授業	予習：オリンピックなどのトップアスリートの活躍について調べる(1.5時間) 復習：配布資料を参考にトップアスリートを支える仕組みについてまとめる(1.5時間)
7回目	「トップアスリートのパフォーマンスとスポーツ科学的視点②」 事例からアスリートを科学的にサポートする方法について学ぶ	オンデマンド 配信授業	予習：アスリートを科学的にサポートする方法について調べる(1.5時間) 復習：配布資料を参考にアスリートを科学的にサポートする方法について振り返る(1.5時間)
8回目	「まとめ・運動の効果と実践基準について」 生涯にわたるスポーツライフの実現に向けた日々の実践について学ぶ	オンデマンド 配信授業	予習：自分のこれからのスポーツライフについて考える(1.5時間) 復習：配布資料を参考に現実的な計画を考え実践に結び付ける(1.5時間)

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教科書：必要に応じて資料を配布する 参考書：教養としてのスポーツ科学 大修館書店
履修条件	
履修上の注意	オンライン等の授業についてはPC、タブレット（パソコン）等を準備し、対応できるようにすること
オフィスアワー	質問等は授業の前後に教室にてまたは google classroom 等で受け付ける
備考・メッセージ	自分の健康に関心を持ち、運動やスポーツとの関わりを振り返りながら取り組むこと。

講義科目名称：スポーツ実習	授業コード：
英文科目名称：	ナンバリング：B S 4 0 1

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
後期	1	1	卒：必修、保：必修、幼：必修	実習
担当教員				
野田章子				

授業概要	<p>本実習は、スポーツの楽しさと大切さを学び、スポーツを取り入れた豊かなライフスタイルについて考えることをねらいとしている。</p> <p>本実習では、①体力テストなどから自分の現状が分かる、②さまざまなスポーツのルールが分かる、③自分にあうトレーニングのやり方が分かる、④スポーツを通じたコミュニケーションができる、⑤運動の大切さが分かることを目標にする。</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	<ul style="list-style-type: none"> ・自身の健康に興味を持ち、スポーツに積極的に取り組むことができる ・自身にふさわしいスポーツ活動を選び、豊かなスポーツライフを考えることができる。 	授業への参加・態度	50%
確かな専門的知識や技能	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツのルールを理解して、試合に生かすことができる。 	確認テスト	10%
コミュニケーション能力	<ul style="list-style-type: none"> ・だれとでも、スポーツを通じて、交流することができる。 	試合などのチーム活動	10%
課題解決能力	<ul style="list-style-type: none"> ・実践を通して、自分の課題を見つけ、改善する方法を考えることができる。 	レポート	10%
主体的に学ぶ力	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の体力やスポーツ技術を高めようと努力することができる。 	スポーツテスト (2回)	20%
合計			100%

補足事項	
<p>毎回のゲーム形式のチーム活動 10%、スポーツテスト 20%、ルール確認テスト 10%、レポート 10%、授業への参加・態度 50%を評価する。それらについては、都度指導及び評価についてフィードバックを行う。その際は Web 等で個別に対応もおこなう。</p> <p>本授業では、遅刻 3 回で欠席 1 回とする。</p>	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	体力テストの実施	面接授業	予習：ストレッチなどを行い、けがの予防について調べる（0.5時間） 復習：体力テストの結果から自分の生活を見直す（0.5時間）
2回目	バドミントンのルールと用具の扱い方	面接授業	予習：ルール・用具について調べる（0.5時間） 復習：ルール・用具について復習する（0.5時間）
3回目	バドミントンのサーブを中心とした基本練習 リーグ戦形式でのゲーム	面接授業	予習：サーブについて調べる（0.5時間） 復習：試合を観戦する（0.5時間）
4回目	バドミントンのスマッシュ・カットを中心とした基本練習 リーグ戦形式でのゲーム	面接授業	予習：スマッシュ・カットについて調べる（0.5時間） 復習：試合を観戦する（0.5時間）
5回目	バレーボールのルールの理解と用具の扱い方	面接授業	予習：ルール・用具について調べる（0.5時間） 復習：ルール・用具について復習する（0.5時間）
6回目	バレーボールのパスを中心とした基本練習 リーグ戦でのゲーム	面接授業	予習：パスについて調べる 復習：試合を観戦する（0.5時間）（0.5時間）
7回目	バレーボールのアタック、レシーブを中心とした基本練習 リーグ戦でのゲーム	面接授業	予習：アタック、レシーブについて調べる（0.5時間） 復習：試合を観戦して感想を書く（0.5時間）
8回目	卓球のルールの理解と用具の扱い方	面接授業	予習：ルール・用具について調べる（0.5時間） 復習：ルール・用具について復習する（0.5時間）
9回目	卓球のサーブを中心とした基本練習 リーグ戦でのゲーム	面接授業	予習：サーブについて調べる（0.5時間） 復習：試合を観戦して感想を書く（0.5時間）
10回目	卓球のスマッシュ、カットを中心とした基本練習 リーグ戦でのゲーム	面接授業	予習：スマッシュ、カットについて調べる（0.5時間） 復習：試合を観戦した感想を書く（0.5時間）
11回目	バスケットのルールの理解と用具の扱い方	面接授業	予習：ルール・用具について調べる（0.5時間）

			復習：ルール・用具について復習する (0.5 時間)
12 回目	バスケットのパス、ドリブルを中心とした基本練習 リーグ戦でのゲーム	面接授業	予習：パス、ドリブルについて調べる (0.5 時間) 復習：試合を観戦して感想を書く (0.5 時間)
13 回目	バスケットのシュートを中心とした基本練習 リーグ戦でのゲーム	面接授業	予習：シュートについて調べる (0.5 時間) 復習：試合を観戦して感想を書く (0.5 時間)
14 回目	トレーニングについて 各スポーツの基礎技術の確認	面接授業	予習：トレーニングについて調べる (0.5 時間) 復習：トレーニングの実践を各自で行う。(0.5 時間)
15 回目	各競技のルールについて確認 自分のライフスタイルとスポーツについて考える	面接授業	予習：各競技のルールを調べる (0.5 時間) 復習：自分にあったスポーツを実践する (0.5 時間)

科目 (教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教科書：必要に応じて資料を配布 参考書： 松野修二 (監) 『スポーツステップアップ DVD シリーズ バドミントンパーフェクトマスター』、新星出版社、2008 大林素子 (監) 『DVD で分かる！バレーボール基本・練習・実践テクニック』、西東社、2015 宮崎善仁 (監) 『絶対うまくなる！卓球』、主婦の友社、2012 長谷川健志 (監) 『DVD 上達レッスン バasketボール』、成美堂出版、2007
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後で対応
備考・メッセージ	積極的に運動に取り組む姿勢で参加すること 運動できる服装、体育館シューズが必要

講義科目名称：コンピュータ演習	授業コード：
英文科目名称：	ナンバリング：B S 1 0 4

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期	1	2	選択	演習
担当教員				
小浦康平				

授業概要	<p>① パソコンの基本操作や各種設定方法を身につけ、タッチタイピングを習得する。</p> <p>② インターネットを使用する上で必要な社会ルールやマナー、著作権について理解する。ホームページ閲覧や検索方法などを身につける。</p> <p>③ Word を使い、正確かつスピーディな文書作成が行えるよう、基本操作を学習する。保育現場で必要となる園だよりやポスターなどを作成する。</p> <p>④ Excel を使い、計算式や関数の組み立て、表の装飾やグラフの作成を学習する。行事カレンダーや出席簿などを作成する。</p> <p>⑤ PowerPoint を使い、プレゼンテーションの仕方および注意点等を学習する。電子絵本を作成し発表する。</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
確かな専門的知識や技能	保育士として必要な Word、Excel、PowerPoint の基本的な使い方を学ぶ。	・課題提出	50%
コミュニケーション能力			
課題解決能力	Office 系アプリケーションを活用して、相手に伝わる資料やプレゼンテーションを構築する。	・課題提出 ・成果発表	40%
主体的に学ぶ力	授業態度や完成まで取り組む姿勢を身に付ける。	・課題提出	10%
合計			100%
補足事項			

本授業では毎回 10 分間のタイピング練習を行う。課題は指定した形式（データもしくは印刷物）での提出とする。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1 回目	コンピュータの基礎知識：パソコンの基本操作、各種設定、ファイル保存、タイピングの基本	面接授業	予習：パソコンがどのような仕組みで構成されているか、また、一般的な操作方法やファイルの保存方法などを確認する、タイピング練習を行う（3 時間）
2 回目	文書作成（1）：Word の基本操作、画面構成、タイピング、文字入力（ひらがな、カタカナ、漢字変換）	面接授業（オンライン対応可）	復習：ホームポジションを守ったタッチタイピングを継続的に学習する、Word での図形の扱いに慣れる（2 時間） 予習：Word で文字装飾の機能について調べておく（1 時間）
3 回目	文書作成（2）：ビジネス文書の作成（あいさつ文の挿入、文字の装飾、書式設定、拡張書式設定）	面接授業	復習：中央揃えやインデントなど文字の配置や飾りつけの練習課題を行う（1 時間） 予習：Word での表の扱い方について慣れておく（2 時間）
4 回目	文書作成（3）：表枠作成（表の挿入、列の分割・結合、罫線の装飾）	面接授業	復習：表挿入のボタンの位置および完成例をもとにした表枠作成の練習課題を行う（1 時間） 予習：図形の操作、画像の取り扱い方、加工の仕方について調べておく（2 時間）
5 回目	文書作成（4）：図形の操作（図形の基本操作、クリップアート、オートシェイプ、写真）	面接授業	復習：図形の拡大縮小・移動などの基本操作の確認と、図形を含む練習課題を行う（2 時間） 予習：文字書式、画像、図

			形、表、の複合的な扱いに慣れておく（1時間）
6回目	Wordのまとめ：総復習・課題作成（園だより）	面接授業	復習：レイアウトを整え、イラストや表枠を入れた見やすく楽しいオリジナルの園だよりを完成させる（2.5時間） 予習：Excelの入力方法に慣れておく（0.5時間）
7回目	Excelの基礎（1）：表計算の基本用語と概念、画面構成、データ入力の基礎、オートフィル、セルの書式設定	面接授業（オンライン対応可）	復習：効率の良い範囲選択や曜日などの自動入力など、テキストを見なおして例題を解く（2時間） 予習：よく使う関数について調べて練習しておく（1時間）
8回目	Excelの基礎（2）：計算式（加減乗除）、関数（合計、平均、カウント、最大、最小）	面接授業	復習：計算式の作成と関数の使用（オートSUM）の練習課題を行う（1時間） 予習：やや複雑な関数について扱い方を調べておく（2時間）
9回目	Excelの基礎（3）：関数（IF、RANK、COUNTIF）、データの並べ替え	面接授業	復習：目的に応じた関数の使用、住所録などの並べ替えの練習課題を行う（1時間） 予習：テクニックを駆使して総合的な課題に取り組めるよう復習しておく（2時間）
10回目	Excelのまとめ：総復習・課題作成（行事カレンダー・出席簿）	面接授業	復習：適切な関数を活用し、レイアウトを整えた見やすい行事カレンダーや出席簿の作成を行う（1時間） 予習：インターネットやSNSを活用する上でのリスクについて調べておく（2時間）

11 回目	情報モラルおよびインターネットの活用： インターネット社会のルール・マナー、著作権の保護、情報検索方法	面接授業	復習：インターネットを活用する際の危険な行為を再度認識し、ネット活用を行う（1時間） 予習：PowerPointのスライドの作り方を調べておく（2時間）
12 回目	PowerPointの基礎（1）：スライドの作成、テキスト・図の挿入、アニメーションの設定	面接授業（オンライン対応可）	復習：文字や図を活用したスライド作成の練習課題を行う（1時間） 予習：電子絵本の構成を考える（2時間）
13 回目	PowerPointの基礎（2）：スライドショー操作および発表の注意点、印刷・配布資料の作成、電子絵本作りの課題内容説明	面接授業	復習・予習：電子絵本の構成を考え、PowerPointでどう表現するか、下書きなどを利用しながら考える（3時間）
14 回目	PowerPointのまとめ：課題作成（電子絵本）	面接授業	復習・予習：電子絵本作りに必要な素材集めや、資料作成を行う（3時間）
15 回目	PowerPointのまとめ・発表：電子絵本のプレゼンテーション発表	面接授業	復習：プレゼンテーション発表を振り返り、より効果的な手法など改善点を考える（3時間）
16 回目			

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	テキスト：コンピュータ演習（保育）（テキスト代：1,000円）
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	月火水の放課後
備考・メッセージ	毎回の提出課題が評価に繋がるため休んだ場合も提出すること。

講義科目名称：保育の ICT	授業コード：
英文科目名称：	ナンバリング：B S 2 0 4

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
後期	1	2	選択	演習
担当教員				
小浦康平				

授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ① 保育現場での ICT 活用について現状を知る ② デバイスの違いや活用方法、情報セキュリティーについて知り、上手に使いこなす ③ アンケートデータの取り扱い・まとめ方を学び、実践力を身に付ける ④ グループワークによるお互いを尊重し合う協働力により課題解決を達成する
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
確かな専門的知識 や技能	保育士として必要な Word、Excel、PowerPoint の基本的な使い方を実践する。情報セキュリティーや動画作成方法などを身に付ける。	・課題提出	50%
コミュニケーション能力			
課題解決能力	データの収集からまとめ方を学ぶ。情報発信についての実践方法を身に付ける。	・課題提出 ・成果発表	40%
主体的に学ぶ力	完成まで取り組む姿勢を身に付ける。	・課題提出	10%
合計			100%
補足事項			
課題は指定した形式（データもしくは印刷物）での提出とする。			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
------	-------	------	-------------

1回目	保育のICTについて、オリエンテーション	面接授業	予習：情報セキュリティーについて予習しておく、タイピング練習を行う（3時間）
2回目	子どもや保育に関するデータを整理する 1	面接授業（オンライン対応可）	復習：Excelの基本操作（セルの書式設定、簡単な関数、グラフの作成と編集、）について復習しておく（2時間） 予習：テーブル形式とSubtotal関数について調べておく（1時間）
3回目	子どもや保育に関するデータを整理する 2	面接授業	復習：テーブル形式とSubtotal関数を組み合わせた集計を復習する（2時間） 予習：様々なグラフの使い分け、書式設定に慣れておく（2時間）
4回目	様々なグラフ結果と考察	面接授業	復習：テーブル形式とSubtotal関数を組み合わせた集計を復習する（2時間） 予習：wordでの文書作成を予習する、特にスタイル機能を使った見出し、様々な図や表の挿入方法などの操作方法を予習しておく（2時間）
5回目	様々なグラフ結果と考察、レポート作成	面接授業	復習：データ集計を基にした考察について、過程を復習しておく（2時間） 予習：文字書式、画像、図形、表、の複合的な扱いに慣れておく（1時間）
6回目	Gmailとgoogleドライブ、スマホとPCの連携	面接授業	復習：一連のレポート作成の流れを復習しておく（2時間） 予習：googleの様々なサービス、活用方法について調べておく（1時間）

7回目	アンケート作成実践、google フォームの活用	面接授業	復習：google の様々なサービスを試してみる (1時間) 予習：課題を基にアンケート内容を考えておく (2時間)
8回目	Word 演習 1、Microsoft のテンプレート	面接授業	復習：google フォームの活用とデータ整理の流れを復習する (2.5時間) 予習：word のあいさつ文について調べておく (0.5時間)
9回目	Word 演習 2、案内文書の作成	面接授業	復習：word の様々な便利な機能を復習する (3時間)
10回目	動画作成演習 1 (グループワーク)、紙芝居、ダンス、人形劇などの園児が喜びそうな動画の完成を目指す	面接授業	復習：Word のテクニックを駆使して総合的な課題に取り組めるよう復習しておく (1時間) 予習：課題を基に動画の構成を考えておく (2時間)
11回目	動画作成演習 2 (グループワーク)、Windows フォトを使った動画編集	面接授業 (オンライン対応可)	復習：動画の構成をグループで見直す (1時間) 予習：動画撮影の準備 (2時間)
12回目	動画作成演習 3 (グループワーク)、youtube のアップロード	面接授業 (オンライン対応可)	復習：動画編集ソフトの基本的なテクニックを復習しておく (1時間) 予習：課題を基にホームページの構成を考えておく (2時間)
13回目	ホームページ演習 1 (グループワーク)、バーチャル園のホームページ作成	面接授業	復習・予習：ホームページの作成方法を復習しながら制作を進める (3時間)
14回目	ホームページ演習 2 (グループワーク)、	面接授業	復習・予習：デザインを意識しながらホームページの制作を進める (3時間)

	ホームページと youtube		
15 回目	ホームページ演習 3 (グループワーク)、 発表会と振り返り	面接授業	復習：他グループのホームページと比較し、より効果的な伝達手法などの改善点を振り返る (3 時間)
16 回目			

科目 (教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	テキスト：必要に応じて参考 URL を配信
履修条件	自分専用のスマートフォン、タブレット、パソコンなどの端末を 1 つ以上所有していることが望ましい。
履修上の注意	ID とパスワードを大事にすること。 授業課題で作成した成果物は授業担当者が授業後も管理します。
オフィスアワー	月火水の放課後
備考・メッセージ	近年の急速な ICT の発達により、現場の保育者も園のホームページを更新したり、動画の配信や様々なデータ集計を行わなければならない時代です。この授業では主にアンケートデータの集計、動画作成・編集 (youtube の利用)、簡単なホームページ作成を行います。 情報リテラシーや知識を身に付けながら、授業後半にはグループワークとなるため、将来の自分の為にも協力的に参加してください。 前期のコンピュータ演習 (保育) よりも難易度が高い授業ですが、その分達成感は大いいです。他では手に入らないスキルをここで身に付けましょう！

講義科目名称：保育原理	授業コード：51151、54152
英文科目名称：	ナンバリング：E P 1 0 1

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期	1 年	2 単位	必修	講義
担当教員				
安部恵美子・川原ゆかり・戸田恵理子				

授業概要	<p>本科目の目的は、保育の本質にかかわる専門的知識や考え方を習得し、保育者として自己探求できる力の基礎を養うことである。前半では、保育とは何かを考え、保育の意義や制度を学び、保育指針や教育要領に拠りながら保育の内容や方法について理解する。</p> <p>後半では、保育の思想や歴史の変遷について取り上げ、現代の保育や子どもをめぐる状況を保護者支援など多角的に捉える視点を養い、現在とこれからの保育を考えていく力の基盤を養うことを目指す。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	保育者の基盤となる人間性について理解し、考えを述べることができる。	課題②	5%
確かな専門的知識や技能	保育の意義及び目的について理解している。 保育に関する法令及び制度を理解している。 保育指針・教育要領における保育の基本について理解している。 保育の思想と歴史の変遷について理解している。	課題① テスト	5% 60%
コミュニケーション能力	子どもや保育に関して、他者と意見を交わしたり、話し合ったりすることができる。	課題② グループ討議	5% 10%
課題解決能力	保育における課題について、自身の関心に基づき探究することができる。	課題①	5%
主体的に学ぶ力	自らがめざす保育や保育者について考え、論じることができる。	課題③	10%
合計			100%

補足事項

定期試験（60%） 課題（30%） グループ討議（10%） を総合して評価する。

- ① 資料・課題はオンラインで実施する前に配布します。保育者としての自分を認識するため予習・福習をして受講するようお願いします。
- ② 対面授業時に説明及び自己採点と解釈をします。定期試験後に解答を開示します。
- ③ オンライン授業時は、カメラは基本的に「ON」、発言時以外は、マイクは「OFF」にします。
- ④ 課題やレポートは Word や Excel を必要に応じて活用願います。
- ⑤ 授業開始から 15 分以前の早退及び授業時間中 15 分以上離席した際は欠席扱い、授業開始から 15 分経過した遅刻 3 回で欠席 1 回とみなします。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「保育の理念と目的」保育総論～保育とは何か、理念や目的、その概念を考える。 (戸田) 4月8日(金)	面接授業 (オンライン等の対応可能)	予習: テキストレッスン1を読んでおく(1時間) 復習: 自身が考える保育・保育者について考えをまとめる(1時間)
2回目	「保育の法令と制度」法令と制度から幼稚園・保育所・認定こども園について学ぶ。 (戸田) 4月15日(金)	面接授業 (オンライン等の対応可能)	予習: テキストレッスン8を読み、基礎的事項を理解しておく(1時間) 復習: 授業を振り返り、重要事項を確認する(1時間)
3回目	「子ども理解」保育における子どもの理解について学ぶ。かかわりを通じた子どもの理解について学ぶ。(戸田) 4月22日(金)	面接授業 (オンライン等の対応可能)	予習: テキストレッスン4を読んでおく(1時間) 復習: 授業を振り返り、重要事項を確認する(1時間)
4回目	「子どもの発達に応じた保育」子どもの姿をとらえる視点について学ぶ。子どもの発達の特徴や保育の内容について理解する。 (戸田) 4月29日(金)	面接授業 (オンライン等の対応可能)	予習: テキストレッスン5を読んでおく(1時間) 復習: 3歳未満児及び3歳以上児の保育内容について整理する(1時間)
5回目	保育指針・教育要領における保育の基本(1) 「環境を通して行う保育」について学ぶ。 「遊びによる学習」について学ぶ。 (戸田) 5月13日(金)	面接授業 (オンライン等の対応可能)	予習: テキストレッスン6・10を読んでおく(1時間) 復習: 授業を振り返り、重要事項を確認する(1時間)
6回目	「保育の目標・内容及びカリキュラム・マネジメント」保育指針・教育要領から保育の目的・内容、カリキュラム・マネジメントの考え方を理解する。(戸田) 5月20日(金)	面接授業 (オンライン等の対応可能)	予習: テキストレッスン11を読んでおく(1時間) 復習: 授業を振り返り、重要事項を確認する(1時間)
7回目	「学習のまとめI」 これまでの学習内容をテキスト・プリント・情報収集した資料を参考にして振り返る。 ①(戸田) 5月27日(金) ※課題①の提出場所・提出期限については授業内で提示する	面接授業 (オンライン等の対応可能)	予習: これまでの学習内容をまとめておく(1時間) 復習: 課題①を仕上げる(2時間)
8回目	「海外の保育思想・海外の保育」ルソー、フレネル、オーエンの保育思想を学ぶ。レヅジョ・エミリアの保育を学ぶ。 (安部) 6月3日(金)	面接授業 (オンライン等の対応可能)	予習: テキストレッスン13を読んでおく(1時間) 復習: 授業を振り返り、重要事項を確認する(1時間)
9回目	「日本における保育の歴史」明治期以降の幼稚園・保育所の歴史を学ぶ。 (安部) 6月10日(金)	面接授業 (オンライン等の対応可能)	予習: テキストのレッスン14・15を読んでおく(1時間) 復習: 授業を振り返り、重要事項を確認する(1時間)

10 回目	「保育の社会的意義」現代社会における保育の意義を考える中で、保育の社会的役割と責任を知る。社会的隔離と子どもの発達を知る。(川原) 6月17日(金)	面接授業 (オンライン等の対応可能)	予習: テキストレッスン2 を読んでおく(1時間) 復習: 授業を振り返り、保育の社会的意義に対する考えを深める(1時間)
11 回目	「保育者の役割と専門性」子どもの権利養護(赤ちゃんポスト)について学び、保護者の理解と子ども理解と援助について考える。(川原) 6月24日(金)	面接授業 (オンライン等の対応可能)	予習: テキストレッスン4・15 や、新聞・TV・ネットニュースなどから現代の事情を知っておく(1時間)。 復習: 授業を振り返り、子ども理解について考えをまとめる(1時間)
12 回目	「学習のまとめII」 整理した課題①をもとに、グループ内で発表する。自身が発表した内容やグループメンバーの発表内容をもとに保育者を目指す立場を踏まえテーマに応じた課題に取り組む。(戸田) 7月1日(金) ※課題②の提出場所・提出期限については授業内で提示する	面接授業 (オンライン等の対応可能)	予習: これまでの学習内容をまとめておく(1時間) 復習: 課題②完成に向けて取り組む(2時間)
13 回目	「学習のまとめII」 整理した課題①をもとに、グループ内で発表する。自身が発表した内容やグループメンバーの発表内容をもとに保育者を目指す立場を踏まえテーマに応じた課題に取り組む。(戸田) 7月8日(金) ※課題②の提出場所・提出期限については授業内で提示する	面接授業 (オンライン等の対応可能)	予習: これまでの学習内容をまとめておく(1時間) 復習: 課題②を仕上げる(2時間)
14 回目	「これからの保育の課題と展望」 ・乳幼児期からの連続としての教育・保育の捉え方について理解する。 (戸田) 7月15日(金)	面接授業 (オンライン等の対応可能)	予習: テキストレッスン12を読んでおく(1時間) 復習: 授業を振り返り、重要事項及び内容をまとめる また、テキスト・プリント・新聞・TV・ネットニュースなどから現代の保育事情に関する情報収集を行う(2時間)
15 回目	「全体のまとめにかえて」本授業での学習を踏まえ(模擬試験)、これからの保育と保育者について考えたことを小論文にまとめる。※課題③とする (戸田) 7月29日(金)	面接授業 (オンライン等の対応可能)	予習: これまでの学習を振り返っておく(1時間) 復習: 子ども観・保育観をもつことができる(1時間)
16 回目	定期試験		

科目（教職課程用）	教育の基礎的理解に関する科目
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想
教科書・参考書	教科書 MINERVA はじめて学ぶ保育 1『保育原理』那須川智子・大方美香(監修) 戸江茂博（編著） ミネルヴァ書房 2019 年 『幼稚園教育要領』文部科学省 2017 年 『保育所保育指針』厚生労働省 2017 年 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』内閣府・文部科学省・厚生労働省 2017 年
履修条件	
履修上の注意	A4 サイズのファイル準備
オフィスアワー	授業、会議、実習巡回等が入っていない場合は随時対応いたします
備考・メッセージ	① テキストを用いる他に、適宜プリントを配布します ② 子ども・保育・子育て等に関する社会の動向に関心を持ち、報道等にも目を向けておきましょう ③ 授業回毎にリフレクションカード記入を実施します ④ オンデマンドの場合は課題提出等をもって対応します

講義科目名称：教育原理	授業コード：
英文科目名称：	ナンバリング：E P 3 0 1

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期	2年	2単位	卒：必修、保：必修、幼：必修	講義（単独）
担当教員				
末吉 敬				

授業概要	<p>①人間について考察し、人はなぜ教育を必要とするのか等教育の意味・意義についての理解を深める。</p> <p>②現在の日本、欧米、アジアにおける幼稚園、保育所、学校に関する教育の歴史・思想について知り将来の在り方を探る。</p> <p>③学校（幼児教育・保育を含む）における教育（保育）計画、評価、カリキュラムの歴史について具体的に理解する。</p> <p>④ケアリングとしての教育や発達障害と特別支援教育等幼稚園、保育所、学校における今日的課題について考える。</p> <p>⑤教師の仕事、子どもや家庭が望む教師像、教師と権威について考え、自己の教師像を確認する。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	・教育原理のねらいを十分に理解し、教育者として必要な資質・能力について自分の考えを述べるができる。	・受講者の発表	5%
確かな専門的知識や技能	・学校における教育について、学習内容を基に自分の考えを発表することができる。	・受講者の発表	5%
コミュニケーション能力	・指名や指示に対して、あいさつや返事が出来たり、自分の考えを発表したりすることができる。	・発問に対する応答	5%
課題解決能力	・授業で課題提示された内容について、その解決に向けて、ディスカッションを通して共に考え、自らの考えを述べるができる。	・受講者の発表	5%
主体的に学ぶ力	・人はなぜ教育を必要とするのか等教育の意味や意義についての理解を深め、幼児教育について自分の考えを持ち積極的に学習ができる。 ・多様な教育方法の知識を身に付け、実践的に遂行できる。	・授業ごとの小論文 ・講義全体のまとめのレポート	50% 30%
合 計			100%
補足事項			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業に関する質問等は直接のほか Web で受け付け、直接あるいは以降の授業回で答える。 ・ 本授業では、授業ごとの小論文50%、講義全体のまとめのレポート30%、各授業への参加態度・発表20%の割合で評価する。 ・ レポートは紙媒体とする。 ・ 授業に遅刻したり、授業を早退したりする場合は、事前又は事後に届け出ること。 			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	・「オリエンテーション」授業の進め方と授業内容の概要を説明する。 ・「原理としての教育」について学習し、教育の必要性について考察する。	面接授業	シラバス及び教科書 P2～20 をよく読み (2.5 時間)、人間と教育に関する学習内容を確認する (1.5 時間)。
2回目	・「育ち・学びと教育」について学習し、人間と教育に関する関連性を考察する。	面接授業	教科書 P22～40 をよく読み (1.5 時間)、学修課題「虐待について」を仕上げ授業に備える (2.5 時間)。
3回目	・「学校の歴史」について学習し、学校の歴史とこれからについて考察する。	面接授業	教科書 P42～66 をよく読み (1.5 時間)、学修課題「学校の歴史とこれから」を仕上げ授業に備える (2.5 時間)
4回目	・「学校のしくみ」について学習し、学校を取り巻く様々な環境について考察する。	面接授業	教科書 P68～88 をよく読み (1.5 時間)、学修課題「学校を取り巻く様々な環境について」を仕上げ授業に備える (2.5 時間)。
5回目	・「学習・教育課程」について学習し、学ぶことの意義を考察する。	面接授業	教科書 P90～111 をよく読み (1.5 時間)、学修課題「学ぶということ」を仕上げ授業に備える (2.5 時間)。
6回目	・「学習指導要領・教科書・評価・学力」について学習し、指導と学力の関連について考察する。	面接授業	教科書 P114～134 をよく読み (1.5 時間)、学修課題「学力について」を仕上げ授業に備える (2.5 時間)。
7回目	・「教えるという仕事」について学習し、教師としての在り方を考察する。	面接授業	教科書 P136～160 をよく読み (1.5 時間)、学修課題「学級担任とは」を仕上げ授業に備える (2.5 時間)。
8回目	・「教えるという仕事と学校文化」について学習し、生徒指導や学級の在り方を考察する。	面接授業	教科書 P162～188 をよく読み (1.5 時間)、学修課題「学級集団について」を仕上げ授業に備える (2.5 時間)。
9回目	・「教師としての成長」について学習し、子どもたちと共に成長する教師の在り方を考察する。	面接授業	教科書 P190～210 をよく読み (1.5 時間)、学修課題「どんな教師に」を仕上げ授業に備える (2.5 時間)。
10回目	・「子どもへの支援と学校」について学習し、学校と臨床教育学、発達障害と特別支援教育について考察する。	面接授業	教科書 P214～228 をよく読み (1.5 時間)、学修課題「特別支援教育について」を仕上げ授業に備える (2.5 時間)。
11回目	・「子どもへの支援と学校」について学習し、不登校、いじめ、学級崩壊、非行問題などについて考察する。	面接授業	教科書 P230～246 をよく読み (1.5 時間)、学修課題「いじめについて」を仕上げ授業に備える (2.5 時間)。
12回目	・「地域・社会と学校」について学習し、地域の役割について考察する。	面接授業	教科書 P248～268 をよく読み (1.5 時間)、学修課題「地域の役割について」を仕上げ授業に備える (2.5 時間)。

13回目	・「地域・社会と学校」について学習し、学校の安全とリスクマネジメントについて考察する。	面接授業	教科書 P270～288 をよく読み（1.5時間）、学修課題「学校の安全」を仕上げ授業に備える（2.5時間）。
14回目	・集団討論会「研究発表（1）」 教育に関するテーマについて個人研究を行い研究レポートにまとめる。6人程度の小グループで発表し合い、互いに考えを深め合う。	面接授業	教科書での既習事項だけでなく、自分が気になっている教育課題などを取り上げ（1.0時間）、研究し、レポートにまとめる（4.0時間）。
15回目	・集団討論会「研究発表（2）」 小グループでの研究協議の内容について、主なものをグループの代表が全体に発表する。集団討論を行い、研究内容を共有する。	面接授業	これまでの学習を振り返り（1.0時間）、目指す教師像についてまとめる（2.0時間）。

科目（教職課程用）	教職の基礎的理解に関する科目
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想
教科書・参考書	教科書：やわらかアカデミズム・〈わかる〉シリーズ 『よくわかる教育原理』 汐見稔幸・伊東毅・高田文子・東宏行・増田修治編著 参考書：幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定子ども園教育・保育要領
履修条件	
履修上の注意	講義終了後は、教育原理に関する知識の定着や自分の考えをまとめるなど、復習を十分行い次の講義に備えること。
オフィスアワー	授業の前後で対応します。
備考・メッセージ	幼稚園等での実習経験をふまえ、日常生活の中で自ら教育に対する考えをもち授業に臨む。

講義科目名称：子ども家庭福祉	授業コード：
英文科目名称：	ナンバリング：E P 1 0 2

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期	1年	2単位	卒業：必修、保育士：必修	講義
担当教員				
高橋 幸市				

授業概要	<p>現代社会における子どもと家庭の現状や課題について、基本的な理解を学習する。</p> <p>家族や子育てに対する意識が変化中、子どもの豊かな成長発達を支援していくための様々な子ども家庭福祉に必要とされる法制度や支援の仕組み、その利用について理解することができる。</p> <p>さらに、一人親家庭の困難、児童虐待や少年非行など子ども家庭福祉の抱える課題や今後の展望についても提示し、今後のあり方について関心を深めることができる。</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	現代の子どもと家庭がおかれた状況と課題について理解できる。	定期試験	30%
確かな専門的知識や技能	子どもと家庭の健やかな生活を保障するための子ども家庭福祉の制度や施策、サービスについて理解できる。	定期試験	50%
コミュニケーション能力			
課題解決能力	自身の保育実践の延長線上に子どもと家庭の福祉を想定することができ、それを実現するための方法（制度、施策、サービス等）を考へることができる。	定期試験	10%
主体的に学ぶ力	保育実践を支える基盤としての子ども家庭福祉を理解し、積極的に学習に参加できる。	積極的な授業参加、授業態度	10%
合計			100%
補足事項			
対面授業を基本とし、感染状況に応じて Zoom を活用したオンライン授業を実施する。			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「オリエンテーション」 講義の展開と評価方法等のガイダンス、子ども家庭福祉の位置づけ	対面授業	
2回目	「現代社会における子ども家庭福祉問題」 少子高齢化をキーワードに現代の家族と子どもの育ちを取り巻く状況について学習する。	対面授業	自分の育ちや家族について関心を持ち振り返ってみておく（0.5時間）
3回目	「子ども家庭福祉の理念」 子ども家庭福祉の理念について理解する。	対面授業	講義内容を振り返って理解を深めておく（0.5時間）
4回目	「子どもと権利保障」 子どもの権利条約を学び、子ども家庭法制にどのように生かされているのかを学ぶ。	対面授業	講義内容を振り返って理解を深めておく（0.5時間）
5回目	「子ども家庭福祉法制の歴史と展開」 我が国の子ども家庭福祉の歴史について理解する。	対面授業	講義内容を振り返って理解を深めておく（0.5時間）
6回目	「現代の子ども家庭福祉の法制度」 我が国の子ども家庭福祉に関する施策や仕組みについて理解する。	対面授業	講義内容を振り返って理解を深めておく（0.5時間）
7回目	「子ども家庭福祉の行政と財政」 子ども家庭福祉の制度を支える行財政の仕組みを学ぶ。	対面授業	講義内容を振り返って理解を深めておく（0.5時間）
8回目	「子ども家庭福祉の実施機関1」 児相、福祉事務所、家庭児童相談室、児童家庭支援センターについて学ぶ。	対面授業	講義内容を振り返って理解を深めておく（0.5時間）
9回目	「子ども家庭福祉の実施機関2」 保健所、市町村、要保護児童対策連絡協議会について学ぶ。	対面授業	講義内容を振り返って理解を深めておく（0.5時間）
10回目	「子ども家庭福祉の施設の種類」 子ども家庭福祉に関する多くの施設の類型や仕組みについて学ぶ。	対面授業	講義内容を振り返って理解を深めておく（0.5時間）
11回目	「保育所、幼保連携型認定こども園、児童厚生施設」 保育所等の就学前の子どもや家族支援の機関について学ぶ。	対面授業	講義内容を振り返って理解を深めておく（0.5時間）
12回目	「社会的養護に関する施設」 社会的養護の仕組みや機関について学ぶ。	対面授業	講義内容を振り返って理解を深めておく（0.5時間）
13回目	「家庭的養護に関する機関と制度」	対面授業	講義内容を振り返って理解

	里親等の仕組みについて学ぶ。		を深めておく (0.5 時間)
14 回目	「母子保健と子ども子育て支援制度」	対面授業	講義内容を振り返って理解を深めておく (0.5 時間)
15 回目	「子どもの貧困と虐待、非行」 虐待と非行について学ぶ。	対面授業	これまでの復習をして試験に準備する
16 回目	定期試験		

科目 (教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	なし。毎回講師が資料を準備する。
履修条件	
履修上の注意	毎回資料を配布するので、授業中の説明等で重要なポイントや必要な事項を書き加えて自分なりの教材としてほしい。
オフィスアワー	対面授業の場合は、授業時間前後に教室で質問を受け付けるが、Web 等でも対応する。
備考・メッセージ	子どもの育ちにとって家庭や社会の持つ意味を考え、その支援の一端を担う保育士の役割の重要性を深く考える機会として欲しい。

講義科目名称：社会福祉	授業コード：
英文科目名称：	ナンバリング：E P 1 0 3

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期	1年	2	必修	講義
担当教員				
藤島法仁				

授業概要	社会福祉とは何か。社会福祉を学ぶ視点、意味・内容を学び、社会福祉の分野（子どもと家族、障害者、高齢者、地域）について理解を深める。本講義では、①社会福祉を学ぶ視点について説明できる、②社会福祉の法体系（福祉六法）を理解できる、③社会保障の要素（社会保険や生活保護制度など）を理解できる、④社会福祉（子どもの家族の福祉、障害のある人の福祉など）について説明できる、⑤子どもと家族の福祉における保育士の役割を説明できることを目標とする。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
確かな専門的知識 や技能	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉を学ぶ視点について説明できる。 ・社会福祉の法体系を理解できる。 ・社会保障の要素を理解できる。 ・社会福祉について説明できる。 	定期試験	70%
コミュニケーション能力	グループ内で議論し、社会福祉について理解できる。	グループディスカッション	10%
課題解決能力	社会福祉の課題についてレポートをまとめることができる。	レポート	10%
主体的に学ぶ力	社会福祉における保育士の役割について考えることができる。	授業への参加・態度	10%
合計			100%
補足事項			
本授業では、定期試験 70%、グループディスカッション 10%、レポート 10%、授業への参加・態度 10%の割合で評価する。			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	社会福祉としての保育サービスについて説明する。	面接授業	予習：社会福祉を学ぶ視点を読んでおくこと（0.5時間）。 復習：講義の内容を振り返り理解を深めておくこと（1時間）。
2回目	社会福祉を学ぶ視点を説明する。	面接授業	予習：保育のたどった道すじを読んでおくこと（0.5時間）。 復習：講義の内容を振り返り理解を深めておくこと（0.5時間）。
3回目	保育のたどった道すじを理解する。	面接授業	予習：社会福祉の法体系を調べておくこと（0.5時間）。 復習：講義の内容を振り返り理解を深めておくこと（0.5時間）。
4回目	社会福祉の法体系を説明する。	面接授業	予習：社会福祉の動向を読んでおくこと（1時間）。 復習：講義の内容を振り返り理解を深めておくこと（0.5時間）。
5回目	社会福祉の動向を説明する。	面接授業	予習：社会保障の財源について調べておくこと（1時間）。 復習：講義の内容を振り返り理解を深めておくこと（0.5時間）。
6回目	公的機関と財源について説明する。	面接授業	予習：社会保険の種類を調べておくこと（0.5時間）。 復習：講義の内容を振り返り理解を深めておくこと（0.5時間）。
7回目	社会保険の種類と内容を説明する。	オンライン可	予習：生活保護制度について調べておくこと（1時間）。 復習：講義の内容を振り返

			り理解を深めておくこと (0.5時間)。
8回目	生活保護制度について説明する。	オンライン可	予習：子どもと家族の福祉を学ぶ視点を読んでおくこと(0.5時間)。 復習：講義の内容を振り返り理解を深めておくこと(1時間)。
9回目	子どもと家族の福祉を学ぶ視点を理解する。	面接授業	予習：子ども・子育て家庭への支援を読んでおくこと(0.5時間)。 復習：講義の内容を振り返り理解を深めておくこと(0.5時間)。
10回目	子ども・子育て家庭への支援について説明する。	面接授業	予習：ノーマライゼーションについて調べておくこと(0.5時間)。 復習：講義の内容を振り返り理解を深めておくこと(1時間)。
11回目	障害のとらえ方とその定義について理解する。	面接授業	予習：障害のある人に対する福祉サービスについて調べておくこと(0.5時間)。 復習：講義の内容を振り返り理解を深めておくこと(1時間)。
12回目	障害のある人に対する福祉サービスについて説明する。	オンライン可	予習：保育士に求められる役割を読んでおくこと(0.5時間)。 復習：講義の内容を振り返り理解を深めておくこと(1時間)。
13回目	保育士に求められる役割を理解する。	面接授業	予習：ソーシャルワーカーとしての保育士の機能を読んでおくこと(1時間)。 復習：講義の内容を振り返り理解を深めておくこと(1時間)。

14 回目	ソーシャルワーカーとしての保育士の機能を理解する。	面接授業	予習：配布したプリントを整理しておくこと（1 時間）。 復習：講義の内容を振り返り理解を深めておくこと（1 時間）。
15 回目	振り返りを行う。	面接授業	
16 回目	定期試験		

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教科書『保育士をめざす人の社会福祉』（みらい）
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	水・木の 5 限目。
備考・メッセージ	児童の福祉に関する社会の動きに関心をもつようにする。

講義科目名称：社会的養護 I	授業コード：31231 32232
英文科目名称：	ナンバリング：E P 2 0 1

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
後期	1年	2単位	卒業：必修、保育士：必修	講義
担当教員				
花城 暢一				

授業概要	<p>現代社会における社会的養護の現状と課題および基本的な考え方を理解し、保育士に必要な知識を養う。本講義では以下の事項を目標とする。</p> <p>①現代社会における社会的養護の意義と歴史的な変遷について理解する</p> <p>②社会的養護の基本的な考え方について理解する</p> <p>③社会的養護の制度や実施体系等について理解する</p> <p>④社会的養護の対象、関係機関および専門職等について理解する</p> <p>⑤社会的養護の現状と課題、保育士の役割について理解する</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	社会的養護における保育士の役割や必要な資質について理解することができる。	・レポート課題 ・学習に取り組む姿勢	10% 10%
確かな専門的知識や技能	社会的養護における保育士に求められる専門的な知識や技能について理解することができる。	・レポート課題 ・定期試験	5% 25%
コミュニケーション能力	社会的養護における対象を理解し、関係者と協働する必要性について理解を深めることができる。	・レポート課題	10%
課題解決能力	現代社会の社会的養護の現状と課題を踏まえ、課題解決に必要な実践力を身につけることができる。	・レポート課題 ・事例検討	5% 10%
主体的に学ぶ力	社会的養護の歴史的変遷を踏まえ、今日の社会的養護の課題を理解することができる。	・定期試験	25%
出席			受験要件
合計			100%
補足事項			

○授業内で実施するレポート課題（30%）

○定期試験・事例検討（60%）

○事例検討など、授業全体を通じた学習に取り組む姿勢（10%）を総合して評価を行う。

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1回目	オリエンテーション	講義のねらいと進め方について	予習:シラバスを読んで授業内容を確認する(2時間) 復習:配布資料を読む(2時間)
2回目	社会的養護と保育士	社会的養護の意味、目標、視点を学習する	予習:社会的養護の意義を考える(2時間) 復習:配布資料を読む(2時間)
3回目	社会的養護の成り立ちと最近の動向	社会的養護の歴史を学ぶ	予習:児童福祉の歴史を振り返る(2時間) 復習:配布資料を読む(2時間)
4回目	社会的養護の基本的な考え方	子どもの権利、自立支援等について学ぶ	予習:子どもの権利について振り返る(2時間) 復習:配布資料を読む(2時間)
5回目	社会的養護の形態1	社会的養護の形態を学ぶ	予習:児童福祉の体系を振り返る(2時間) 復習:配布資料を読む(2時間)
6回目	社会的養護の形態2	施設養護の内容を学ぶ ～養護系施設～	予習:児童福祉施設を振り返る(2時間) 復習:配布資料を読む(2時間)
7回目	社会的養護の形態3	施設養護の内容を学ぶ ～養護系施設～	予習:児童福祉施設を振り返る(2時間) 復習:配布資料を読む(2時間)
8回目	社会的養護の形態4	施設養護の内容を学ぶ ～障がい系施設～	予習:児童福祉施設を振り返る(2時間) 復習:配布資料を読む(2時間)
9回目	社会的養護の形態5	施設養護の内容を学ぶ ～障がい系施設～	予習:児童福祉施設を振り返る(2時間) 復習:配布資料を読む(2時間)
10回目	社会的養護の形態6	施設養護の内容を学ぶ ～治療・育成系施設～	予習:児童福祉施設を振り返る(2時間) 復習:配布資料を読む(2時間)
11回目	社会的養護の形態7	家庭的養護の種類と内容を学ぶ	予習:グループホーム等の役割を振り返る(2時間) 復習:配布資料を読む(2時間)

12 回目	社会的養護の形態 8	家庭養護の種類と内容を学ぶ	予習：里親制度を振り返る（2 時間） 復習：配布資料を読む（2 時間）
13 回目	施設と関係機関	施設と児童相談所等の関係機関の関わりを学ぶ	予習：児童相談所の機能を振り返る（2 時間） 復習：配布資料を読む（2 時間）
14 回目	地域における家庭への支援	家庭の養育機能、地域子育て支援における保育士の役割を学習する	予習：家庭の機能について考える（2 時間） 復習：配布資料を読む（2 時間）
15 回目	保育士の役割と専門性	社会的養護における保育士の役割と専門性について学ぶ	予習：これまでの授業内容を振り返る（2 時間） 復習：配布資料を読む（2 時間）
16 回目	定期試験		

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	テキスト：参考資料をその都度配布します。 参 考 書：『保育と社会的養護原理』大竹智 他 編集 みらい 『保育福祉小六法』みらい
履修条件	
履修上の注意	原則、指定された座席で受講すること。（席の移動を希望する場合はご相談下さい） 授業時間のうち、15分以上退室すると欠席扱いとなります。
オフィスアワー	授業、会議、実習巡回、出張等が入っていない場合は随時対応します。
備考・メッセージ	授業の出欠確認は出席カード（感想記入シート等）を活用して実施します。

講義科目名称：保育者論	授業コード：
英文科目名称：	ナンバリング：EP302

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期	2	2	卒：選択、保育士：必修、幼稚園：必修	講義
担当教員				
安部恵美子・川原ゆかり				

授業概要	<p>保育職が携わるフィールドや保育・教育者の社会的意義を理解する素養を育て、子どもとの関係構築の基本や公教育の目的とその担い手である保育・教育者の存在意識の理解力を向上させる。保育資格の位置づけ、関連諸法令・規則・「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「保育・教育要領」を理解することができる。さらに、子育て支援の場に求められる保育者の資質向上を目指し、保育職の社会的使命を会得するために仲間と共に学びあい、考察に繋げることができる。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	グループで子育て支援の事例等をディスカッションし、「保育職の保育職による保育支援」について意見交換し、異なる意見を聴いて、感じる取る感受性を豊かにする。	レポート	5%
確かな専門的知識や技能	保育資格の位置づけ、関連諸法令・規則・「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「保育・教育要領」を理解する。さらに、子育て支援の場に求められ保護者支援の基本を学び、考察する。	定期試験	80%
コミュニケーション能力	子育て支援や保護者支援に不可欠なコミュニケーション能力を醸成するために、グループ討議や意見交換・意見発表を行い、自己見聞を広げる。	レポート	5%
課題解決能力	対人援助職に必要な能力の考察と洞察を行い、自分の考えを言語化する力を養う。決められた時間・期限内に課題レポートをまとめる事ができる。	レポート	5%
主体的に学ぶ力	保育職の専門性を認識し、ワークやグループディスカッションに積極的に取り組むことができる。	レポート	5%
合計			100%

補足事項

- ①資料・課題はオンラインで実施する前に配布します。
- ②保育者としての自分を認識するための各種の心理テスト等は予習・復習として実施して下さい。

- ③対面授業時に説明及び自己採点と解釈をします。
 ④オンライン授業時は、カメラは基本的に「ON」、発言時以外は、マイクは「OFF」にしてください。
 ⑤課題やレポートは Word や Excel を必要に応じて活用して下さい。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「保育者像を描く」保育者に必要な10か条を自己採点する。1年後の自分に手紙を書き、将来の保育者像をイメージする。(川原ゆかり)	対面授業 オンライン可	予習：保育者に必要な要素をまとめる(1H) 復習：採点結果を確認し、努力すべき項目に関連する図書を読む(2H)
2回目	「具体的な保育者像の目標を掲げる」目指す保育者像の主な具体的項目を掲げ、自分の課題を考え、深めていく。(川原ゆかり)	対面授業 オンライン可	予習：テキストのP13~19を読み込む(1H) 復習：課題に対する取り組みをまとめる(2H)
3回目	「保育者の仕事と役割」幼稚園・保育所・幼保連携型認定こども園・児童養護施設の仕事と役割を理解する。(川原ゆかり)	対面授業 オンライン可	予習：テキストのP19~45を読み、児童福祉施設における保育者の業務を理解する(2H) 復習：保育施設の実習に必要な要素を理解する(1H)
4回目	「保育士・幼稚園教諭になるために」DVD「保育所・幼稚園の1日」等を視聴し、子どもと保育者の1日をイメージし、保育観を作っていく。(川原ゆかり)	対面授業 オンライン可	予習：保育者としての保育所・幼稚園の1日の動きと流れをまとめる(2H) 復習：自己課題を発見後、修正する(1H)
5回目	「現役保育者の現状(本音)を知る」現役の3人の保育者のインタビュー内容から保育職の意義や役割、やり甲斐や課題を理解する。(川原ゆかり)	対面授業 オンライン可	予習：保育者に求められる資質(P71~82)を読む(1H) 復習：3人の保育者のインタビュー内容を熟読し、自己課題をまとめる(2H)
6回目	「保育者を取り巻く現状を知る」全国保育士・幼稚園教諭3万人調査を読み、現状を分析すると共に保育者像を作りあげる。(川原ゆかり)	対面授業 オンライン可	予習：発達年齢毎の保育者の役割の違いを知る(1H) 復習：現場の実態をイメージして、自分の課題と対策をまとめる(1H)
7回目	「幼稚園教育要領」幼稚園教育要領を読み、保育・教育の理念や役割の理解を深める。(川原ゆかり)	対面授業 オンライン可	予習：幼稚園教育要領を読む(2H) 復習：幼稚園教育要領開設を熟読し、仕事をイメージする(1H)

8 回目	「保育制度の変遷と保育者の先達 (1)」公的な教育・保育制度の派生要因と、西欧の保育の先達たち (コメニウス・ルソー・オーエン・ペスタロッチ) の業績とその後の社会に与えた影響を理解する。(安部恵美子)	対面授業 オンライン可	予習:テキスト第9章(151p～)を下読みする(1H) 復習:授業時配布資料を確認し、まとめプリント①を完成させる(1H)
9 回目	「保育制度の変遷と保育者の先達 (2)」幼児教育に影響を与えたフレーベル・モンテッソーリ・エレンケイの思想を、現代の保育理論に当てはめながら理解を深める。(安部恵美子)	対面授業 オンライン可	予習:テキスト第9章(151P～)を8回目授業の内容と関連させて読む(1H) 復習:授業時配布資料を確認し、まとめプリント②を完成させる(1H)
10 回目	「保育制度の変遷と保育者の先達 (3)」近代以降のわが国の保育思想や実践の先達の業績を理解し、現代の保育制度や保育内容方法への影響についての知見を深める。 「現代の保育者の役割と機能」現代が求める保育者の役割や機能について考え、意見をまとめる。(安部恵美子)	対面授業 オンライン可	予習:テキスト第9章(151P～)を9回目授業の内容と関連させて読む(1H) 復習:授業時配布資料を確認し、まとめプリント③を完成させる(1H)
11 回目	「現代社会の変化と保育者の仕事や役割」現代社会に求められる保育者の資質と子育て支援の専門性を高める。 (川原ゆかり)	対面授業 オンライン可	予習:今時の保育ニーズに関する文献を読む(1H) 復習:配布資料をもとに自分の課題をまとめる(1H)
12 回目	「子どもの育ちの危機と子育て支援①」気になる子どもと育ちの変化について理解を深める。(川原ゆかり)	対面授業 オンライン可	予習:テキスト P116～129を読み、子育て環境の変化をまとめる(2H) 予習:配布プリントをまとめる(1H)
13 回目	「子どもの育ちの危機と子育て支援②」気になる子どもと特別支援教育及び子育て支援と保育者の役割について理解を深める。 (川原ゆかり)	対面授業 オンライン可	予習:特別支援教育について知る(1H) 復習:子育て支援の観点をまとめる(2H)
14 回目	「保育者の職務と生活」子育て・子育て支援と保護者支援の理解を深める。 (川原ゆかり)	対面授業 オンライン可	予習:テキスト P129～136を読む(1H) 復習:保護者支援の困難性の文献を読む(2H)
15 回目	「卒業生と業界研究誌による保育の仕事」卒業生によるメッセージと業界研究による保育士に求められる7つの力を理解する。 (川原ゆかり)	対面授業 オンライン可	予習:卒業のメッセージを読む(1H) 復習:業界研究誌からママたちが求める保育士の要件をまとめる(2H)
16 回目	筆記試験(持ち込み可)		定期試験前の勉強(3H)

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	「新時代の保育双書 今に生きる～保育者論・第4版～」、幼稚園教育要領 他配布資料を読み理解を深める（17H）
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	特に定めませんが、質問がある場合は授業前後・昼休みに行います。
備考・メッセージ	<p>①原則対面授業ですが、オンライン授業を行う場合もあります。</p> <p>②オンライン授業時は、カメラは基本的に「ON」、発言時以外は、マイクは「OFF」にして下さい。</p> <p>③オンライン授業のパワーポイント資料は事前に配布します。</p> <p>④課題やレポートは Word や Excel を必要に応じて活用して下さい。オンライン授業は課題提出を義務化し、出席とみなし、レポートの内容から教育効果の検証を行います。</p> <p>⑤保育教育現場のリアルな実際と実践例、保護者支援現状と課題を通して、子育て・子育て支援の視点から体現できる授業を通して、理論に結びつけていきます。</p>

講義科目名称：教育方法論	授業コード：
英文科目名称：	ナンバリング：E P 3 0 3

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期	2	2	卒：選択、保：選択、幼：必修	講義
担当教員				
川上 知子				

授業概要	人格形成の基礎を培う乳幼児期にふさわしい保育方法への理解を深め、この学びが保育現場での実践に生かされることを目標とする
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	<ul style="list-style-type: none"> ・日々のあいさつ、返事が笑顔ででき、コミュニケーション能力を培う。 ・肯定的なものの見方・考え方ができ、豊かな人間性を培う 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業への参加・態度 	5%
確かな専門的知識や技能	<ul style="list-style-type: none"> ・実習等で学んだことを授業の中にフィードバックし、正しく検証することができる ・専門的なことを、日々の保育に生かす工夫ができ、発達年齢に応じた保育の方法を創意することができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループディスカッション ・定期試験 ・レポート 	5% 30% 10%
コミュニケーション能力	<ul style="list-style-type: none"> ・対指導者ときちんとあいさつ、返事、応答等ができる ・グループワーク（ディスカッション）で、相手の意見を傾聴し、受容でき、自分の意見を明確に伝えることができる ・常に相手の思いに寄り添いながら聴くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループディスカッション 	5%
課題解決能力	<ul style="list-style-type: none"> ・課題に対して、自分なりの考えを明確に述べる 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験 ・レポート 	30% 10%
主体的に学ぶ力	<ul style="list-style-type: none"> ・諸エピソードについて、自分なりの解決方法を考えることができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・レポート 	5%
合計			100%
補足事項			

- ・本授業は対面授業を主として展開するが、状況に応じて一部オンライン授業を行うこともある。
- ・本授業では、定期試験 60% , レポート 25%, 授業への参加・態度, グループディスカッション 15% の割合で評価する。
- ・オンライン授業を実施する場合は、課題をレポートあるいは創作物として提出したことにより出席とみなす。
- ・授業の予習としてのレポート課題を課すことがあり、テーマについては随時授業で連絡する。
- ・グループディスカッションでの気づきやレポートのフィードバックは毎回の授業で行う。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1 回目	「保育方法とは何か？」について理解する	対面授業	テキストのエピソードについて復習する (毎回 4 時間)
2 回目	保育の方法は子ども理解が出发点であることを知る	対面授業	子ども理解の方法について予習する
3 回目	環境を通しての保育とは何かを理解する	対面授業	実習でどんな環境構成があったか予習する
4 回目	遊び=学びであることを理解し、そのための援助の仕方を考えさせる	対面授業	“遊び”をどう捉えるか予習する
5 回目	乳幼児期の集団の育ちについて理解させる	対面授業	個と集団の育ちについて復習する
6 回目	子どもにとってふさわしい園生活について考えさせる	対面授業	実習で学んだことを予習しておく
7 回目	3.4.5 才児の発達と保育方法を考えさせる	対面授業	保育の原理と方法を振り返る
8 回目	0.1.2 才児の発達と保育方法を考えさせる	対面授業	保育の原理と方法を振り返る
9 回目	PDCA のサイクルを説明し、実践への理解を図る	対面授業	保育の方法のステップアップを考えておく
10 回目	実際に部分保育の計画をパソコンで作らせる	対面授業	保育計画のテーマを決めておく
11 回目	保育におけるメディアの活用とメディアとの向き合い方を理解させる	対面授業	前回作成した計画案を準備しておく
12 回目	具体的な実践事例について考察する	対面授業	実習での経験例を考えておく
13 回目	社会や家庭との連携の必要性とその方法を理解させる	対面授業	なぜ連携なのか考えておく
14 回目	幼・保・小連携のあり方について理解させる	対面授業	小学校学習指導要領にふれておく

15 回目	“ちょっと気になる子”への保育の実際を理解する	対面授業	「ちょっと気になる子」の意味を考えておく
16 回目	レポートにより確かな保育観が確立できたか		レポート

科目（教職課程用）	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	教育の方法及び技術
教科書・参考書	教科書：「保育方法・指導法（新しい保育講座 6）」 大豆生田啓友（編集）、渡邊英則（編集）、2020
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業前後で対応可能
備考・メッセージ	各自が確かな保育観・子ども観を確立できるよう、まじめに授業に臨むこと。また、教育的な愛着をもって具体的な子どもをイメージしながら学びを深めるとともに、自分の良さを生かした保育の在り方についての考えも深めていきましょう。

講義科目名称：教育経営論	授業コード：
英文科目名称：	ナンバリング：E P 4 0 1

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期	2	2	卒：選択、保：選必、幼：必修	講義
担当教員				
川上 知子				

授業概要	<p>①社会状況の変化を踏まえ学級経営や教育経営の概要・理念について理解する。</p> <p>②子どもの生活の変化や幼児の発達について理解し教育運営の具体的な展開について計画立案する。</p> <p>③5 領域の保育内容に関する基本原理や活動を理解し学級づくりの進め方が分かる。</p> <p>④幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型子ども園教育・保育要領等の関係法規・教育行政の理念について理解し保育記録の書き方や要録の記入方法が分かる。</p> <p>⑤個に応じた指導、地域社会や家庭との連携など保育の背景と広がりについて理解する。</p> <p>⑥保育施設を取り巻く安全管理について具体的な取り組みを理解する。</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	<ul style="list-style-type: none"> 学級経営及び保育について理解し成果として制作及び表現ができる。 講義内容を理論的に考察できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期試験 	30%
確かな専門的知識や技能		<ul style="list-style-type: none"> レポート 課題制作の成果 	10% 5%
コミュニケーション能力	<ul style="list-style-type: none"> グループ内で協議し内容をまとめ表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> グループディスカッション及び発表 	10%
課題解決能力	<ul style="list-style-type: none"> 課題を考察しレポートを作成できる。 	<ul style="list-style-type: none"> レポート 定期試験 	10% 30%
主体的に学ぶ力	<ul style="list-style-type: none"> 教育経営論が保育教諭にとって必要な専門知識であることを理解し積極的な学習ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業への参加・態度 	5%
合計			100%

補足事項
<ul style="list-style-type: none"> 本授業は対面授業を主として展開するが、状況に応じてオンライン授業を行うこともある。 本授業では、定期試験 60% ， レポート・課題政策の成果 25%、 授業への参加・態度、 グループディスカッション 15%の割合で評価する。 オンライン授業を実施する場合は、 課題をレポートあるいは創作物として提出したことにより出席とみなす。

- ・授業の予習としてのレポート課題を課すことがあり，テーマについては随時授業で連絡する。
- ・グループディスカッションでの気づきやレポートのフィードバックは毎回の授業で行う。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション 学級経営の概要・教育政策 理想の保育士像について考察する	対面授業	本時の復習、次時予習：朝の会の内容を構想する (毎回4時間)
2回目	学級経営の理念 学級経営の理念と信頼される保育者の在り方 朝の会の内容を決定する	対面授業	復習、次時予習：学級経営計画準備の確認
3回目	学級経営計画準備 5領域の保育内容に関する基本原理や教育・保育課程 指導計画の立案	対面授業	復習、次時予習：メダルの構想を練り計画書を書く
4回目	学級経営計画運営 1 【心を育てる場としてのクラス】 園児に贈るメダルを作成する	対面授業	復習、予習：学級経営計画と運営の確認、教科書を読みノートにまとめる
5回目	学級経営計画運営 2 3～5歳児の発達とクラス運営 【仲間関係と共同的活動】	対面授業	復習、予習：保育内容と領域別活動、教科書を読みノートにまとめる
6回目	保育内容と領域別活動 5領域の保育内容と実践事例の理解 保育者の関わりについてまとめる	対面授業	復習、予習：人との関わり・言葉の獲得につき教科書を読みノートにまとめる
7回目	集団形成の過程と学級づくり 人とのかかわり・言葉の獲得に関する育ちと活動についての理解と事例対応	対面授業	復習、予習：環境の構成と再構成について教科書を読みまとめる
8回目	学級づくりの進め方 環境の構成と再構成、感性と表現に関する育ちと活動についての理解、保育者の関わりについてまとめる	対面授業	復習、予習：発達に課題のある子についてネットで調べノートにまとめる
9回目	個に応じた指導 個の特性及び発達に課題のある子どもの指導について理解する	対面授業	予習：安全教育の確認 危険個所や行為についてネットで調べまとめる
10回目	安全教育 危機管理や事例を基にした事故対応を含む学校安全についてまとめる	対面授業	予習：保育指針、こども園教育・保育要領を読みアンダーラインを引く
11回目	幼稚園と保育所、認定こども園 幼稚園教育要領、保育所指針、認定こども園教	対面授業	復習、予習：保護者向けのお便りの構想を練る

	育・保育要領を踏まえた関係法規・教育理念等の理解		
12 回目	保育の記録と評価 指導要領をもとにした評価資料の記録の在り方と保育要録の記入方法の理解 保護者連携 保護者向けの学年だよりを作成する	対面授業	復習、予習：保育の背景と広がりについて教科書を読みノートにまとめる
13 回目	保育の背景と広がり 先駆者たちの教育思想と保育施設の関わり、地域社会や家庭との連携について	対面授業	復習、予習：連携教育について教科書を読みノートにまとめる
14 回目	連携教育について 保幼小連携の在り方、家庭との連携及び保護者との関りについての理解	対面授業	復習、予習：保育者の研修の確認とスピーチの構想をねり練習する
15 回目	保育者の研修と評価 保育者の自己研鑽と研修体制及び自己評価	対面授業	総復習 定期試験に備えて教科書や資料、レポートを見直す
16 回目	定期試験		レポート

科目（教職課程用）	教育の基礎理論に関する科目
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項
教科書・参考書	教科書：保育の実践・原理・内容 ミネルヴァ書房 参考書：保育内容総論、〇歳児のクラス運営、学級経営の基礎・基本 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定子ども園教育・保育要領
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後で対応します
備考・メッセージ	授業・課題には真摯に取り組む、社会的な保育・教育の動向にも注視してください。また、教育的な愛着をもって具体的な子ども像、集団形成をイメージしながら学びを深めるとともに、自分の良さを生かした保育の在り方、学級経営の在り方についての考えも深めていきましょう。

講義科目名称：保育の心理学	授業コード：
英文科目名称：	ナンバリング：UC201

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
後期	1年	2単位	必修	講義
担当教員				
座間味 愛理				

授業概要	<p>1. 保育実践に関わる発達理論等の心理学的知識を踏まえ、現代の発達を捉える視点について理解する。</p> <p>2. 子どもの発達に関わる心理学の基礎を習得し、養護及び教育の一体性や発達に即した援助の基本となる子どもへの理解を深める。</p> <p>3. 乳幼児期の子どもの学びの過程や特性について基礎的な知識を習得し、保育における人との相互的関わりや体験、環境の意義を理解する。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
確かな専門的知識 や技能	・子どもの発達を捉える歴史的な文脈を踏まえ今日の発達観について述べるができる。	学習態度・感想シート	20%
	・子どもの発達に影響を与える要因、子どもの学びに関わる理論（学習理論、模倣）を述べるができる。	筆記試験	20%
コミュニケーション能力	・子どもの情動や認知発達を理解し保育者が関わる意義について述べるができる。	筆記試験	30%
課題解決能力	・子どもの学びを支える保育の意義について文字への関心を例に述べるができる。	レポート課題	30%
主体的に学ぶ力			
合計			100%

補足事項

- ・ 奇数回（1, 3, 5, 7, 9, 11, 13, 15）に当たる授業と第 14 回目は対面授業（9 回）、偶数回（2, 4, 6, 8, 10, 12）にあたる授業はオンデマンド配信（6 回）授業とする。（変更する場合がある）
- ・ 授業に関する質問は直接または Google class で受け付け、以降の授業回または Google class で回答する。
- ・ Google class にて配信されたオンデマンド音声授業は履修者が必要な際に復習できる。
- ・ 評価は、レポート課題 30%、筆記試験 50%、感想シート 20%とする。
- ・ オンデマンド配信された内容は、履修者が復習できるよう閲覧可能な形態とする。

授業計画	授業の内容	実施方式	予習・復習
1 回目	I. 発達を捉える視点（1） 子どもの発達を理解することの意義	対面	予習：教科書のもくじとシラバスを読む（1 時間） 復習：「子どもに関するイメージシート」の整理（1 時間）
2 回目	I. 発達を捉える視点（2） 子どもの発達と環境	オンデマ ンド配信 ①	予習：自分の現在の特徴（身体の発達・ 食べ物の好み・性格など）を記述する （1 時間） 復習：発達を規定する要因（1 時間）
3 回目	I. 発達を捉える視点（3） 発達理論と子ども観・保育観	対面	予習：予習：私達が「子ども」と聞いて 連想する内容を記す。その後、70 歳 代の方に「子どもの頃よくしていたこ とは何か」と聞いて比較する。（1 時間） 復習：生態学的システム理論 （ecological systems theory）を整理す る（1 時間）
4 回目	II. 子どもの発達過程（1） 赤ちゃんの能力、身体的機能と運動機能 の発達	オンデマ ンド配信 ②	予習：歩行ができるまでの運動発達の 順番について実際に姿勢を取りながら 整理する（1 時間） 復習：乳児の発達プロフィールの作成 （1 時間）
5 回目	II. 子どもの発達過程（2） 社会情動的発達①情動表出	対面	予習：自分の 6 つの情動（感情）を表 す顔を写真に撮って提出する（1 時間） 復習：期待外れのプレゼントについて 調べる（1 時間）
6 回目	II. 子どもの発達過程（3） 社会的情動発達②情動調節の発達	オンデマ ンド配信 ③	予習：ペアになり、相手の不快情動を 快情動に、快情動を落ち着けるよう誘 導する方法を模索する（1 時間） 復習：情動調整における母子の相互作

			用（1時間）
7回目	II. 子どもの発達過程（4） 自己の発達に関する心理学実験	対面	予習：子どもの自己理解に関する資料を読む（1時間） 復習：名前を呼ばれると返事ができるのはなぜかについてまとめる（1時間）
8回目	II. 子どもの発達過程（5） 認知の発達	オンデマ ンド配信 ④	予習：これまで見たこともない物体を理解するときの反応を調べる（1時間） 復習：ピアジェの認知発達理論を図にまとめる（1時間）
9回目	II. 子どもの発達過程（6） 遊びと仲間づくりを支える社会性	対面	予習：ジレンマのお話に回答する（1時間） 復習：心の理論、道徳性の発達を表にまとめる（1時間）
10回目	II. 子どもの発達過程（7） 言葉の発達とコミュニケーション	オンデマ ンド配信 ⑤	予習：家族や周囲の人から初めて話した言葉について調査する（1時間） 復習：言葉の発達過程で生じる問題をまとめる（1時間）
11回目	III. 子どもの学びと保育（1） 乳幼児期の学びに関わる理論	対面	予習：子どもが大人の真似をする写真資料を探す（1時間） 復習：模倣、学習理論（1時間）
12回目	III. 子どもの学びと保育（2） 乳幼児期の学びを支える保育 文字への関心	オンデマ ンド配信 ⑥	予習：子どもが文字に感心を示す時期、子どもの書く文字の特徴について整理する（1時間） 復習：遊びと学習、文字への関心に関するレポートを書く（1時間）
13回目	IV. 愛着関係の発達（1）	対面	予習：基本的信頼感の定義と具体的な行動を調べる（1時間） 復習：幼児期の信頼関係の形成不全が与える影響を整理する（1時間）
14回目	IV. 愛着関係の発達（2）	対面	予習：青年期の対人関係の特徴を整理する（1時間） 復習：発達の可塑性について整理する（1時間）
15回目	本講義のまとめ	対面	予習：第1回で記述した「子どもに関するイメージシート」を記入する（1時間） 復習：心理学の視点を得ることで子ども理解がどのように変化したかを対応

			表にまとめる（2時間）
16回目	定期試験		

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	青木紀久代 編『実践・発達心理学』（第2版）2019
履修条件	
履修上の注意	発達に関する用語を具体的事象との関連から理解していくため、学生の経験を踏まえた発表を積極的に取り入れる。
オフィスアワー	授業の前後で教室または研究室で質問を受け付けます。
備考・メッセージ	「名前を呼ばれて返事ができるのはどうして？」など、人に関心を持ち、人の持つ能力や個性がどのような過程で発達（変化）するのか、身近なことを意識しておきましょう。

講義科目名称：子ども家庭支援の心理学	授業コード：
英文科目名称：	ナンバリング：UC301

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
後期	2年	2単位	必修	講義
担当教員				
座間味 愛理				

授業概要	<p>本科目は、さまざまな場面の子どもと家庭・保育士・社会の様子について知識を得る。その中で今日の子どもと家庭をめぐる状況、保育士養成教育において子育て家庭支援で強化する内容につながる課題を読み取る力を養うことを目的としている。</p> <p>講義では、①生涯発達に関する心理学の基礎的な知識を習得し、初期経験の重要性、各時期の移行、発達課題等について理解する。②家族・家庭の意義や機能、親子関係や家族関係等について発達的に理解し、子どもとその家庭を包括的に捉える視点を習得する。③子育て家庭をめぐる現代の社会状況と課題を理解する。④子どもの精神保健とその課題について理解する。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
確かな専門的知識や技能	<ul style="list-style-type: none"> 生涯発達心理学の視点から初期経験の重要性、発達課題を説明できる。 子どもの家庭について、社会状況、親子関係、家族関係の視点から包括的に述べるができる。 	定期試験	50%
コミュニケーション能力	<ul style="list-style-type: none"> 授業内容を通してもった意見を他者に伝えることができる。 	授業への参加態度	10%
課題解決能力	<ul style="list-style-type: none"> 特別なニーズをもつ家庭の理解と援助、保育者の役割について、具体例を挙げて述べるができる。 	課題提出	30%
主体的に学ぶ力	<ul style="list-style-type: none"> 子どもと家庭をテーマとした現代の社会状況と課題を述べるができる。 	課題提出	10%
合計			100%

補足事項

- ・ 奇数回（1, 3, 5, 7, 9, 11, 13, 15）に当たる授業は対面授業、偶数回（2, 4, 6, 8, 10, 12, 14）にあたる授業はオンデマンド配信授業とする。（変更する場合がある）
- ・ 授業に関する質問は直接または Google class で受け付け、以降の授業回または Google class で回答する。
- ・ Google class にて配信されたオンデマンド授業内容は履修者が必要な際に復習できる。
- ・ 定期試験 50%、課題提出 40%、授業への参加・態度 10%の割合で評価する。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1 回目	授業の目的、進め方、評価について説明する	対面授業	予習：教科書の目次を読み、知らない用語を調べる（2時間） 復習：オリエンテーション資料、配布資料 pp. 3-7 内容をまとめる（2時間）
2 回目	生涯発達 人生周期の階層的構造	オンデマンド 配信	予習：生涯発達に関する用語を調べる（2時間） 復習：配布資料 pp. 9-16 の内容をまとめる（2時間）
3 回目	初期経験の重要性 人間の発達過程・発達課題	対面授業	予習：発達課題に関する用語を調べる（2時間） 復習：配布資料 pp. 17-20 の内容をまとめる（2時間）
4 回目	家族・家庭の理解 家族・家庭の意義と機能 親子関係・家族関係の多様性	オンデマンド 配信	予習：ルソーの考え方に関する資料を読み返す（2時間） 復習：配布資料 pp. 21-28 の内容をまとめる（2時間）
5 回目	子育て家庭に関する現状と課題 子育てを取り巻く社会的状況①	対面授業	予習：子どもとメディアに関する用語を調べる（2時間） 復習：配布資料 pp. 29-36 の内容をまとめる（2時間）
6 回目	子育て家庭に関する現状と課題 子育てを取り巻く社会的状況② ライフコースと仕事・子育て	オンデマンド 配信	予習：3歳児神話に関する用語を調べる（2時間） 復習：配布資料 pp. 36-45

			の内容をまとめる
7回目	子育て家庭に関する現状と課題 子育てを取り巻く社会的状況③ 多様な家庭とその理解	対面授業	予習：育児不安に関する用語を調べる(2時間) 復習：配布資料 pp. 46-56 の内容をまとめる(2時間)
8回目	特別なニーズを持つ家庭と援助 特別なニーズへの支援の考え方・子どもへの対応	オンデマンド 配信	予習：教科書事例 4-1～6 を読む(2時間) 復習：配布資料 pp. 57-68 の内容をまとめる(2時間)
9回目	特別なニーズを持つ家庭と援助 ひとり親家庭	対面授業	予習：教科書事例 4-8～11 を読む(2時間) 復習：配布資料 pp. 68-84 の内容をまとめる(2時間)
10回目	子どもの精神保健とその課題 子どもの心の理解－子どもの行動の意味を読み取る・乳時期の精神保健	オンデマンド 配信	予習：心身症に関する用語を調べる(2時間) 復習：配布資料 pp. 85-93 の内容をまとめる(2時間)
11回目	子どもの精神保健とその課題1 幼児期の精神保健	対面授業	予習：事例 5-2、3 を読む (2時間) 復習：配布資料 pp. 93-100 の内容をまとめる(2時間)
12回目	子どもの精神保健とその課題2 児童期・青年期の精神保健	オンデマンド 配信	予習：ゲーム依存に関する用語を調べる(2時間) 復習：配布資料 pp. 101-107 の内容をまとめる(2時間)
13回目	子どもの精神保健とその課題3 喪失体験による問題と対応	対面授業	予習：災害による喪失体験に関する用語を調べる(2時間) 復習：配布資料 pp. 107-111 の内容をまとめる(2時間)
14回目	子どもの精神保健とその課題 喪失体験による問題と対応②	オンデマンド 配信	予習：喪失体験が表すサインについて調べる(2時間) 復習：配布資料 pp. 111-117 の内容をまとめる(2時間)

			間)
15 回目	授業のまとめ 重要な用語と理解の確認	対面授業	予習：配布資料を読み返す(2時間) 復習：提出課題(2時間)
16 回目	定期試験		

科目（教職課程用）	保育の対象の理解に関する科目
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教科書：『子ども家庭支援の心理学』 参考書：松本園子/永田陽子/長谷部比呂美/日比暁美/堀口美智子 著 『子ども家庭支援の心理学』ななみ書房、2019 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定子ども園教育・保育要領
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後に Google class、教室、研究室で質問を受け付ける。
備考・メッセージ	メリーにて課題提出を求めます。授業についてのあなたの意見、疑問、子どもや家庭についての新たな理解、授業への要望などを書いてください。次回の授業で扱います。

講義科目名称：子どもの理解と援助	授業コード：
英文科目名称：	ナンバリング：UC401

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
後期	2年	1単位	必修	演習
担当教員				
座間味 愛理				

授業概要	<p>1. 保育実践において、実態に応じた子ども一人一人の心身の発達や学びを把握することの意義について理解する。</p> <p>2. 子どもの体験や学びの過程において子どもを理解する上での基本的な考え方を理解する。</p> <p>3. 子どもを理解するための具体的な方法を理解する。</p> <p>4. 子どもの理解に基づく保育士の援助や態度の基本について理解する。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
確かな専門的知識や技能	<ul style="list-style-type: none"> ・保育実践を通して子どもの実態に応じた発達や学びを把握することの意義を述べることができる。 ・子どもの体験や学びの過程において子どもを理解する上での基本的な考え方を理解している。 	学習態度・感想シート レポート課題	20% 10%
コミュニケーション能力	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもを理解するための具体的な方法を他者に分かるよう伝えることができる。 	口頭発表	30%
課題解決能力	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども理解に基づく保育士の援助や態度の基本について例を挙げて概説することができる。 	レポート課題	40%
主体的に学ぶ力			
合計			100%
補足事項			
<ul style="list-style-type: none"> ・奇数回（1, 3, 5, 7, 9, 11, 13, 15）に当たる授業は対面授業、偶数回（2, 4, 6, 8, 10, 12, 14）にあたる授業はオンデマンド配信授業とする。（変更する場合がある） ・授業に関する質問は直接または Google class で受け付け、以降の授業回または Google class で回答する。 			

- ・ Google class にて配信されたオンデマンド音声授業は履修者が必要な際に復習できる。
- ・ 評価は、第1回目の提出課題①10%、第15回の提出課題②40%、感想シート 20%、授業内課題の口頭発表 30%とする。
- ・ オンデマンド配信された内容は、履修者が復習できるよう閲覧可能な形態とする。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	I. 子どもの実態に応じた発達や学びの把握 (1) 保育における子どもの理解の意義・実習で体験した子どもの行動と理解	対面	予習:実習日誌や記録を準備する(1時間) 復習:配布資料の見直し(1時間)
2回目	I. 子どもの実態に応じた発達や学びの把握 (2) 子どもの理解に基づく養護及び教育の一体的展開	オンデマンド 配信	予習:習経験における養護と教育の及び教育の目標を再確認(1時間) 復習:配布資料の見直し(1時間)
3回目	I. 子どもの実態に応じた発達や学びの把握 (3) 子どもへの共感的理解と保育者の関わり	対面	予習:実習経験における「子どもに共感できなかった不思議な行動」を整理(1時間) 復習:配布資料の見直し(1時間)
4回目	II. 子どもを理解する視点(1)子どもの生活や遊び —真似をすることの発達の意味・学習—	オンデマンド 配信	予習:実習経験における「子どもの真似行動」を整理(1時間) 復習:配布資料の見直し(1時間)
5回目	II. 子どもを理解する視点(2)保育の人的環境としての保育者と子どもの発達—試し行動の理解—	対面	予習:実習経験における「試し行動」の抽出(1時間) 復習:配布資料の見直し(1時間)
6回目	II. 子どもを理解する視点(3)子ども相互の関わりと関係づくり —遊びの終わり方—	オンデマンド 配信	予習:実習経験における「遊びの終わり方行動」を整理(1時間) 復習:配布資料(1時間)
7回目	II. 子どもを理解する視点(4)集団における経験と育ち—いざこざへの対応—	対面	予習:実習経験における「子ども同士のいざこざ」を整理(1時間) 復習:配布資料の見直し(1時間)

8 回目	II. 子どもを理解する視点（5） 葛藤やつまづき —集団場面における問題行動—	オンデマンド 配信	予習：実習経験における「集団活動での逸脱行動」を整理（1時間） 復習：配布資料の見直し（1時間）
9 回目	II. 子どもを理解する視点（6） 保育の環境の理解と構成・環境の変化や移行	対面	予習：実習経験における「年齢別における保育環境の気づき」を整理（1時間） 復習：配布資料の見直し（1時間）
10 回目	III. 子どもを理解する方法（1） 観察・記録・省察・評価・職員間の対話・保護者との情報の共有—子どもの嘘を例に—	オンデマンド 配信	予習：実習経験における「子どもの嘘の種類」を整理（1時間） 復習：配布資料の見直し（1時間）
11 回目	III. 子どもを理解する方法（2） 保育巡回の活用—心理士との連携・場面緘黙を例に—	対面	予習：実習経験における「対応が困難な子どもの様子」を整理（1時間） 復習：配布資料の見直し（1時間）
12 回目	IV. 子どもの理解に基づく発達援助（1） 発達の課題に応じた援助と関わり —質問を繰り返す子—	オンデマンド 配信	予習：実習経験における「子どもの質問行動」を整理（1時間） 復習：配布資料（1時間）
13 回目	IV. 子どもの理解に基づく発達援助（2） 特別な配慮を要する子どもの理解と援助—他児と関わりが持ちにくい子—	対面	予習：実習経験における「特別な配慮例」を整理（1時間） 復習：配布資料の見直し（1時間）
14 回目	IV. 子どもの理解に基づく発達援助（3） 発達の連続性と就学支援	オンデマンド 配信	予習：実習経験における「年長クラスの1年間の目標」を整理（1時間） 復習：配布資料の見直し（0.5時間）
15 回目	本講義のまとめ 心理学の視点を得ることで子ども理解がどのように変化したかを対応表にまとめる	対面	予習：第1回で記述した自分の体験を振り返り、現段階の気づきを記入（2時間） 復習：確認テストを解く（1時間）

--	--	--	--

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後で教室または研究室で質問を受け付けます。
備考・メッセージ	実習経験を振り返り、具体的な子どもの行動について知識を用いて子ども理解を再構成してください。もし、もう一度同じような子どもの行動に出会ったとき、改めて得られた知識をどのように活用できるでしょうか。保育者として豊かな関わり方のヒントを獲得しましょう。

講義科目名称：こどもの保健	授業コード：22151、21152
英文科目名称：Child Health	ナンバリング：UC101

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期	1年	2単位	必修	講義
担当教員				
滝川 由香里				

授業概要	子どもの心身の健康と保健の意義・子どもの身体発育について理解する。さらに子どもの疾病とその予防についての知識を習得し、適切な対応について学びを深める。
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
確かな専門的知識 や技能	子どもの発達・発育、健康や保健活動の意義について理解し、述べるができる。	定期試験 小テスト	75% 10%
コミュニケーション能力	子どもの健康増進に関する課題について、グループで協力して議論することができる。	グループディスカッションおよび発表	5%
課題解決能力	子どもの疾病と予防、健康増進に関する適切な対応について述べるができる。	レポート	5%
主体的に学ぶ力	授業を受講する際に、質問や発言をするなど、積極的に授業に参加することができる。	授業参加の意欲・態度	5%
合計			100%

補足事項

- ・本授業では、定期試験 75%、小テスト 10%、レポート 5%、グループディスカッションおよび発表 5%、授業参加の意欲・態度 5%で評価する。なお、レポートは提出期限を指定し、回収後授業内でフィードバックを行う。
- ・状況に応じて、授業をオンライン等で行う場合があるが、その場合の授業中の質問は、チャット内で受け付ける。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1 回目	保健活動の意義と目的、健康の概念、健康指標、母子保健の現状	オンライン等で行う場合がある	予習；教科書 p 9～18 を読み、内容をノートにまとめ、疑問点を抽出し、質問の用意をする。(2 時間) 復習：授業内容を復習し、ノートに要点をまとめ、p18 の「やってみよう」を解く。(2 時間)
2 回目	生物としての成り立ち、身体測定、発育曲線、運動機能の発達	オンライン等で行う場合がある	予習：教科書 p 19～29、p 66～69 を読み、内容をノートにまとめ、疑問点を抽出し、質問の用意をする。(2 時間) 復習：授業内容授業内容を復習し、ノートに要点をまとめる。(2 時間)
3 回目	子どもの貧困、医療的ケア児、インクルーシブ保育、児童虐待について	オンライン等で行う場合がある	予習：教科書 p 13～18 を読み、内容をノートにまとめ、疑問点を抽出し、質問の用意をする。(2 時間) 復習：子どもの貧困、医療的ケアのいずれかについて、レポートを作成する。(2 時間)
4 回目	呼吸機能、循環機能、免疫機能、消化機能、	オンライン等で行う場合がある	予習：教科書 p 30～33 を読み、内容をノートにまとめ、疑問点を抽出し、質問の用意をする。(2 時間) 復習：授業内容を復習し、ノートに要点をまとめる。(2 時間)
5 回目	排泄機能、水分代謝、体温調節	オンライン等で行う場合がある	予習：教科書 p 33～35 を読み、内容をノートにまとめ、疑問点を抽出し、質問の用意をする。(2 時間) 復習：授業内容を復習し、ノートに要点をまとめる。

			(2時間)
6回目	内分泌の発達、睡眠・覚醒リズム、 感覚・神経機能	オンライン等 で行う場合が ある	予習：教科書 p 35～40 を読 み、内容をノートにまとめ、 疑問点を抽出し、質問の用 意をする。(2時間) 復習：授業内容を復習し、 ノートに要点をまとめる。 (2時間)
7回目	健康観察と対応について、 体調不良時によくみられる症状、 健康診断、身体発育についての評価、 保護者との健康情報の共有	オンライン等 で行う場合が ある	予習：教科書 p 59～71 を読 み、内容をノートにまとめ、 疑問点を抽出し、質問の用 意をする。(2時間) 復習：授業内容をノートに 要点をまとめる。(2時間)
8回目	子どもの疾病の特徴、感染症、予防接種 ウイルス性感染症①	オンライン等 で行う場合が ある	予習：教科書 p 73～81 を読 み、内容をノートにまとめ、 疑問点を抽出し、質問の用 意をする。(2時間) 復習：感染経路とその予防 法、それぞれのウイルス感 染症の特徴をまとめ整理す る。(2時間)
9回目	ウイルス性感染症②、細菌性感染症	オンライン等 で行う場合が ある	予習：教科書 p 82～84 を読 み、内容をノートにまとめ、 疑問点を抽出し、質問の用 意をする。(2時間) 復習：授業内容を復習し、 それぞれの感染症の特徴に ついてまとめ、整理する。 (2時間)
10回目	先天異常、アレルギー	オンライン等 で行う場合が ある	予習：教科書 p 84～89 を読 み、内容をノートにまとめ、 疑問点を抽出し、質問の用 意をする。(2時間) 復習：授業内容を復習し、 特にそれぞれのアレルギー の特徴と予防法、対処法に ついてまとめる (2時間)

11回目	消化器疾患、呼吸器疾患、循環器疾患、血液疾患	オンライン等で行う場合がある	予習：教科書 p 89～92 を読み、内容をノートにまとめ、疑問点を抽出し、質問の用意をする。(2時間) 復習：授業内容の復習を復習し、各疾患について整理する。
12回目	悪性腫瘍、神経疾患、腎・泌尿器疾患	オンライン等で行う場合がある	予習：教科書 p 92～95 を読み、内容をノートにまとめ、疑問点を抽出し、質問の用意をする。(2時間) 復習：授業内容を復習し、各疾患の特徴について整理する。P100の「やってみよう」③を解く。(2時間)
13回目	感覚器の疾患、整形外科疾患、内分泌・代謝疾患	オンライン等で行う場合がある	予習：教科書 p 96～100 を読み、内容をノートにまとめ、疑問点を抽出し、質問の用意をする。(2時間) 復習：授業内容を復習し、ノートに要点をまとめる。(2時間)
14回目	発達に即応した基本的な生活リズムの形成 生活リズム形成における睡眠の意義についての発表	オンライン等で行う場合がある	予習：教科書 p 41～50 を読み、内容をノートにまとめ、疑問点を抽出し、質問の用意をする。(2時間) 復習：授業内容を復習し、ノートに要点をまとめる。(2時間)
15回目	清潔習慣、歯磨きについて	オンライン等で行う場合がある	予習：教科書 p 50～58 を読み、内容をノートにまとめ、疑問点を抽出し、質問の用意をする。(2時間) 復習：授業内容を復習し、ノートに要点をまとめ、p57の演習問題を解く。(2時間)
16回目	定期試験		

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教科書：子どもの保健（ななみ書房）
履修条件	特になし
履修上の注意	必ず予習を行い、専門用語等不明なところは積極的に質問する事。
オフィスアワー	授業時間前後に教室で質問を受けつける。
備考・メッセージ	保育士には子どもの命を守る責任があります。覚えることが沢山ありますが、真摯な態度で学びを深めて下さい。

講義科目名称：子どもの健康と安全	授業コード：
英文科目名称：	ナンバリング：CM301

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期	2年	1単位	卒：必修、保：必修、幼：選	講義・実習
担当教員				
井田 裕子				

授業概要	<p>① 乳幼児の日常生活の養護の実際を学び実習する。</p> <p>② バイタルサインの測定・記録および評価の実際、体調不良や障害が発生した場合の対応とケアについて学ぶ。</p> <p>③ 感染予防の3原則を理解する。排泄物の処理方法を理解する。効果的な手洗い・うがいを体験する。</p> <p>④ 子どもの事故と発生要因を理解する。気道内異物時の模擬演習、心肺蘇生法の模擬演習、包帯法などを実習する。</p> <p>⑤ 集団保育における年間保健安全計画、施設設備の消毒、保育者自身の生活習慣の整え方と健康管理にふれる。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
確かな専門的知識や技能	<p>① 保育における保健的観点を踏まえた保育環境や援助について理解する。</p> <p>② 保育における衛生管理・事故防止および安全対策・危機管理・災害対策について、具体的に理解する。</p> <p>③ 子どもの体調不良等に対する適切な対応について、具体的に理解できる。</p> <p>④ 保育における感染症対策について、具体的に理解する。</p> <p>⑤ 保育における保健的対応の基本的な考え方を踏まえ、関連するガイドラインや近年のデータ等に基づく子どもの発達や状態等に即した適切な対応について具体的に理解する。</p> <p>⑥ 子どもの健康および安全の管理に関わる組織的取組や保健活動の計画および評価等について、具体的に理解する。</p>	筆記試験 実習・提出物	50% 40%
コミュニケーション能力			

課題解決能力			
主体的に学ぶ力		学習への取 り組み・態度	10%
合計			100%
補足事項			
筆記試験（50%）、実習・提出物（40%）、学習への取り組み・態度（10%）を総合して評価を行う。			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	保育的観点を踏まえた保育環境および援助	対面授業	学習したことを振り返りま とめておく（1h）
2回目	子どもの健康と発育発達状態の把握	対面授業	プリント作成（4h）
3回目	保育における健康および安全の管理①	対面授業	内容をまとめておく（4h）
4回目	保育における健康および安全の管理②	対面授業	具体的対策をまとめておく （4h）
5回目	子どもの体調不良に対する適切な対応①	対面授業	ガイドライン作成、対応をま とめておく（4h）
6回目	子どもの体調不良に対する適切な対応②	対面授業	対処方法をまとめておく（4 h）
7回目	子どもの体調不良に対する適切な対応③	対面授業 実演	実践と復習をしておく（4h）
8回目	感染症対策 （感染症の種類、症状を知る）	対面授業	教科書で復習（4h）
9回目	保育における保健的対応① （抱き方、オムツ・衣服交換）	対面授業 実演	お人形で練習（2h）
10回目	保育における保健的対応② （清潔、沐浴の見学・実施）	対面授業 実演	パンフレット作成、提出（4 h）
11回目	保育における保健的対応③	対面授業	内容をまとめておく（4h）
12回目	保育における保健的対応④	対面授業	ガイドライン作成（4h）
13回目	健康および安全の管理の実施体制①	対面授業	復習しておく（5h）
14回目	健康および安全の管理の実施体制②	対面授業	連携ガイドラインの作成（4 h）
15回目	健康および安全の管理の実施体制③	対面授業	年間計画の作成（4h）
16回目	定期試験		試験勉強（4h）

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	テキスト「子どもの健康と安全」中根淳子/佐藤直子 編著 ななみ書房 参考書「子どもの健康と安全 演習ノート」小林美由紀 編著 診断と治療社
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	前期：月曜日3・4限目
備考・メッセージ	実技の実習を自分で実践したり、教科書をよく読んだりしておくこと。

講義科目名称：子どもの食と栄養	授業コード：11231、11233
英文科目名称：	ナンバリング：UC202

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
後期	1年	2単位	必修	講義
担当教員				
小玉智章・石橋由香里				

授業概要	<p>保育士が接する乳幼児期は人生の始まりの時期であり、適切な発育のために栄養は必要不可欠である。本科目では、保育士が子どもの発育を栄養面からも支援できるように、栄養学の基礎を理解し、実践できることを目指す。また、近年は栄養面で特別な配慮を必要とする子どもが増えており、特にアレルギー対応は一步間違うと命に関わる。本科目ではアレルギーについて、その成り立ちから対応を理解し、保育所で他の業種と関わりながら実践できることも目指す。</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
確かな専門的知識や技能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 栄養学の基礎知識を理解し、説明できる ・ 子どもの成長に合った栄養を理解し、実践できる ・ アレルギーの基礎と保育所における対応を理解し、説明できる ・ 特別な配慮が必要な子どもにおける栄養を理解し、説明できる 	定期試験（筆記） 定期試験（実技）	80% 10%
コミュニケーション能力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 他者と協働し、適切に調理実習ができる 	提出物 授業態度	5% 5%
課題解決能力			
主体的に学ぶ力			
合計			100%
補足事項			

- ・ 本授業は面接授業を基本とするが、状況に応じて Zoom によるオンライン授業を行うことがある。
- ・ 授業外の質問は Google Classroom で受け答えすることができる。
- ・ 授業は収録し、YouTube で限定公開するので復習等に利用すること。
- ・ 本授業では、定期試験（筆記、実技）80%、小テスト 10%、授業への参加・態度 10%の割合で評価する。
- ・ 提出物は Google フォームで実施し、以降の授業回で解説を行う。
- ・

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1 回目	オリエンテーション 本授業の進め方、評価の観点等の説明 栄養の基礎知識① 消化吸収のしくみ	面接授業（状況によって Zoom で行う）	予習：シラバスを読んでおく、教科書 P26～27 を読んでおく 復習：YouTube の配信を見返す（合わせて 120 分）
2 回目	栄養の基礎知識② 栄養とは？ 五大栄養素のはたらき①	面接授業（状況によって Zoom で行う）	予習：教科書 P28～35 を読んでおく 復習：配布プリントをまとめる・YouTube の配信を見返す（合わせて 120 分）
3 回目	栄養の基礎知識② 五大栄養素のはたらき② 食事摂取基準	面接授業（状況によって Zoom で行う）	予習：教科書 P36～43 を読んでおく 復習：配布プリントをまとめる・YouTube の配信を見返す（合わせて 120 分）
4 回目	乳児期の栄養① 乳児の特徴	面接授業（状況によって Zoom で行う）	予習：教科書 P50～61 を読んでおく 復習：配布プリントをまとめる・YouTube の配信を見返す（合わせて 120 分）
5 回目	調理実習 実習室使用の仕方 調乳	面接授業（状況によって Zoom で行う）	予習：教科書 P65～68 を読んでおく 復習：配布プリントをまとめる・YouTube の配信を見返す（合わせて 120 分）
6 回目	調理実習 離乳の準備	面接授業（状況によって Zoom で行う）	予習：教科書 P69～73 を読んでおく 復習：配布プリントをまと

			める・YouTube の配信を見返す（合わせて 120 分）
7 回目	調理実習 離乳初期の食事①	面接授業（状況によって Zoom で行う）	予習：教科書 P50～73 を読んでおく 復習：配布プリントをまとめる・YouTube の配信を見返す（合わせて 120 分）
8 回目	調理実習 離乳初期の食事②	面接授業（状況によって Zoom で行う）	予習：教科書 P69～73 を読んでおく 復習：配布プリントをまとめる・YouTube の配信を見返す（合わせて 120 分）
9 回目	乳児期の栄養② 乳児の栄養補給 離乳食とは	面接授業（状況によって Zoom で行う）	予習：教科書 P62～73 を読んでおく 復習：配布プリントをまとめる・YouTube の配信を見返す（合わせて 120 分）
10 回目	幼児期の栄養 幼児の特徴と食生活	面接授業（状況によって Zoom で行う）	予習：教科書 P74～79 を読んでおく 復習：配布プリントをまとめる・YouTube の配信を見返す（合わせて 120 分）
11 回目	調理実習 離乳後期の食事①	面接授業（状況によって Zoom で行う）	予習：教科書 P69～73 を読んでおく 復習：配布プリントをまとめる・YouTube の配信を見返す（合わせて 120 分）
12 回目	調理実習 離乳後期の食事②	面接授業（状況によって Zoom で行う）	予習：教科書 P69～73 を読んでおく 復習：配布プリントをまとめる・YouTube の配信を見返す（合わせて 120 分）
13 回目	食物アレルギー 食物アレルギーとは 食物アレルギーの対応	面接授業（状況によって Zoom で行う）	予習：教科書 P136～138 を読んでおく 復習：配布プリントをまとめる・YouTube の配信を見返す（合わせて 120 分）
14 回目	調理実習	面接授業（状	予習：教科書 P74～79 を読

	幼児期のおやつ	況によって Zoomで行う)	んでおく 復習：配布プリントをまとめる
15回目	調理実習 幼児期のおやつ	面接授業（状 況によって Zoomで行う)	予習：教科書 74～79 を読 んでおく 復習：配布プリントをまとめる（合わせて120分）
16回目	定期試験		

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	「子どもの食と栄養 改訂第2版」児玉浩子編（中山書店）
履修条件	
履修上の注意	調理実習の際は、エプロン、三角巾、上履きを持参すること
オフィスアワー	木曜午後（事前に予約することが望ましい）
備考・メッセージ	

講義科目名称：子ども家庭支援論	授業コード：
英文科目名称：	ナンバリング：E P 4 0 2

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
後期	2年	2	卒：選択、保：必修、幼：選択	講義
担当教員				
西 司				

授業概要	子ども家庭支援について、その目標、保育士の役割、支援の内容と対象について理解を深める。本講義では、①子ども家庭支援の目標と機能を理解できる、②子ども家庭支援における保育士の役割を説明できる、③子ども家庭支援における保育士の基本的態度を説明できる、④子育て家庭に対する支援の体制を説明できる、⑤子ども家庭支援の内容と対象を理解できることを目標とする。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
確かな専門的知識や技能	①子ども家庭支援の意義と必要性を理解し、その目的・機能を理解できる。 ②保育士の専門性を生かした子ども家庭支援の基本的な考え方を理解できる。 ③子育て家庭に対すると多様な支援の展開と関係機関との連携の方法などについて理解できる。	定期試験	70%
コミュニケーション能力			
課題解決能力	子ども家庭支援における保育士の役割についてレポートをまとめることができる。	レポート	10%
主体的に学ぶ力	近年の社会情勢に関心をもって、学校で学んだこととの関連性を考える視点をもつことができる。 子ども家庭支援の課題を理解し積極的な学習ができる。	授業への参加・ 態度 意見発表	10% 10%
合計			100%
補足事項			
本授業では、定期試験 70%、レポート 10%、主体的に学ぶ力（意見発表、社会情勢への視点 10%			

と授業への参加・態度 10%) の割合で評価する。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1 回目	オリエンテーション 全体的な講義内容の説明 特に子ども家庭支援の意義と必要性について説明する。	面接授業	予習:子ども家庭支援の目標と機能を読んでおくこと (1 時間)。 復習:講義の内容を振り返り理解を深めておくこと (0.5 時間)。
2 回目	子ども家庭支援の目標と機能について説明する。	面接授業	予習:保育所保育指針を調べておくこと (0.5 時間)。 復習:前回に同じ
3 回目	子ども家庭支援における保育士の役割について理解する。	面接授業	予習:バイステックの 7 原則を調べておくこと (1 時間)。 復習:前回に同じ
4 回目	保育士に求められる基本的態度について説明する。	面接授業	予習:保育士の専門性を生かした子ども家庭支援を読んでおくこと (1 時間)。 復習:前回に同じ。
5 回目	保育士の専門性を生かした子ども家庭支援を理解する。	面接授業	予習:信頼関係について調べておくこと (0.5 時間)。 復習:前回に同じ。
6 回目	保護者との信頼関係の形成について理解する。	面接授業	予習:子どもの発達段階について調べておくこと (1 時間)。 復習:前回に同じ。
7 回目	家庭の状況に応じた支援について説明する。	面接授業	予習:子育て家庭の福祉を図るための社会資源を読んでおくこと (0.5 時間)。 復習:前回に同じ。
8 回目	子育て家庭の福祉を図るための社会資源について説明する。	面接授業	予習:子ども子育て新制度について調べておくこと (0.5 時間)。 復習:前回に同じ。
9 回目	子育て支援の施策と次世代育成の支援策について説明する。	面接授業	予習:子ども家庭支援の内容と対象を読んでおくこと (1 時間)。 復習:前回に同じ。
10 回目	子ども家庭支援の内容と対象について説明する。	面接授業	予習:保育所を利用する子ども家庭への支援を読んでおくこと (1 時間)。 復習:前回に同じ。
11 回目	保育所を利用する子ども家庭への支援について理解する。	面接授業	予習:地域子育て支援センターの役割について調べておくこと (0.5 時間)。 復習:前回に同じ。

12 回目	地域の子育て家庭への支援について説明する。	面接授業	予習：要保護児童およびその家庭に対する支援を読んでおくこと（1 時間）。 復習：前回に同じ。
13 回目	要保護児童およびその家庭に対する支援について説明する。	面接授業	予習：保育の現場での子育て支援の現状と課題を読んでおくこと（0.5 時間）。 復習：前回に同じ。
14 回目	保育の現場での子育て支援の現状と課題について理解する。	面接授業	予習：配布したプリントを整理しておくこと（0.5 時間）。 復習：前回に同じ
15 回目	全体講義の振り返りを行う。	面接授業	
16 回目	定期試験		

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教科書『子ども家庭支援論』（建帛社）
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後に教室で質問を受け付ける。
備考・メッセージ	

講義科目名称：カリキュラム論	授業コード：
英文科目名称：	ナンバリング：CM201

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
後期	1年	2単位	卒：必修 保育士：必修 幼稚園：必修	講義
担当教員				
安部 祥子				

授業概要	<p>教育・保育の計画と評価に関する意義や基本的な考え方を学ぶ。その後、教育課程・全体的な計画を基盤に、子ども理解を踏まえた指導計画を作成する力を身につける。また、カリキュラム・マネジメントの考え方を理解し、保育の質を高めていく方法を学ぶ。これらを通して、保育者としての専門性を身につけるとともに、学び続けることのできる保育者になるための基盤となる力を養うことを目指す。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	子どもを理解しようとし、健やかな発達を願う気持ちをもって、学びに向かうことができる。	授業への参加・態度	10%
確かな専門的知識や技能	保育における計画と評価について、基本的理論を理解し、実践的に取り組むことができる。	課題（指導計画の作成）	50%
コミュニケーション能力	他者と意見を交わし、互いに高め合うことができる。	グループワーク	10%
課題解決能力	質の高い保育を目指して、試行錯誤を重ねながら指導計画の作成や評価に取り組むことができる。	模擬保育	20%
主体的に学ぶ力	保育の計画の立案やカリキュラム・マネジメントが、保育者にとって重要な職務であることを理解し、積極的に学ぶことができる。	授業への参加・態度	10%
合計			100%
補足事項			
<ul style="list-style-type: none"> ・本授業は面接授業を基本とするが、状況によってオンライン等で行う場合がある。 ・授業に関する質問は、直接またはWeb等で受け付け、Web上または授業の際に回答する。 			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「教育・保育の計画と評価の基本」 ・授業の進め方について確認する。 ・教育・保育における計画と評価の意義やカリキュラムの基礎理論を学ぶ。	面接授業	予習:教科書第1章を読んでおく。(2時間) 復習:授業を振り返り、重点と考えをまとめる。(2時間)
2回目	「教育・保育の計画と評価の基本」 ・教育課程・保育課程の変遷と社会的背景について学ぶ。 ・PDCAサイクルの理解と保育の質の向上について学ぶ。	面接授業	予習:教科書第1章を読んでおく。(2時間) 復習:授業を振り返り、重点と考えをまとめる。(2時間)
3回目	「幼稚園、保育所、認定こども園における教育・保育の計画」 ・教育・保育における全体的な計画と指導計画のつながりを理解する。	面接授業	予習:教科書第2章を読んでおく。(2時間) 復習:授業を振り返り、重点と考えをまとめる。(2時間)
4回目	「教育課程および全体的な計画等の編成の実際」 ・教育・保育の理念に基づいた編成について理解する。	面接授業	予習:教科書第3章を読んでおく。(2時間) 復習:授業を振り返り、重点と考えをまとめる。(2時間)
5回目	「教育課程および全体的な計画等の編成の実際」 ・教育課程・保育の全体的な計画の実際について学ぶ。	面接授業	予習:教科書第3章を読んでおく。(2時間) 復習:授業を振り返り、重点と考えをまとめる。(2時間)
6回目	「教育・保育の指導計画の作成にあたって」 ・指導計画の作成の基本的な考え方、内容、留意点等を理解する。	面接授業	予習:教科書第4章を読んでおく。(2時間) 復習:授業を振り返り、重点と考えをまとめる。(2時間)
7回目	「指導計画(長期的・短期的)の作成」 ・指導計画(長期的・短期的)について理解する。	面接授業	予習:教科書第5章を読んでおく。(2時間) 復習:授業を振り返り、重点と考えをまとめる。(2時間)
8回目	「指導計画の実際」 ・指導計画の重要性や基本の考え方を踏まえ、実際に指導計画を作成する。	面接授業	予習:教科書第6章を読んでおく。(2時間) 復習:授業を振り返り、重点と考えをまとめる。(2時間)
9回目	「指導計画の実際」 ・指導計画の重要性や基本の考え方を踏まえ、実際に指導計画を作成する。 ・模擬保育の準備と打ち合わせをする。	面接授業	予習:指導計画を作成する。(3時間) 復習:指導計画を完成させる。(2時間)
10回目	「指導計画の実際」 ・模擬保育を行う。	面接授業	予習:模擬授業の準備・練習を行う。(5.5時間) 復習:模擬保育を振り返り、評価する。(2時間)

11 回目	「指導計画の実際」 ・PDCA サイクルを用いて、模擬保育を振り返る。	面接授業	予習:指導計画と保育の質を高められるよう、改善点を明確にする。(2時間) 復習:授業を振り返り、重点と考えをまとめる。(2時間)
12 回目	「教育・保育の記録と省察」 ・教育・保育の記録と省察の意義について理解する。 ・記録の種類や作成について学ぶ。	面接授業	予習:教科書第7章を読んでおく。(2時間) 復習:授業を振り返り、重点と考えをまとめる。(2時間)
13 回目	「教育・保育の評価と改善」 ・教育・保育における評価と改善の重要性を学ぶ。	面接授業	予習:教科書第8章を読んでおく。(2時間) 復習:授業を振り返り、重点と考えをまとめる。(2時間)
14 回目	「指導計画(日案)の作成」 ・指導計画(日案)について理解し、子どもの育ちと保育者の配慮を考えながら、立案する。	面接授業	予習:指導計画(日案)について調べておく。(2時間) 復習:指導計画を作成する。(5時間)
15 回目	「指導計画(日案)の作成」 ・指導計画(日案)を完成させる。 ・自身で見直し、指導計画作成の留意点を明確にする。	面接授業	予習:指導計画を作成する。(2時間) 復習:指導計画を完成させる。(2時間)

科目(教職課程用)	保育の基礎的理解に関する科目
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)
教科書・参考書	<ul style="list-style-type: none"> ●教科書 ・宮川萬寿美編著(2019)『保育計画と評価 -豊富な例で1からわかる〈第2版〉』萌文書林 ●参考書 ・文部科学省(2017)『幼稚園教育要領』 ・厚生労働省(2017)『保育所保育指針』 ・内閣府・文部科学省・厚生労働省(2017)『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後で対応する。
備考・メッセージ	指導計画を立案し、内容を検討していく過程も大切な学びになる。自宅学習を有効に使い、課題に取り組むことを期待する。

講義科目名称：保育内容総論	授業コード：
英文科目名称：	ナンバリング：UC101

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期	1年	2単位	卒業：必修、保育士：必修	演習
担当教員				
安部 祥子				

授業概要	幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領における幼児教育・保育の基本と構造を理解し、子どもの発達や実態に即した保育の展開を学ぶ。子どもの生活を取り巻く社会背景、保育内容の歴史的変遷を学び、保育内容の基本的な考え方を理解する。これらを通して、子ども理解を深め、保育力を高める観察と、記録・保育計画・省察など保育者として必要な知識と技術を身に付けていく。
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	子どもにかかわる際の基本的な態度を身につけている。	授業内レポート	10%
確かな専門的知識や技能	保育において重要な専門用語や基本的な考え方を理解し、説明することができる。	定期試験	60%
コミュニケーション能力	他者と意見を交わし、互いに高め合うことができる。	グループワーク 授業での発表	10%
課題解決能力	保育内容に関する諸課題の解決を目指して取り組むことができる。	授業内レポート	10%
主体的に学ぶ力	子どもの発達を支える保育について、学習成果をもとに考えを述べることができる。 保育者に必要な専門性を理解し、意欲的に学習できる。	授業への参加・態度	10%
合計			100%

補足事項

- ・本授業は面接授業を基本とするが、状況によってオンライン等で行う場合がある。
- ・授業に関する質問は、直接またはWeb等で受け付け、Web上または授業の際に回答する。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「保育内容とは何か」 ・授業の進め方について確認する。 ・保育内容と保育の基本を学ぶ。	面接授業	予習：教科書 pp.3-21 を読んでおく。(2時間) 復習：授業を振り返り、重点と考えをまとめる。(2時間)
2回目	「保育内容の歴史的変遷」 ・保育内容の変遷を振り返りながら、保育内容を構成する原理や原則について理解する。	面接授業	予習：教科書 pp.22-35 を読んでおく。(2時間) 復習：授業を振り返り、重点と考えをまとめる。(2時間)
3回目	「子どもの発達の特性と保育内容」 ・幼稚園教育要領、保育所保育指針および幼保連携型認定こども園教育・保育要領(以下、指針・要領等)を基に、子どもの発達の特性を理解する。	面接授業	予習：教科書 pp.36-49 を読んでおく。(2時間) 復習：授業を振り返り、重点と考えをまとめる。(2時間)
4回目	「個と集団の発達と保育内容」 ・指針・要領等を基に、個と集団の発達を理解する。	面接授業	予習：教科書 pp.50-73 を読んでおく。(2時間) 復習：授業を振り返り、重点と考えをまとめる。(2時間)
5回目	「保育における観察と記録」 ・保育における観察の視点と記録の意義や記録と保育のつながりについて学ぶ。	面接授業	予習：教科書 pp.74-87 を読んでおく。(2時間) 復習：授業を振り返り、重点と考えをまとめる。(2時間)
6回目	「養護と教育が一体的に展開する保育」 ・幼児教育・保育における養護と教育の関係性を理解し、養護と教育が一体的に展開する保育について考える。	面接授業	予習：教科書 pp.88-100 を読んでおく。(2時間) 復習：授業を振り返り、重点と考えをまとめる。(2時間)
7回目	「環境を通して行う保育」 ・環境を通して行う教育・保育の意義を理解し、環境構成と保育の展開について考える。	面接授業	予習：教科書 pp.101-113 を読んでおく。(2時間) 復習：授業を振り返り、重点と考えをまとめる。(2時間)
8回目	「遊びによる総合的な保育」 ・遊びの本質を捉え、幼児教育・保育における遊びの実際や課題を考える。	面接授業	予習：教科書 pp.114-123 を読んでおく。(2時間) 復習：授業を振り返り、重点と考えをまとめる。(2時間)
9回目	「生活や発達の連続性に考慮した保育」 ・生活と発達の関係性を理解し、生活と発達の連続性を踏まえた保育を考える。	面接授業	予習：教科書 pp.124-135 を読んでおく。(2時間) 復習：授業を振り返り、重点と考えをまとめる。(2時間)
10回目	「家庭、地域、小学校との連携を踏まえた保育」 ・家庭、地域、小学校との連携について理解する。	面接授業	予習：教科書 pp.136-151 を読んでおく。(2時間) 復習：授業を振り返り、重点と考えをまとめる。(2時間)

11 回目	「乳児保育」 ・乳児保育の意義と、保育者として乳児保育に臨む基本的な姿勢について学ぶ。	面接授業	予習:教科書 pp.152-164 を読んでおく。(2時間) 復習:授業を振り返り、重点と考えをまとめる。(2時間)
12 回目	「長時間保育と保育の現代的な課題」 ・保育や子育て家庭の現状を理解し、それぞれの課題について考える。	面接授業	予習:教科書 pp.165-175 を読んでおく。(2時間) 復習:授業を振り返り、重点と考えをまとめる。(2時間)
13 回目	「特別な支援を必要とする子どもの保育」 ・特別な支援を必要とする子どもについて理解し、保育者の関わりや保育を考える。	面接授業	予習:教科書 pp.176-191 を読んでおく。(2時間) 復習:授業を振り返り、重点と考えをまとめる。(2時間)
14 回目	「多文化共生の保育」 ・多様な社会の現状と、子どもの人権を踏まえ、幼児期における多文化共生の保育について理解する。	面接授業	予習:教科書 pp.192-205 を読んでおく。(2時間) 復習:授業を振り返り、重点と考えをまとめる。(2時間)
15 回目	「授業の振り返りとまとめ」	面接授業	予習:教科書 pp.206-212 を読んでおく。(2時間) 復習:授業を振り返り、重点と考えをまとめる。(2時間)
16 回目	定期試験		定期試験に向けて復習する。(7.5時間)

科目 (教職課程用)	領域及び保育内容の指導法に関する科目
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	保育内容の指導法 (情報機器及び教材の活用を含む。)
教科書・参考書	<ul style="list-style-type: none"> ●教科書 ・佐藤哲也編(2018)『子どもの心によりそう 保育内容総論 (改訂版)』福村出版 ・文部科学省(2017)『幼稚園教育要領』 ・厚生労働省(2017)『保育所保育指針』 ・内閣府・文部科学省・厚生労働省(2017)『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後で対応する。
備考・メッセージ	15 回の授業全体を通して、学生に意見を求めたりグループ内での意見交換を行ったりしていく予定である。積極的な参加を期待する。

講義科目名称：保育内容演習 I (健康)	授業コード：
英文科目名称： Introduction to Childcare I (Health)	ナンバリング：CM202

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
後期	1年	1	選択	演習
担当教員				
中尾健一郎				

授業概要	<p>「領域『健康』に関する専門的事項」として「子どもと健康」で学んだ内容をベースに「保育内容『健康』の指導法」について、環境構成や教材等の実践例を参考に専門的事項や理論を踏まえた根拠に基づく指導ができるよう以下を目標にして知識や技術を学ぶ。</p> <p>①領域「健康」の指導における保育者の役割について理解する</p> <p>②生活習慣及び食育に関わる指導法について理解する</p> <p>③安全教育・救急対応について理解する</p> <p>④運動遊びの指導及び日常生活における身体活動について理解する</p> <p>⑤領域「健康」に関する指導場面を想定した保育を構想する方法を理解する</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
確かな専門的知識 や技能	<ul style="list-style-type: none"> ・生活習慣指導のポイントについて説明できる。 ・食育指導のポイントについて説明できる ・安全教育・救急対応のポイントについて説明できる ・運動遊び指導のポイントについて説明できる 	期末レポート 課題レポート	60% 20%
コミュニケーション能力			
課題解決能力			
主体的に学ぶ力	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者を目指す者として、健康を意識し積極的な学習ができる 	リフレクションカード 授業への参加・態度	10% 10%
合計			100%

補足事項
<ul style="list-style-type: none"> ・オンライン・オンデマンド配信授業については、課題提出で出席とみなす ・毎回、google classroom 等を使って、授業のポイント、意見質問、授業態度の自己評価をリフレクションカードとして提出すること ・課題レポートは授業内で回収し、意見・質問なども含めコメントは google classroom 等や授業内で行う。

・期末レポート 60%、課題レポート 20%、リフレクションカード 10%、授業への参加・態度 10%の割合で評価する

【面接授業における遅刻、早退、欠席について】

・授業開始 15 分までを遅刻とし、それ以降は欠席とする。また、早退については 75 分間授業を受けていない場合は欠席とする。遅刻 3 回で 1 回の欠席としてカウントする

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1 回目	「領域「健康」の指導における保育者の役割について」 本科目の位置づけ、到達目標や授業内容、評価方法について学ぶ 領域「健康」の指導における保育者の役割について学ぶ	面接授業：教室での講義 (オンライン等の対応可能)	予習：シラバスに目を通しておく(0.25 時間) 復習：配布資料を参考に領域「健康」の指導における保育者の役割について復習する(0.5 時間)
2 回目	「生活習慣に関わる指導について」 乳幼児の基本的な生活習慣の指導について学ぶ	面接授業：教室での講義 (オンライン等の対応可能)	予習：基本的な生活習慣について調べる(0.25 時間) 復習：配布資料を参考に生活習慣に関わる指導について復習する(0.5 時間)
3 回目	「食育に関わる指導について」 乳幼児の食育の指導について学ぶ	面接授業：教室での講義 (オンライン等の対応可能)	予習：食育について調べる(0.25 時間) 復習：配布資料を参考に食育に関わる指導について復習する(0.5 時間)
4 回目	「安全教育・救急対応について」 乳幼児の安全教育と救急対応について学ぶ	面接授業：教室での講義 (オンライン等の対応可能)	予習：安全教育について調べる(0.25 時間) 復習：配布資料を参考に安全教育・救急対応について復習する(0.5 時間)
5 回目	「運動遊びに関わる指導について①」 遊びとしての運動の重要性について学ぶ	面接授業：教室での講義 (オンライン等の対応可能)	予習：運動遊びについて調べる(0.25 時間) 復習：配布資料を参考に遊びとしての運動の重要性について復習する(0.5 時間)
6 回目	「運動遊びに関わる指導について②」 乳幼児にふさわしい運動指導の在り方について学ぶ	面接授業：教室での講義 (オンライン等の対応可能)	予習：運動指導について調べる(0.25 時間) 復習：配布資料を参考に運動指導の在り方について復習する(0.5 時間)

7回目	「運動遊びに関わる指導について③」 幼児期運動能力検査による運動能力の測定 評価方法の実践を通して、子どもの運動能 力の特徴について学ぶ	面接授業：体 育館での実技	予習：子どもの運動能力の 現状について調べる(0.25 時間) 復習：配布資料を参考に運 動能力検査の方法について 復習する(0.5時間)
8回目	「運動遊びに関わる指導について④」 ネイチャーゲームの体験を通して自然環境 を利用した遊びについて学ぶ	面接授業：体 育館及び屋外 での実技	予習：自然環境でどのよう な遊びを体験してきたか振 り返る(0.25時間) 復習：ネイチャーゲームの ポイントについてまとめる (0.5時間)
9回目	「運動遊びに関わる指導について⑤」 移動系の運動遊びの体験を通して環境構成 と指導のポイントについて学ぶ	面接授業：体 育館の実技	予習：体験したことのある 鬼ごっこ遊びを振り返る (0.25時間) 復習：移動系の運動遊びの ポイントについてまとめる (0.5時間)
10回目	「運動遊びに関わる指導について⑥」 操作系の運動遊びの体験を通して環境構成 と指導のポイントについて学ぶ	面接授業：体 育館の実技	予習：体験したことのある 用具を使った遊びについて 振り返る(0.25時間) 復習：操作系の運動遊びの 環境構成と指導のポイント についてまとめる(0.5時 間)
11回目	「運動遊びに関わる指導について⑦」 平衡系の運動遊びの体験を通して環境構成 と指導のポイントについて学ぶ	面接授業：体 育館の実技	予習：体験したことのある 鉄棒、平均台、跳び箱等を 使った遊びを振り返る (0.25時間) 復習：平衡系の運動遊びの 環境構成と指導のポイント についてまとめる(0.5時 間)
12回目	運動遊びの計画と発表① サーキット遊びをグループで計画する	面接授業：教 室での講義 (オンライン 等の対応可 能)	予習：サーキット遊びにつ いて調べておく(0.25時間) 復習：サーキット遊びの留 意点についてまとめる(0.5 時間)

13回目	運動遊びの計画と発表② 企画したサーキット遊びを発表し、評価する	面接授業：体育館の実技	予習：企画した内容を確認しておく(0.25時間) 復習：実施した内容を振り返り、改善点を見つける(0.5時間)
14回目	運動遊びの計画と発表③ 運動会種目をグループで計画する		予習：運動会種目について調べておく(0.25時間) 復習：運動会企画の留意点についてまとめる(0.5時間)
15回目	運動遊びの計画と発表③ 企画した運動会種目の内容を発表し、評価する		予習：企画した内容を確認しておく(0.25時間) 復習：実施した内容を振り返り、改善点を見つけておく(0.5時間)

科目（教職課程用）	領域及び保育内容の指導法に関する科目
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	保育内容の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）
教科書・参考書	教科書：必要に応じて資料を配布する 参考書：乳幼児教育・保育シリーズ 保育内容 健康 吉田伊津美 砂川史子 松寄洋子編著 光生館 ：幼児期における運動発達と運動遊びの指導 杉原 隆／河邊貴子編著 ミネルヴァ書房 ：0～5歳児の発達にあった楽しい運動遊び 柳澤秋孝著 ナツメ社 ：幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 幼児期運動指針
履修条件	
履修上の注意	実技の際は、保育専攻指定ジャージと体育館シューズを着用の上、運動ができるように準備すること オンライン等の授業についてはPC、タブレット（パソコン）等を準備し、対応できるようにすること
オフィスアワー	質問等は授業の前後に教室にてまたは google classroom 等で受け付ける
備考・メッセージ	保育者を目指す者として自分の健康にも関心も持ち、身体を動かす習慣を身につけ、健康維持に努めること

講義科目名称：保育内容演習 I（表現音楽活動）	授業コード：
英文科目名称：	ナンバリング：CM302

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期	2年	1単位	選択必修	演習
担当教員				
友廣 憲子				

授業概要	<p>①わらべうたの実践、手や身体を使ったあそびの実践や食べ物が出てくるあそびの実践を学習し技術を修得する。</p> <p>②リトミックの意義と年齢に応じた実践を学び理解していく。</p> <p>③受講者同士グループでの発表を行う。</p> <p>④保育現場に即した表現力を養うことを目標とする。</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	リトミック活動を通し感性を育成することができる。	・授業内	10%
確かな専門的知識 や技能	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの年齢に応じた活動を考案し実践に向けた知識と技術を身に付けることができる。 ・あそびの実践を学習し理解することができる。 	・実技試験	70%
		・授業参加・意欲	10%
コミュニケーション能力			
課題解決能力			
主体的に学ぶ力	・与えられた課題に積極的に取り組む姿勢を身に付けることができる。	・授業参加・意欲	10%
合計			100%

補足事項	
<ul style="list-style-type: none"> ・授業に関する質問は各授業の前後に受け付けるが、必要に応じて melly でも受け付け、web 上あるいは授業回で答える。 ・対面授業を中心に実施し、zoom やオンデマンドで行う場合がある。 	

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1回目	オリエンテーション	授業の概要説明とねらいを説明する。	復習:本日の授業の振り返りをする。(0.5時間) 予習:次回の内容を準備する。(0.5時間)
2回目	音楽教育の変遷	ダルクローズのリトミックについて	復習:本日の授業の振り返りをする。(0.5時間) 予習:次回の内容を準備する。(0.5時間)
3回目	音楽教育の変遷	オルフ・コダーイの教育について	復習:本日の授業の振り返りをする。(0.5時間) 予習:歌のメロディーを練習しておくこと。(0.5時間)
4回目	あそびの実践	たのしい子どものうたあそびの中から手や身体を使ったあそびの実践を学習する。	復習:本日の授業の振り返りをする。(0.5時間) 予習:歌のメロディーを練習しておくこと。(0.5時間)
5回目	あそびの実践	たのしい子どものうたあそびの中から身体を使ったあそびの実践を学習する。	復習:本日の授業の振り返りをする。(0.5時間) 予習:歌のメロディーを練習しておくこと。(0.5時間)
6回目	あそびの実践	たのしい子どものうたあそびの中からわらべうたの実践を学習する。	復習:本日の授業の振り返りをする。(0.5時間) 予習: :流れをつかんでおくこと。(0.5時間)
7回目	あそびの実践	たのしい子どものうたあそびの中から動物がでてくる実践を学習する。	復習:本日の授業の振り返りをする。(0.5時間) 予習:発表の準備をする。(0.5時間)
8回目	あそびの実践	たのしい子どものうたあそびの中から手を使ったあそびの実践を学習する。	復習:本日の授業の振り返りをする。(0.5時間) 予習:次回の内容を準備する。(0.5時間)
9回目	リトミック	たのしい子どものうたあそびの中から食べ物を使った手遊び リトミックの実践	復習:本日の授業の振り返りをする。(0.5時間) 予習:ドラムジカの内容を各イメージしておくこと。

			(0.5時間)
10回目	リトミック グループ活動	年齢に応じたリトミック活動 グループ活動	復習:本日の授業の振り返りを する。(0.5時間) 予習:次回の内容を準備する。 (0.5時間)
11回目	リトミック グループ活動	たのしい子どものうたあそびの中から年齢 に応じたリトミック活動 グループ活動	復習:本日の授業の振り返りを する。(0.5時間) 予習:次回の内容を準備する。 (0.5時間)
12回目	リトミック グループ活動	年齢に応じたリトミック活動 グループ活動	復習:本日の授業の振り返りを する。(0.5時間) 予習:次回の内容を準備する。 (0.5時間)
13回目	リトミック グループ活動	年齢に応じたリトミック活動 グループ活動	復習:本日の授業の振り返りを する。(0.5時間) 予習:次回の内容を準備する。 (0.5時間)
14回目	リトミック グループ活動	自分たちの発表を見比べる	復習:本日の授業の振り返りを する。(0.5時間) 予習:次回の内容を準備する。 (0.5時間)
15回目	グループ活動	実技試験に向けた準備と練習	復習:本日の授業の振り返りを する。(0.5時間) 予習:次回の内容を準備する。 (0.5時間)
16回目	実技試験		

科目(教職課程用)	保育内容の指導法に関する科目(情報機器及び教材の活用を含む)
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教科書: たのしい子どものうたあそび(同文書院) 幼児のための音楽教育(教育芸術者) 参考書:
履修条件	
履修上の注意	グループ活動に積極的に参加しましょう。
オフィスアワー	授業の開始前・開始後に対応する。

備考・メッセージ	
----------	--

講義科目名称：保育内容演習Ⅰ（表現造形活動）	授業コード：31133 32135 33136
英文科目名称：	ナンバリング CM303

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期	2年	2単位	選択 幼稚園教 論：必修	演習 単独
担当教員				
陣内 敦				

授業概要	<p>①保育現場における造形活動のねらいと内容を理解する 造形活動による幼児の発達について理解する 造形活動における人間関係の構築について考察する</p> <p>②幼児の造形の目的を理解する 幼児の造形の喜びを理解する 望ましい幼児の造形活動を計画する</p> <p>③造形活動を活性化させる保育者の役割を考察する 年齢に応じた事前準備を理解する 対象児と場に応じた環境構成を理解する</p> <p>④幼児の思考の展開を促す支援内容を理解する 幼児の安全な活動を支える支援方法を理解する 子ども達の状況や発達に望ましい造形活動のあり方を考察する</p> <p>⑤保育教材の役割を理解する 保育教材の考案法を理解する 保育教材を用いた保育実践をおこなう</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
確かな専門的知識 や技能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児の造形活動を計画する方法を習得する ・ 幼児の造形活動を支える事前準備と環境構成について理解する ・ 幼児の造形活動に対する保育者の支援内容（指導法）を修得する ・ 幼児の造形活動についての重要性を理解する 	<ul style="list-style-type: none"> 作品の成果 作品の成果 作品の成果 作品の成果 	<ul style="list-style-type: none"> 20% 20% 20% 20%
コミュニケーション能力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育の様々な活動を支える造形の役割を体験する 	学修の取り組み	20%
課題解決能力			

主体的に学ぶ力			
			合計 100%
補足事項			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	はじめに 手づくりおもちゃ① 子どもとの造形活動のねらいと内容についてのイントロダクション 身近な材料(紙コップ)で手づくりおもちゃを制作する「紙コップのおもちゃ」 ※課題提出方法ならびに提出日は別途指示する	面接授業または Melly 課題 配信	予習：造形のねらいと内容について、自分なりの考えを持つ（2時間） 復習：造形の意義について確認する（2時間）
2回目	小さな自然観察 近所を散策し、子どもの視点で自然を観察する。草花や虫などを写真に撮り、感想をまとめる「小さな自然観察レポート」 ※課題提出方法ならびに提出日は別途指示する	面接授業または Melly 課題 配信	予習：子どもの自然に触れる様子についてイメージしておく（2時間） 復習：自然の豊かさに関心を持つ（2時間）
3回目	手づくりおもちゃ② 丸いうちわの材料を用いて手づくりおもちゃを制作する「いないいないばあ！or へんし〜ん！」 ※課題提出方法ならびに提出日は別途指示する	面接授業または Melly 課題 配信	予習：子どもたちが遊ぶ様子をイメージしていく（2時間） 復習：子どもの発達と遊び方について考える（2時間）
4回目	手づくりおもちゃ③ 「紙コップのおもちゃ」の発表 紙皿を用いて手づくりおもちゃを制作する「皿コプター」 ※課題提出方法ならびに提出日は別途指示する	面接授業または Melly 課題 配信	予習：子どもたちが遊ぶ様子をイメージしていく（2時間） 復習：子どもの発達と遊び方について考える（2時間）
5回目	手づくりおもちゃ④ 「小さな自然観察レポート」の掲示発表 ジャバラに折った画用紙を用いて手づくりおもちゃを制作する「パクパクおもちゃ」 ※課題提出方法ならびに提出日は別途指示する	面接授業または Melly 課題 配信	予習：子どもたちが遊ぶ様子をイメージしていく（2時間） 復習：子どもの発達と遊び方について考える（2時間）
6回目	フィールドマップ① 自分の思い出の場所や現在の生活地域の地図を制作する「フィールドマップ」	面接授業または Melly 課題 配信	予習：周辺の風景を概観しておく（2時間） 復習：学生それぞれの感性

			を認め合う（2時間）
7回目	フィールドマップ② 自分の思い出の場所や現在の生活地域の地図を制作する「フィールドマップ」	面接授業または Melly 課題 配信	予習：場の中にある思い出や想いを記録する（2時間） 復習：子どもの場に対する感性を想像する（2時間）
8回目	想像あそび 切り紙とらくがきを組み合わせたあそび「これなんだ」 ※課題提出方法ならびに提出日は別途指示する	面接授業または Melly 課題 配信	予習：子どもの発想についてイメージしてみる（2時間） 復習：子どもの想像性について考える（2時間）
9回目	粘土あそび 「フィールドマップ」の発表 粘土あそびをして、子どもの心の動きを知る ※課題提出方法ならびに提出日は別途指示する	面接授業または Melly 課題 配信	予習：子どもの頃の粘土遊びの様子を思い出す（2時間） 復習：創造性や癒しの大切さについて考える（2時間）
10回目	手づくりおもちゃ⑤-1 ダンボールとプラネジを用い手作りおもちゃを制作する「くねくねペープサート」 ※課題提出方法ならびに提出日は別途指示する	面接授業または Melly 課題 配信	予習：これからおこなう保育の場面を想定する（2時間） 復習：子どもとの語らいの中での遊びの展開を考える（2時間）
11回目	手づくりおもちゃ⑤-2 ダンボールとプラネジを用い手作りおもちゃを制作する「くねくねペープサート」 ※課題提出方法ならびに提出日は別途指示する	面接授業または Melly 課題 配信	予習：これからおこなう保育の場面を想定する（2時間） 復習：子どもとの語らいの中での遊びの展開を考える（2時間）
12回目	造形材料探索 小石と木っ端の収集	面接授業または Melly 課題 配信	予習：子どもが様々な物を収集する好奇心についてイメージしておく（2時間） 復習：自然物の形や手触りや形のおもしろさに関心を持つ（2時間）
13回目	石ころアート 収集した小石にペイント「石ころアート」 ※課題提出方法ならびに提出日は別途指示する	面接授業または Melly 課題 配信	予習：収集した物をしっかりと見つめ、想像性を働かせる（2時間） 復習：子どもの想像性について考える（2時間）

14回目	木の工作① 収集した木っ端を用いて工作する「木の工作」	面接授業または Melly 課題 配信	予習：収集した物をしっかりと見つめ、想像性を働かせる（2時間） 復習：子どもの想像性について考える（2時間）
15回目	木の工作② 「木の工作」 まとめ ※課題提出方法ならびに提出日は別途指示する	面接授業または Melly 課題 配信	予習：保育に携わる心の準備をおこなう（2時間） 復習：自らの造形支援方法について反省をおこなう（2時間）

科目（教職課程用）	領域及び保育内容の指導法に関する科目
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	保育内容の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）
教科書・参考書	課題ごとに、必要な参考資料を提示。また、手順を解説したプリントを配布。 参考書：幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領
履修条件	特になし
履修上の注意	自らの創造力を活性化させるよう、感性を磨くことに心掛けること。
オフィスアワー	授業時間前後に教室で質問を受け付ける。任意に研究室を訪ね質問することも可能である。
備考・メッセージ	課題ごとの材料と道具は、一括購入する物と各自準備する物との別があり、事前連絡に留意すること。 また、課題ごとに設けた作品提出期限を厳守すること。

講義科目名称：保育内容演習 I（人間関係）	授業コード：21352 22354
英文科目名称：	ナンバリング：CM401

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
後期	2 学年	1 単位	選択	演習
担当教員				
藤野 正和				

授業概要	<p>この授業では、人間関係の基盤を築いていく乳幼児期において、子どもたちがいかにして人や環境とかがわりながら、人間関係を形成していき、その中でどのような体験を経験することが必要なのかということについて考えてもらいます。また子どもは、乳幼児期からの他者とのかかわりやつながりを通して、さまざまな知識や技能、態度を身につけていきます。このような子どもの育ちを支える保育者としての専門的な知識や関わり、環境構成の視点を養うことを目指します。この授業が終了した際に、受講者のみなさんが次のような知識、技能、態度を身につけることを目標とします。</p> <p>①乳幼児期の教育及び保育に関する基本的な知識を説明できる。</p> <p>②乳幼児期の「人間関係」に関連する子どもの発達について説明できる。</p> <p>③乳幼児期の子どもと他者（子ども・保育者）との関係性を「人間関係」の視点で考察することができる。</p> <p>④子どもの遊びから子どもの他者とのやりとりにおける心情・意欲・態度について整理・考察することができる。</p> <p>⑤乳幼児期の人間関係の形成を援助する保育者としての自己理解と向上心を持って課題に取り組むことができる。</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
確かな専門的知識や技能	子どもの人間関係を中心とした発達についての基本的な知識を説明できる	定期試験	60
コミュニケーション能力	乳幼児期の子どもと他者（子ども・保育者）との関係性を「人間関係」の視点で考察することができる。	ディスカッション	10
課題解決能力	子どもの遊びから子どもの他者とのやりとりにおける心情・意欲・態度について整理・考察することができる。	課題・レポート	20
主体的に学ぶ力	乳幼児期の人間関係の形成を援助する保育者としての自己理解と向上心を持って課題に取り組むことができる。	参加・取り組み	10
合計			100%

補足事項

授業に関する質問は、直接のほか Google classroom でも受けつけ、Web 上または授業回で答える
 本授業は、定期試験 60%、ディスカッション 10%、課題・レポート 10%、参加・取り組み 10%の割合で評価する。

事例作成は、Microsoft の Word を使用して作成し、提出すること。

各授業で出された課題について、授業終了時に回収します。また、課題の内容については、授業内で取り扱います。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1 回目	オリエンテーション 事例を通した学び（作成）①	面接授業	予習：教科書を通読しておく。(1 時間) 復習：配布された課題に取り組む。(1 時間)
2 回目	これからの子どもたちに求められる保育と「人間関係」	面接授業 オンライン 授業対応可	予習：教科書 P10~39 を通読しておく。(1 時間) 復習：授業内で配布された資料で復習する。(1 時間)
3 回目	子どもの人間関係をめぐる課題と将来像	面接授業 オンライン 授業対応可	予習：教科書 P40~50 を通読しておく。(1 時間) 復習：授業内で配布された資料で復習する。(1 時間)
4 回目	子どもの人間関係①—おおむね 0 歳から 3 歳未満—	面接授業 オンライン 授業対応可	予習：教科書 P51~73 を通読しておく。(1 時間) 復習：授業内で配布された資料を復習する。(1 時間)
5 回目	子どもの人間関係①—おおむね 0 歳から 3 歳未満—	面接授業 オンライン 授業対応可	予習：教科書 P51~73 を通読しておく。(1 時間) 復習：授業内で配布された資料で復習する。(1 時間)
6 回目	子どもの人間関係②—おおむね 3 歳以上—	面接授業 オンライン 授業対応可	予習：教科書 P74~87 を通読しておく。(1 時間) 復習：授業内で配布された資料で復習する。(1 時間)
7 回目	子どもの人間関係②—おおむね 3 歳以上—	面接授業 オンライン 授業対応可	予習：教科書 P74~87 を通読する。(1 時間) 復習：授業内で配布された資料で復習する。(1 時間)
8 回目	遊びと人間関係の発達	面接授業 オンライン 授業対応可	予習：教科書 P88~99 を通読する。(1 時間) 復習：授業内で配布された資料で復習する。(1 時間)
9 回目	事例を通した学び（作成）②	面接授業 オンライン	予習：指定された課題に取り組む。(1 時間)

		授業対応可	復習：指定された課題に取り組む(1時間)
10 回目	保育者に求められるもの	面接授業 オンライン 授業対応可	予習：教科書 P100~112 を通読する。 (1時間) 復習：授業内で配布された資料で復習する。(1時間)
11 回目	保育者に求められる援助の視点① —自立に向けて—	面接授業 オンライン 授業対応可	予習：教科書 P113~135 を通読する。 (1時間) 復習：授業内で配布された資料で復習する。(1時間)
12 回目	保育者に求められる援助の視点② —協同に向けて—	面接授業 オンライン 授業対応可	予習：教科書 P136~152 を通読する。 (1時間) 復習：授業内で配布された資料で復習する。(1時間)
13 回目	事例を通じた学び(検討)③	面接授業	予習：指定された課題に取り組む。(1時間) 復習：課題の振り返りを行う。(1時間)
14 回目	人間関係を結ぶ保育	面接授業 オンライン 授業対応可	予習：教科書 P153~170 を通読する。 (1時間) 復習：授業内で配布された資料で復習する。(1時間)
15 回目	授業全体の総括	面接授業 オンライン 授業対応可	予習：教科書 P200~212 を通読する。 (1時間) 復習：授業内で配布された資料で復習する。(1時間)
16 回目	定期試験		

科目(教職課程用)	領域及び保育内容の指導法に関する科目
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)
教科書・参考書	教科書：保育内容 人間関係[第2版](新時代の保育双書) 濱名 浩(編集) みらい 参考資料：幼稚園教育要領, 保育所保育指針, 幼保連携型認定こども園教育・保育要領とその解説
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業時間後の時間もしくは教員の空き時間等に対応します(研究室)
備考・メッセージ	授業を受講するにあたり、他の受講者の権利を阻害する行為、もしくは受講する学生としての規範を逸脱する行為を行った場合は厳しく対応を行います。

講義科目名称：保育内容演習 I（環境）	授業コード：
英文科目名称：	ナンバリング：CM304

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期	2年	1単位	卒：選択、保：選必、幼：必修	演習
担当教員				
黒崎 朗				

授業概要	<p>① 幼児にとっての環境のとらえ方、環境の変化と幼児の生活、変化した環境と保育問題について加地意識を持つことができる。</p> <p>② 環境との関わり方や保育者に必要な資質と配慮について理解し、授業設定の知識や能力の素地を育てる。</p> <p>③ 自然のものを使った遊びや作品づくり、動物の飼育や植物の栽培を通して自然現象への興味関心を深める。</p> <p>④ 幼児期の環境活動の重要性を理解し、将来の保育者として主体的に学び続ける意欲を養う。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	・将来の保育者として誠意を持って幼児に関わる心構えを育てる。		
確かな専門的知識や技能	・幼児の置かれている環境について理解し、教育的観点から望ましい園環境を理解することができる。 ・身近な環境に親しませ、自然の様々な事象に興味を持たせる技能を身につける。	・定期試験 ・課題の提出物	60% 20%
コミュニケーション能力	・様々な意見・アイデアを取り入れながら、グループ活動に積極的に取り組むことができる。		
課題解決能力	・幼児の置かれている現状をつかみ解決に向けた取り組みを話し合う。	・レポート	20%
主体的に学ぶ力	・主体的に実習や演習に関わろうとする意欲を養う。		
合計			100%
補足事項			

- ・オンライン授業実施の時は、Web を使用し、授業外の質問も Web で受け付ける
- ・野草の名前、科学遊びの素材の利用など PC を活用し検索する。
- ・春の草花遊びの作品、野菜の栽培、科学遊びの作成物の写真は、Web 上でデータを提出する

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1 回目	オリエンテーション 授業の進め方についての説明 夏野菜を栽培について	面接授業	予習：シラバスを見て、講義の流れを把握しておく（1 時間） 復習：プランターで栽培する作物を決め、準備する
2 回目	（第 1 章） 領域「環境」の意義 幼児が「環境とかかわる」ことの意味と意義について学ぶ	面接授業	予習：幼児の発達と環境の関係について調べておく（1 時間） 復習：配布資料に目を通し、理解できなかったところを調べる（1 時間）
3 回目	（第 2 章） 幼児の発達と環境 幼児期の発達特性を踏まえての環境がもつ意味について	面接授業	予習：保育内容の 5 分野について確認しておく（1 時間） 復習：配布資料に目を通し、理解できなかったところを調べる（1 時間）
4 回目	実習 自然に学ぶ 春の草花で遊ぼう 春の野原の散策・昆虫等の観察と採集	校外授業	予習：春の野草や昆虫についてネットで調べておく（1 時間） 復習：春の草花で遊ぶ（2 時間）
5 回目	（第 3 章） 幼児の発達と自然環境① 保育における動植物の役割	面接授業	予習：飼育栽培活動における保育者の役割について調べておく（1 時間） 復習：配布資料に目を通し、理解できなかったところを調べる（1 時間）
6 回目	（第 3 章） 幼児の発達と自然環境② 保育における動植物の役割・動植物の生き方、育ち方を知ろう	面接授業	予習：飼育栽培活動における保育者の役割について調べておく（1 時間） 復習：配布資料に目を通し、理解できなかったところを調べる（1 時間）
7 回目	（第 4 章） 幼児の発達と園の環境① 園内環境が発達に及ぼす影響について考える	面接授業	予習：園内環境保育者の役割と専門性について調べておく（1 時間） 復習：配布資料に目を通し、理解できなかったところを調べる（1 時間）
8 回目	（第 4 章） 幼児の発達と園の環境② 環境による教育の実践について	面接授業	予習：七夕について調べておく（1 時間） 復習：配布資料に目を通し、理解で

	七夕について		きなかったところを調べる (1時間)
9回目	(第5章) 人的環境としての友だち・保育者の役割 保育者の役割と専門性について考える	面接授業	予習：保育者の役割と専門性について調べておく(1時間) 復習：配布資料に目を通し、理解できなかったところを調べる(1時間)
10回目	(第7章) 好奇心・興味・関心を育てる環境① 園児に好奇心や関心を持たせる方について作成した作品をもとに話し合う	面接授業	予習：作成した遊具の提示法について考えておく(1時間) 復習：配布資料に目を通し、理解できなかったところを調べる(1時間)
11回目 12回目	演習 「科学遊び」をしよう 紙、ゴム、ストロー、プラスチック容器、(ペットボトル)を使った遊びを考え遊具を作成する	面接授業	予習：「科学遊び」の内容を考えておく(1時間) 復習：「科学遊び」の作品を完成させる(2時間)
13回目	(第6章) 幼児の発達と物的環境の役割 園内の物的環境とその働きについて理解する	面接授業	予習：遊びが幼児の発達に与える影響を調べておく(1時間) 復習：配布資料に目を通し、理解できなかったところを調べる(1時間)
14回目	(第7章) 好奇心・興味・関心を育てる環境② 園児に好奇心や関心を持たせる方についていろいろな素材をもとに話し合う	面接授業	予習：栽培活動のまとめ方について考えておく(1時間) 復習：配布資料に目を通し、理解できなかったところを調べる(1時間)
15回目	(第8章) これからの幼児教育と課題 幼児を取り巻く問題から保育活動の見直し	面接授業	予習：幼稚園教育実習への抱負についてまとめておく(1時間) 復習：教科書や配布資料に目を通し、定期試験に備える(1時間)
	定期試験		

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	『保育内容・環境 第三版』横山 文樹編著 同文書院
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後に
備考・メッセージ	

講義科目名称：保育内容演習Ⅰ（言葉）	授業コード：
英文科目名称：	ナンバリング：CM203

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
後期	1	2	卒業：選択 幼稚園教諭：必修	演習
担当教員				
新井 悦子				

授業概要	<p>①言葉の機能・言葉の獲得・発達の基礎を作るものを踏まえ、幼児教育において育みたい資質・能力を理解する。</p> <p>②幼稚園教育要領・保育所保育指針の領域「言葉」のねらいや内容について理解を深める。</p> <p>③幼児の発達に即した初語の頃までの発達の特徴、乳幼児期の発達の特徴および乳幼児期の言葉の発達過程について概観し、主体的・対話的な保育を構想する方法を身に付ける。</p> <p>④幼児期の発達や学びの過程を理解し、遊びの中での関わり方・活動の中での関わり方を学ぶ。</p> <p>⑤絵と言葉の豊かな世界（絵本、紙芝居）、劇や物語（パネルシアター、エプロンシアター、ペープサート等）、想像や言葉のリズム（素話・言葉遊び）を学ぶ。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
確かな専門的知識や技能	<p>①言葉の役割、領域「言葉」について理解ができる。</p> <p>②子どもの言葉の発達と保育者の関わりについて理解ができる。</p> <p>③言葉を育む児童文化財について知識を持ち、素話などの大切さを理解し、発表できる。</p>	<p>定期試験 小レポート</p> <p>個人での発表</p>	<p>60%</p> <p>10%</p> <p>10%</p>
コミュニケーション能力	④グループ内で協力をし、手遊び、シアター系、劇遊び等の児童文化財の発表ができる。	<p>グループディスカッション</p> <p>グループでの発表</p>	<p>5%</p> <p>10%</p>
課題解決能力			
主体的に学ぶ力	⑤子どもの言葉を育てる環境、児童文化財の大切さを理解し、積極的な学習ができる	授業への参加・態度	5%
合計			100%
補足事項			
<p>・本授業では、定期試験 60%、レポート 10%、グループディスカッション 5%、発表 20%、授業への参加・態度 5%の割合で評価する。</p> <p>・提出物は次回以降の授業にて返却するものもある。</p>			

授業計画	授業内容	実施形態	予習・復習
1回目	「オリエンテーション」 ：領域「言葉」のねらいと内容 言葉とは何か	面接授業	復習 領域「言葉」のねらいと内容に関する学習内容の確認(1時間) 予習 新生児の持つ力と話し言葉出現以前の行動の確認(2時間)
2回目	「言葉の発達 ①初語のころまで」 新生児の持つ力を知り、話しことば出現以前の行動を知る	面接授業	復習 新生児の持つ力と話し言葉出現以前の行動に関して振り返る(2時間) 予習 幼児期前期の言葉の発達の特徴についてと、子どもの発語意欲をどのように育てるか考える(2時間)
3回目	「言葉の発達 ②幼児期前期」 幼児期前期の言葉の発達の特徴を知り、子どもの発語意欲をどのように育てるか話し合う	面接授業	復習 幼児期前期の言葉の発達についてと、子どもの発語意欲をどのように育てるかに関する学習内容の確認(2時間) 予習 幼児期後期の言葉の特徴について知る。(2時間)
4回目	「言葉の発達 ③幼児期後期」 幼児期後期の言葉の発達の特徴を知り、子どもの発語意欲をどのように育てるか話し合う	面接授業	復習 幼児期後期の言葉の発達についてと、子どもの発語意欲をどのように育てるかに関する学習内容の確認(2時間) 予習 言葉の発達を支える環境について調べる。(2時間)
5回目	「言葉の発達 ④言葉の背景にあるもの」 言葉の発達を支える環境について考える	面接授業	復習 言葉の発達を支える環境について振り返る。(2時間) 予習 子どもとの信頼関係を強める共感の言葉について考える。(2時間)
6回目	「子どものことばと保育者」 子どもとの信頼関係を強める共感の言葉について考える	面接授業	復習 子どもとの信頼関係を強める共感の言葉について振り返る。(2時間) 予習 特別な配慮の必要な子どもについて調べる。(2時間)
7回目	「特別な配慮の必要な子ども」 援助の仕方や対応の仕方について考える 「情報機器等の有効的な活用法」	面接授業	復習 援助の仕方や対応の仕方と情報機器等の有効的な活用法について振り返る。(2時間) 予習 わらべうたや手遊びなどについて調べる。(2時間)
8回目	「歌や触れ合いを楽しむ遊び」 わらべうたや手遊びなどが育てるものについて理解する	面接授業	復習 わらべうたや手遊びなどが育てるものについて振り返る。(2時間) 予習 絵本や紙芝居にはどのようなものがあるか調べる(2時間)
9回目	「児童文化と内容 ①絵と言葉の世界」 絵本や紙芝居は何を育てるか考える	面接授業	復習 絵本や紙芝居が育てるものについて振り返る。(2時間) 予習 パネルシアター、エプロンシアター、ペープサート、人形劇とは何か調べる。(2時間)
10回目	「児童文化と内容②劇や物語」 パネルシアター、エプロンシアター	面接授業	復習 パネルシアター、エプロンシアター、ペープサート、人形劇の実演について

	一、ペープサート、人形劇の実演技術を身につける（発表する）		振り返る。(2時間) 予習 素話・言葉遊びについて調べる。素話を覚える。(3時間)
11回目	「児童文化と内容③想像や言葉のリズム」 素話・言葉遊びの教育的効果について整理し、発表する	面接授業	復習 素話・言葉遊びの教育的効果について振り返る。(2時間) 予習 劇遊びについて調べる。(2時間)
12回目	「児童文化と内容④ごっこの世界から劇遊びへ」 ごっこ遊びから劇遊びへ発展する過程について学ぶ	面接授業	復習 ごっこ遊びから劇遊びへ発展する過程を振り返る。(2時間) 予習 グループでの劇遊びの内容について考える。(2時間)
13回目	「児童文化と内容⑤劇遊び発表会の準備」 グループでの劇遊び発表会の練習と準備	面接授業	復習 劇遊びの練習について振り返る。(3時間) 予習 劇遊びの練習(2時間)
14回目	「児童文化と内容⑥劇遊び発表会の実施」 グループでの劇遊び発表会の実施	面接授業	復習 全グループの劇遊びの発表を振り返る。(2時間) 予習 これまでの学習をおおまかに振り返る。(2時間)
15回目	「復習・総まとめ」 これまで学習してきた内容の確認 学習課題	面接授業	復習 これまで学習してきた内容を振り返る。(3時間)
16回目	定期試験		

科目（教職課程用）	領域および保育内容の指導法に関する科目
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	保育内容の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）
教科書・参考書	テキスト：購入『保育内容・言葉』 太田光洋 編著 同文書院（前期の「子どもと言語」と同じ教科書） 参考書：必要に応じて資料を配布 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定子ども園教育・保育要領
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後で対応します。
備考・メッセージ	個人での発表、グループでの討議・発表において、積極的な参加を期待します。

講義科目名称：乳児保育 1	授業コード：31252 32251
英文科目名称：	ナンバリング：CM204

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
後期	1	1	必修	講義
担当教員				
滝川 由香里				

授業概要	<ol style="list-style-type: none"> 1. 乳児保育の意義・目的と歴史的変遷及び役割等について理解する。 2. 保育所、乳児院等多様な保育の場における乳児保育の現状と課題について理解する。 3. 3歳未満児の発育・発達を踏まえた保育の内容と運営体制について理解する。 4. 乳児保育における職員間の連携・協働及び保護者や地域の関係機関との連携について理解する
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	乳児の心や体の育ちを丁寧に理解しようと努めることができる。	レポート	10%
確かな専門的知識 や技能	<ul style="list-style-type: none"> ・3歳未満時における乳児保育の役割と機能を理解できる。 ・3歳未満児の発育・発達の個人差を理解し、それに応じた知識・技術に基づく援助や関わりについて述べることができる。 	定期試験 小テスト	30% 10%
コミュニケーション能力	ディスカッションに積極的に参加することができる。	グループディスカッション及び発表	5%
課題解決能力	<ul style="list-style-type: none"> ・乳児保育の現状と課題について自分の考えを述べることができる。 ・乳児保育の環境づくりについて述べるができる。 	レポート 定期試験	10% 30%
主体的に学ぶ力	子どもの発達や学びの過程、子育て支援等に関する様々な事柄に常に問題意識を持ちながら積極的に学ぶことができる。	授業態度 (振り返りシート含む)	5%
合計			100%
補足事項			

・本授業では、定期試験 60%、小テスト 10%、レポート 20%、グループディスカッションおよび発表 5%、授業参加の意欲・態度 5%で評価する。

・状況に応じて、授業をオンライン等で行う場合があるが、その場合の授業中の質問は、チャット内で受け付ける。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1 回目	乳児保育の意義・目的と歴史の変遷について <ul style="list-style-type: none"> ・乳児保育の意義・目的と歴史の変遷 ・乳児保育の役割と機能 ・乳児保育における養護及び教育 	オンライン等で行う場合がある	予習：テキスト p4～を読み、日本で乳児の保育が始まった経緯について調べておくこと（2 時間） 復習：0 歳児の保育内容について整理すること（2 時間）
2 回目	乳児保育の現状と課題 <ul style="list-style-type: none"> ・保育をめぐる近年の新制度や法改正 ・乳児保育への関心の高まりと背景 ・子育て世代を取り巻く社会的状況 ・乳児保育と子育て支援、社会の変容とこどもの育ちの実態 ・乳児保育の重要性と保育所の子育て支援 	オンライン等で行う場合がある	予習：テキスト p20～を読み、子育て世代が抱える諸問題について調べておくこと（2 時間） 復習：乳児保育のニーズが高まった背景について整理すること（2 時間）
3 回目	保育所における乳児保育 <ul style="list-style-type: none"> ・保育所の位置づけや役割 ・保育所における乳児保育の現状と課題 	オンライン等で行う場合がある	予習：テキスト p32～を読み保育所の役割について確認しておくこと（2 時間） 復習：保育所における乳児保育の課題に関連する記事を収集すること（2 時間）
4 回目	保育所以外の児童福祉（乳児院等）における乳児保育 <ul style="list-style-type: none"> ・児童福祉施設について ・乳児院の現状と課題 	オンライン等で行う場合がある	予習：テキスト p44～を読み児童福祉施設の種類について調べておくこと（2 時間） 復習：乳児院で生活する子どもを支える保育士の役割について整理すること（2 時間）
5 回目	家庭的保育・小規模保育等における乳児保育 <ul style="list-style-type: none"> ・家庭的保育・小規模保育の位置づけ ・家庭的保育・小規模保育における課題と 	オンライン等で行う場合がある	予習：テキスト p58～を読み家庭的保育・小規模保育の施設の特徴について理解しておくこと（2 時間）

	展望		復習：家庭的保育・小規模保育における保護者との対応の課題を挙げ整理すること（2時間）
6回目	3歳未満児とその過程を取り巻く環境と子育て支援の場 ・求められる乳児保育のあり方 ・子ども理解から保護者理解へ ・地域子育て支援拠点における支援の実際	オンライン等で行う場合がある	予習：テキスト p70～を読み保育所・保育者に対する保護者の多様なニーズに関する記事を収集しておくこと（2時間） 復習：現代に求められる乳児保育についての考えをまとめておくこと（2時間）
7回目	3歳未満児の生活と環境 ・乳児保育における生活の場としての環境 ・生活の場としての環境の整え方	オンライン等で行う場合がある	予習：テキスト p82～を読み乳児が生活するにふさわしい環境についてまとめておくこと（2時間） 復習：子どもとの個別的・応答的なかわりの際の丁寧な声掛けについてまとめておくこと（2時間）
8回目	3歳未満児の遊びの環境 ・環境と通して行う保育 ・各年齢における遊びの環境の整え方と安全配慮	オンライン等で行う場合がある	予習：テキスト p92～を読み環境を通して行う保育や遊びの重要性についてまとめておくこと（2時間） 復習：3歳未満児の生活と遊びの際の環境構成・安全への配慮について整理すること（2時間）
9回目	3歳以上児の保育に移行する時期の保育 ・0歳から1歳児の移行の検討 ・1歳から2歳児の移行の検討 ・2歳から3歳児の移行の検討	オンライン等で行う場合がある	予習：テキスト p106を読み、乳児保育の前提について確認しておくこと（2時間） 復習：乳児保育の中の「移行」における子ども及び保護者に対する具体的な配慮について整理すること（2時間）
10回目	3歳未満児の発育・発達をふまえた保育者	オンライン等	予習：テキスト p120～を

	<p>による援助やかかわり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育所保育士深海底に見る保育の特性と援助の実際 ・ 0歳児保育の発達過程と保育者の関わり・配慮事項 ・ 1歳以上3歳未満児の発達過程と保育者の関わり・配慮事項 	<p>で行う場合がある</p>	<p>読み、保育所保育指針を参照に3歳未満児の保育の原則について内容をまとめておくこと（2時間）</p> <p>復習：3歳未満児の保育を展開する上で留意すべき点を整理すること（2時間）</p>
11回目	<p>3歳未満児の発育・発達を踏まえた保育における配慮</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育全般に関わり配慮事項 ・ 健康状態の把握・安全管理 ・ 言語習得と音環境 	<p>オンライン等で行う場合がある</p>	<p>予習：テキスト p132～を読み、保育全般にかかわる配慮事項についてまとめておくこと（2時間）</p> <p>復習：保育中における子どもの健康状態を把握する視点を掲げた一覧表を作成すること（2時間）</p>
12回目	<p>乳児保育の計画・記録・評価とその意義</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育の計画・実践 ・ 実践記録から評価へ 	<p>オンライン等で行う場合がある</p>	<p>予習：テキスト p144～を読み、なぜ乳児保育における計画が柔軟に対応する必要があるのかを考えておくこと（2時間）</p> <p>復習：保育におけるPDCAサイクルを再度確認すること（2時間）</p>
13回目	<p>職員間の連携・協働</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 乳児保育における保育者の業務と役割 ・ チームで進める保育 ・ 子どもや保護者、職員の信頼関係構築のために 	<p>オンライン等で行う場合がある</p>	<p>予習：テキスト p154～を読み、乳児保育における保育者の専門性について自分の考えをまとめておくこと（2時間）</p> <p>復習：子どもや保護者、職員との信頼関係構築のために、またチームで保育を行う上で必要な事は何かについて考えを整理する事（2時間）</p>
14回目	<p>保護者との連携・協働</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育所における子育て支援に関する基本 ・ 保護者への支援の実際 	<p>オンライン等で行う場合がある</p>	<p>予習：テキスト p166～を読み、実習依頼施設の子育て支援活動について調べておくこと（2時間）</p>

			復習：保育所における保護者への支援について整理すること（2時間）
15回目	自治体や地域の関係機関などとの連携・協働 ・保育所と地域の社会資源との連携 ・児童虐待防止対策の強化	オンライン等で行う場合がある	予習：テキスト p178～を読み、地域の社会資源について調べておくこと（2時間） 復習：子どもを取り巻く関係諸機関との連携方法についてまとめておくこと（2時間）
16回目	定期試験		

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教科書：新 基本保育シリーズ⑤ 乳児保育 I・II 中央法規 参考書：幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定子ども園教育・保育要領
履修条件	
履修上の注意	必ず予習を行い、不明な点については積極的に質問する事。
オフィスアワー	授業時間前後に教室で質問を受けつける。
備考・メッセージ	乳児保育では、細やかな知識・観察や配慮が必要です。 生まれて間もない子どもと保護者を支える専門職となるため、積極的に学んでください。

講義科目名称：乳児保育Ⅱ	授業コード：41154 42155
英文科目名称：	ナンバリング：CM402

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期	2年次	1	保育士：必修 卒業：選択	演習
担当教員				
戸田 恵理子				

授業概要	<ol style="list-style-type: none"> 1. 3歳未満児の発育・発達の過程や特性を踏まえた援助や関わりの基本的な考え方について理解する。 2. 養護及び教育の一体性を踏まえ、3歳未満児の子どもの生活や遊びと保育の方法及び環境について、具体的に理解する。 3. 乳児保育における配慮の実際について、具体的に理解する。 4. 上記1～3を踏まえ、乳児保育における計画の作成について、具体的に理解する。
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	・豊かな愛情と感性にあふれ、情緒の安定を保ちながら、乳幼児への関わりを持つことができる。	・課題①	10%
確かな専門的知識や技能	・3歳未満児の発育・発達を踏まえた生活と遊びの援助について具体的な理解ができる。 ・子どもの心身の健康・安全と情緒の安定を図るための配慮等について理解できる。	・確認テスト ・課題②	30% 10%
コミュニケーション能力	・乳児保育における複数担当制を理解し、グループ活動においてメンバーと協力しながら積極的に取り組むことができる。	・グループワーク	10%
課題解決能力	・演習を通して、反省・課題点を抽出しながら、改善できる方法・手段を考えることができる。	・レポート ・課題④	20% 10%
主体的に学ぶ力	・学習内容ごとに課題意識を持ちながら積極的に学ぶことができる。	・課題③	10%
合計			100%

補足事項

確認テスト (30%) 課題 (演習含む) (40%) グループワーク (10%) レポート (20%) を総合して評価する。

※レポートは、Melly での提出を求める場合がある。授業前後には Melly の確認を必ず行うこと

- ① 資料・課題はオンラインで実施する前に配布します。保育者としての自分を認識するため予習・復習をして受講して下さい。
- ② 対面授業時に説明及び自己採点と解釈をします。定期試験後に解答を開示します。
- ③ オンライン授業時は、カメラは基本的に「ON」、発言時以外は、マイクは「OFF」にして下さい。
- ④ 課題やレポートは Word や Excel を必要に応じて活用して下さい。

授業開始から 15 分以前の早退及び授業時間中 15 分以上離席した際は欠席扱い、授業開始から 15 分経過した遅刻 3 回で欠席 1 回とみなします。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1 回目	「乳児保育の基本」 1. 子どもと保育者との関係性について 2. 乳児 (0 歳) と 1 歳以上 3 歳未満児の保育内容	面接授業 (オンライン等の対応可能)	予習; テキスト第 1 章を読んでおく (1 時間) 復習: 授業を振り返り、重要事項及び内容をまとめる (2 時間)
2 回目	「子どもの生活の流れ (0 歳児クラス)」 1. 0 歳児のデイリープログラムと特徴 2. 乳児にふさわしい生活	面接授業 (オンライン等の対応可能)	予習; テキスト第 2 章を読んでおく (1 時間) 復習: 授業を振り返り、重要事項及び内容をまとめる (2 時間)
3 回目	「子どもの保育環境 (0 歳児クラス)」 1. 指針からみる保育環境 2. 家庭的保育の必要性	面接授業 (オンライン等の対応可能)	予習; テキスト第 3 章を読んでおく (1 時間) 復習: 授業を振り返り、重要事項及び内容をまとめる (2 時間)
4 回目	「子どもの援助の実際 (0 歳児クラス)」 1. 0 歳児の生活の援助の実際 2. 0 歳児の遊びの援助の実際	面接授業 (オンライン等の対応可能)	予習; テキスト第 4 章を読み、発達のみちすじシートに必要な事項を加筆しておく (1 時間) 復習: 授業を振り返り、重要事項及び内容をまとめる (2 時間)
5 回目	「子どもの生活の流れ (1 歳児クラス)」 1. デイリープログラムからみる 1 歳児クラスの生活の流れ 2. 朝の視診について	面接授業 (オンライン等の対応可能)	予習; テキスト第 5 章を読み、視診を行う際の留意点について確認しておく (1 時間) 復習: 授業を振り返り、重要事項及び内容をまとめる (2 時間)
6 回目	「子どもの保育環境 (1 歳児クラス)」 1. 環境の整備	面接授業 (オンライン)	予習; テキスト第 6 章を読み、発達のみちすじ

	2. 手作り玩具のデザイン	等の対応可能)	ートに必要な事項を加筆しておく(1時間) 復習: 手作り玩具制作デザインシート及び材料の準備を行う(2時間)
7回目	「子どもの援助の実際(1歳児クラス)」 1. 生活や遊びの援助 2. 基本的な生活習慣の自立	面接授業 (オンライン等の対応可能)	予習: テキスト第7章を読んでおく(1時間) 復習: 授業を振り返り、重要事項及び内容をまとめる(2時間)
8回目	「子どもの生活の流れ(2歳児クラス)」 1. デイリープログラムからみる 2歳児クラスの生活の流れ 2. 2歳児の発達課題と保育者のかかわり方	面接授業 (オンライン等の対応可能)	予習: テキスト第8章を読み2歳児クラスにふさわしい活動内容を考える(1時間) 復習: 授業を振り返り、2歳児の指導案を立案する(2時間)
9回目	「子どもの保育環境(2歳児クラス)」 1. 玩具のそろえ方とポイント 2. 手指の発達をうながす遊び	面接授業 (オンライン等の対応可能)	予習: テキスト第9章を読み、発達のみちすじシートに必要な事項を記入する(1時間) 復習: 手作り玩具制作デザインシートをもとに制作の続きを行う(2時間)
10回目	「子どもの援助の実際(2歳児クラス)」 1. 手指の発達をうながす遊びと生活習慣 2. 2歳児の育みたい資質・能力について	面接授業 (オンライン等の対応可能)	予習: テキスト第10章を読み、発達のみちすじシートに必要な事項を記入する(1時間) 復習: 授業を振り返り、重要事項及び内容をまとめる(2時間)
11回目	「子どもの心身の健康・安全と情緒の安定を図るため配慮」 1. 子どもの健康支援 2. 危機管理における保育者の配慮と子どもの安全教育	面接授業 (オンライン等の対応可能)	予習: テキスト第11章を読んでおく(1時間) 復習: 授業を振り返り、重要事項及び内容をまとめる(2時間)
12回目	「集団での生活における配慮」 1. 集団保育と個々への援助 2. 保育者同士と他職種との連携 3. 保護者との連携	面接授業 (オンライン等の対応可能)	予習: テキスト第12章を読んでおく(1時間) 復習: 授業を振り返り、重要事項及び内容をまとめる(2時間)
13回目	「環境の変化や移行に対する配慮」 1. 移行とは何か 2. 環境の変化や移行に対する配慮	面接授業 (オンライン等の対応可能)	予習: テキスト第13章を読んでおく(1時間) 復習: 授業を振り返り、重要事項及び内容をまとめる(2時間)
14回目	「乳児保育における指導計画」 1. 長期的な指導計画と短期的な指導計画 2. 個別的な指導計画と集団の計画	面接授業 (オンライン等の対応可能)	予習: テキスト第14章～を読んでおく(1時間) 復習: 授業を振り返り、重要事項及び内容をまと

			める (2時間)
15 回目	「学習のまとめ」 確認テストを通して、学習内容の理解を深める	面接授業 (オンライン 等の対応可 能)	予習；これまでの授業を 振り返り、3歳未満児ク ラスでの実習に関する 具体的イメージを持つ (1 時間) 復習：確認テストの内容 をもとに、指導計画内容 の加筆修正を行い再提 出する (2時間)
16 回目	定期試験	なし	

科目 (教職課程用)	
教育職員免許法施行規 則に定める科目区分ま たは事項等	
教科書・参考書	教科書：新 基本保育シリーズ⑮ 乳児保育 I・II 参考書 『幼稚園教育要領』文部科学省 2017 年 『保育所保育指針』厚生労働省 2017 年 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』内閣府・文部科学省・厚生労働 省 2017 年
履修条件	乳児保育 I を履修していること
履修上の注意	
オフィスアワー	授授業、会議、実習巡回等が入っていない場合は随時対応します。
備考・メッセージ	・次回の授業内容を予習・確認し、演習内容等に応じた準備 (服装・身なり・ 用具準備等) し受講する ・専門用語等の意味等を調べておく

講義科目名称：特別支援教育概論	授業コード：4 2 3 5 5 4 3 3 5 5
英文科目名称：	ナンバリング：CM4 0 3

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
後期	2 学年	2 単位	選択	演習
担当教員				
藤野 正和				

授業概要	<p>この授業では、障害のある子どもおよび保育における気になる子どもについて専門的な知識と理解、援助の方法について身につけていきます。また、障害のある子どもの保護者に対する理解と支援や、障害のある子どもを取り巻く社会・医療・福祉・教育のつながりについても取り扱っていきます。この授業が終了した際に、受講者のみなさんが次のような知識、技能、態度を身につけることを目標とします。</p> <p>①障害児の教育や保育についての基本的な理念を説明できる。 ②障害のある子どもについての専門的な知識および援助方法を説明できる。 ③障害のある子どもの活動および環境構成について計画・記録を行うことができる。 ④障害のある子どもに関連する機関、家庭、園との協働について説明できる。 ④障害のある子どもとその保護者に対して積極的な関心を向けることができる。</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
確かな専門的知識 や技能	・ 障害のある子どもや保護者についての基本的な知識および理解、援助について説明できる。	定期試験	70
コミュニケーション能力			
課題解決能力	・ 障害のある子ども・その家族への支援・援助について効果的な方法を考えることができる。	課題	20
主体的に学ぶ力	・ インクルーシブ保育・特別支援教育について積極的に関心を向けることができる。	レポート	10
合計			100%
補足事項			
<p>授業に関する質問は、直接のほか Google classroom でも受けつけ、Web 上または授業回で答える。 本授業は、定期試験 70%、課題 20%、レポート 10%の割合で評価する。</p>			

課題に取り組む際は、スマホ・PC・タブレットを積極的に活用して行うこと。

各授業で出された課題について、授業終了時に回収します。また、課題の内容については、授業内で取り扱います。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	障害児保育・特別支援教育の基本	面接授業 オンライン授業 対応可	予習:事前に配布された課題に取り組む。(1時間) 復習:授業内で配布された資料を復習する。(1時間)
2回目	子どもの育ちと発達のアセスメント	面接授業 オンライン授業 対応可	予習:事前に配布された課題に取り組む。(1時間) 復習:授業内で配布された資料で復習する。(1時間)
3回目	知的障害の理解と保育での援助	面接授業 オンライン授業 対応可	予習:事前に配布された課題に取り組む。(1時間) 復習:授業内で配布された資料で復習する。(1時間)
4回目	自閉症スペクトラム障害の理解と保育での援助	面接授業 オンライン授業 対応可	予習:事前に配布された課題に取り組む。(1時間) 復習:授業内で配布された資料で復習する。(1時間)
5回目	注意欠如多動性障害の理解と保育での援助	面接授業 オンライン授業 対応可	予習:事前に配布された課題に取り組む。(1時間) 復習:授業内で配布された資料で復習する。(1時間)
6回目	学習障害の理解と保育での援助	面接授業 オンライン授業 対応可	予習:事前に配布された課題に取り組む。(1時間) 復習:授業内で配布された資料で復習する。(1時間)
7回目	コミュニケーション障害の理解と保育での援助	面接授業 オンライン授業 対応可	予習:事前に配布された課題に取り組む。(1時間) 復習:授業内で配布された資料で復習する。(1時間)
8回目	肢体不自由(運動障害)の理解と保育での援助	面接授業 オンライン授業 対応可	予習:事前に配布された課題に取り組む。(1時間) 復習:授業内で配布された資料で復習する。(1時間)
9回目	視覚障害・聴覚障害の理解と保育	面接授業 オンライン授業 対応可	予習:事前に配布された課題に取り組む。(1時間) 復習:授業内で配布された資料を復習する。(1時間)

10 回目	特別な配慮を要する子どもの理解と保育での援助①	面接授業 オンライン授業対応可	予習:事前に配布された課題に取り組む。(1時間) 復習:授業内で配布された資料で復習する。(1時間)
11 回目	特別な配慮を要する子どもの理解と保育での援助②	面接授業 オンライン授業対応可	予習:事前に配布された課題に取り組む。(1時間) 復習:授業内で配布された資料で復習する。(1時間)
12 回目	個々の発達を促す環境構成/子ども同士の関わりと育ちあい/個別の支援計画の作成	面接授業 オンライン授業対応可	予習:事前に配布された課題に取り組む。(1時間) 復習:授業内で配布された資料を復習する。(1時間)
13 回目	家族支援と小学校・専門機関との連携	面接授業 面接授業 オンライン授業対応可	予習:事前に配布された課題に取り組む。(1時間) 復習:授業内で配布された資料で復習する。(1時間)
14 回目	保育現場における障害児保育・特別支援教育の実際	面接授業 オンライン授業対応可	予習:事前に配布された課題に取り組む。(1時間) 復習:授業内で配布された課題に取り組む。(1時間)
15 回目	全体の総括	面接授業	予習:事前に配布された課題に取り組む。(1時間) 復習:授業内で配布された資料で復習する。(1時間)
16 回目	定期試験		

科目 (教職課程用)	教育の基礎的理解に関する科目
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解
教科書・参考書	参考書:よくわかる障害児教育[第4版]石部元雄(編集),上田征三(編集),高橋実(編集),柳本雄次(編集) ミネルヴァ書房
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業時間後の時間もしくは教員の空き時間等で対応します(研究室)
備考・メッセージ	授業を受講するにあたり、他の受講者の権利を阻害する行為、もしくは受講する学生としての規範を逸脱する行為を行った場合は厳しい対応を行います。

講義科目名称：社会的養護Ⅱ	授業コード：
英文科目名称：	ナンバリング：CM305

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期	2	2	卒：選択、保：必修	演習
担当教員				
西 司				

授業概要	<p>社会的養護方法など基本的な内容について理解し、社会的養護のもとで生活する子どもの保育者として必要な知識、考え方を養う。①子どもの権利擁護の基本を理解し、支援方法の具体的方法・考え方を理解する。②施設養護と家庭養護の生活特性を理解し、支援のあり方について考える力を養う。③保育士として社会的養護施設で働く意義、地域とのかかわりの重要性を理解し、「新しい社会的養育ビジョン」に基づいて、今後の社会的養護の課題と方向性について考える力を養う。この3つを基本柱とした授業を進める。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	施設養護における心のケアとは何かについて理解できる。	小テスト	5%
確かな専門的知識や技能	社会的養護におけるソーシャルワークの視点・実践力をつける学びの方法を理解できる。	小テスト定期試験	5% 60%
コミュニケーション能力			
課題解決能力	与えられた課題に対して、学習したことが活かされ、適切に対応することができる。	課題レポート	20%
主体的に学ぶ力	聴く意識・意見発表・質問等積極的な学習ができる。	授業への参加・態度	10%
合計			100%
補足事項			
本授業では、定期試験 60%、レポート 20 パーセント、小テスト 10 パーセント、授業への参加・態度 10%の割合で評価する。			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1 回目	講義のポイントと進め方について	対面授業	
2 回目	社会的養護の基本原則、現状と課題の大筋を理解させ、学習目的を共有する。	対面授業	予習：配布資料を読む (2h) 以下予習は毎回同様

3回目	子どもの権利擁護の基本を理解する	対面授業	復習：子どもの権利養護について振返る（2h）
4回目	子どもの権利擁護を図る取組みと支援の理解	対面授業	復習：子どもの権利養護について振返る（2h）
5回目	社会的養護の下で生活する子どもの特徴を理解し、支援する際の留意点を考える。	対面授業	復習：子どもの理解の仕方について振返る（2h）
6回目	日常生活支援の必要性について理解する。	対面授業	復習：日常生活支援はなぜ必要か振返る（2h）
7回目	社会的養護の子どもの自立について考える。	対面授業	復習：日常生活支援はなぜ必要か振返る（2h）
8回目	前半のまとめ講義と小テスト	対面授業	前半講義の振返り（2h）
9回目	家庭養護と施設養護のメリット・デメリットを理解する。養育里親について理解する。	対面授業	復習：施設・家庭養護の違いを振返る（2h）
10回目	施設内での子どもの行動上の問題等について保育士はどう対応したらよいかを考える	対面授業	復習：専門性とは何かについて振返る（2h）
11回目	ソーシャルワーク（S・W）の視点を学ぶ。	対面授業	復習：S・Wにおける支援について振返る（2h）
12回目	これからの社会的養護としての家庭支援のあり方について理解を深める。	対面授業	復習：家庭支援とはどういうことか振返る（2h）
13回目	「新しい社会的養護のビジョン」に基づいて、今後の社会的養護の課題と方向性を考えることができる。	対面授業	復習：新ビジョンに基づく取り組みについて考える。（2h）
14回目	後半のまとめ講義と小テスト	対面授業	後半講義の振返り（2h）
15回目	全体まとめ講義と課題レポート	対面授業	レポート作成（4h）
16回目	定期試験		

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	社会的養護Ⅱ 中央法規出版、別途資料を配布する。
履修条件	
履修上の注意	指定された座席で受講すること。
オフィスアワー	授業の前後に教室で質問を受け付ける。
備考・メッセージ	授業は毎回 PowerPoint を使って、配布資料により進めます。 社会的養護に関する社会の情勢等に関心をもって、学校で学んだこととの関連性をしっかり考えてほしい。

講義科目名称：子育て支援	授業コード：
英文科目名称：	ナンバリング：CM306

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
後期	2年	1単位		演習
担当教員				
花城 暢一、澤田 須賀子				

授業概要	<p>授業では、以下の事項を踏まえ、保育相談支援を担う保育者に求められる専門的な知識や技能を様々な演習を通して習得することを目標とする。</p> <p>①保護者に対する相談・助言、情報提供等の支援について、その専門的な特性と展開について具体的に理解する。</p> <p>②保育士の行う子育て支援について、様々な場面や対象に即した支援の内容と方法及び技術を、実践事例等を通して具体的に理解する。</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	保育者に求められる役割や資質について理解を深めることができる。	レポート課題	定期試験 60% レポート・事例検討・グループ協議 30% 学習に取り組む姿勢 10%
確かな専門的知識や技能	保育相談支援に必要な方法・技術についての理解を深めることができる。	事例検討 定期試験	
コミュニケーション能力	子どもや保護者等とのコミュニケーションについて理解を深めることができる。	レポート課題 定期試験	
課題解決能力	事例分析等を用いて保育相談支援の具体的展開について理解を深めることができる。	事例検討 定期試験	
主体的に学ぶ力	保育者として社会生活上の諸問題に関心を高めることができる。	定期試験 グループ討議	
出席			受験要件
合計			100%
補足事項			

- 授業内で実施するレポート課題・事例検討（30%）
- 定期試験（60%）
- 授業全体を通じた学習に取り組む姿勢（10%）を総合して評価を行う。

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1回目	オリエンテーション	講義のねらいと進め方についての	予習：シラバスを読んで授業内容を確認する 復習：配布資料を読む
2回目	保育士の行う子育て支援の特性1	子どもの保育とともに行う保護者の支援	予習：保育士の役割について考察する 復習：配布資料を読む
3回目	保育士の行う子育て支援の特性2	日常的・継続的な関わりを通じた保護者との相互理解と信頼関係の形成	予習：保育者の役割について考察する 復習：配布資料を読む
4回目	保育士の行う子育て支援の特性3	保護者や家庭の抱える支援のニーズへの気づきと多面的な理解	予習：保護者が抱える生活課題について考える 復習：配布資料を読む
5回目	保育士の行う子育て支援の特性4	子ども・保護者が多様な他者と関わる機会や場の提供	予習：子育て支援のネットワークについて考察する 復習：配布資料を読む
6回目	保育士の行う子育て支援の展開1	子ども及び保護者の状況・状態の把握	予習：保育者に求められる援助の視点について考察する 復習：配布資料を読む
7回目	保育士の行う子育て支援の展開2	支援計画と環境構成、実践・記録・評価・カンファレンス	予習：保育者に求められる援助の視点について考察する 復習：配布資料を読む
8回目	保育士の行う子育て支援の展開3	職員間の連携・協働、社会資源の活用と自治体・関係機関や専門職との連携・協働	予習：多職種との連携について考察する 復習：配布資料を読む
9回目	保育士の行う子育て支援と実際1	保育所等における支援、地域の子育て家庭に対する支援	予習：保育所等における子育て支援の実際について調べておく。 復習：配布資料をもとに本日の授業振り返る
10回目	保育士の行う子育て	環境を活用した子育て支援	予習：保育所等の保育環境

	支援とその実際2		について調べておく。 復習：配布資料をもとに本日の授業を振り返る。
11回目	保育士の行う子育て支援とその実際3	障害のある子ども及びその家庭に対する支援 特別な配慮を要する子ども及びその家庭に対する支援	予習：配慮を必要とする子どもについて実習経験を振り返る。 復習：配布資料をもとに本日の授業を振り返る。
12回目	保育士の行う子育て支援とその実際4	子ども虐待の予防と対応 要保護児童等の家庭に対する支援	予習：子どもの虐待や要保護児童等についての情報を可能な範囲で調べておく。 復習：配布資料をもとに本日の授業を振り返る。
13回目	保育士の行う子育て支援とその実際5	多様な支援ニーズを抱える子育て家庭の理解	予習：地域の社会資源について調べておく。 復習：配布資料をもとに本日の授業を振り返る。
14回目	保育士の行う子育て支援とその実際6	文書・行事等を活用した子育て支援 送迎時対応・園内でのトラブル対応について	予習：実習を振り返り、実習園での文書活用、保護者対応についてまとめておく。 復習：配布資料をもとに本日の授業を振り返る。
15回目	子育て支援と保育者	授業の振り返りとまとめ	予習：いままでの資料を復習する。 復習：配布資料をもとに本日の授業を振り返る。
16回目	定期試験		

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	配布資料：参考資料をその都度配布します
履修条件	
履修上の注意	原則、指定された座席で受講すること（座の移動を希望する場合はご相談下さい） 授業時間のうち、15分以上退室すると欠席扱いとなります

オフィスアワー	授業、会議、実習巡回、出張等が入っていない場合は随時対応します
備考・メッセージ	授業の出欠確認は出席カード（感想記入シート等）を活用して実施します

講義科目名称：保育相談	授業コード：
英文科目名称：	ナンバリング：UC303

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
後期	2年	2単位		講義
担当教員				
座間味 愛理				

授業概要	<p>現代の日本では、都市化による地域の変化、女性の社会進出に伴う家族の在り方の変化、核家族や少子化など保育をとりまく社会環境は大きく変わり、「子育て支援」への関心が高まっている。保育者はそのような社会背景を理解し、子ども理解と子育てに関わる親への支援、地域との連携、保育者のメンタルヘルスなどについて学んでいく必要がある。本講義では保育者の資質として必要な教育相談（カウンセリングマインド）の必要性について理解し、保育実践の今日的課題に向き合うための基本的知識、子育てに関する教育相談（カウンセリング）理論・技法・応用について学ぶ。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
確かな専門的知識や技能	<ul style="list-style-type: none"> ・保育、教育相談の意義を理解し、幼児理解と支援、カウンセリングマインドの重要性について説明できる ・カウンセリングマインドを用いた子どもの理解と支援を言語化できる 	ケースシートの提出	50%
コミュニケーション能力	<ul style="list-style-type: none"> ・保育現場で必要とする協働する態度をもち、課題に取り組む意欲を維持できる 	授業後の課題提出	20%
課題解決能力	<ul style="list-style-type: none"> ・カウンセリングマインドを用いた子どもの課題理解と保育者の役割について考え、適切な解決方法を述べることができる 	ケースシートの提出	20%
主体的に学ぶ力	<ul style="list-style-type: none"> ・他者の意見を参考に自分の考えを再構築（修正・追加）することができる 	授業への参加態度	10%
合計			100%

補足事項

- ・ 奇数回（1, 3, 5, 7, 9, 11, 13, 15）に当たる授業は対面授業、偶数回（2, 4, 6, 8, 10, 12, 14）にあたる授業はオンデマンド配信授業とする。（変更する場合がある）
- ・ 授業に関する質問は直接または Google class で受け付け、以降の授業回または Google class で回答する。
- ・ Google class にて配信されたオンデマンド音声授業は履修者が必要な際に復習できる。
- ・ 評価は、課題シート 5 枚の提出 70%、コメントに対するフィードバック 10%、授業内課題の提出 30%とする。
- ・ 課題シートは 授業内回収とし、当日の 17 時まで受け付ける。（Google class にて提出の場合は写真で提出）
- ・ オンデマンド配信された内容は、履修者が復習できるよう閲覧可能な形態とする。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1 回目	授業の目的、進め方、評価について説明 保育・教育相談、カウンセリングマインドとは何か（第1章）	対面授業	予習：教科書 pp. 10～17 （2時間） 復習：カウンセリングマインドの定義をまとめる（1時間）
2 回目	発達理解と相談・支援 保育・教育相談を行うための発達理解 （第2章）	オンデマンド 配信	予習：発達段階の整理（1時間） 復習：教科書 pp. 18-31 の内容をまとめる（2時間）
3 回目	親子の関係づくり 保護者への対応ー子育て支援の視点から（第3章）	対面授業	予習：教科書 pp. 32-46 の用語を調べる（2時間） 復習：教科書 pp162-177（2時間）
4 回目	子ども理解のための発達理論とカウンセリング的アプローチ（第5章）	オンデマンド 配信	予習：誰かに話を聞いてもらいたいと思う時のエピソードを振り返ってノートに記入する（1時間） 復習：教科書 pp. 61-71 の内容をまとめる（2時間）
5 回目	仲間同士のいざこざの理解と対応 カウンセリングマインド 事例A ケースシートの書き方・シート①提出	対面授業	予習：誰かに話を聞いてもらえた時の感情を振り返る（1時間）

			復習：ケースシートの仕上げ、教科書 pp. 72-85 の内容をまとめる（3時間）
6回目	仲間同士のいざこざ FB	オンデマンド 配信	予習：子どもの頃のケンカについて振り返りノートにまとめる（1時間） 復習：ケースシートの修正・教科書 pp. 110-124 の内容をまとめる（3時間）
7回目	仲間に入れない子の理解とタイプ カウンセリングマインド 事例B ケースシート②の提出	対面授業	予習：教科書 130-133 をまとめる（1時間） 復習：ケースシートの仕上げ・教科書 pp. 99-109 の内容をまとめる（3時間）
8回目	仲間に入れない子 FB カウンセリングマインドとは 「万引きと過食」	オンデマンド 配信	予習：教科書 130-133 をまとめる（1時間） 復習：ケースシートの修正・教科書 pp. 126-129 の内容をまとめる（3時間）
9回目	すぐに暴力を振るう子どもの理解 カウンセリングマインド 事例C ケースシート③の提出	対面授業	予習：教科書 134-137 をまとめる（1時間） 復習：ケースシートの仕上げ（3時間）
10回目	すぐに暴力を振るう子ども FB 「保護者との信頼関係、立場の違い」	オンデマンド 配信	予習：教科書 134-137 をまとめる（1時間） 復習：ケースシートの修正・内容をまとめる（3時間）
11回目	不登園の子ども理解 システムアプローチ 事例理解D ケースシート④提出	対面授業	予習：教科書 138-141 をまとめる（1時間） 復習：ケースシートの仕上げ（3時間）
12回目	不登園の子ども FB 「子どもを褒める時と叱る時の配慮」	オンデマンド 配信	予習：教科書 138-141 をまとめる（1時間） 復習：ケースシートの修正・内容をまとめる（3時間）
13回目	文化の違いをもつ子の理解	対面授業	予習：教科書 158-161 を

	「保育環境への働きかけ」事例理解E ケースシート⑤提出		まとめる（1時間） 復習：ケースシートの仕上げ （3時間）
14回目	「文化の違いをもつ子」FB 保育学生の異文化体験インタビュー	オンデマンド 配信	予習：教科書 158-161 を まとめる（1時間） 復習：ケースシートの修正・ 内容をまとめる（3時間）
15回目	授業のまとめ 保育者の専門性	対面授業	予習：これまでのケースシ ート内容と対応を整理する （2時間） 復習：点数の低かったケー スシートについてオンデマ ンド配信で振り返る（5時 間）
16回目	定期試験		

科目（教職課程用）	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	小田豊・秋田喜代美 編『子どもの理解と保育・教育相談』（株）みらい 2014 第
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後で Melly、教室、研究室で質問を受け付ける。
備考・メッセージ	メリーにて課題提出を求めます。授業についてのあなたの意見、疑問、授業内容についての新たな理解、授業への要望などを書いてください。 次回の授業で扱います。

講義科目名称：総合保育技術 I	授業コード：212113
英文科目名称：	ナンバリング：CM102

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
後期	1	1	選択	演習
担当教員				
友廣憲子 戸田恵理子 吉元千加里 末岡まゆり				

授業概要	<p>①幼稚園教育要領に示されたねらいや内容を踏まえ、表現方法を学ぶ。</p> <p>②幼児教育において育みたい資質・能力を踏まえ、様々な表現方法を理解する。</p> <p>③表現技術を学び理解することにより、幼児との主体的・対話的な関り方を学ぶ。</p> <p>④表現あそびの指導法と援助方法を理解する。</p> <p>⑤グループでの活動を通し協調性を身に付ける。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
確かな専門的知識 や技能	対象の子どもの年齢に応じた活動を体験し、技術向上を目指すことができる。 グループ発表	課題 実技試験	20% 60%
コミュニケーション能力			
課題解決能力	様々な問題を解決できる能力や方法を身に付けることができる。	授業への参加・態度	10%
主体的に学ぶ力	積極的に活動に取り組むことができる。	授業への参加・態度	10%
合計			100%

補足事項	
<ul style="list-style-type: none"> ・授業に関する質問は各授業の前後に受け付けるが、必要に応じて google Classroom でも受け付け、web 上あるいは授業回で答える。 ・グループ活動発表 60%、課題 20% 活動に対する評価 20%の割合で評価する。 ・対面授業やオンデマンド授業で行っていく。 ・課題やレポートは Word や Excel を必要に応じて活用して下さい。 ・授業開始から 15 分以前の早退及び授業時間中 15 分以上離席した際は欠席扱い、授業開から 15 分経過した遅刻 3 回で「欠席 1 回」とみなす。 	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「オリエンテーション」 授業の概要を説明する 「音楽と動きのひろば」の映像 フェルトを使った製作活動	対面授業	予習:配布資料を読んでおくこと(0.5時間) 復習:授業で学んだ事をまとめておく(0.5時間)
2回目	・幼児期における表現活動について ・リトミック活動 上記内容を45分ずつ受講	対面授業	予習:必要な用具を準備する。(0.5時間) 復習:授業で学んだ事をまとめておく(0.5時間)
3回目	活動計画書作成について グループ活動内容について	対面授業	予習:必要な用具を準備する。(0.5時間) 復習:授業で学んだ事をまとめておく(0.5時間)
4回目	活動計画書作成完了・提出 グループ活動 ① 脚本制作 ② 役割分担	対面授業	予習:子どもの年齢・発達、興味関心のある活動等について調べておく。 復習:本日の授業の振り返りを行う(0.5時間)
5回目	「グループ活動」 ① 脚本制作 ② 必要な小道具等の制作準備 ③ 必要な衣装等の制作準備	対面授業	予習:子どもの年齢・発達、興味関心のある活動等についてまとめる。 復習:授業で取り組んだ内容や次回の授業で必要な準備確認を日誌に記録し整理する(0.5時間)
6回目	「グループ活動」 ① 必要な小道具等の制作 ② 必要な衣装等の制作	対面授業	予習:活動に必要な衣装・小道具等の制作に必要な材料を準備しておく。 復習:授業で取り組んだ内容や次回の授業で必要な準備確認を日誌に記録し整理する(0.5時間)
7回目	「グループ活動」 ① 衣装・小道具等制作 ② 練習	対面授業	予習:活動に必要な衣装・小道具等の制作に必要な材料を準備しておく。 復習:授業で取り組んだ内容や次回の授業で必要な準備確認を日誌に記録し整理する(0.5時間)
8回目	「グループ活動」 ① 衣装・小道具等制作 ② 練習	対面授業	予習:制作状況の確認をグループで行う。 復習:授業で取り組んだ内容や次回の授業で必要な準備確認を

			日誌に記録し整理する(0.5時間)
9回目	「グループ活動」 ①衣装・小道具等制作 ②練習	対面授業	予習:制作状況の確認をグループで行う。 復習:中間発表に向け活動記録(日誌)をもとに課題を整理する(0.5時間)
10回目	「グループ活動」 ① 衣装・小道具等制作 ②中間発表に向けた通し練習	対面授業	予習:衣装・小道具等の確認をメンバーで行う(0.5時間) 復習:本日の授業の振り返りを行う(0.5時間)
11回目	「グループ活動」 発表に向け通し練習を行っていく。	対面授業	予習:実践に向けて準備を行う(0.5時間) 復習:本日の授業の振り返りを行う(0.5時間)
12回目	「グループ活動」 ① 中間発表 ② 本番までの準備及び練習について	CHで通し発表 対面授業	予習:発表に向けた準備・確認をメンバーで行う(0.5時間) 復習:本日の授業の振り返りを行う(0.5時間)
13回目	「グループ活動」 前回の指導をもとに練習を行う。	対面授業	予習:実践に向けて準備を行う(0.5時間) 復習:本日の授業の振り返りを行う(0.5時間)
14回目	「グループ活動」 発表に向け通し練習を行っていく。	対面授業	予習:実践に向けて準備を行う(0.5時間) 復習:本日の授業の振り返りを行う(0.5時間)
15回目	「発表」 発表「音楽と動きのひろば」 ・地域の子ども達を招待して発表する予定	CHで通し発表 対面授業	予習:実践に向けて準備を行う(0.5時間) 復習:本日の授業の振り返りを行う(0.5時間)
16回目			

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教科書:必要に応じて資料を配布 参考書:幼稚園教育要領 保育所保育指針 認定こども園教育保育要領
履修条件	
履修上の注意	与えられた課題に取り組み受講する
オフィスアワー	各授業の前後に質問を受け付ける
備考・メッセージ	

講義科目名称：総合保育技術Ⅲ a	授業コード：
英文科目名称：	ナンバリング：CM307

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期	2	1	選択	演習
担当教員				
石田 加代子				

授業概要	オペレッタ制作を通して①歌唱技術を習得する。②振り付けを考える。③グループで話し合い創作や制作をする。④集いに向けて計画的に取り組む⑤発表を通して表現活動や達成感を体感する。
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	様々な人間関係の中で1つの作品を作り上げ、乗り切ることにより、協調性、忍耐力、達成感を感じる	集いへの参加	80%
確かな専門的知識や技能	基礎練習で、技術を磨く。	授業への参加態度	10%
コミュニケーション能力	グループ練習で、動きや振り付けなど話し合いながら作ってゆくことができる。	グループ練習	10%
課題解決能力	お互いが知恵や経験、自分の特技を出し合う事により、様々な問題を解決することができる。		
主体的に学ぶ力	自分の役割分担を責任と創造力を駆使してついでできる。		
合計			100%

補足事項	
コロナの状況次第ですが、あらかじめ用意した音源を使って自主練習をし、ラインを使って歌をチェックすることはできるかもしれません。	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	前年度作品鑑賞、説明会	面接授業	作品探し
2回目	発声練習、演目選定、パート分け 伴奏者決定。	面接授業	台本作成案を練る
3回目	発声練習、台本作成、音取り練習	面接授業	自分のパートの復習

4回目	発声練習、音取り練習	面接授業	自分のパートの復習
5回目	発声練習、音取り練習	面接授業	自分のパートの復習 オーディションへの準備
6回目	発声練習、音取り練習、オーディション	面接授業	自分の役の確認と復習
7回目	発声練習、台本に沿って読み、歌い、流れをつかむ	面接授業	自主練習(毎日1回は歌う、 または楽譜を見る)
8回目	発声練習、それぞれのグループで自主練習 (振り付け、動き含む)	面接授業	自主練習 各自振り付けを考える
9回目	発声練習、それぞれのグループで自主練習	面接授業	自主練習(毎日1回は歌う、 または楽譜を見る)
10回目	発声練習、それぞれのグループで自主練習	面接授業	自主練習(毎日1回は歌う、 または楽譜を見る)
11回目	発声練習、部分通しけいこ①	面接授業	自主練習(毎日1回は歌う、 または楽譜を見る)
12回目	発声練習、部分通しけいこ①	面接授業	自主練習(毎日1回は歌う、 または楽譜を見る)
13回目	発声練習、部分通しけいこ①	面接授業	自主練習(毎日1回は歌う、 または楽譜を見る)
14回目	通しけいこ 役割分担と話し合い	面接授業	制作物を考える
15回目	通しけいこ 役割分担と話し合い	面接授業	制作物を具体的に考える

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	プリントで対応
履修条件	
履修上の注意	マスク着用
オフィスアワー	授業の前後で対応します
備考・メッセージ	

講義科目名称：総合保育技術IV a	授業コード：
英文科目名称：	ナンバリング：CM4 0 4

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
後期	2	1	選択	演習
担当教員				
石田 加代子				

授業概要	オペレッタ制作を通して①歌唱技術を習得する。②振り付けを考える。③グループで話し合い創作や制作をする。④集いに向けて計画的に取り組む⑤発表を通して表現活動や達成感を体感する。
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	様々な人間関係の中で1つの作品を作り上げ、乗り切ることにより、協調性、忍耐力、達成感を感じる	集いへの参加	80%
確かな専門的知識や技能	基礎練習で、技術を磨く。	授業への参加態度	10%
コミュニケーション能力	グループ練習で、動きや振り付けなど話し合いながら作ってゆくことができる。	グループ練習	10%
課題解決能力	お互いが知恵や経験、自分の特技を出し合う事により、様々な問題を解決することができる。		
主体的に学ぶ力	自分の役割分担を責任と創造力を駆使してついでいける。		
合計			100%

補足事項
コロナの状況次第ですが、あらかじめ用意した音源を使って自主練習をし、ラインを使って歌をチェックすることはできるかもしれません。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	前期の復習（音楽稽古、立ち稽古）	面接授業	全体の復習
2回目	部分稽古、制作①	面接授業	自主練、
3回目	制作②	面接授業	自主練、制作
4回目	部分稽古、制作③	面接授業	自主練、制作

5回目	制作④	面接授業	自主練、制作
6回目	部分稽古、制作⑤	面接授業	自主練、制作
7回目	制作⑥	面接授業	自主練、制作
8回目	部分稽古、制作⑥	面接授業	自主練、制作
9回目	部分稽古、制作⑦	面接授業	自主練、制作
10回目	通し稽古	面接授業	自主練習、制作
11回目	通し稽古	面接授業	自主練習、不具合の調整
12回目	衣装、道具を使つての練習	面接授業	自主練習、不具合の調整
13回目	衣装、道具を使つての練習	面接授業	自主練習、不具合の調整
14回目	リハーサル、集い発表	面接授業	制作物を具体的に考える
15回目	制作④	面接授業	自主練、制作

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	プリントで対応
履修条件	
履修上の注意	マスク着用
オフィスアワー	授業の前後で対応します
備考・メッセージ	

講義科目名称：総合保育技術Ⅲ b	授業コード：
英文科目名称：	ナンバリング： CM308

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期	2	1	選択	演習
担当教員				
野田章子				

授業概要	<p>本演習では、身体表現に必要なダンスの基礎を学び、自分にふさわしい表現方法で、「音楽と動きのつどい」に参加できることをねらいとしている。</p> <p>本演習では、①基本的なダンステクニックを学ぶ、②多様なダンスの表現方法を学ぶ、③ダンス創作方法を学ぶ、④ダンスの創作活動を通してコミュニケーションについて学ぶ、ことを目標にする。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	<ul style="list-style-type: none"> ・ダンスを通して身体をコントロールする楽しさが分かる ・ダンスを通して身体で表現することの楽しさが分かる ・ダンスを通して人と交流する楽しさが分かる 	作品発表会	10%
確かな専門的知識や技能	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもにダンスを教えるために必要な知識と技術が分かる 	レポート	10%
コミュニケーション能力	<ul style="list-style-type: none"> ・ダンスが人に伝える手段であることが分かる 	グループディスカッション	20%
課題解決能力	<ul style="list-style-type: none"> ・ダンス技術習得過程や創作活動中の問題などに対してどのように対処したら良いか考えて取り組むことができる 	課題作品 創作作品	15% 15%
主体的に学ぶ力	<ul style="list-style-type: none"> ・ダンス技術やダンス作品をよりよくしようと積極的に取り組むことができる 	授業への参加・態度	30%
合計			100%

補足事項	
<p>課題作品 15%、創作作品 15%、グループディスカッション 20%、作品発表会 10%、レポート 10%、授業への参加・態度 30%を評価する。それらについては、都度指導及び評価についてフィードバックを行う。その際は Web 等で個別に対応もおこなう。</p> <p>本授業では、遅刻 3 回で欠席 1 回とする。</p>	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	過年度作品の鑑賞 授業 (a、b、cの選択)	面接授業	予習：シラバス及び参考図書などを読む (0.5時間) 復習：自分の選択したコースの活動を調べる (0.5時間)
2回目	子どもと一緒に踊ることが できるダンスを踊り、その特徴を 考える。	面接授業	予習：子どもと踊れるダンスを調べる (0.5 時間) 復習：子どもと一緒に踊れるダンスの特徴 をまとめる (0.5時間)
3回目	課題の動きを覚える (0秒～40秒) 動きの力性について学ぶ	面接授業	予習：子どもと踊れるダンスを練習する (0.5時間) 復習：動きの力性についてまとめる (0.5時 間)
4回目	課題の動きを覚える (40秒～1分20秒) 動きの時間性について学ぶ	面接授業	予習：課題の動きを練習する (0.5時間) 復習：動きの時間性についてまとめる (0.5 時間)
5回目	課題の動きを覚える (1分20秒～2分00秒) 動きの空間性について学ぶ	面接授業	予習：課題の動きを練習する (0.5時間) 復習：動きの空間性についてまとめる (0.5 時間)
6回目	課題の動きを覚える (2分00秒～2分40秒) 動きの関係性について学ぶ	面接授業	予習：課題の動きを練習する (0.5時間) 復習：動きの関係性についてまとめる (0.5 時間)
7回目	課題の動きを覚える (2分40秒～3分20秒) ダイナミックな動きについて	面接授業	予習：課題の動きを練習する (0.5時間) 復習：ダイナミックな動きについてまとめ る (0.5時間)
8回目	課題の動きを覚える (3分20秒～4分00分) メリハリのある動きについて	面接授業	予習：課題の動きを練習する (0.5時間) 復習：メリハリのある動きについてまとめ る (0.5時間)
9回目	グループ決めと作品の選択	面接授業	予習：課題の動きを練習する (0.5時間) 復習：いろいろなダンス作品を鑑賞する (0.5時間)
10回目	テーマ決めと作品の構想	面接授業	予習：いろいろなダンス作品を鑑賞し、作 品の構想を調べる (0.5時間) 復習：作品の構想をまとめる (0.5時間)
11回目	主題となる動きやイメージの 抽出	面接授業	予習：いろいろなダンス作品を鑑賞し、動 きやイメージについて調べる (0.5 時間)

			復習：動きやイメージについてまとめる (0.5 時間)
12 回目	効果的な音の選択・編集	面接授業	予習：いろいろなダンス作品を鑑賞し、効果的な音について調べる (0.5 時間) 復習：効果的な音についてまとめる (0.5 時間)
13 回目	ひとながれの動きづくり	面接授業	予習：いろいろなダンス作品を鑑賞し、モチーフとなる動きについて調べる (0.5 時間) 復習：モチーフとなった動きをまとめる (0.5 時間)
14 回目	ひとまとまりの動きづくり	面接授業	予習：いろいろなダンスを鑑賞し、連続した動きについて調べる (0.5 時間) 復習：連続した動きをまとめる (0.5 時間)
15 回目	作品の見せあい 意見交流会	面接授業	予習：創作作品、課題作品の練習 (0.5 時間) 復習：自分の意見をレポートにまとめる (0.5 時間)

科目 (教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教科書：必要に応じてプリントを配布する 参考書：水村真由美 (著) 『ダンスのかがく』、昭和システム、2013
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後で対応可
備考・メッセージ	円滑なグループ活動を進められるよう、協力的な態度で臨むこと

講義科目名称：総合保育技術IV b	授業コード：
英文科目名称：	ナンバリング：CM4 0 5

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
後期	2	1	選択	演習
担当教員				
野田章子				

授業概要	<p>本演習では、身体表現に必要なダンスの基礎を学び、自分にふさわしい表現方法で、「音楽と動きのつどい」に参加できることをねらいとしている。</p> <p>本演習では、①基本的なダンステクニックを習得する、②多様なダンスの表現方法を習得する、③ダンス創作方法を習得する、④ダンスの創作活動を通してコミュニケーション能力を習得することを目標にする</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	<ul style="list-style-type: none"> ・ダンスを通して身体をコントロールすることができる ・ダンスを通して身体で表現することができる ・ダンスを通して人と交流することができる 	作品発表会	10%
確かな専門的知識や技能	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもにダンスを教えるために必要な知識と技術が習得できる 	成果レポート	10%
コミュニケーション能力	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の思いや考えを身体で表現することができる 	グループディスカッション	20%
課題解決能力	<ul style="list-style-type: none"> ・ダンス技術習得過程や創作活動中の問題などに対してどのように対処すべきか考えて取り組むことができる。 	課題作品 創作作品	15% 15%
主体的に学ぶ力	<ul style="list-style-type: none"> ・ダンス技術やダンス作品をよりよくしようと積極的に取り組むことができる 	授業への参加・態度	30%
合計			100%
補足事項			

課題作品 15%、創作作品 15%、グループディスカッション 20%、作品発表会 10%、成果レポート 10%、授業への参加・態度 30%を評価する。それらについては、都度指導及び評価についてフィードバックを行う。その際は Web 等で個別に対応もおこなう。

本授業では、遅刻 3 回で欠席 1 回とする。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1 回目	創作作品前半の動き決め	面接授業	予習：前期の内容を復習する (0.5 時間) 復習：前半の動きをまとめる (0.5 時間)
2 回目	創作作品後半の動き決め	面接授業	予習：前半の動きを練習する (0.5 時間) 復習：後半の動きをまとめる (0.5 時間)
3 回目	創作作品前半の動き通し練習	面接授業	予習：前半の動きを練習する (0.5 時間) 復習：前半の動きを踊り込む (0.5 時間)
4 回目	創作作品後半の動き通し練習	面接授業	予習：後半の動きを練習する (0.5 時間) 復習：後半の動きを踊り込む (0.5 時間)
5 回目	課題作品前半の構成決め	面接授業	予習：いろいろなダンス作品を鑑賞し、構成について調べる (0.5 時間) 復習：課題作品前半の構成をまとめる (0.5 時間)
6 回目	創作作品前半の構成決め	面接授業	予習：いろいろなダンス作品を鑑賞し、構成について調べる (0.5 時間) 復習：創作作品前半の構成をまとめる (0.5 時間)
7 回目	課題作品後半の構成決め	面接授業	予習：いろいろなダンス作品を鑑賞し、構成について調べる (0.5 時間) 復習：課題作品の後半の構成をまとめる (0.5 時間)
8 回目	創作作品後半の構成決め	面接授業	予習：いろいろなダンス作品を鑑賞し、構成について調べる (0.5 時間) 復習：創作品の後半の構成をまとめる (0.5 時間)
9 回目	課題作品の通し練習	面接授業	予習：課題作品を練習する (0.5 時間) 復習：課題作品を復習する (0.5 時間)
10 回目	創作作品の通し練習	面接授業	予習：創作作品を練習する (0.5 時間) 復習：創作作品を復習する (0.5 時間)
11 回目	衣装製作	面接授業	予習：衣装のデザインを考える (0.5 時間) 復習：衣装を完成させる (0.5 時間)
12 回目	小道具制作	面接授業	予習：小道具のデザインを考える (0.5 時間) 復習：小道具を完成させる (0.5 時間)

13回目	作品の演出（音響・照明など）	面接授業	予習：いろいろな作品を鑑賞し、音響や照明について調べる（0.5時間） 復習：音響案、照明案をまとめる（0.5時間）
14回目	完成発表	面接授業	予習：舞台発表に必要なものを準備する（0.5時間） 復習：準備物の見直し、踊りの復習を行う（0.5時間）
15回目	つどいの反省と総括	面接授業	予習：つどいの映像等を見て自分の意見をまとめる（0.5時間） 復習：成果レポートを作成する（2時間）

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教科書：必要に応じてプリントを配布する 参考書：水村真由美（著）『ダンスのかがく』、昭和システム、2013
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後で対応可
備考・メッセージ	円滑なグループ活動を進められるよう、積極的な態度で臨むこと

講義科目名称：総合保育技術Ⅲc	授業コード：
英文科目名称：	ナンバリング：CM309

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期	2	1	選択	演習
担当教員				
藤澤 明日菜				

授業概要	音楽の基礎的理論を学び、確かな読譜力と表現力を習得する。また楽器の実技指導により幼児教育において必要となるコミュニケーション方法や表現力を身に付ける。
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	・楽器の演奏力を身に付けることで、言葉では表現できない心を表現できる。	・実技演奏（合奏）	25%
確かな専門的知識や技能	・各楽器の仕組みを理解し、演奏技術を向上させる。 ・読譜に於いて必要な専門用語を理解できる。	・実技演奏（個人練習）	25%
コミュニケーション能力	・必要に応じ各楽器ごとのセクション練習や合奏箇所を話し合い、遂行できる。	・グループディスカッション	25%
課題解決能力	・合奏や個人練習等の際に生じた不足点を分析し、改善できる。	・実技演奏（セクション練習）	20%
主体的に学ぶ力	・器楽に於ける専門的知識を理解し、積極的に学ぶことができる。	・授業への参加・態度	5%
合計			100%

補足事項	
本授業では、実技演奏 70%、グループディスカッション 25%、授業への参加・態度 5%の割合で評価する。	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション 授業の流れや使用する楽器の説明	面接授業	各楽器の名称を覚える
2回目	楽器体験 実際に様々な楽器に触れ、各担当楽器を決定する	面接授業	各楽器の名称を覚え、演奏方法を調べる

3回目	楽器の仕組み 各担当楽器の仕組みやメンテナンスの方法について学ぶ	面接授業	各楽器に必要なメンテナンス用品の確認・楽器の構造について調べる
4回目	個人練習（音だし） 各担当楽器を個人で練習し、音を鳴らせるようにする	面接授業	音の出る仕組みについて調べ、個人で練習する
5回目	個人練習（運指等の確認） 各担当楽器の基礎練習に必要な運指や演奏方法について学ぶ	面接授業	各楽器の演奏可能音域や運指表を調べ、運指等を確認する
6回目	基礎練習（音階 Bb-Major） 基礎合奏の基本となる Bb-Major の音階を覚える	面接授業	音階における運指の確認・復習する
7回目	基礎練習（アーティキュレーション） 器楽演奏に於いて必要な演奏技術であるアーティキュレーション（スラー・タンギング等）の演奏方法を覚える	面接授業	アーティキュレーションの種類を調べ、種類毎の奏法を復習する
8回目	基礎合奏（スラー・タンギングを用いての音階練習） 前回で学んだ音階・アーティキュレーションの確認を全体合奏で行う。また、合奏時の各楽器の配置場所について学ぶ	面接授業	音階とアーティキュレーションの奏法を再確認し、復習する
9回目	基礎練習（譜読み） 話し合いにより決定した楽曲の譜読みをし、演奏する	面接授業	楽曲の参考音源を聴いておく
10回目	基礎練習（音楽表現記号） 楽譜に記載されている音楽表現・強弱記号について学び、それを演奏で実践する	面接授業	演奏楽曲に記載されている音楽表現・強弱記号について調べておく
11回目	基礎合奏（ハーモニー） 前回学んだ音楽表現・強弱記号を用い、ハーモニーのバランスについて学ぶ	面接授業	長調・短調のハーモニーの取り方を復習する。
12回目	合奏練習（基礎と楽曲） 基礎合奏で各個人の演奏技術を向上させ、楽曲の合奏で応用する	面接授業	基礎合奏の内容確認・合奏曲を復習する
13回目	パート・セクション練習 楽曲のスコアを読み、同じセクションやパート毎に分かれて練習に取り組む	面接授業	パート毎に配布するスコアをパート内で読んでおく
14回目	合奏練習（楽曲の分析）	面接授業	役割毎に打ち合わせ・練習

	楽曲を演奏するにあたり、自分がどの役割（旋伸・伴奏等）を担当しているのかを把握し、フレージングを理解する		をする
15 回目	合奏練習 基礎・楽曲の合奏や後期の課題の確認	面接授業	

科目（教職課程用）	領域及び保育内容の指導法に関する科目
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	保育内容の指導法
教科書・参考書	
履修条件	
履修上の注意	楽器使用前後のメンテナンスや取扱に十分配慮すること
オフィスアワー	授業前後に対応可能
備考・メッセージ	課題は Web 上に掲載する 回収した課題はフィードバックを行う

講義科目名称：総合保育技術IV c	授業コード：
英文科目名称：	ナンバリング：CM4 0 6

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
後期	2	1	選択	演習
担当教員				
藤澤 明日菜				

授業概要	総合保育技術 IIIC で学んだ基礎知識と演奏技術をもとに、更に楽器を用いての表現方法のレパートリーを増やし、保育現場での指導力や表現力を身に付けることを目標とする。
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	・総合保育技術 IIIC で習得した楽器の演奏力をより向上させ、演奏により自己表現ができる	実技演奏（合奏） 成果発表（つどい）	15% 50%
確かな専門的知識や技能	・読譜に於いて必要な専門用語を理解し、応用できる	実技演奏（個人練習）	10%
コミュニケーション能力	・必要に応じ各楽器ごとのセクション練習や合奏箇所を話し合い、練習の効率化ができる	グループディスカッション	10%
課題解決能力	・合奏や個人練習等の際に生じた不足点を分析し、対策と改善ができる	実技演奏（セクション練習）	10%
主体的に学ぶ力	・器楽に於ける専門的知識を理解し、積極的に学ぶことができる。	授業への参加・態度	5%
合計			100%

補足事項

本授業では、成果発表 50%、実技演奏 45%、グループディスカッション 10%、授業への参加・態度 5%の割合で評価する。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1 回目	基礎練習（音階・半音階） 運指や呼吸法の確認を行い、演奏技術をさらに向上させる	面接授業	楽器毎に運指の確認をしておく
2 回目	基礎合奏（音階・半音階）	面接授業	指定した速さで音階・半音

	合奏時に指定の速さで音階・半音階を演奏し、楽曲の演奏に応用する		階の練習をしておく
3回目	パート練習 楽器毎に分かれて、楽曲の練習(リズム・ハーモニー等の確認)	面接授業	楽器毎に練習箇所を話し合っておく
4回目	セクション練習 セクション毎に分かれて、楽曲の練習(リズム・ハーモニー等の確認)	面接授業	楽器毎のリーダー同士で打ち合わせをしておく
5回目	合奏練習 演奏楽曲のテーマや構成を再確認し、演奏する	面接授業	練習箇所の確認をし、復習する
6回目	合奏練習(演出) 成果発表時の演出を話し合い、演奏楽曲の構成と組み合わせていく	面接授業	各係の担当毎に打ち合わせをする
7回目	合奏練習(楽曲) 合奏時に周囲の楽器の演奏を聴くことで各個人の役割を再確認し、演奏の表現力を高める	面接授業	楽曲の譜読みをしておき、合奏時の不足点を復習する
8回目	セクション練習(楽曲) 前回の合奏時の気付きをまとめ、セクション毎に練習をする	面接授業	楽器毎のリーダー同士で打ち合わせをしておく
9回目	合奏練習(楽曲・演出) 演出を合奏と並行しながら確認していき、進行の方法について学ぶ	面接授業	各係の担当毎に打ち合わせをしておく
10回目	合奏練習(楽曲・演出) 演出の進行に応じて楽曲の合奏練習を行い、演出に合わせた演奏技術について学ぶ	面接授業	練習箇所の確認をし、復習する
11回目	合奏練習(進行確認) 成果発表の進行を確認し、決められた時間内に進行が収まるようにする為の確実な進行表を作成する	面接授業	各係で集まり、話し合いをする
12回目	合奏練習(進行確認) 前回作成した進行表をもとに、合奏と演出を進行する	面接授業	進行表の流れを各自確認しておく
13回目	成果発表の通し練習 実際の本番通りに演出を進行し、スムーズな動きが出来るようにする	面接授業	進行表の流れを各自確認しておく
14回目	成果発表の通し練習	面接授業	演奏時のテンポ・バランス

	前回での復習を踏まえ、演出だけでなく演奏面でも内容を充実させる		等を再確認しておく
15 回目	成果発表の反省と楽器のメンテナンス 成果発表の反省後、楽器毎に必要なメンテナンス用品を用い、正しくメンテナンスを行う	面接授業	

科目（教職課程用）	領域及び保育内容の指導法に関する科目
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	保育内容の指導法
教科書・参考書	
履修条件	総合保育技Ⅲ c を履修していること
履修上の注意	楽器使用前後のメンテナンスや取扱に十分配慮すること
オフィスアワー	授業前後に対応可能
備考・メッセージ	課題は Web 上に掲載する 回収した課題はフィードバックを行う

講義科目名称：保育内容演習Ⅱ（保育教材研究 a）	授業コード：
英文科目名称：	ナンバリング：CM206

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
後期	1年	1単位	選択	演習
担当教員				
末岡 まゆり 陣内 敦				

授業概要	<p>授業では、以下の事項を踏まえ、子どもの年齢や発達段階に応じた様々なあそびを理解し演習を通して保育技術習得することを目標とする。</p> <p>①あそびの重要性を学び、主体的なあそび活動によって子どもに身につく力を理解することができる。</p> <p>②子どもの興味・関心を引き出す保育教材を知り、子どもの興味・関心に基づいた保育教材を考えることができる。</p> <p>③身近な素材や用具を活用した保育教材を考えることができる。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	子どもの世界に共感し、子どもの活動を援助する保育者の役割を理解することができる。	レポート 絵本ノート	20% 10%
確かな専門的知識 や技能	子どもにとっての遊びの重要性を理解し、子どもの興味・関心に基づいた教材を考えることができる。	レポート 課題作品	20% 10%
コミュニケーション能力	仲間のアイデアを受容し、多様な意見、考え方を取り入れていく事ができる。	課題作品	10%
課題解決能力	他者からのアドバイスを分析し、自身のアイデアをより良いものしていく事ができる。	課題作品	10%
主体的に学ぶ力	意欲的に学び、より深い学びにつなげていこうと積極的に取り組むことができる。	レポート 課題作品	10% 10%
合計			100%
補足事項			

- レポート課題 50%
- 課題作品 40%
- 絵本ノート 10%

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「授業オリエンテーション」 授業の概要について、各授業での準備物、授業の進め方、絵本ノートについて説明する。	面接授業 オンライン等 で行う場合がある	予習：シラバスを熟読し授業概要を理解しておく（0.5時間）
2回目	「子どもにとっての遊びとは」 幼児期における遊びの意味や重要性について説明する。学習内容に関してレポートにまとめ提出する。	面接授業 オンライン等 で行う場合がある	予習：幼少期に夢中になった遊びを調べる（0.5時間） 復習：授業内容について復習しレポートを作成する（1時間）
3回目	「遊びを支える保育者の役割とは」 子どもの遊びにおける保育者の役割について説明する。学習内容に関してレポートにまとめ提出する。	面接授業 オンライン等 で行う場合がある	予習：指示された内容について事前に調べ、準備しておくこと（1時間） 復習：授業内容について復習しレポートを作成する（1時間）
4回目	「保育における流れと教材の持つ意味について」 保育における流れの重要性と保育教材の持つ役割について説明する。	面接授業 オンライン等 で行う場合がある	予習：指示された内容について事前に調べ、準備しておくこと（1時間） 復習：授業内容について復習しレポートを作成する（1時間）
5回目	「導入に役立つ教材について①」 それぞれ自分で立てたテーマに沿った紙皿シアターの計画、製作を行う。 準備物：紙皿、マーカー、折り紙、のり等	面接授業	予習：指示された内容について事前に調べ、準備しておくこと（0.5時間） 復習：作品、レポートを完成させること（1時間）
6回目	「導入に役立つ教材について②-1」 絵本の世界観を利用した「くるくるペーパースート」の計画・製作を行う。 準備物：割りばし	面接授業	予習：指示された内容について事前に調べ、準備しておくこと（0.5時間）
7回目	「導入に役立つ教材について②-2」 絵本の世界観を利用した「くるくるペーパースート」の製作を行う。	面接授業	復習：作品、レポートを完成させること（1時間）

	準備物：割りばし		
8回目	「クリアファイルを使った教材」 場面設定を行ったうえで「くらやみシアター」の計画・製作を行う 準備物：クリアファイル、マーカー、はさみ	面接授業	予習：指示された内容について事前に調べ、準備しておくこと（1時間） 復習：作品、レポートを完成させること（1時間）
9回目	「廃材を使った教材①」 廃材を持ち寄り、グループワークの中で一つの教材を計画し作成する。（話し合い） 準備物：廃材等	面接授業	予習：指示された内容について事前に調べ、準備しておくこと（1時間）
10回目	「廃材を使った教材②」 廃材を持ち寄り、グループワークの中で一つの教材を計画し作成する。（製作） 準備物：廃材等	面接授業	
11回目	「廃材を使った教材③」 廃材を持ち寄り、グループワークの中で一つの教材を計画し作成する。（仕上げ、発表） 準備物：廃材等	面接授業	復習：作品、レポートを完成させること（1時間）
12回目	「教材研究①」 これまでの学習をもとに計画を立て、自分で教材研究を行う。（立案、計画案作成）	面接授業	予習：自分の作成する教材のアイデアを調べておくこと（0.5時間）
13回目	「教材研究②」 これまでの学習をもとに計画を立て、自分で教材研究を行う。（計画案作成、製作）	面接授業	
14回目	「教材研究③」 これまでの学習をもとに計画を立て、自分で教材研究を行う。（製作）	面接授業	復習：作品、レポートを完成させること（1時間）
15回目	「振り返りと学習まとめ」 いままでの授業内容を振り返りまとめとレポートの作成を行う。ファイル、レポート、絵本ノートの提出。	面接授業 オンライン等で行う場合がある	予習：これまでの授業についてまとめておくこと（0.5時間）
16回目	試験なし		

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	

教科書・参考書	参考書：幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領
履修条件	
履修上の注意	授業に必要な道具・用具の準備を行い受講すること
オフィスアワー	授業、会議、実習巡回、出張等が入っていない場合は随時対応します
備考・メッセージ	自ら好奇心、探求心をもって積極的に受講すること

講義科目名称：子どもと表現(ピアノ・楽典 I a)	授業コード：
英文科目名称：	ナンバリング：CM103

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期	1年	1単位	選択必修	演習
担当教員				
友廣 憲子 濱崎 典子 西沢素登子 黒田 照子				

授業概要	子どもと表現(ピアノ・楽典 I a)は保育現場において、とても大切な科目であり保育に関する専門科目である。ピアノレッスンと自己練習で45分、楽典45分で設定されている。将来保育者として音楽表現活動を行うため、基礎的なピアノ演奏技術を習得する。さらに、楽譜を読むための音楽の理論を基礎から学んでいく。
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
確かな専門的知識や技能	<ul style="list-style-type: none"> ・教則本課題曲を暗譜で演奏できる。 ・課題曲(童謡)を弾き歌いすることができる。 ・童謡曲を弾き歌いすることができる。 ・音楽理論の基礎を習得することができる。 	実技試験 実技試験 授業内 授業内	30% 30% 20% 15%
コミュニケーション能力			
課題解決能力			
主体的に学ぶ力	積極的に課題に向き合い、授業に参加することができる。		5%
合計			100%

補足事項	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業に関する質問は各授業の前後に受け付けるが、必要に応じて melly でも受け付け、web 上あるいは授業回で答える。 ・ ピアノ定期試験 60%、童謡曲の習得 20%、楽典筆記試験 15% 授業への意欲・課題に向き合う姿勢 5%の割合で評価する。 ・ 対面授業を中心に実施し、zoom でのレッスンやオンデマンドで行う場合もある。 	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション 授業の進め方、心構え、レッスンの注意点 楽典の授業の進め方について説明する。 歌唱教材伴奏法のテキスト	対面授業	事前:次回レッスンで行う曲 (毎日1時間 1週間で2曲以上) 事後:レッスンで行った曲を再度見直す30分
2回目	こどものうた200「Child 保育実用書シリーズ」 指つかいつきバイエルピアノ教本 大人のための音楽ワークテキスト「YAMAHA」 歌唱教材伴奏法のテキスト	対面授業	事前:次回レッスンで行う曲 (毎日1時間 1週間で2曲以上) 事後:レッスンで行った曲を再度見直す30分
3回目	こどものうた200「Child 保育実用書シリーズ」 指つかいつきバイエルピアノ教本 大人のための音楽ワークテキスト「YAMAHA」 歌唱教材伴奏法のテキスト	対面授業	事前:次回レッスンで行う曲 (毎日1時間 1週間で2曲以上) 事後:レッスンで行った曲を再度見直す30分
4回目	こどものうた200「Child 保育実用書シリーズ」 指つかいつきバイエルピアノ教本 大人のための音楽ワークテキスト「YAMAHA」 歌唱教材伴奏法のテキスト	対面授業	事前:次回レッスンで行う曲 (毎日1時間 1週間で2曲以上) 事後:レッスンで行った曲を再度見直す30分
5回目	こどものうた200「Child 保育実用書シリーズ」 指つかいつきバイエルピアノ教本 大人のための音楽ワークテキスト 歌唱教材伴奏法のテキスト	対面授業	事前:次回レッスンで行う曲 (毎日1時間 1週間で2曲以上) 事後:レッスンで行った曲を再度見直す30分
6回目	こどものうた200「Child 保育実用書シリーズ」 指つかいつきバイエルピアノ教本 大人のための音楽ワークテキスト「YAMAHA」 歌唱教材伴奏法のテキスト	対面授業	事前:次回レッスンで行う曲 (毎日1時間 1週間で2曲以上) 事後:レッスンで行った曲を再度見直す30分
7回目	こどものうた200「Child 保育実用書シリーズ」 指つかいつきバイエルピアノ教本 大人のための音楽ワークテキスト「YAMAHA」 歌唱教材伴奏法のテキスト	対面授業	事前:次回レッスンで行う曲 (毎日1時間 1週間で2曲以上) 事後:レッスンで行った曲を再度見直す30分
8回目	こどものうた200「Child 保育実用書シリーズ」 指つかいつきバイエルピアノ教本 大人のための音楽ワークテキスト「YAMAHA」 歌唱教材伴奏法のテキスト	対面授業	事前:次回レッスンで行う曲 (毎日1時間 1週間で2曲以上) 事後:レッスンで行った曲を再度見直す30分
9回目	こどものうた200「Child 保育実用書シリーズ」 指つかいつきバイエルピアノ教本 大人のための音楽ワークテキスト「YAMAHA」 歌唱教材伴奏法のテキスト	対面授業	事前:次回レッスンで行う曲 (毎日1時間 1週間で2曲以上) 事後:レッスンで行った曲を再度見直す30分

10 回目	こどものうた 200 「Child 保育実用書シリーズ」 指つかいつきバイエルピアノ教本 大人のための音楽ワークテキスト「YAMAHA」 歌唱教材伴奏法のテキスト	対面授業	事前:次回レッスンで行う曲 (毎日1時間 1週間で2曲以上) 事後:レッスンで行った曲を再度見直す30分
11 回目	こどものうた 200 「Child 保育実用書シリーズ」 指つかいつきバイエルピアノ教本 大人のための音楽ワークテキスト「YAMAHA」 歌唱教材伴奏法のテキスト	対面授業	事前:次回レッスンで行う曲 (毎日1時間 1週間で2曲以上) 事後:レッスンで行った曲を再度見直す30分
12 回目	こどものうた 200 「Child 保育実用書シリーズ」 指つかいつきバイエルピアノ教本 大人のための音楽ワークテキスト「YAMAHA」 歌唱教材伴奏法のテキスト	対面授業	事前:次回レッスンで行う曲 (毎日1時間 1週間で2曲以上) 事後:レッスンで行った曲を再度見直す30分
13 回目	こどものうた 200 「Child 保育実用書シリーズ」 指つかいつきバイエルピアノ教本 大人のための音楽ワークテキスト「YAMAHA」 歌唱教材伴奏法のテキスト	対面授業	事前:次回レッスンで行う曲 (毎日1時間 1週間で2曲以上) 事後:レッスンで行った曲を再度見直す30分
14 回目	こどものうた 200 「Child 保育実用書シリーズ」 指つかいつきバイエルピアノ教本 大人のための音楽ワークテキスト「YAMAHA」 歌唱教材伴奏法のテキスト	対面授業	事前:次回レッスンで行う曲 (毎日1時間 1週間で2曲以上) 事後:レッスンで行った曲を再度見直す30分
15 回目	こどものうた 200 「Child 保育実用書シリーズ」 指つかいつきバイエルピアノ教本 大人のための音楽ワークテキスト「YAMAHA」 大人のための音楽ワークドリル「YAMAHA」 楽典筆記試験	対面授業	事前:次回レッスンで行う曲 (毎日1時間 1週間で2曲以上) 事後:レッスンで行った曲を再度見直す30分
16 回目	ピアノ実技試験		

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教科書:大人のための音楽ワークテキスト「YAMAHA」 大人のための音楽ワークドリル「YAMAHA」 指つかいつきバイエルピアノ教本(担当教員の指示がある場合購入) ブルグミュラー-25番練習曲 ソナチネアルバム ソナタアルバム 保育者のためのピアノの基礎(朝日出版社) こどものうた 200 「Child 保育実用書シリーズ」 歌唱教材伴奏法

履修条件	
履修上の注意	与えられた課題に取り組み受講する
オフィスアワー	各授業の前後に質問を受け付ける
備考・メッセージ	普段から楽譜をよく読む習慣を身に付ける

講義科目名称：子どもと表現(ピアノ・楽典Ⅰb)	授業コード：
英文科目名称：	ナンバリング：CM208

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
後期	1年	1単位	選択必修	演習
担当教員				
友廣 憲子 濱崎 典子 西沢素登子 黒田 照子				

授業概要	子どもと表現(ピアノ・楽典Ⅰa)を土台として学習を進めていく。この科目は保育に関する専門科目である。ピアノレッスンと自己の練習45分、楽典45分で授業を行う。保育者として音楽表現活動を行うため、Ⅰaで修得したピアノ演奏技術に技術向上のため学習していく。楽譜を読むための知識は楽典で学んでいく。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
確かな専門的知識 や技能	<ul style="list-style-type: none"> ・教則本課題曲を暗譜で演奏できる。 ・童謡課題曲を弾き歌いすることができる。 ・課題曲以外の童謡曲を弾き歌いすることができる。 ・楽典Ⅰaで習得した内容から更に進んだ音楽理論を習得することができる。 	実技試験 実技試験 授業内 授業内	30% 30% 20% 15%
コミュニケーション能力			
課題解決能力			
主体的に学ぶ力	積極的に課題に向き合い、授業に参加することができる。		5%
合計			100%

補足事項	
<ul style="list-style-type: none"> ・授業に関する質問は各授業の前後に受け付けるが、必要に応じてmellyでも受け付け、web上あるいは授業回で答える。 ・ピアノ定期試験60%、童謡曲の習得20%、楽典筆記試験15% 授業への意欲・課題に向き合う姿勢5%の割合で評価する。 ・対面授業を中心に実施し、zoomやオンデマンドで行う場合がある。 	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1 回目	オリエンテーション(教員紹介) 授業の進め方、心構え、レッスンの注意点 楽典の授業の進め方について説明する。	対面授業	ワークテキストの復習をす る(0.5 時間) ピアノ課題を練習(0.5 時 間)
2 回目	こどものうた 200 「Child 保育実用書シリーズ」 指つかいつきバイエルピアノ教本 ブルグミュラー-25 番練習曲 大人のための音楽ワークテキスト「YAMAHA」 大人のための音楽ワークドリル「YAMAHA」	対面授業	ワークテキストの復習をす る(0.5 時間) ピアノ課題練習(1 時間)
3 回目	こどものうた 200 「Child 保育実用書シリーズ」 指つかいつきバイエルピアノ教本 ブルグミュラー-25 番練習曲 大人のための音楽ワークテキスト「YAMAHA」 大人のための音楽ワークドリル「YAMAHA」	対面授業	ワークテキストの復習をす る(0.5 時間) ピアノ課題練習(1 時間)
4 回目	こどものうた 200 「Child 保育実用書シリーズ」 指つかいつきバイエルピアノ教本 ブルグミュラー-25 番練習曲 大人のための音楽ワークテキスト「YAMAHA」 大人のための音楽ワークドリル「YAMAHA」	対面授業	ワークテキストの復習をす る(0.5 時間) ピアノ課題練習(1 時間)
5 回目	こどものうた 200 「Child 保育実用書シリーズ」 指つかいつきバイエルピアノ教本 ブルグミュラー-25 番練習曲 大人のための音楽ワークテキスト「YAMAHA」 大人のための音楽ワークドリル「YAMAHA」	対面授業	ワークテキストの復習をす る(0.5 時間) ピアノ課題練習(1 時間)
6 回目	こどものうた 200 「Child 保育実用書シリーズ」 指つかいつきバイエルピアノ教本 ブルグミュラー-25 番練習曲 大人のための音楽ワークテキスト「YAMAHA」 大人のための音楽ワークドリル「YAMAHA」	対面授業	ワークテキストの復習をす る(0.5 時間) ピアノ課題練習(1 時間)
7 回目	こどものうた 200 「Child 保育実用書シリーズ」 指つかいつきバイエルピアノ教本 ブルグミュラー-25 番練習曲 大人のための音楽ワークテキスト「YAMAHA」 大人のための音楽ワークドリル「YAMAHA」	面接授業	ワークテキストの復習をす る(0.5 時間) ピアノ課題練習(1 時間)
8 回目	こどものうた 200 「Child 保育実用書シリーズ」 指つかいつきバイエルピアノ教本	対面授業	ワークテキストの復習をす る(0.5 時間)

	ブルグミュラー-25 番練習曲 大人のための音楽ワークテキスト「YAMAHA」 大人のための音楽ワークドリル「YAMAHA」		ピアノ課題練習(1 時間)
9 回目	こどものうた 200 「Child 保育実用書シリーズ」 指つかいつきバイエルピアノ教本 ブルグミュラー-25 番練習曲 大人のための音楽ワークテキスト「YAMAHA」 大人のための音楽ワークドリル「YAMAHA」	対面授業	ワークテキストの復習をす る(0.5 時間) ピアノ課題練習(1 時間)
10 回目	こどものうた 200 「Child 保育実用書シリーズ」 指つかいつきバイエルピアノ教本 ブルグミュラー-25 番練習曲 大人のための音楽ワークテキスト「YAMAHA」 大人のための音楽ワークドリル「YAMAHA」	対面授業	ワークテキストの復習をす る(0.5 時間) ピアノ課題練習(1 時間)
11 回目	こどものうた 200 「Child 保育実用書シリーズ」 指つかいつきバイエルピアノ教本 ブルグミュラー-25 番練習曲 大人のための音楽ワークテキスト「YAMAHA」 大人のための音楽ワークドリル「YAMAHA」	対面授業	ワークテキストの復習をす る(0.5 時間) ピアノ課題練習(1 時間)
12 回目	こどものうた 200 「Child 保育実用書シリーズ」 指つかいつきバイエルピアノ教本 ブルグミュラー-25 番練習曲 大人のための音楽ワークテキスト「YAMAHA」 大人のための音楽ワークドリル「YAMAHA」	対面授業	ワークテキストの復習をす る(0.5 時間) ピアノ課題練習(1 時間)
13 回目	こどものうた 200 「Child 保育実用書シリーズ」 指つかいつきバイエルピアノ教本 ブルグミュラー-25 番練習曲 大人のための音楽ワークテキスト「YAMAHA」 大人のための音楽ワークドリル「YAMAHA」	対面授業	ワークテキストの復習をす る(0.5 時間) ピアノ課題練習(1 時間)
14 回目	こどものうた 200 「Child 保育実用書シリーズ」 指つかいつきバイエルピアノ教本 ブルグミュラー-25 番練習曲 大人のための音楽ワークテキスト「YAMAHA」 大人のための音楽ワークドリル「YAMAHA」	対面授業	ワークテキストの復習をす る(0.5 時間) ピアノ課題練習(1 時間)
15 回目	こどものうた 200 「Child 保育実用書シリーズ」 指つかいつきバイエルピアノ教本 ブルグミュラー-25 番練習曲 楽典筆記試験	対面授業	ピアノ課題練習(2 時間)
16 回目	ピアノ実技試験		

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	<p>教科書:大人のための音楽ワークテキスト「YAMAHA」</p> <p>大人のための音楽ワークドリル「YAMAHA」</p> <p>指つかいつきバイエルピアノ教本</p> <p>ブルグミュラー-25 番練習曲 ソナチネアルバム ソナタアルバム</p> <p>保育者のためのピアノの基礎(朝日出版社)</p> <p>こどものうた 200 「Child 保育実用書シリーズ」</p>
履修条件	
履修上の注意	与えられた課題に取り組み受講する
オフィスアワー	各授業の前後に質問を受け付ける
備考・メッセージ	普段から楽譜をよく読む習慣を身に付ける

講義科目名称：子どもと表現(ピアノ・楽典Ⅱa)	授業コード：31135 32123 33134
英文科目名称：	ナンバリング：CM3 1 1

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期	2年	1単位	選択	演習(複数)
担当教員				
友廣 憲子	濱崎 典子	西沢素登子	黒田 照子	

授業概要	<p>子どもと表現(ピアノ・楽典Ⅰb)を取得した学生に更なるピアノ技術の向上を目標とする科目である。</p> <p>① 教育実習や保育所実習に向け季節の童謡と生活の歌の弾き歌いを学習する。</p> <p>② 実習園の課題曲を学習していく。</p> <p>③ 教則本と童謡曲の弾き歌いを学習していく。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
確かな専門的知識や技能	<ul style="list-style-type: none"> ・実習曲の課題曲や童謡曲を7曲弾き歌いできるようになる。 ・教則本課題曲を暗譜で演奏することができる。 ・課題曲以外の童謡を弾き歌い曲することができる。 	実技試験 実技試験 授業内	30% 30% 15%
コミュニケーション能力			
課題解決能力	保育現場で必要な音楽理論の応用を身に付けることができる。	小テスト	20%
主体的に学ぶ力	与えられた課題に積極的に取り組む姿勢を身に付けることができる。	授業参加	5%
合計			100%

補足事項	
<ul style="list-style-type: none"> ・授業に関する質問は各授業の前後に受け付けるが、必要に応じて melly でも受け付け、web 上あるいは授業回で答える。 ・対面授業を中心に実施し、zoom やオンデマンドで行う場合がある。 ・定期試験 60%、授業内課題(童謡)15%、楽典筆記試験 20%、課題に対する取り組む姿勢 5%で評価する。 	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション(教員紹介) 授業の進め方、心構え、レッスンの注意点 楽典の授業の進め方について説明する。	面接授業	ワークテキストの復習をする(0.5時間) ピアノ課題を練習(0.5時間)
2回目	こどものうた 200 「Child 保育実用書シリーズ」 指つかいつきバイエルピアノ教本 ブルグミュラー-25番練習曲 大人のための音楽ワークテキスト「YAMAHA」 大人のための音楽ワークドリル「YAMAHA」	面接授業	ワークテキストの復習をする(0.5時間) ピアノ課題練習(1時間)
3回目	こどものうた 200 「Child 保育実用書シリーズ」 指つかいつきバイエルピアノ教本 ブルグミュラー-25番練習曲 大人のための音楽ワークテキスト「YAMAHA」 大人のための音楽ワークドリル「YAMAHA」	面接授業	ワークテキストの復習をする(0.5時間) ピアノ課題練習(1時間)
4回目	こどものうた 200 「Child 保育実用書シリーズ」 指つかいつきバイエルピアノ教本 ブルグミュラー-25番練習曲 大人のための音楽ワークテキスト「YAMAHA」 大人のための音楽ワークドリル「YAMAHA」	面接授業	ワークテキストの復習をする(0.5時間) ピアノ課題練習(1時間)
5回目	こどものうた 200 「Child 保育実用書シリーズ」 指つかいつきバイエルピアノ教本 ブルグミュラー-25番練習曲 大人のための音楽ワークテキスト「YAMAHA」 大人のための音楽ワークドリル「YAMAHA」	面接授業	ワークテキストの復習をする(0.5時間) ピアノ課題練習(1時間)
6回目	こどものうた 200 「Child 保育実用書シリーズ」 指つかいつきバイエルピアノ教本 ブルグミュラー-25番練習曲 大人のための音楽ワークテキスト「YAMAHA」 大人のための音楽ワークドリル「YAMAHA」	面接授業	ワークテキストの復習をする(0.5時間) ピアノ課題練習(1時間)
7回目	こどものうた 200 「Child 保育実用書シリーズ」 指つかいつきバイエルピアノ教本 ブルグミュラー-25番練習曲 大人のための音楽ワークテキスト「YAMAHA」 大人のための音楽ワークドリル「YAMAHA」	面接授業	ワークテキストの復習をする(0.5時間) ピアノ課題練習(1時間)
8回目	こどものうた 200 「Child 保育実用書シリーズ」 指つかいつきバイエルピアノ教本 ブルグミュラー-25番練習曲	面接授業	ワークテキストの復習をする(0.5時間) ピアノ課題練習(1時間)

	大人のための音楽ワークテキスト「YAMAHA」 大人のための音楽ワークドリル「YAMAHA」		
9回目	こどものうた 200 「Child 保育実用書シリーズ」 指つかいつきバイエルピアノ教本 ブルグミュラー-25 番練習曲 大人のための音楽ワークテキスト「YAMAHA」 大人のための音楽ワークドリル「YAMAHA」	面接授業	ワークテキストの復習をす る(0.5時間) ピアノ課題練習(1時間)
10回目	こどものうた 200 「Child 保育実用書シリーズ」 指つかいつきバイエルピアノ教本 ブルグミュラー-25 番練習曲 大人のための音楽ワークテキスト「YAMAHA」 大人のための音楽ワークドリル「YAMAHA」	面接授業	ワークテキストの復習をす る(0.5時間) ピアノ課題練習(1時間)
11回目	こどものうた 200 「Child 保育実用書シリーズ」 指つかいつきバイエルピアノ教本 ブルグミュラー-25 番練習曲 大人のための音楽ワークテキスト「YAMAHA」 大人のための音楽ワークドリル「YAMAHA」	面接授業	ワークテキストの復習をす る(0.5時間) ピアノ課題練習(1時間)
12回目	こどものうた 200 「Child 保育実用書シリーズ」 指つかいつきバイエルピアノ教本 ブルグミュラー-25 番練習曲 大人のための音楽ワークテキスト「YAMAHA」 大人のための音楽ワークドリル「YAMAHA」	面接授業	ワークテキストの復習をす る(0.5時間) ピアノ課題練習(1時間)
13回目	こどものうた 200 「Child 保育実用書シリーズ」 指つかいつきバイエルピアノ教本 ブルグミュラー-25 番練習曲 大人のための音楽ワークテキスト「YAMAHA」 大人のための音楽ワークドリル「YAMAHA」	面接授業	ワークテキストの復習をす る(0.5時間) ピアノ課題練習(1時間)
14回目	こどものうた 200 「Child 保育実用書シリーズ」 指つかいつきバイエルピアノ教本 ブルグミュラー-25 番練習曲 大人のための音楽ワークテキスト「YAMAHA」 大人のための音楽ワークドリル「YAMAHA」	面接授業	ワークテキストの復習をす る(0.5時間) ピアノ課題練習(1時間)
15回目	こどものうた 200 「Child 保育実用書シリーズ」 指つかいつきバイエルピアノ教本 ブルグミュラー-25 番練習曲 楽典筆記試験	面接授業	ピアノ課題練習(2時間)
16回目	ピアノ実技試験		

科目（教職課程用）	保育内容の指導法(情報機器及び教材の活用を含む)
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教科書: 指つかいつきバイエルピアノ教本(担当教員の指示がある場合購入) ブルグミュラー-25 番練習曲 ソナチネアルバム ソナタアルバム 保育者のためのピアノの基礎(朝日出版社) 幼児のための音楽教育(教育芸術者) ジュニア・ワークブック 2 サーベル社 参考書:音楽リズム(東京書籍)
履修条件	
履修上の注意	毎回の課題に向き合い、練習してレッスンに望みましょう。
オフィスアワー	授業の開始前・開始後に対応する。
備考・メッセージ	毎日の練習を心がけましょう。

講義科目名称：子どもと表現(ピアノ・楽典Ⅱb)	授業コード：
英文科目名称：	ナンバリング：CM407

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
後期	2年	1単位	選択	演習
担当教員				
友廣憲子 濱崎典子 西沢素登子 黒田照子				

授業概要	<p>子どもと表現(ピアノ・楽典Ⅱa)を取得した学生に更なるピアノ技術向上を目標とする科目である。</p> <p>① ピアノ学習成果発表会での演奏を目指し様々なジャンルの曲を修得する。</p> <p>② 子どもの興味・関心を引きだす童謡曲を数多く演奏することができる。</p> <p>③ 移調や転回調について理解を深める。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
確かな専門的知識 や技能	<ul style="list-style-type: none"> 童謡課題曲3曲の弾き歌いができる。 学習成果発表会で様々なジャンルの曲から1曲暗譜で演奏することができる。 課題曲以外の童謡曲を弾き歌いできるようになる。 	実技試験 実技試験 授業内	20% 50% 10%
コミュニケーション能力			
課題解決能力	<ul style="list-style-type: none"> 保育現場に必要な音楽理論の応用を身に付けることができる。 	小テスト	15%
主体的に学ぶ力	<ul style="list-style-type: none"> 与えられた課題に積極的に取り組む姿勢を身に付けることができる。 	授業参加	5%
合計			100%

補足事項
<ul style="list-style-type: none"> 授業に関する質問は各授業の前後に受け付けるが、必要に応じて melly でも受け付け、web 上あるいは授業回で答える。 対面授業を中心に実施し、zoom やオンデマンドで行う場合がある。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション 授業の進め方、心構え、レッスンの注意点について説明する。	対面授業	事前:次回レッスンで行う曲 (毎日1時間 1週間で2曲以上) 事後:レッスンで行った曲を再度見直す30分
2回目	こどものうた 200 「Child 保育実用書シリーズ」 ブルグミュラー-25 番練習曲 ソナチネアルバム 大人のための音楽ワークテキスト「YAMAHA」 大人のための音楽ワークドリル「YAMAHA」	対面授業	事前:次回レッスンで行う曲 (毎日1時間 1週間で2曲以上) 事後:レッスンで行った曲を再度見直す30分
3回目	こどものうた 200 「Child 保育実用書シリーズ」 ブルグミュラー-25 番練習曲 ソナチネアルバム 大人のための音楽ワークテキスト「YAMAHA」 大人のための音楽ワークドリル「YAMAHA」	対面授業	事前:次回レッスンで行う曲 (毎日1時間 1週間で2曲以上) 事後:レッスンで行った曲を再度見直す30分
4回目	こどものうた 200 「Child 保育実用書シリーズ」 ブルグミュラー-25 番練習曲 ソナチネアルバム 大人のための音楽ワークテキスト「YAMAHA」 大人のための音楽ワークドリル「YAMAHA」	対面授業	事前:次回レッスンで行う曲 (毎日1時間 1週間で2曲以上) 事後:レッスンで行った曲を再度見直す30分
5回目	こどものうた 200 「Child 保育実用書シリーズ」 ブルグミュラー-25 番練習曲 ソナチネアルバム 大人のための音楽ワークテキスト「YAMAHA」 大人のための音楽ワークドリル「YAMAHA」	対面授業	事前:次回レッスンで行う曲 (毎日1時間 1週間で2曲以上) 事後:レッスンで行った曲を再度見直す30分
6回目	こどものうた 200 「Child 保育実用書シリーズ」 ブルグミュラー-25 番練習曲 ソナチネアルバム 大人のための音楽ワークテキスト「YAMAHA」 大人のための音楽ワークドリル「YAMAHA」	対面授業	事前:次回レッスンで行う曲 (毎日1時間 1週間で2曲以上) 事後:レッスンで行った曲を再度見直す30分
7回目	こどものうた 200 「Child 保育実用書シリーズ」 ブルグミュラー-25 番練習曲 ソナチネアルバム 大人のための音楽ワークテキスト「YAMAHA」 大人のための音楽ワークドリル「YAMAHA」	対面授業	事前:次回レッスンで行う曲 (毎日1時間 1週間で2曲以上) 事後:レッスンで行った曲を再度見直す30分
8回目	こどものうた 200 「Child 保育実用書シリーズ」 ブルグミュラー-25 番練習曲 ソナチネアルバム 大人のための音楽ワークテキスト「YAMAHA」 大人のための音楽ワークドリル「YAMAHA」	対面授業	事前:次回レッスンで行う曲 (毎日1時間 1週間で2曲以上) 事後:レッスンで行った曲を再度見直す30分
9回目	こどものうた 200 「Child 保育実用書シリーズ」 ブルグミュラー-25 番練習曲 ソナチネアルバム 大人のための音楽ワークテキスト「YAMAHA」 大人のための音楽ワークドリル「YAMAHA」	対面授業	事前:次回レッスンで行う曲 (毎日1時間 1週間で2曲以上) 事後:レッスンで行った曲を再度見直す30分

10 回目	こどものうた 200 「Child 保育実用書シリーズ」 ブルグミュラ-25 番練習曲 ソナチネアルバム 大人のための音楽ワークテキスト「YAMAHA」 大人のための音楽ワークドリル「YAMAHA」	対面授業	事前:次回レッスンで行う曲 (毎日1時間 1週間で2曲以上) 事後:レッスンで行った曲を再度見直す30分
11 回目	こどものうた 200 「Child 保育実用書シリーズ」 ブルグミュラ-25 番練習曲 ソナチネアルバム 大人のための音楽ワークテキスト「YAMAHA」 大人のための音楽ワークドリル「YAMAHA」	対面授業	事前:次回レッスンで行う曲 (毎日1時間 1週間で2曲以上) 事後:レッスンで行った曲を再度見直す30分
12 回目	こどものうた 200 「Child 保育実用書シリーズ」 ブルグミュラ-25 番練習曲 ソナチネアルバム 大人のための音楽ワークテキスト「YAMAHA」 大人のための音楽ワークドリル「YAMAHA」	対面授業	事前:次回レッスンで行う曲 (毎日1時間 1週間で2曲以上) 事後:レッスンで行った曲を再度見直す30分
13 回目	こどものうた 200 「Child 保育実用書シリーズ」 ブルグミュラ-25 番練習曲 ソナチネアルバム 大人のための音楽ワークテキスト「YAMAHA」 大人のための音楽ワークドリル「YAMAHA」	対面授業	事前:次回レッスンで行う曲 (毎日1時間 1週間で2曲以上) 事後:レッスンで行った曲を再度見直す30分
14 回目	こどものうた 200 「Child 保育実用書シリーズ」 ブルグミュラ-25 番練習曲 ソナチネアルバム 大人のための音楽ワークテキスト「YAMAHA」 大人のための音楽ワークドリル「YAMAHA」	対面授業	事前:次回レッスンで行う曲 (毎日1時間 1週間で2曲以上) 事後:レッスンで行った曲を再度見直す30分
15 回目	こどものうた 200 「Child 保育実用書シリーズ」 ブルグミュラ-25 番練習曲 ソナチネアルバム 大人のための音楽ワークテキスト「YAMAHA」 大人のための音楽ワークドリル「YAMAHA」 楽典筆記試験	対面授業	事前:次回レッスンで行う曲 (毎日1時間 1週間で2曲以上) 事後:レッスンで行った曲を再度見直す30分
16 回目	定期試験 学習成果発表会		

科目 (教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教科書: こどものうた 200 「Child 保育実用書シリーズ」 指っかいつきバイエルピアノ教本(担当教員の指示がある場合購入) ブルグミュラ-25 番練習曲 ソナチネアルバム ソナタアルバム 保育者のためのピアノの基礎(朝日出版社) 大人のための音楽ワークテキスト「YAMAHA」 大人のための音楽ワークドリル「YAMAHA」参考書:

履修条件	
履修上の注意	与えられた課題に取り組み受講してほしい
オフィスアワー	各授業の前後に質問を受け付ける
備考・メッセージ	普段から楽譜をよく読む習慣を身に付ける

講義科目名称：こどもと表現(歌唱)	授業コード：
英文科目名称：	ナンバリング：CM4 0 1

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期	1	2	選択	演習
担当教員				
内田 奈美				

授業概要	保育者として必要な音楽理論、基礎知識及び技能を習得する。また、活動を通し、声の持つ表現の多様性、歌うことの楽しさを子どもに指導できる技術を身に付ける。
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	・様々な音楽を、表情豊かに、子供たちに伝わるように歌うことができる。	実技演奏	10%
確かな専門的知識や技能	・呼吸法や発声法を習得し、楽譜を正しく読み、音楽を表現することができる。	定期試験 実技演奏	60%
コミュニケーション能力	・重唱・合唱において他者とのハーモニーを感じとり、豊かな音楽を表現することができる。 ・他者の演奏の良い点を見つけることができる。	実技演奏	10%
課題解決能力	・歌唱やソルフェージュの未達成部分に対し、努力改善できる。	小テスト 実技演奏	10%
主体的に学ぶ力	・音程、リズム練習を通して、自分で楽譜を読むことができる。	授業への参加・態度	10%
合計			100%

補足事項

- ・本授業では、実技演奏 80%、小テスト 10%、授業への参加・態度 10%で評価を行う。
- ・小テストは、3 回行う。全て授業開始時に行い、既習内容(ソルフェージュ理解度)の筆記試験とする。
- ・対面授業を中心に実施し、zoom やオンデマンドで行う場合もある。
- ・授業に関する質問は各授業の前後に受け付けるが、必要に応じて web 上あるいは授業回で答える。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1 回目	「オリエンテーション」 ・授業の進め方について ・コールユーブンゲン	面接授業	予習:シラバスとテキスト 2 冊に目を通しておく (1 時間) 復習:この授業の概要を整理してお

	・こどものうた 200		く (1時間)
2回目	・コールユーブンゲン ・こどものうた 200 より 季節の歌 (4、5月)	面接授業	予習: 授業内で出された課題を読譜・練習する (2時間) 復習: 授業内で未達成の部分の練習をする (2時間)
3回目	・コールユーブンゲン ・こどものうた 200 より 季節の歌 (6、7月)	面接授業	予習: 授業内で出された課題を読譜・練習する (2時間) 復習: 授業内で未達成の部分の練習をする (2時間)
4回目	・小テスト ・重唱 コールユーブンゲン P54	面接授業	予習: 小テストの為の既習楽典内容の学習 (2時間) 復習: 授業内で未達成の部分の練習をする (2時間)
5回目	・小テスト フィードバック ・重唱 コールユーブンゲン P54	面接授業	予習: 重唱の歌詞を考える (2時間) 復習: 授業内で未達成の部分の練習をする (2時間)
6回目	・コールユーブンゲン ・こどものうた 200 より 季節の歌 (8、9月)	面接授業	予習: 授業内で出された課題を読譜・練習する (2時間) 復習: 授業内で未達成の部分の練習をする (2時間)
7回目	・コールユーブンゲン ・こどものうた 200 より 季節の歌 (10、11月)	面接授業	予習: 授業内で出された課題を読譜・練習する (2時間) 復習: 授業内で未達成の部分の練習をする (2時間)
8回目	・小テスト ・合唱 コールユーブンゲン P56	面接授業	予習: 小テストの為の既習楽典内容の学習 (2時間) 復習: 授業内で未達成の部分の練習をする (2時間)
9回目	・小テスト フィードバック ・合唱 コールユーブンゲン p56 ・他プリント	面接授業	予習: 授業内で出された課題を読譜・練習する (2時間) 復習: 授業内で未達成の部分の練習をする (2時間)
10回目	・合唱 コールユーブンゲン p56 ・他プリント	面接授業	予習: 合唱の歌詞を考える (2時間) 復習: 授業内で未達成の部分の練習をする (2時間)
11回目	・コールユーブンゲン ・こどものうた 200 より 季節・行事の歌 (12、1月)	面接授業	予習: 授業内で出された課題を読譜・練習する (2時間) 復習: 授業内で未達成の部分の練習

			をする（2時間）
12回目	・コールユーブンゲン ・こどものうた 200 より 季節・行事の歌（2、3月）	面接授業	予習：授業内で出された課題を読譜・練習する（2時間） 復習：授業内で未達成の部分の練習をする（2時間）
13回目	・小テスト ・コールユーブンゲン ・こどものうた 200 既存曲の復習	面接授業	予習：小テストの為の既習楽典内容の学習（2時間） 復習：授業内で未達成の部分の練習をする（2時間）
14回目	・小テスト フィードバック ・コールユーブンゲン ・こどものうた 200 試験課題曲提示・練習	面接授業	予習：既習曲の見直し。（2時間） 復習：試験課題曲のポイントを整理する（2時間）
15回目	・コールユーブンゲン ・こどものうた 200 数人ずつ成果発表	歌唱発表	予習：試験課題曲の練習（3時間） 復習：フィードバックされたところを練習する（3時間）
16回目	定期試験		

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	・コールユーブンゲン 学生版（音楽之友社） ・こどものうた 200「Child 保育実用書シリーズ」→ピアノで使用するので特別に購入しなくてよい。
履修条件	
履修上の注意	・講義中の携帯電話・スマートフォンの使用、撮影、録音録画は原則禁止とします。
オフィスアワー	授業の前後で対応します。
備考・メッセージ	・次回の学習曲は毎回提示しますので、授業にスムーズに入れるよう譜読みをしてきて下さい。

講義科目名称：子どもと表現（造形 a）	授業コード：41131 42132 43133
英文科目名称：	ナンバリング CM105

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
後期	1年	1単位	選択	演習 複数
担当教員				
陣内敦 陣内智子				

授業概要	<p>①自分を表現したい心を理解する 相手に伝えたい心を理解する 感じる心を理解する</p> <p>②自然の中にある形を発見する感覚を理解する 偶然による形から発想する感覚を理解する 素材を構成する技術を修練する</p> <p>③幼児の描画概念の発達段階を理解する 幼児の描画道具の扱い方について理解する 幼児への言葉かけ等の支援方法について考察する</p> <p>④壁画装飾がもたらす幼児への効用を理解する 季節を表す素材について理解する 室内環境が与える保育活動の効用を考察する</p> <p>⑤個人の個性の享受と意見の構築の方法を理解する 自分の役割を見つけ達成することの大切さを理解する</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
確かな専門的知識 や技能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 絵画の原理について理解する ・ 絵画技術と幼児の絵画活動について理解する ・ 幼児の絵画活動に対する保育者の支援方法を理解する 	<ul style="list-style-type: none"> 作品の成果 作品の成果 作品の成果 	<ul style="list-style-type: none"> 20% 20% 20%
コミュニケーション能力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育施設で保育者がおこなう造形に関連する役割を理解する 	作品の成果	20%
課題解決能力			
主体的に学ぶ力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育者が備えるべき造形教育の資質を高める（共同制作について） 	学修の取り組み	20%
合計			100%

補足事項

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1 回目	オリエンテーション 子どもと造形についてのイントロダクション 「子どもたちへの自己紹介」制作 ※課題提出方法ならびに提出日は別途指示する	面接授業または Melly 課題 配信	予習：造形の意味について、 自分なりの考えを持つ (0.5 時間) 復習：造形の意義について 確認する (0.5 時間)
2 回目	モダンテクニック (1) フロッターージュによる絵画制作 (こすり絵)	面接授業または Melly 課題 配信	予習：フロッターージュにつ いて予備知識を得る (0.5 時 間) 復習：フロッターージュ技法 の可能性について考える (0.5 時間)
3 回目	モダンテクニック (2) コラージュによる絵画制作「私の夢」 ※課題提出方法ならびに提出日は別途指示する	面接授業または Melly 課題 配信	予習：コラージュについて 予備知識を得る (0.5 時間) 復習：コラージュ技法の可 能性について考える (0.5 時 間)
4 回目	折り紙 「カエル」「小箱」他の制作 ※課題提出方法ならびに提出日は別途指示する	面接授業または Melly 課題 配信	予習：折り紙の予備知識を 得る (0.5 時間) 復習：他の折り紙について も体験してみる (0.5 時間)
5 回目	切り紙 「切り紙あそび」伝統的なもん切り遊びを 体験する ※課題提出方法ならびに提出日は別途指示する	面接授業または Melly 課題 配信	予習：切り紙について予備 知識を得る (0.5 時間) 復習：切り紙技法の可能性 について考える (0.5 時間)
6 回目	ちぎり絵 (1) 童謡をテーマにしたちぎり絵の制作 テーマ設定 下絵 配色計画	面接授業または Melly 課題 配信	予習：ちぎり絵について予 備知識を得る (0.5 時間) 復習：自作品の構想を考え る (0.5 時間)
7 回目	ちぎり絵 (2) 童謡をテーマにしたちぎり絵の制作	面接授業または Melly 課題 配信	予習：制作途中の自作品を 見直す (0.5 時間) 復習：自作品の構想を考え る (0.5 時間)
8 回目	ちぎり絵 (3)	面接授業または	予習：制作途中の自作品を

	童謡をテーマにしたちぎり絵の制作	は Melly 課題 配信	見直す (0.5 時間) 復習：自作品の構想を考 える (0.5 時間)
9 回目	ちぎり絵 (4) 童謡をテーマにしたちぎり絵の制作 ※課題提出方法ならびに提出日は別途指示する	面接授業また は Melly 課題 配信	予習：制作途中の自作品を 見直す (0.5 時間) 復習：自作品の構想を考 える (0.5 時間)
10 回目	インスタレーション 「おかおつくっちゃお」 身近な日用品に目鼻等を色紙等で作り遊ぶ ※課題提出方法ならびに提出日は別途指示する	面接授業また は Melly 課題 配信	予習：子どもの視点で周囲 を観察する (0.5 時間) 復習：想像遊びについての 省察をおこなう (0.5 時間)
11 回目	染紙 短冊づくり 七夕の笹にに願い事を書く うちわの和紙づくり	面接授業また は Melly 課題 配信	予習：染め紙の活用法につ いて想像する (0.5 時間) 復習：染め紙の他の活用 について考える (0.5 時間)
12 回目	うちわ作り 染紙をうちわに貼ってオリジナルうちわの 制作 ※課題提出方法ならびに提出日は別途指示する	面接授業また は Melly 課題 配信	予習：日本の伝統工芸を知 る (0.5 時間) 復習：作業工程の事後反省 をおこなう (0.5 時間)
13 回目	ぶんぶんごま ダンボールとタコ糸を用いてぶんぶんごま を制作 ※課題提出方法ならびに提出日は別途指示する	面接授業また は Melly 課題 配信	予習：色彩の調和を想像す る (0.5 時間) 復習：作業工程の事後反省 をおこなう (0.5 時間)
14 回目	指人形 (1) 保育で使える指人形の制作 トイレットペーパー、紙粘土、色和紙で工作 する	面接授業また は Melly 課題 配信	予習：作品の全体図を構 想する (0.5 時間) 復習：作業工程の事後反省 をおこなう (0.5 時間)
15 回目	指人形 (2) 保育で使える指人形の制作 顔などを絵具で着彩する ※課題提出方法ならびに提出日は別途指示する	面接授業また は Melly 課題 配信	予習：指人形を用いる保 育の場面を構想する 復習：保育活動を想定し 練習する (0.5 時間)

科目 (教職課程用)	領域及び保育内容の指導法に関する科目
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	領域に関する専門的事項 表現
教科書・参考書	課題ごとに、必要な参考資料を提示。また、手順を解説したプリントを配布。

履修条件	特になし
履修上の注意	自らの創造力を活性化させるよう、感性を磨くことに心掛けること。
オフィスアワー	授業時間前後に教室で質問を受け付ける。任意に研究室を訪ね質問することも可能である。
備考・メッセージ	課題ごとの材料と道具は、一括購入する物と各自準備する物との別があり、事前連絡に留意すること。 また、課題ごとに設けた作品提出期限を厳守すること。

講義科目名称：子どもと造形b	授業コード：41231 42232 43233
英文科目名称：	ナンバリング CM209

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
後期	2年	1単位	選択	演習 複数
担当教員				
陣内敦 陣内智子				

授業概要	<p>①熟達する喜びを理解する 工夫することの喜びを理解する 造り上げる喜びを理解する</p> <p>②素材の材質感や特徴を理解する 素材の加工方法を理解する 発想を構築していく方法を修練する</p> <p>③幼児の工作概念の発達段階を理解する 幼児の工作道具の扱い方について理解する 幼児への言葉かけ等の支援方法について考察する</p> <p>④手作りの造形がもたらす幼児への効用を理解する 手作りの造形の種類と構造について理解する</p> <p>⑤絵本や人形劇の児童文化財の価値を理解する 人形劇における話の展開方法を理解する 人形劇によって幼児に伝達される内容について考察する</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
確かな専門的知識 や技能	<ul style="list-style-type: none"> ・工作の原理について理解する ・工作技術と幼児の工作活動について理解する ・幼児の工作活動に対する保育者の支援方法を理解する 	作品の成果 作品の成果 作品の成果	20% 20% 20%
コミュニケーション能力	<ul style="list-style-type: none"> ・保育施設で保育者がおこなう造形に関連する役割を理解する 	作品の成果	20%
課題解決能力			
主体的に学ぶ力	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者が備えるべき造形教育の資質を高める（児童文化財について） 	学修の取り組み	20%
合計			100%

補足事項

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1 回目	オリエンテーション 子どもと造形についての講話 「折り紙」制作 ※課題提出方法ならびに提出日は別途指示する	面接授業または Melly 課題 配信	予習：造形の意味について、自分なりの考えを持つ (0.5 時間) 復習：造形の意義について確認する 折り紙の楽しさを感じる (0.5 時間)
2 回目	粘土の工作 (1) 技法の詳解を見る (ビデオ鑑賞)	面接授業	予習：粘土の工作について予備知識を得る (0.5 時間) 復習：粘土の技法について確認する (0.5 時間)
3 回目	粘土の工作 (2) 粘土作品を素手やへらを用いながら成形する	面接授業	予習：制作する作品のイメージを作る (0.5 時間) 復習：素材について感じたものを味わう (0.5 時間)
4 回目	粘土の工作 (3) 粘土作品の装飾をひっかきや釉薬によってほどこす ※課題提出方法ならびに提出日は別途指示する	面接授業	予習：装飾についてイメージを作る (0.5 時間) 復習：粘土の工作の可能性について考える (0.5 時間)
5 回目	紙の工作 (1) 技法の詳解を聞く 自作品の構想を作る	面接授業または Melly 課題 配信	予習：制作するもののイメージを作る (0.5 時間) 復習：アイデアスケッチから制作工程について計画する (0.5 時間)
6 回目	紙の工作 (2) 新聞紙と和紙で成形	面接授業または Melly 課題 配信	予習：紙の成形方法について計画する (0.5 時間) 復習：成形手順について再構想と修正をおこなう (0.5 時間)
7 回目	紙の工作 (3) 新聞紙と和紙で成形	面接授業または Melly 課題 配信	予習：自作品の成形手順について計画する (0.5 時間) 復習：成形手順について修

			正をおこなう (0.5 時間)
8 回目	紙の工作 (4) 新聞紙と和紙で成形	面接授業または Melly 課題 配信	予習: 成形手順を再構成する (0.5 時間) 復習: 自作品の立体的な構造等について鑑賞する (0.5 時間)
9 回目	紙の工作 (5) 部分的に色和紙を貼り装飾する ※課題提出方法ならびに提出日は別途指示する	面接授業または Melly 課題 配信	予習: 色彩案を作る (0.5 時間) 復習: 色和紙の調和を鑑賞し、紙の工作の肌合いを楽しむ (0.5 時間)
10 回目	人形劇制作 (共同制作) (1) 童話を選び劇の展開を考える	面接授業	予習: 人形劇の体験を思い出す (0.5 時間) 復習: 話の展開について修正する (0.5 時間)
11 回目	人形劇制作 (共同制作) (2) 下絵を描く	面接授業	予習: 展開をまとめる (0.5 時間) 復習: 話の内容と感情表現などを登場人物の表情や情景に活かす方法を考える (0.5 時間)
12 回目	人形劇制作 (共同制作) (3) 人形に描画し着彩をほどこす	面接授業	予習: 色彩の計画をおこなう (0.5 時間) 復習: 着彩の修正をおこなう (0.5 時間)
13 回目	人形劇制作 (共同制作) (4) 画面側に描画し着彩をほどこす 背景の下絵を描く	面接授業	予習: 色彩の調和を想像する (0.5 時間) 復習: 色彩による画面の空間表現について再検討をおこなう (0.5 時間)
14 回目	人形劇制作 (共同制作) (5) 背景の着彩をほどこす	面接授業	予習: 話の展開やせりふを推敲する (0.5 時間) 復習: 人形の動きとせりふが整合していることを確認する (0.5 時間)
15 回目	人形劇制作 (共同制作) (6) 教室内でグループごとに劇の実演をおこなう	面接授業	予習: 人形劇実演の練習をおこなう (0.5 時間) 復習: 人形劇の楽しさを味

	※課題提出方法ならびに提出日は別途指示する		わう (0.5 時間)
--	-----------------------	--	-------------

科目 (教職課程用)	領域及び保育内容の指導法に関する科目
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	領域に関する専門的事項 表現
教科書・参考書	課題ごとに、必要な参考資料を提示。また、手順を解説したプリントを配布。
履修条件	特になし
履修上の注意	自らの創造力を活性化させるよう、感性を磨くことに心掛けること。
オフィスアワー	授業時間前後に教室で質問を受け付ける。任意に研究室を訪ね質問することも可能である。
備考・メッセージ	課題ごとの材料と道具は、一括購入する物と各自準備する物との別があり、事前連絡に留意すること。 また、課題ごとに設けた作品提出期限を厳守すること。

講義科目名称：子どもと表現（リズム）	授業コード：
英文科目名称：	ナンバリング：CM105

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期	1	1	選択	演習
担当教員				
野田章子				

授業概要	本演習は、子どもと表現・リズム遊びを中心に、幼児期にふさわしい運動内容を学び、さらにその適切な指導法と援助方法を理解することをねらいとしている。本演習では、①リズム・表現遊びの実践ができる、②リズム・表現遊びの計画ができる、③リズム・表現遊びの指導や援助方法が分かる、ことをねらいにしている。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
確かな専門的知識や技能	<ul style="list-style-type: none"> ○なぜ、子どもにとって表現・リズム遊びが必要なのか説明できる。 ○子どもにふさわしい表現・リズム遊びの活動が分かる。 ○表現・リズム遊びの指導法と援助方法を説明できる 	授業への参加・態度 成果レポート	40%
コミュニケーション能力	○表現・リズム遊びの実践を通して、いろいろな人と交流し、意見を交わすことができる。	創作などのグループ活動	30%
課題解決能力	○分からなかったことなどを調べて解決することができる。	課題レポート	20%
主体的に学ぶ力	○学んだ成果をまとめ発表する	作品発表	10%
合計			100%

補足事項

課題レポート、作品発表、創作活動、授業への参加・態度を評価する。課題については都度指導し、評価についてはフィードバックを行う。その際はオンラインで個別に対応もおこなう。本授業は、遅刻3回で欠席1回とする。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	授業のねらいと内容について	面接授業	予習：リズム・表現遊びとは何か調べる（0.5時間）

			復習：リズム・表現遊びについてまとめる（0.5 時間）
2 回目	「内的リズム」について リズムを使った遊びの実践	面接授業	予習：リズムとは何か調べる（0.5 時間） 復習：リズムを使った遊びをまとめる（0.5 時間）
3 回目	「時間性」「力性」「空間性」「関係性」について 4つのキーワードで動く遊びの実践	面接授業	予習：動きとは何か調べる（0.5 時間） 復習：4つのキーワードで動く遊びをまとめる（0.5 時間）
4 回目	ボールを使って動きを広げよう ボールを使って動く遊びの実践	面接授業	予習：ボールの使った遊びを調べる（0.5 時間） 復習：ボールを使った遊びをまとめる（0.5 時間）
5 回目	フープを使って動きを広げよう フープを使って動く遊びの実践	面接授業	予習：フープを使った遊びを調べる（0.5 時間） 復習：フープを使った遊びをまとめる（0.5 時間）
6 回目	紙を使って動きを広げよう 紙を使って動く遊びの実践	面接授業	予習：紙を使った遊びを調べる（0.5 時間） 復習：紙を使った遊びをまとめる（0.5 時間）
7 回目	イメージを使って動きを広げよう イメージを使って動く遊びの実践	面接授業	予習：イメージを使った遊びを調べる（0.5 時間） 復習：イメージを使った遊びをまとめる（0.5 時間）
8 回目	子どもの手本になる良い動きとは何か考える	面接授業	予習：良い動きについて調べる（0.5 時間） 復習：授業で学習した動きを復習する（0.5 時間）
9 回目	自分の表したいイメージを動きで表現する	面接授業	予習：自分の動きをひとまとまりの動きにする（0.5 時間） 復習：授業で学習した動きの練習をする（0.5 時間）
10 回目	イメージで表現した動きをつなげて、連続した動きにする	面接授業	予習：自分の動きをまとめる（0.5 時間） 復習：授業で学習した動きを復習する（0.5 時間）

11 回目	表現あそび中の子どもへの声かけなど、適切な指導にふさわしい言葉がけについて考える	面接授業	予習：声かけ、言葉がけについて調べる（0.5 時間） 復習：指導言語についてまとめる（0.5 時間）
12 回目	連続した動きにメリハリをつけて、ダイナミックな動きに変化させる。	面接授業	予習：自分の動きをデフォルメする（0.5 時間） 復習：授業で学習した動きを練習する（0.5 時間）
13 回目	発表できるように動きをまとめる	面接授業	予習：作品の動きを覚える（0.5 時間） 復習：完成した動きを練習する（0.5 時間）
14 回目	作品発表	面接授業	予習：作品の動きを練習する（0.5 時間） 復習：発表会を振り返る（0.5 時間）
15 回目	子どもの表現をどのように評価すれば 良いのか考える	面接授業	予習：評価について調べる（0.5 時間） 復習：成果レポートを作成する（3 時間）

科目（教職課程用）	領域及び保育内容の指導法に関する科目
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	領域に関する専門的事項
教科書・参考書	教科書：必要に応じてプリントを配布する 参考書： 岩崎洋子（編著）『保育と幼児期の運動あそび』、萌文書林、2018 高野牧子（編著）『うきうきわくわく 身体表現遊び -豊かに広げよう！ こどもの表現世界-』、同文書院、2015 小谷隆真 『あたらしい表現遊び』、すずき出版、1994
履修条件	授業の前後で対応可
履修上の注意	自分の体感から学びが広げられるよう、積極的に取り組むこと 運動できる服装、体育館シューズで受講すること
オフィスアワー	
備考・メッセージ	

講義科目名称：子どもと健康	授業コード：
英文科目名称：Children and Health	ナンバリング：CM106

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期	1年	1	選択 幼稚園教諭：必修	演習
担当教員				
中尾健一郎				

授業概要	<p>「領域『健康』に関する専門的事項」として専門的事項や理論を踏まえた根拠に基づく指導ができるよう以下を目標にして知識や技術を学ぶ。</p> <p>①健康の定義について理解する 健康で安全な生活や乳幼児期にふさわしい生活について理解する</p> <p>②子どもの身体の発育・発達について理解する 乳幼児期の生活習慣の形成について理解する 乳幼児の生活と食について理解する</p> <p>③乳幼児期の運動について理解する 体を動かす遊びの環境について理解する 乳幼児期の遊びと運動について理解する</p> <p>④乳幼児期の安全教育とけがの予防について理解する 健康を育む園外環境について理解する</p> <p>⑤体を良く動かす子どもを育てるために必要なことを理解する 健康をめぐる現代的問題について理解する</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
確かな専門的知識や技能	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児期の健康の意義を説明できる ・乳幼児期の基本的な生活習慣の形成の意義について説明できる ・安全教育・安全管理の基本的な考え方を説明できる ・乳幼児期の運動発達の特徴を説明できる 	期末試験 小テスト	60% 30%
コミュニケーション能力			
課題解決能力			
主体的に学ぶ力	・保育者を目指す者として、健康を意	リフレクションカー	5%

	識し積極的な学習ができる	ド 授業への参加・態度	5%
合計			100%
補足事項			
<ul style="list-style-type: none"> ・オンライン・オンデマンド配信授業については、課題提出で出席とみなす ・毎回、授業のポイント、意見・質問、授業態度の自己評価をリフレクションカードとして提出 ・課題レポートは授業内で回収し、意見・質問なども含めコメントは google classroom 等や授業内にて行う。 ・期末試験 60%、小テスト 30%、リフレクションカード 5%、授業への参加・態度 5%の割合で評価する ・小テストについては、14 回目の授業内で実施し、結果をその時間内で解説してフィードバックする 採点は学生同士で交換して行う <p>【面接授業における遅刻、早退、欠席について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業開始 15 分までを遅刻とし、それ以降は欠席とする。また、早退については 75 分間授業を受けていない場合は欠席とする。遅刻 3 回で 1 回の欠席としてカウントする 			

授業計画	授業内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1 回目	「オリエンテーション」 子どもと健康の授業の進め方を理解し、子どもたちの姿をイメージして健康を考える	面接授業 (オンライン等の対応可能)	予習：シラバスに目を通しておくこと(0.25 時間) 復習：配布資料に目を通し、理解できなかったところを調べておくこと(0.5 時間)
2 回目	「健康とは何か」 健康の定義について学び、健康で安全な生活や乳幼児期にふさわしい生活、体を良く動かす子どもを育てるために必要なことを学ぶ	面接授業 (オンライン等の対応可能)	予習：「健康の定義」について調べておくこと(0.25 時間) 復習：教科書及び配布資料に目を通し、理解できなかったところを調べておくこと(0.5 時間)
3 回目	「子どもの身体の発育・発達について」乳幼児の形態的発達と生理的機能の発達について学ぶ	面接授業 (オンライン等の対応可能)	予習：「子どもの身体の発育・発達」について調べておくこと(0.25 時間) 復習：教科書及び配布資料に目を通し、理解できなかったところを調べておくこと(0.5 時間)
4 回目	「乳幼児期の運動について I」	面接授業	予習：「発達段階に応じた

	発達段階に応じた運動発達と環境について学ぶ	(オンライン等の対応可能)	運動発達と環境」について調べておくこと(0.25時間) 復習：教科書及び配布資料に目を通し、理解できなかったところを調べておくこと(0.5時間)
5回目	「乳幼児期の運動についてII」 運動遊びへのかかわりについて学ぶ	面接授業 (オンライン等の対応可能)	予習：「運動遊びへのかかわり」について調べておくこと(0.25時間) 復習：教科書及び配布資料に目を通し、理解できなかったところを調べておくこと(0.5時間)
6回目	「乳幼児期の安全教育とけがの予防について」 けが・事故の実態と予防・安全管理について学ぶ	面接授業 (オンライン等の対応可能)	予習：「けが・事故の実態と予防・安全管理」について調べておくこと(0.25時間) 復習：教科書及び配布資料に目を通し、理解できなかったところを調べておくこと(0.5時間)
7回目	「乳幼児期の生活習慣の形成について」 発達段階に応じた生活習慣形成と環境について学ぶ	面接授業 (オンライン等の対応可能)	予習：「発達段階に応じた生活習慣形成と環境」について調べておくこと(0.25時間) 復習：教科書及び配布資料に目を通し、理解できなかったところを調べておくこと(0.5時間)
8回目	「乳幼児期の遊びと運動についてI」 豊かな遊びと動きの体験について学ぶ	面接授業 (オンライン等の対応可能)	予習：「豊かな遊びと動きの体験」について調べておくこと(0.25時間) 復習：教科書及び配布資料に目を通し、理解できなかったところを調べておくこと(0.5時間)
9回目	「乳幼児期の遊びと運動についてII」 運動遊びの意義と日常生活の動きの経験について学ぶ	面接授業 (オンライン等の対応可	予習：「運動遊びの意義と日常生活の動きの経験」について調べておくこと(0.25

		能)	時間) 復習：教科書及び配布資料に目を通し、理解できなかったところを調べておくこと(0.5時間)
10回目	「健康を育む園外環境について」 里山保育を題材にして園外環境について健康の視点から学ぶ	面接授業 (オンライン等の対応可能)	予習：「園外環境について」について調べておくこと(0.25時間) 復習：配布資料に目を通し、理解できなかったところを調べておくこと
11回目	「乳幼児の生活と食について」 生活リズムと食および乳幼児期の食の大切さについて学ぶ	面接授業 (オンライン等の対応可能)	予習：「生活リズムと食および乳幼児期の食の大切さ」について調べておくこと(0.25時間) 復習：教科書及び配布資料に目を通し、理解できなかったところを調べておくこと(0.5時間)
12回目	「領域「健康」について」 幼児教育の基本と領域の考え方および幼稚園教育要領，保育所保育指針，教育・保育要領における領域「健康」について学ぶ	面接授業 (オンライン等の対応可能)	予習：「幼児教育の基本と領域の考え方、幼稚園教育要領，保育所保育指針，教育・保育要領における領域「健康」について調べておくこと(0.25時間) 復習：教科書及び配布資料に目を通し、理解できなかったところを調べておくこと(0.5時間)
13回目	「領域「健康」をめぐる現代的問題について」 領域「健康」をめぐる現代的問題について学ぶ	面接授業 (オンライン等の対応可能)	予習：「領域「健康」をめぐる現代的問題」について調べておくこと(0.25時間) 復習：教科書及び配布資料に目を通し、理解できなかったところを調べておくこと(0.5時間)
14回目	「小テスト」	面接授業	予習：これまでの内容を振

	小テストを実施し、これまでの学びを確認する	(オンライン等の対応可能)	繰り返し、復習しておくこと(0.25時間) 復習：小テストのできなかったところを調べておくこと(0.5時間)
15回目	「子どもと健康について(まとめ)」 小テストの解説をもとに、これまでの内容を振り返る	面接授業 (オンライン等の対応可能)	予習：全体的に教科書や配布資料に目を通し、学びを振り返っておくこと(0.25時間) 復習：小テストを振り返り本試験に備えること(0.5時間)

科目(教職課程用)	領域及び保育内容の指導法に関する科目
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	領域に関する専門的事項
教科書・参考書	教科書：演習保育内容健康-基礎的事項の理解と指導法- 建帛社 参考書：乳幼児教育・保育シリーズ 保育内容健康 吉田伊津美他編著 光生館 ：幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定子ども園教育・保育要領 幼児期運動指針
履修条件	
履修上の注意	オンライン等の授業についてはPC、タブレット(パソコン)等を準備し、対応できるようにすること
オフィスアワー	質問等は授業の前後に教室にてまたは google classroom 等で受け付ける
備考・メッセージ	保育者を目指す者として自分の健康にも関心を持ち、健康維持に努めること

講義科目名称：子どもと言語	授業コード：31132 32131
英文科目名称：	ナンバリング：CM107

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期	1年	1単位	選択	演習（単独）
担当教員				
新井 悦子				

授業概要	<p>幼児教育において育みたい資質・能力を理解し、かつ幼稚園教育要領に示された領域のねらい・内容を理解し、幼児の発達に則した保育を構想する方法を身に付ける。具体的には、子どもの言葉を育む児童文化財として、絵本・紙芝居を中心に学ぶ。どのような絵本や紙芝居があるのか、集団への読み語りする方法、発達段階や目的にあった選び方など班活動を中心にグループで討議しながら身につける。各自が集団への読み語りに適切な絵本を1冊ずつ選び読み語りを実演し、最終的には班単位でおはなし会を企画、実演する。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
確かな専門的知識や技能	①絵本と紙芝居の児童文化財としての特徴と教育的意義の理解ができる。 ②子どもの発達や目的に合った絵本・紙芝居を選ぶことができる。 ③子どもの発達や目的を考慮し、適切に読み語りすることができる。	レポート 絵本の読み語り発表	50% 20%
コミュニケーション能力	④グループ内で協力し、おはなし会を企画・運営できる。	グループディスカッション	20%
課題解決能力			
主体的に学ぶ力	⑤自分の意見を持ち、積極的に意見を言うことができる。	グループディスカッション	10%
合計			100%
補足事項			
本授業では、レポート（授業内、授業後）50%、グループ活動・ディスカッション 30%、発表 20%の割合で評価する。			

授業計画	授業内容	実施形態	予習・復習
1回目	オリエンテーション ・授業のねらい ・進め方 ・評価・アンケートについての説明	面接授業 オンライン可	復習 授業のねらいや進め方などについて振り返る(0.5時間) 予習 言葉を育む児童文化の概要・絵本について考える(0.5時間)
2回目	児童文化の概要 ・言葉を育む児童文化の概要・絵本について特徴と留意点	面接授業	復習 言葉を育む児童文化の概要・絵本に関する学習内容の確認(1時間) 予習 集団への読み語りについて考える(1時間)
3回目	絵本研究 ・集団への読み語りについて	面接授業	復習 集団への読み語りについて振り返る(1時間) 予習 絵本の種類について調べる(1時間)
4回目	絵本研究 ・絵本の種類	面接授業	復習 絵本の種類に関する学習内容の確認(1時間) 予習 子どもの発達と絵本について考える(1時間)
5回目	絵本研究 ・子どもの発達と絵本	面接授業	復習 子どもの発達と絵本に関する学習内容を振り返る(1時間) 予習 読み語りにふさわしい絵本の準備(1時間)
6回目	絵本の読み語り ・読み語りの練習(小グループでの読み語りの練習)	面接授業	復習 読み語りの練習(1時間) 予習 読み語りの発表準備(1.5時間)
7回目	絵本の読み語り ・読み語りの練習と発表(1) ・紙芝居の活用	面接授業	復習 紙芝居の活用について振り返る(1時間) 予習 読み語りの発表準備(1.5時間)
8回目	絵本の読み語り ・読み語りの練習と発表(2) ・課題別研究	面接授業	復習 課題別絵本について振り返る(1時間) 予習 読み語りの発表準備(1時間)
9回目	絵本の読み語り ・読み語りの練習と発表(3)	面接授業	復習 課題別絵本について振り返る(1時間) 予習 読み語りの発表準備(1時間)
10回目	絵本の読み語り ・読み語りの練習と発表(4) ・素話の活用	面接授業	復習 素話の活用について振り返る(1時間) 予習 読み語りの発表準備(1時間)

11 回目	絵本の読み語り ・読み語りの練習と発表（5） ・保育絵本の活用	面接授業	復習 保育絵本の活用について振り返る(1時間) 予習 読み語りの発表準備（1時間）
12 回目	絵本の読み語り ・読み語りの練習と発表（6） ・手遊びの活用	面接授業	復習 読み語り発表と手遊びの活用について振り返る(1時間) 予習 おはなし会について調べる(1時間)
13 回目	おはなし会の研究（1） ・おはなし会の準備・指導案作り	面接授業	復習 おはなし会の指導案について振り返る(1時間) 予習 おはなし会の準備(1.5時間)
14 回目	おはなし会の研究（2） ・おはなし会の実施	面接授業	復習 おはなし会を振り返る(1時間) 予習 おはなし会の準備(1.5時間)
15 回目	おはなし会の研究（3） ・おはなし会の実施	面接授業	復習 おはなし会を振り返る(1時間)

科目（教職課程用）	領域及び保育内容の指導法に関する科目
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	保育内容の指導法
教科書・参考書	テキスト：購入「保育内容・言葉」 太田光洋編著 岸井勇雄・武藤隆・柴崎正行監修 同文書院 参考書：幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定子ども園教育・保育要領
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後で対応します。
備考・メッセージ	2回目の講義後、読み語り発表用の絵本を準備すること。読み語りの練習、おはなし会の練習が重要になる。

講義科目名称：子どもの心	授業コード：11151 12152
英文科目名称：	ナンバリング：CM108

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期	1 学年	1 単位	選択	演習
担当教員				
藤野 正和 滝川 由香里				

授業概要	<p>この授業では、子どものそだちにかかわる保育者として、子どものこころの発達に関する基本的な知識とその内容を多角的から視点で捉えられる専門性の基礎を養うことを目指します。また、授業のなかで、子どもの遊びを通して、その活動の楽しさとその中で育まれる育ちについて体験を学んでいきます。この授業が終了した際に、受講者のみなさんが次のような知識、技能、態度を身につけることを目標とします。</p> <p>①子どものこころの発達の基礎的な知識について説明できる。</p> <p>②子どもにかかわる保育者としての基本的な視点を説明することができる。</p> <p>③遊びの実践を通して、積極的に他者とのコミュニケーションを行い、活動を楽しむことができる。</p> <p>④子どもの発達に関する問題について資料等を用いて解決策を見出すことができる。</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
確かな専門的知識 や技能	<ul style="list-style-type: none"> 子どものこころに関する基礎的な知識について説明できる。 子どもにかかわる保育者としての基本的な視点を説明することができる。 	定期試験	70
コミュニケーション能力	<ul style="list-style-type: none"> 遊びの実践を通して、積極的に他者とのコミュニケーションを行い、活動を楽しむことができる。 	参加・取り組み	20
課題解決能力	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの発達に関する問題について資料等を用いて解決策を見出すことができる。 	課題・レポート	10
主体的に学ぶ力			
合計			100%
補足事項			
<p>授業に関する質問は、直接のほか Google classroom でも受けつけ、Web 上または授業回で答える。本授業は、定期試験 70%、参加・取り組み 20%、課題・レポート 10%の割合で評価する。</p>			

課題の作成には、Microsoft の Word・Excel を積極的に使ってください。

各授業で出された課題について、授業終了時に回収します。また、課題の内容については、授業内で取り扱います。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1 回目	子どもの育ちと保育者の役割	面接授業 オンライン授業 対応可	予習：事前に配布された課題に取り組む。(1 時間) 復習：授業内で配布された資料を復習する。(1 時間)
2 回目	子どもの世界と大人のかかわり	面接授業 オンライン授業 対応可	予習：事前に配布された課題に取り組む。(1 時間) 復習：授業内で配布された資料を復習する。(1 時間)
3 回目	子どもの発達理論	面接授業 オンライン授業 対応可	予習：事前に配布された課題に取り組む。(1 時間) 復習：授業内で配布された資料を復習する。(1 時間)
4 回目	子どもの育ちと親子関係	面接授業 オンライン授業 対応可	予習：事前に配布された課題に取り組む。(1 時間) 復習：授業内で配布された資料を復習する。(1 時間)
5 回目	子どもの主体性と保育者のかかわり	面接授業 オンライン授業 対応可	予習：事前に配布された課題に取り組む。(1 時間) 復習：授業内で配布された資料を復習する。(1 時間)
6 回目	子どもの育ちと環境	面接授業 オンライン授業 対応可	予習：事前に配布された課題に取り組む。(1 時間) 復習：授業内で配布された資料を復習する。(1 時間)
7 回目	子どもとあそび	面接授業 オンライン授業 対応可	予習：事前に配布された課題に取り組む。(1 時間) 復習：授業で行う活動の準備をする。 (1 時間)
8 回目	子どもとあそび	面接授業	予習：授業で行う活動の準備をする。 (1 時間) 復習：授業で行った活動の振り返りを行う。(1 時間)
9 回目	子どもとあそび	面接授業	予習：授業で行う活動の準備をする。 (1 時間) 復習：授業で行った活動の振り返りを行う。(1 時間)
10 回目	子どもとあそび	面接授業	予習：授業で行う活動の準備をする。

			(1時間) 復習：授業で行った活動の振り返りを行う。(1時間)
11回目	子どもとあそび	面接授業	予習：授業で行う活動の準備をする。(1時間) 復習：授業で行った活動の振り返りを行う。(1時間)
12回目	子どものこころをケアする	面接授業 オンライン授業 対応可	予習：事前に配布された課題に取り組む。(1時間) 復習：授業内で配布された資料を復習する。(1時間)
13回目	子どもの育ちと障害	面接授業 オンライン授業 対応可	予習：事前に配布された課題に取り組む。(1時間) 復習：授業内で配布された資料を復習する。(1時間)
14回目	子どもの育ちと障害	面接授業 オンライン授業 対応可	予習：事前に配布された課題に取り組む。(1時間) 復習：授業内で配布された資料を復習する。(1時間)
15回目	授業全体の総括	面接授業 オンライン授業 対応可	予習：事前に配布された課題に取り組む。(1時間) 復習：授業内で配布された資料を復習する。(1時間)
16回目	定期試験		

科目（教職課程用）	領域及び保育内容の指導法に関する科目
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	領域の専門的事項（これらの内容を合わせた科目）
教科書・参考書	参考書：新保育ライブラリー 子どもを知る 乳幼児心理学，無藤隆・岩立京子編著，北大路書房
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業時間後の時間もしくは教員の空き時間等に対応します（研究室）
備考・メッセージ	授業を受講するにあたり、他の受講者の権利を阻害する行為、もしくは受講する学生としての規範を逸脱する行為を行った場合はそれ相応の対応を行います。

講義科目名称：保育実習 I（施設）	授業コード：90133
英文科目名称：	ナンバリング：CE201

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
後期	1年	2単位	保育士：必修	実習
担当教員				
花城暢一、滝川由香里、吉元千加里				

授業概要	<p>施設実習を通して、保育士資格の取得のために必要な専門的知識・技術の習得、実習生としての姿勢を学習していく。本実習では以下の事項を学習の目標とする。</p> <p>① 社会福祉施設の内容、機能などを実践現場で体験を通して理解する。</p> <p>② 既習の教科全体の知識・技能を基礎とし、これらを総合的に実践する応用力を身につける。</p> <p>③ 子どもに直接に関わることを通して、子どもや子どもを取り巻く環境について理解を深めることができる。</p> <p>④ 保育の計画、観察、記録及び自己評価等について具体的に理解する。</p> <p>⑤ 保育士としての職業倫理と子どもの最善の利益の具体的内容について理解する。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	実習の意義・目的を理解し、保育者に求められる専門性や専門職としての資質を身につけることができる。	・実習中の取り組み ・巡回指導訪問	15% 5%
確かな専門的知識や技能	保育者の役割と仕事内容を理解し、保育者に求められる専門的な知識や技能について習得することができる。	・実習施設からの評価 ・実習日誌	15% 5%
コミュニケーション能力	関係者との協働を通して、児童や利用者の状況を理解しながら支援していく姿勢を身につけることができる。	・実習施設からの評価	20%
課題解決能力	児童および利用者の人権と最善の利益の考察、プライバシーの保護と守秘義務等について理解し、課題解決に必要な実践力を身につけることができる。	・実習施設からの評価	15%
主体的に学ぶ力	実習の計画・実践・観察・記録・評価の方法や内容について具体的に理解し、実習の目標および自己課題を明確にしながらか主体的に実習に臨むことができる。	・実習中の取り組み ・巡回訪問指導 ・実習日誌	15% 5% 5%

出席	受験要件
合計	100%
補足事項	
<p>○実習日誌（10%） ○実習施設からの評価（80%） ○巡回訪問指導（10%）を総合評価しておこなう。 ※「保育実習Ⅰ」の全体評価は、「保育所実習（50%）」と「施設実習（50%）」で総合評価する。</p>	

実践実習（実習計画と学習内容）	
＜福祉施設での実習＞（1日8時間以上×10日間）	
（内容）	
1	実習施設の役割と機能について学ぶ。
2	観察や記録を通し子どもを理解し、個々の状態に応じた援助やかかわりを学ぶ。
3	養護内容や生活環境について学ぶ。
4	生活や援助などの一部分を担当し、養護技術を習得する。
5	職員間の役割とチームワークについて理解する。
6	記録や保護者とのコミュニケーションなどを通して家庭・地域社会を理解する。
7	安全及び疾病予防への配慮について理解する。
8	専門職として保育士の役割と職業倫理について学ぶ。

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	
履修条件	オリエンテーションを事前におこない、実習生カードの提出や必要であれば車両通勤許可を得て、オリエンテーション報告書を学校に提出し、持参する必要書類（腸内検査等含む）を揃え、実習遵守事項を確認の上捺印し本実習にのぞむ。
履修上の注意	<p>実習指導は実習準備の大切な授業である。そのため、本授業では以下の事に十分注意する事。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・欠席時は、事前に教科担当者へ欠席とその理由の報告を行う。 ・特段の理由（病気や出席停止に該当するもの）無く、3回以上欠席した場合は、実習が可能か否かを学科で協議する場合がある。 ・遅刻や提出物の不備が続いた場合も減点の対象となり、場合によっては実習が可能か否かを協議することがある。

	<ul style="list-style-type: none">・欠席した場合は、次回授業の準備に不足が無いよう、自ら考えて行動する事。・授業で毎時配布するプリントは、必要箇所の記入をすませ、まとめて綴じておく。・授業時間のうち、15分以上退室すると欠席扱いとなる。
オフィスアワー	授業、会議、実習巡回、出張等が入っていない場合は随時対応します。
備考・メッセージ	実習中は遅刻・欠席がないように心がけましょう。

講義科目名称：保育実習 I（保育所）	授業コード：90135
英文科目名称：	ナンバリング：CE201

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期	2年次	2	保育士：必修	実習
担当教員				
戸田 恵理子 吉元 千加里 末岡 まゆり				

授業概要	<p>保育所実習を通して、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 保育所・認定こども園の生活を知り、乳幼児への理解を深め、保育所の機能・保育士の職務について学ぶ 2. 既習の教科全体の知識・技能を基礎として、これらを総合的に実践する応用力を身につける 3. 子どもに直接関わることを通して、子どもや子どもを取り巻く環境について理解を深める 4. 保育の計画、観察、記録及び自己評価等について具体的に理解する 5. 保育士としての職業倫理と子どもの最善の利益の具体的内容について理解することを学習の目標とする。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	実習の意義・目的を理解し、子どもたちとの関わりを楽しみながら実習に臨むことができる。	・実習園の評価	20%
確かな専門的知識や技能	保育士に必要な、保育に関する専門的知識・技能を積極的に習得することができる。	・実園からの評価 ・実習日誌	20% 5%
コミュニケーション能力	子どもとの関わりを通して、子どもの年齢や発達に応じた声かけや援助の方法を身につけることができる。	・実習園からの評価	20%
課題解決能力	子どもの最善の利益を保障する日々の保育を理解し、場面に応じた課題解決法を見出すことができる。	・実習園からの評価 ・巡回指導訪問	10% 5%
主体的に学ぶ力	日々の実習において、自己課題を明確にし、主体的に実習に臨むことができる。	・実習園の評価 ・実習日誌 ・巡回指導訪問	10% 5% 5%
合計			100%
補足事項			

○実習園の評価 80% ○実習日誌 10% ○巡回指導訪問 10% を総合して評価を行う。
 ※保育実習Ⅰの全体評価は「施設実習：50%」と「保育所実習：50%」で総合評価する

実践実習（実習計画と学習内容）	
<保育所での実習>（1日 8時間以上×10日間）	
実習内容	
1	施設及び保育所・認定こども園の役割と機能について学ぶ
2	観察や記録を通し子どもを理解し、適切な援助や関わりを学ぶ
3	発達過程に応じた保育内容・保育環境について理解する
4	生活や余暇活動及び遊びの一部を担当し、保育技術の習得をする
5	保育計画立案、実践、反省、改善ができる
6	施設及び保育所、認定こども園と家庭・地域社会との連携を理解する
7	安全及び疾病予防への配慮について理解する
8	専門職としての保育士の役割と職業倫理について学ぶ

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	
履修条件	<ul style="list-style-type: none"> ・保育実習Ⅰ（施設実習）を履修すること ・実習の目的・内容を確認して必要な準備を確実に行うこと ・事前事後指導を受け、明確になった自己課題の解決に向けて真摯な姿勢で取り組むこと ・持参する必要書類（腸内検査等含む）を揃え、誓約書・実習遵守事項を確認（捺印）し本実習に臨むこと
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・実習前後及び実習期間中の健康管理には十分留意する ・実習に関わる準備を丁寧に行う ・実習前の実習指導の授業出席3分の2以上の場合、実習参加を可とする
オフィスアワー	授業・実習巡回・会議研修などの業務以外は随時対応する
備考・メッセージ	積極的な姿勢で実習に臨み、実践を通し自らの気づきや学びを深めること

講義科目名称：保育実習Ⅱ（保育所）	授業コード：90503
英文科目名称：	ナンバリング：CE401

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期	2年次	2	保育士：選必 卒業：選択	実習
担当教員				
戸田 恵理子 吉元 千加里 末岡 まゆり				

授業概要	<ol style="list-style-type: none"> 1. 保育所の役割や機能について、具体的な実践を通して理解を深める。 2. 子どもの観察や関わりの視点を明確にすることを通して、保育の理解を深める。 3. 「保育実習Ⅰ」で習得した知識や内容を踏まえ、子どもの保育及び子育て支援に携わる保育士に必要な専門知識や保育技術などを身につける。 4. 保育の計画・実践・観察・記録及び自己評価等について、実際に取り組み、理解を深める。 5. 保育士の業務内容や職業倫理について、具体的な実践に結びつけて理解する。 6. 実習における自己の課題を明確化する。
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	対人援助職である保育士の仕事に携わる者として、明るく柔軟な態度と責任感を持ちながら行動できる。	・実習園の評価	20%
確かな専門的知識や技能	保育に関する専門的知識・技能を実習現場で生かしながら、保育者からの指導助言を柔軟に受け止め、自身の知識・技術向上につなげることができる。	・実園からの評価 ・実習日誌	20% 5%
コミュニケーション能力	保育者の子どもや保護者との関係性に着目しながら、状況に応じたコミュニケーションの方法を習得することができる。	・実習園からの評価	20%
課題解決能力	1日1日の実習を丁寧に振り返ることや、子ども・保育者との継続的な関係性のもとに成り立つ保育中の様々な場면을多面的に分析・考察することができる。	・実習園からの評価 ・巡回指導訪問	10% 5%
主体的に学ぶ力	保育士としての職業倫理と子どもの最善の利益の具体的内容について理解しながら積極的に実習に臨むことができる。	・実習園の評価 ・実習日誌 ・巡回指導訪問	10% 5% 5%

合計	100%
補足事項	
○実習園からの評価 80% ○実習日誌 10% ○巡回指導訪問 10% で総合評価を行う。	

実践実習（実習計画と学習内容）	
＜保育所での実習＞（1日 8時間以上×10日間）	
実習内容	
1	保育全般に参加し、保育技術を習得する
2	子どもの個人差について理解し、対応方法を理解する。特に発達の遅れや生活環境にともなう子どものニーズを理解し、その対応について具体的に学ぶ
3	子どもの年齢・発達段階に応じた指導計画を立案し実践する
4	子どもの家族とのコミュニケーションの方法を具体的に習得する
5	地域社会に対する理解を深め、連携の方法について具体的に学ぶ
6	子どもの最善の利益への配慮を学ぶ
7	保育士としての職業倫理を理解する
8	保育所の保育士に求められる資質・能力・技術に照らし合わせて自己の課題を明確化する

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	
履修条件	<ul style="list-style-type: none"> ・保育実習Ⅰ（保育所）を履修すること ・実習の目的・内容を確認して必要な準備を確実に行うこと ・事前事後指導を受け、明確になった自己課題の解決に向けて真摯な姿勢で取り組むこと ・持参する必要書類（腸内検査等含む）を揃え、誓約書・実習遵守事項を確認（捺印）し本実習に臨むこと
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・実習前後及び実習期間中の健康管理には十分留意する ・実習に関わる準備を丁寧に行う ・実習前の実習指導の授業出席3分の2以上の場合、実習参加を可とする
オフィスアワー	授業・実習巡回・会議研修などの業務以外は随時対応する
備考・メッセージ	積極的な姿勢で実習に臨み、実践を通し自らの気づきや学びを深めること

講義科目名称：保育実習Ⅲ（施設）	授業コード：90137
英文科目名称：	ナンバリング：CE402

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期	2年	1単位	保育士：必修	実習
担当教員				
花城暢一、滝川由香里、吉元千加里				

授業概要	<p>1年時の保育実習Ⅰ（施設）で学んだ実習内容を踏まえ、専門的知識・技術の習得、保育士の資質等を学習していく。本実習では以下の事項を学習の目標とする。</p> <p>① 「保育実習Ⅰ」で体験し、習得した知識や理解内容をもとに、さらに施設保育士に必要な知恵や指導技術を身につけることができる。</p> <p>② 児童福祉施設（保育所以外）、その他社会福祉施設の役割や機能について実際に実践し、保育士として必要な資質・能力・技術を習得することができる。</p> <p>③ 家庭と地域の生活に触れて、子ども、家庭福祉ニーズに対する理解力・判断力を養うとともに、子育てを支援するために必要とされる能力を身につけることができる。</p> <p>④ 児童に直接的に関わることを通して、児童や児童を取り巻く環境について理解を深めることができる。</p> <p>⑤ 保育士としての自己の課題を明確化することができる。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	家庭と地域の生活に触れて、子ども、家庭福祉ニーズに対する理解力・判断力を養うとともに、子育てを支援するために必要とされる能力を身につけることができる。	・実習中の取り組み ・巡回指導訪問	10% 5%
確かな専門的知識や技能	児童福祉施設（保育所以外）その他社会福祉施設の役割や機能について実際に実践し、保育士として必要な資質を習得することができる。	・実習施設からの評価 ・実習日誌	10% 10%
コミュニケーション能力	「保育実習Ⅰ」で体験し、習得した知識や理解内容をもとに、さらに施設保育士に必要な知識や指導技術を身につけることができる。	・実習施設からの評価	20%
課題解決能力	児童および利用者の生活課題を踏まえ、課題解決に必要な実践力を身につけることができる。	・実習施設からの評価 ・実習日誌	10% 10%

主体的に学ぶ力	実習の目標および自己課題を明確にし ながら主体的に実習に臨む姿勢を身に 着けることができる。	・実習中の取り組み ・振り返りレポート	10% 15%
出席			受験要件
合計			100%
補足事項			
○実習中の取り組み（20%） ○実習日誌（20%） ○実習施設からの評価（40%） ○振り返りレポート（15%） ○巡回訪問指導（5%）を総合評価しておこなう。			

実践実習（実習計画と学習内容）	
＜保育所以外での施設実習＞（1日8時間以上×10日間）	
（内容）	
1	実習施設事前オリエンテーション（上記実習期間前に実施する）
	実習施設の理解① 目的、沿革、運営方針、環境（地理的、物的、人的）、1日の生活の流れ、児童の姿、子ども・利用者の姿
	実習施設の理解② 実習中の行事、実習計画（担当予定など）、実習中の心得（持ち物、服装等）、準備するものなど
2	（1）養護全般に参加し、養護技術を習得する。
	（2）個人差や生活環境に伴う子ども・利用者のニーズの把握とその理解。
	（3）子ども・利用者の観察や関わりを通して、児童の発達・利用者の援助を理解する。
	（4）子どもの最善の利益を具体化する方法について学ぶ。
	（5）子どもの家族とのコミュニケーションの方法を具体的に習得する。
	（6）保育士としての倫理を具体的に学ぶ。
	（7）児童福祉施設等の保育士に求められる資質・能力・技術に照らし合わせて、自己の課題を明確化する。
	（8）多様な専門職との連携や、地域社会との連携について学ぶ。

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	

教科書・参考書	
履修条件	オリエンテーションを事前におこない、実習生カードの提出や必要であれば車両通勤許可を得て、オリエンテーション報告書を学校に提出し、持参する必要書類（腸内検査等含む）を揃え、実習遵守事項を確認の上捺印し本実習にのぞむ。
履修上の注意	<p>実習指導は実習準備の大切な授業である。そのため、本授業では以下の事に十分注意する事。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・欠席時は、事前に教科担当者へ欠席とその理由の報告を行う。 ・特段の理由（病気や出席停止に該当するもの）無く、3回以上欠席した場合は、実習が可能か否かを学科で協議する場合がある。 ・遅刻や提出物の不備が続いた場合も減点の対象となり、場合によっては実習が可能か否かを協議することがある。 ・欠席した場合は、次回授業の準備に不足が無いよう、自ら考えて行動する事。 ・授業で毎時配布するプリントは、必要箇所の記入をすませ、まとめて綴じておく。 ・授業時間のうち、15分以上退室すると欠席扱いとなる。
オフィスアワー	授業、会議、実習巡回、出張等が入っていない場合は随時対応します。
備考・メッセージ	実習中は遅刻・欠席がないように心がけましょう。

講義科目名称：教育実習	授業コード：
英文科目名称：	ナンバリング：CE301

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
後期	2年	4単位	必修	実習
担当教員				
戸田 恵理子 吉元 千加里 末岡 まゆり				

授業概要	<p>すでに学んだ理論をもとに、幼稚園・認定こども園において実際に園児と接し、幼児の実態を知り、幼稚園教諭・保育教諭としての職務内容や役割について理解が深まるよう、以下の事項を目標とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 実習を通し幼児への理解を深め、幼児の発達に応じた保育内容と環境構成を学ぶ。 2. 自身の具体的な子どもとの関りや幼稚園教諭・保育教諭の保育を通して、保育における個々の援助の重要性及び総合的に保育を捉える視点を学ぶ。 3. 既習の学習全体の知識・技能を基礎とし、指導計画の作成と実践を通し、PDCAサイクルの重要性を理解する。 4. 専門職としての幼稚園教諭・保育教諭の職業倫理を学び、自己の課題を明確にする。 5. 多様な保育のニーズ・保護者支援・地域連携など幼稚園の社会的役割及び幼稚園教諭・保育教諭の職務内容や役割について理解を深める。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	実習の意義・目的を理解し、保育者に求められる専門性や専門職としての資質及び職業倫理を身に付けることができる	・実習園の評価	20%
確かな専門的知識や技能	幼稚園教諭・保育教諭の役割と仕事内容を理解し、専門的な知識や技能を習得することができる。	・実習園の評価 ・実習日誌	20% 5%
コミュニケーション能力	保育者との協同を通して、幼児の状況を理解しながら支援していく姿勢を身に付けることができる。	・実習園の評価	20%
課題解決能力	実習を通して、自らの課題をより明確にし、幼稚園教諭・保育教諭になるにあたっての課題解決に必要な実践力を身につけることができる。	・実習園の評価 ・巡回指導訪問	10% 5%

主体的に学ぶ力	実習の中で目標設定・計画・実践・振り返り・考察を繰り返し、自己課題を明確にしながら主体的に実習に臨むことができる。	・実習園の評価 ・実習日誌 ・巡回指導訪問	10% 5% 5%
		合計	100%
補足事項			
○実習園の評価 80% ○実習日誌 10% ○巡回指導訪問 10% で総合して評価を行う。			

実践実習（実習計画と学習内容）	
＜幼稚園での実習＞ 1日8時間以上×20日間	
（内容）	
1	保育全般に参加し、保育技術を習得する
2	子どもとの関りを通して年齢発達・個人差について理解し、それに応じた保育方法を学ぶ
3	安全・健康に配慮した物的環境や人的配慮について理解する
4	子どもの姿に応じた保育計画を立案し、実践と振り返りを行う中で保育における PDCA サイクルを学ぶ
5	様々な家庭環境や発達の遅れに伴う個々の子どもに対する配慮について理解し、その具体的方法について学ぶ
6	幼稚園・こども園に求められる保育ニーズや子育て支援・地域連携等について具体的に学ぶ
7	幼稚園教諭・保育教諭としての職業倫理を理解する
8	幼稚園教諭・保育教諭に求められる資質・能力・技術に照らし合わせ自己の課題を明確化する

科目（教職課程用）	教育実践
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	教育実習
教科書・参考書	
履修条件	<ul style="list-style-type: none"> ・実習の目的・内容を確認して必要な準備を確実に行うこと ・事前事後指導を受け、明確になった自己課題の解決に向けて真摯な姿勢で取り組むこと ・持参する必要書類（腸内検査等含む）を揃え、誓約書・実習遵守事項を確認（捺印）し本実習に臨むこと
履修上の注意	実習実施前の「実習指導 I」への授業出席が 2/3 以上ある者に教育実習 I への参加を認める

オフィスアワー	授業・実習巡回・会議研修などの業務以外は随時対応する
備考・メッセージ	積極的な姿勢で実習に臨み、実践を通し自らの気づきや学びを深めること

講義科目名称：保育実習指導 I（施設）	授業コード：33231 34232
英文科目名称：	ナンバリング：CE202

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
後期	1年	2単位	保育士：必修	演習
担当教員				
花城暢一、滝川由香里、吉元千加里				

授業概要	<p>授業では、保育士資格の取得のために必要な施設実習について専門的な知識・技術、実習生としての姿勢を学習していく。本授業では以下の事項を学習の目標とする。</p> <p>① 施設実習の 意義・目的を理解する。</p> <p>② 実習内容 を理解し、実習生としての心構えを学び、自らの 実習の課題を明確化する。</p> <p>③ プライバシーの保護と守秘義務について 理解する。</p> <p>④ 子どもの人権と最善の利益の尊重の具現化について 理解する。</p> <p>⑤ 実習の計画・実践・観察・記録・評価の方法や内容について具体的に理解する。</p> <p>実習の事後指導を通して、実習の総括と自己評価を行い、今後の学習に向けた課題や目標を明確にする。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	実習の意義・目的を理解し、保育者に求められる専門性や専門職としての資質を 述べる ことができる。	・学習に取り組む姿勢	5%
確かな専門的知識や技能	保育者の役割と仕事内容を理解し、保育者 に求められる専門的な知識や技能について述べる ことができる。	・確認テスト ・小テスト	50% 10%
コミュニケーション能力	関係者との協働を通して、児童や利用者の状況を理解しながら支援していくために必要なことを述べる ことができる。	・確認テスト	10%
課題解決能力	児童および利用者の人権と最善の利益の考察、プライバシーの保護と守秘義務等について理解 し、課題解決に必要な 知識について述べる ことができる。	・確認テスト	10%
主体的に学ぶ力	実習の計画・実践・観察・記録・評価の方法や内容について具体的に理解し、実習の目標および自己課題を	・確認テスト ・事前準備	10% 5%

	明確にしながら主体的に実習に臨むことができる。		
出席			受験要件
合計			100%
補足事項			

授業計画	授業の内容	実施形態	予習・復習
1回目	実習オリエンテーション 実習とは 施設・幼稚園・保育実習について 施設実習までのスケジュール 施設実習の基本理解	対面授業	予習；教科書 p 8 11 を読み、まとめる（2 時間） 復習；幼稚園・保育所・施設実習の内容（意義・目的）について理解する 2 時間）
2回目	実習までに確認する事・身に付けておくべき事障がい者施設及び事業所について①	対面授業	予習；教科書 p 16 37 、 62 89 を読み、まとめる（2 時間） 復習；各実習施設について授業内容を振り返り、要点をまとめる（2 時間）
3回目	障がい者施設及び事業所について②	対面授業	予習；教科書 p 16-37 、 62 89 を読み、まとめる（2 時間） 復習； p 20 を完成させ、また 実習期間の日程、施設での生活支援などについて要点をまとめる。(2 時間)
4回目	施設および障害についての学習 実習施設希望調査	対面授業	予習；自らが 実習で何を学びたいかを考える（2 時間） 復習；希望した施設のうち、実習可能な施設を整理し、希望調査を完成させる。(2 時間)
5回目	実習日誌について① 実習日誌とは	対面授業	予習；教科書 p 90 -95 を読み、まとめる（2 時間）

			復習；実習中の記録（日誌の構成と内容）について理解を深める。教科書 p97 を完成させる
6 回目	保健衛生について インフルエンザ予防接種について	対面授業	予習；子どもの保健の教科書やプリントを見て、復習をしておく（2 時間） 復習；授業内容を振り返り、要点をまとめる（2 時間）
7 回目	実習日誌について② 日誌の書き方	対面授業	予習；教科書 p 98 100 を読み、まとめる（2 時間） 復習；p100 を完成させる（2 時間）
8 回目	守秘義務・実習におけるトラブルシューティング・遵守事項・緊急連絡先について	対面授業	予習；教科書 p42-43、116 122 をよみ、まとめる（2 時間） 復習；実習に関する個人情報の保護、守秘義務、人権尊重等について、要点をまとめる（2 時間）
9 回目	リーダー決め、実習先（施設）の事前学習、課題設定について	対面授業	予習；教科書 p 44-47、112 を読み、まとめる（2 時間） 復習；授業内容を振り返り、要点をまとめる（2 時間）
10 回目	実習課題設定・振り返りについて *実習生カード下書き提出	対面授業	予習；教科書 p 112-115 を読み、まとめる（2 時間） 復習；立案した実習課題が実現可能なものであるか、課題解決方法について具体的に考察する。（2 時間）
11 回目	日誌の書き方③ 日誌の確認（名前記入など） 責任実習について	対面授業	予習；p 102-111 を読み、まとめる。（2 時間） 復習；授業内容を振り返り、要点をまとめる（2 時間）
12 回目	実習生カード清書・書類配布 お礼状について、腸内検査について①	対面授業	予習；教科書 p 124-125 を読み、まとめる（2 時間） 復習；授業を振り返り、要点をまとめる（2 時間）

13 回目	オリエンテーションについて・電話のかけ方・訪問の仕方・応答の仕方腸内検査②	面接授業	予習； p 48-57 を読み、まとめる（2 時間） 復習；電話のかけ方、オリエンテーションでの質問項目等について要点をまとめる（2 時間）
14 回目	実習最終準備 事前指導・事後指導について 書類作成（遵守事項・誓約書・車両通勤許可書）	対面授業	予習； p 126-131 を読み、まとめる（2 時間） 復習；施設実習の留意点・遵守事項等について要点をまとめる（2 時間）
15 回目	実習時の学び・実習後の Qand A 実習確認テスト	対面授業	予習； p 132-138 をよみ、まとめる 復習；授業内容を振り返り、要点をまとめる。確認テストの内容を振り返る。（2 時間）
16 回目	書類作成（出勤簿・評価表） 遵守事項等返却	対面授業	
17 回目	事後指導	対面授業	予習；実習時の記録を振り返り、自己の課題を明確にしておく。（2 時間） 復習；振り返りを基に保育士としての自己課題をまとめる。（2 時間）

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	テキスト：『施設実習 パーフェクトガイド』守 巧 他 著 わかば社 参 考 書：関連資料 実習日誌
履修条件	
履修上の注意	実習指導は実習準備の大切な授業である。そのため、本授業では以下の事に十分 注意する事。 ・欠席時は、事前に教科担当者へ欠席とその理由の報告を行う。 ・特段の理由（病気や出席停止に該当するもの）無く、3 回以上欠席した

	<p>場合は、実習が可能か否かを学科で協議する場合がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遅刻や提出物の不備が続いた場合も減点の対象となり、場合によっては実習が可能か否かを協議することがある。 ・欠席した場合は、次回授業の準備に不足が無いよう、自ら考えて行動する事。 ・授業で毎時配布するプリントは、必要箇所の記入をすませ、まとめて綴じておく。 ・授業時間のうち、15分以上退室すると欠席扱いとなる。
オフィスアワー	授業、会議、実習巡回、出張等が入っていない場合は随時対応します。
備考・メッセージ	レポートや実習に必要な書類などの提出期限厳守

講義科目名称：実習指導 (保育実習指導Ⅰ・教育実習指導)	授業コード：
英文科目名称：	ナンバリング：CE202

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期	2	2	保育士 必修 幼免 必修	演習
担当教員				
戸田 恵理子 吉元 千加里 末岡 まゆり				

授業概要	<p>資格取得のために必要な専門的知識・技術の習得、実習生としての姿勢を習得していく。本授業では以下の事項を学習の目的とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 保育者としての職業倫理を理解する実習園の概要を理解する実習園の保育の目標を理解する。 2 実習記録の意義と方法を習得する指導計画立案をする模擬保育等を行い多様な保育技術の習得をする。 3 実習の自己課題を明確にする子どもの発達を理解する実習に必要な書類の確認・提出や遵守事項に沿った実習内容に取り組む。 4 実習後の自己点検・自己評価をするグループディスカッションやロールプレイによって実習の振り返りをおこない、実習の成果や新たな学習課題を確認する。 5 保育者の仕事の現状を丹念に把握しながら保育者としての資質向上への意欲を持つ。
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	実習の意義・目的を理解し、保育者に求められる専門性や専門職としての資質を身に着けることができる	・実習生カード	10%
確かな専門的知識や技能	実習を円滑に進めていく知識や技術を習得することができる。	・レポート ・確認テスト	10% 20%
コミュニケーション能力	グループディスカッションやロールプレイによって 実習の振り返りをおこない、実習の成果や新たな学習課題を確認する。	・レポート	10%
課題解決能力	幼稚園・保育所・認定こども園における実習の目的・内容・方法を理解することができる。 「事前指導」では、各自の学習内容や課題を明確にする 「事後指導」では、実習で得た学習内	・事後報告書 ・指導案立案	20% 20%

	容を振り返り、多面的に検討して反省・評価を行い改善への課題を探求することができる。		
主体的に学ぶ力	授業への意欲、提出書類の正確さ、事前準備（指導案立案）実習の振り返りを総合して評価を行うことができる。	・レポート	10%
合計			100%
補足事項			
<p>実習生カード 10% 確認テスト 20% レポート 30% 事後報告書 20%</p> <p>指導案立案 20% 総合して評価する。</p> <p>※レポートは、Melly での提出を求める場合がある。授業前後には Melly の確認を必ず行うこと</p> <p>①資料・課題はオンラインで実施する前に配布します。保育者としての自分を認識するため予習・福習をして受講して下さい。</p> <p>②対面授業時に説明及び自己採点と解釈をします。定期試験後に解答を開示します。</p> <p>③オンライン授業時は、カメラは基本的に「ON」、発言時以外は、マイクは「OFF」にして下さい。</p> <p>④課題やレポートは Word や Excel を必要に応じて活用して下さい。</p> <p>⑤授業開始から 15 分以前の早退及び授業時間中 15 分以上離席した際は欠席扱い、授業開始から 15 分経過した遅刻 3 回で欠席 1 回とみなします。</p>			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1 回目	幼稚園教育実習の意義・目的について ・確認シートの内容を理解し、実習の目的及び自己課題について説明できる ・守秘義務について理解する	面接授業 (オンライン等の対応可能)	予習：シラバス確認 (2時間) 復習：確認シートの完成 (2時間)
2 回目	幼稚園教育実習に向けて ・幼稚園・認定こども園（幼児部）の1日の流れについて理解する ・保育及び実習のねらいなど日誌の記入項目について説明できる（確認）	面接授業 (オンライン等の対応可能)	予習：幼稚園の1日の生活の流れと内容を確認する(2時間) 復習：日々のねらいの立て方について参考資料をもとに確認する(2時間)
3 回目	幼稚園実習先オリエンテーションについて ・オリエンテーション報告書の項目について説明できる ・実習生カードの作成の目的や記入内容について説明できる ・園への電話のかけ方や訪問について説明できる	面接授業 (オンライン等の対応可能)	予習：実習先のホームページを確認し、教育方針や保育内容について整理する(2時間) 復習：幼稚園教育実習Ⅰ実習生カード(下書き)作成(2時間)
4 回目	保育実践に向けた指導案立案について ・3歳児・4歳児・5歳児の年齢・発達段階・興味関心に応じた活動について理解する。 ・保育実践に必要な用具・準備内容をイメージした立案・見本作成・シュミレーションを行う必要性を理解する。	面接授業 (オンライン等の対応可能)	予習：1年次の指導案のチェックと反省・改善 (2時間) 復習：担当クラスの指導案立案(2時間)
5 回目	実習書類に関する書類の作成について	面接授業	予習：実習期間や実習内容に

	<ul style="list-style-type: none"> ・評価表・出勤簿の作成や持参書類（証明書等の申請）を確認する。 ・実習通勤方法や実習期間中の連絡・相談方法について説明できる。 	(オンライン等の対応可能)	<p>ついて確認する（2時間）</p> <p>復習：車輛通勤許可証や申請書類等について実習初日の提出物などのリストを作成する（2時間）</p>
6回目	<p>模擬保育実践について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループ毎、担当年齢の保育実践に必要な保育環境を設定することができる。 ・実践を通した振り返りを行い、子どもの姿に応じた保育者の配慮・援助事項に気づき説明することができる。 	面接授業（オンライン等の対応可能）	<p>予習：グループメンバーと模擬保育に必要な準備物等の確認を行う（2時間）</p> <p>復習：感想レポートの作成・提出（2時間）</p>
7回目	<p>実習前の指導について</p> <p>確認チェックシートの項目を確認し、健康観察カード及び腸内検査結果の同封することをリーダーと共に確認することができる。</p>	面接授業（オンライン等の対応可能）	<p>予習：実習初日及び実習期間に必要な準備物等について実習生同士で確認する（2時間）</p> <p>復習：実習後のお礼状について参考資料に目を通しておく（2時間）</p>
8回目	<p>幼稚園教育実習Ⅰ期間（6月1日～6月11日）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巡回担当者や実習状況等の確認を通して改善点を具体的に理解・把握した上で、今後の実習に取り組むことができる 	面接授業（オンライン等の対応可能）	<p>予習：翌日の保育活動の確認を行う（2時間）</p> <p>復習：日誌記入を通して、ねらいに対する振り返りを行う（2時間）</p>
9回目	<p>実習直後の振り返り・自己評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「実習報告会」の中で自身の実習体験の報告と、幼稚園教育実習Ⅱに向けた具体的な自己課題の設定ができる。 	面接授業（オンライン等の対応可能）	<p>予習：日誌の受取及び実習担当者への提出日確認（1時間）</p> <p>復習：幼稚園教育実習Ⅱ実習生カード（下書き）作成（2時間）</p>
10回目	<p>保育所実習の意義・目的について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・確認シートの内容を理解し、実習の目的及び自己課題について説明できる。 ・オリエンテーション実施に必要な連絡や準備内容について説明できる。 ・実習生カードの作成の目的や記入内容について説明できる。 	面接授業（オンライン等の対応可能）	<p>予習：シラバス参照しながら保育所実習の内容にて確認する（2時間）</p> <p>復習：確認シートの完成（2時間）</p>
11回目	<p>保育実習（保育所実習）に向けて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育所・認定こども園（乳児部）のデイリープログラムについて理解する ・保育及び実習のねらいなど日誌の記入項目について説明できる（確認） 	面接授業（オンライン等の対応可能）	<p>予習：保育所のデイリープログラムを確認する（2時間）</p> <p>復習：日々のねらいの立て方について参考資料をもとに確認する（2時間）</p>
12回目	<p>子どもの発達（0～2歳児）の見直しについて（保育所実習に向けた模擬保育計画）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3歳未満児へのかかわりについて理解する。 ・0歳児・1歳児・2歳児の年齢・発達の個人差・興味関心に応じた活動について説明できる。 ・保育実践に必要な用具・準備内容をイメージした立案・見本作成・シュミレーションを行う必要性について説明できる。 	面接授業（オンライン等の対応可能）	<p>予習：確認テストに向けて1年次の関連既習科目を確認する（2時間）</p> <p>復習：確認テスト内容を再度見直し、実習までにマスターする（2時間）</p>

13 回目	<p>子どものあそび・発達段階を理解・確認 (保育所実習に向けた模擬保育計画)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3歳未満児へのかかわりについて理解する。 ・0歳児・1歳児・2歳児の年齢・発達の個人差・興味関心に応じた活動について説明できる。 ・保育実践に必要な用具・準備内容をイメージした立案・見本作成・シュミレーションを行う必要性について説明できる。 	面接授業 (オンライン等の対応可能)	<p>予習:3歳未満児の保育内容について指針をもとに整理する(2時間)</p> <p>復習:複数担任制であることと、個別的なかわりに配慮した指導案立案(2時間)</p>
14 回目	<p>子どものあそび・発達段階を理解・確認 (保育所実習に向けた模擬保育計画)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3歳未満児へのかかわりについて理解する。 ・0歳児・1歳児・2歳児の年齢・発達の個人差・興味関心に応じた活動について説明できる。 ・保育実践に必要な用具・準備内容をイメージした立案・見本作成・シュミレーションを行う必要性について説明できる。 	面接授業 (オンライン等の対応可能)	<p>予習:3歳未満児の保育内容について指針をもとに整理する(2時間)</p> <p>復習:複数担任制であることと、個別的なかわりに配慮した指導案立案(2時間)</p>
15 回目	<p>幼稚園教育実習Ⅱ期間(9月20日~10月4日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・後期の教育実習にかかわる内容について幼稚園教育実習Ⅰの事後指導内容をもとに具体的な実習課題解決に向けた内容を把握し、必要な準備に取り組むことができる(確認) 	面接授業 (オンライン等の対応可能)	<p>予習:実習初日及び実習期間に必要な準備物等について実習生同士で確認する(2時間)</p> <p>復習:後期の教育実習にかかわる事前事後対応内容について(お礼状等含む)確認する(2時間)</p>
16 回目	定期試験 なし		

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	<p>テキスト:幼稚園・保育所・認定こども園実習パーフェクトガイド 小櫃智子・守 巧・佐藤 恵・小山朝子 わかば社</p> <p>参考書</p> <p>『幼稚園教育要領』文部科学省 2017 年</p> <p>『保育所保育指針』厚生労働省 2017 年</p> <p>『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』内閣府・文部科学省・厚生労働省 2017 年</p> <p>他、内容に応じて必要なプリントを配布</p>
履修条件	実習前の実習指導の授業出席3分の2以上の場合、実習参加を可とする
履修上の注意	毎回の予習・復習実施の上、受講すること
オフィスアワー	授業、会議、実習巡回等が入っていない場合は随時対応する
備考・メッセージ	<p>オリエンテーション報告書をはじめとした提出物をそろえること</p> <p>日頃より物事へ丁寧に取り組むことを意識すること</p>

講義科目名称：保育実習指導Ⅱ	授業コード：90506
英文科目名称：	ナンバリング：CE302

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期（集中講義）	2年次	1	保育士：選択必修	演習
担当教員				
戸田 恵理子 吉元 千加里 末岡 まゆり				

授業概要	<ol style="list-style-type: none"> 1. 保育実習の意義と目的を理解し、保育について総合的に理解する。 2. 実習や既習の教科目の内容やその関連性を踏まえ、保育の実践力を習得する。 3. 保育の観察、記録及び自己評価等を踏まえた保育の改善について、実践や事例を通して理解する。 4. 保育士の専門性と職業倫理について理解する。 5. 実習の事後指導を通して、実習の総括と自己評価を行い、保育に対する課題や認識を明確にする。
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	子どもに関わる「保育」という職業において、あたたかなまなざしや優しさを持ち、子ども・保育者・保護者に対する重要性を理解できる。	・実習生カード	10%
確かな専門的知識や技能	既習の学習内容と関連させ専門的知識を活用し、保育の実践につなげる応用力を身に着けることができる。	・レポート ・確認テスト	10% 20%
コミュニケーション能力	グループディスカッションやロールプレイによって 実習の振り返りをおこない、実習の成果や新たな学習課題を確認する。	・レポート	10%
課題解決能力	実習を通して明らかになった自己課題を、様々な観点から分析し保育の実践力を高めていくことができる。	・事後報告書 ・指導案立案	20% 20%
主体的に学ぶ力	授業への意欲、提出書類の正確さ、事前準備（指導案立案）や実習後の対応含め実習全体を振り返り総合して評価を行うことができる。	・レポート	10%

合計				100%
補足事項				
<p>実習生カード 10% 確認テスト 20% レポート 30% 事後報告書 20%</p> <p>指導案立案 20% 総合して評価する。</p> <p>レポートは、Melly での提出を求める場合がある。授業前後には Melly の確認を必ず行うこと</p> <p>① 資料・課題はオンラインで実施する前に配布します。保育者としての自分を認識するため予習・復習をして受講して下さい。</p> <p>② 対面授業時に説明及び自己採点と解釈をします。定期試験後に解答を開示します。</p> <p>③ オンライン授業時は、カメラは基本的に「ON」、発言時以外は、マイクは「OFF」にしてください。</p> <p>④ 課題やレポートは Word や Excel を必要に応じて活用して下さい。</p> <p>⑤ 授業開始から 15 分以前の早退及び授業時間中 15 分以上離席した際は欠席扱い、授業開始から 15 分経過した遅刻 3 回で欠席 1 回とみなします。</p>				

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1 回目	保育実習による総合的な学び ・子どもの最善の利益を考慮した 保育について説明できる	面接授業 (オンライン等の対応可能)	予習：保育所保育指針 1 章・4 章を読んでおく (2 時間) 復習：実習園で取り組んでいる 保護者支援内容についてレポート を作成する (2 時間)
2 回目	計画と観察、記録、自己評価 I ・保育の全体計画に基づく 具体的な計画について理解する	面接授業 (オンライン等の対応可能)	予習：日誌を通して、子ども・ 保育者・実習生に関する記述を 抽出する (2 時間) 復習：保育場面の捉え方、記録 の方法などについて振り返り、 実習シートにまとめる。
3 回目	計画と観察、記録、自己評価 II ・保育の観察、記録、自己評価に基づく 保育の改善について説明できる ・乳幼児の保育の流れを踏まえた保育を 計画することができる (指導案立案)	面接授業 (オンライン等の対応可能)	予習：保育者の具体的な援助の 内容及び方法について考えをま とめておく (2 時間) 復習：担当年齢の指導案を立案 する (2 時間)
4 回目	保育の実践力の育成 I ・子どもの姿に応じた適切な保育者の援助に ついて説明できる ・模擬保育に必要な準備・実践内容を理解し メンバーと協力して取り組むことができる	面接授業 (オンライン等の対応可能)	予習：立案の際、保育者の具体 的な援助の内容及び方法につい て熟考する (2 時間) 復習：担当年齢の指導案立案に おいて内容の共有をメンバーと 共に十分に行う (2 時間)
5 回目	保育の実践力の育成 II ・保育の知識・技術を活かした保育実践 (0 歳児) に メンバーと協力して取り組むことができる	面接授業 (オンライン等の対応可能)	予習：模擬保育において主担 当・補助の保育士の連携をはか る (2 時間) 復習：0 歳児の模擬保育を通し て振り返りを行う (2 時間)
6 回目	保育の実践力の育成 III ・保育の知識・技術を活かした保育実践 (1 歳児) に メンバーと協力して取り組むことができる	面接授業 (オンライン等の対応可能)	予習：模擬保育において主担 当・補助の保育士の連携をはか る (2 時間) 復習：1 歳児の模擬保育を通し て振り返りを行う (2 時間)

7回目	保育の実践力の育成IV ・保育の知識・技術を活かした保育実践（2歳児）にメンバーと協力して取り組むことができる	面接授業 （オンライン等の対応可能）	予習：模擬保育において主担当・補助の保育士の連携をはかる（2時間） 復習：2歳児の模擬保育を通して振り返りを行う（2時間）
8回目	保育所実習に向けてI（保育の合同面談会） ・実習園（保育所・認定こども園）の保育について理解することができる	面接授業 （オンライン等の対応可能）	予習：実習園の参加があるか事前に参加教育・保育施設について調べておく（2時間） 復習：見学・自主実習・採用試験に関する情報収集ができるよう参加施設一覧をもとに訪問する（2時間）
9回目	保育所実習に向けてII（保育の合同面談会） ・実習園（保育所・認定こども園）の保育について理解することができる	面接授業 （オンライン等の対応可能）	予習：訪問等の希望園がある場合、質問事項をまとめておく（2時間） 復習：オリエンテーション・自主実習・採用試験に関する情報収集ができるよう積極的に参加を目指す（2時間）
10回目	保育士の専門性と職業倫理I（卒業生講話） ・保育士の業務内容や職業倫理について理解する	面接授業 （オンライン等の対応可能）	予習：保育士倫理綱領に目を通しておく（2時間） 復習：現場保育者の講話から実習に向けての準備事項を整理する（2時間）
11回目	保育士の専門性と職業倫理II（卒業生講話） ・保育の仕事の責任とやりがいについて理解することができる	面接授業 （オンライン等の対応可能）	予習：自身がイメージする保育の仕事について考えをまとめておく（2時間） 復習：現場保育者の講話から自身が目指す保育者像についてレポートを作成する。
12回目	保育実習巡回指導I ・実習意欲・態度・保育の能力等について把握することができる	面接授業 （オンライン等の対応可能）	予習：保育実習Iの評価項目を再度確認する（2時間） 復習：「実習の態度」及び「保育の能力」内容に基づいて受けた指導内容を整理する（2時間）
13回目	保育実習巡回指導II ・実習意欲・態度・保育の能力等について把握できたことをもとに、実習内容の改善に努めることができる	面接授業 （オンライン等の対応可能）	予習：保育実習IIの評価項目を再度確認する（2時間） 復習：「実習の態度」及び「保育の能力」内容に基づいて受けた指導内容を整理し、改善につなげる（2時間）
14回目	事後指導における実習の総括と評価I ＜帰校日＞ ・保育実習I（保育所）の自己評価を通して実習内容を振り返ることができる	面接授業 （オンライン等の対応可能）	予習：保育実習Iの日記から子どもを捉える視点の変化を整理する（2時間） 復習：保育実習I（10日間）を通して子どもへのかかわりの変容を加筆修正する（2時間）
15回目	事後指導における実習の総括と評価II ＜帰校日＞ ・グループディスカッションを通して、実習経験を共有することができる ・保育実習II（保育所）に向けた自己課題を設定することができる	面接授業 （オンライン等の対応可能）	予習：保育実習Iの日記から保育者の具体的な援助についての記述を整理する（2時間）。 復習：保育実習II（10日間）に向けて設定した自己課題の具体的な解決策を掲げる（2時間）
16回目	定期試験 なし		

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	<p>テキスト：幼稚園・保育所・認定こども園実習パーフェクトガイド 小櫃智子・守 巧・佐藤 恵・小山朝子 わかば社</p> <p>参考書</p> <p>『幼稚園教育要領』文部科学省 2017 年 『保育所保育指針』厚生労働省 2017 年 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』内閣府・文部科学省・厚生労働省 2017 年</p> <p>他、内容に応じて必要なプリントを配布</p>
履修条件	実習前の実習指導の授業出席 3 分の 2 以上の場合、実習参加を可とする
履修上の注意	毎回の予習・復習実施の上、受講すること
オフィスアワー	授業、会議、実習巡回等が入っていない場合は随時対応する
備考・メッセージ	オリエンテーション報告書をはじめとした提出物をそろえること 日頃より物事へ丁寧に取り組むことを意識すること

講義科目名称：保育実習指導Ⅲ（施設）	授業コード：90132
英文科目名称：	ナンバリング：CE303

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期	2年	1単位	保育士：必修	演習（集中講義）
担当教員				
花城暢一、滝川由香里、吉元千加里				

授業概要	<p>授業では、保育士 資格の取得のために必要 な 施設実習について専門的な 知識 ・技術、実習生としての姿勢を学習していく。本授業 では 保育実習Ⅰ（施設）で習得した知識や技術をさらに向上していくために以下の事項を学習の目標とする。</p> <p>① 保育実習ⅢⅢ（施設）の意義と目的を理解し、保育について総合的に理解する。</p> <p>② 実習内容および実習課題を明確化する。</p> <p>③ 保育の観察、記録及び自己評価等を踏まえた保育の改善について、実践や事例を通して理解する。</p> <p>④ 子どもおよび利用者の最善の利益と職業倫理について理解する。</p> <p>⑤ 実習の事後指導を通して、実習の総括と自己評価を行い、保育に対する課題や認識を明確にする。</p> <p>⑥ 社会資源と関係機関との連携を理解する。</p> <p>⑦ 実習の事後指導を通して、実習の総括と自己評価を行い、保育に対する課題や認識を明確にする。</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	家庭と地域の生活に触れて、子ども、家庭福祉ニーズに対する理解力・判断力を養うとともに、子育てを支援するために必要とされる能力を身につけることができる。	・学習に取り組む姿勢	40%
確かな専門的知識や技能	児童福祉施設（保育所以外）その他社会福祉施設の役割や機能について実際に実践し、保育士として必要な資質を習得することができる。	・レポート課題	10%
コミュニケーション能力	「保育実習Ⅰ」で体験し、習得した知識や理解内容をもとに、さらに施設保育士に必要な知識や指導技術を身につけることができる。	・レポート課題	10%

課題解決能力	児童および利用者の生活課題を踏まえ、課題解決に必要な実践力を身につけることができる。	・レポート課題	20%
主体的に学ぶ力	実習の目標および自己課題を明確にしながら主体的に実習に臨む姿勢を身に着けることができる。	・レポート課題	20%
出席			受験要件
合計			100%
補足事項			
○授業内レポート（40%） ○振り返りレポート（20%） ○授業の取り組み（40%）を総合評価しておこなう。			

授業計画	テーマ	授業の内容	予習・復習
1回目	オリエンテーション・保育実習Ⅰの振り返りと自己課題の明確化	保育実習Ⅲ（施設）の意義と目的について、保育実習Ⅰにおける反省と自己課題の設定	予習：保育実習Ⅰを振り返り、保育実習Ⅲの課題を考える。 復習：配布資料を読む
2回目	保育実習Ⅲ実習先についての内容と理解	各実習施設を理解する	予習：テキストおよび配布資料を読む。 復習：保育実習Ⅲの実習施設および実習内容について理解を深める。
3回目	施設種別毎の理解と実習内容	保育実習Ⅲの実習施設について理解する	予習：テキストおよび配布資料を読む。 復習：施設の種別を理解し、実習内容を振り返る。
4回目	施設種別毎の理解と実習内容	保育実習Ⅲの実習施設について理解する	予習：テキストおよび配布資料を読む。実習希望施設までの移動手段を調べる。 復習：施設の種別を理解し、実習内容を振り返る。
5回目	実習先の決定	実習施設を決める	予習：テキストおよび配布資料を読む。 復習：実習先の位置づけ、活動内容などについて理解を深める。

6回目	養護技術を習得する	施設実習での生活援助について学ぶ	予習：テキストおよび配布資料を読む。 復習：実習施設での生活場面の援助方法について理解を深める。
7回目	子ども・利用者の個人差・ニーズについて理解する	子ども・利用者のニーズについて学ぶ	予習：テキストおよび配布資料を読む。 復習：子どもや・利用者のニーズについて理解を深める。
8回目	実習計画を立案する	保育実習Ⅰの内容を基に実習Ⅲの計画の立案を行う	予習：テキストおよび配布資料を読む。 復習：実習計画に内容を振り返る。
9回目	保育技術の発表と反省・評価①	指導案立案・実践・振り返り①	予習：テキストおよび配布資料を読む。 復習：指導案の立案などについて理解を深める。
10回目	保育技術の発表と反省・評価②	指導案立案・実践・振り返り②	予習：テキストおよび配布資料を参考にして、日誌の記入を練習する。 復習：指導案の立案などについて理解を深める。
11回目	関係機関との連携方法を具体的事例で学ぶ	事例検討（グループワーク）	予習：配布資料を読む。 復習：事例検討を通して、連携のあり方などについて理解を深める。
12回目	地域社会との連携について学ぶ	事例検討（グループワーク）	予習：配布資料を読む。 復習：事例検討を通して、地域との連携について理解を深める。
13回目	実習先事前訪問の理解	オリエンテーションの準備	予習：テキストおよび配布資料を読む。 復習：実習準備（オリエンテーション等）の準備について振り返る。
14回目	お礼状の書き方・反省会について	実習の振り返りについて	予習：テキストおよび配布資料を読む。

			復習：お礼状の書き方などを理解する。
15 回目	施設実習直前の全体的事前指導	実習内容、心得注意等	予習：テキストおよび配布資料を読む。 復習：実習の留意点等を振り返る。

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	テキスト：『施設実習 パーフェクトガイド』守 巧 他 著 わかば社 参考書：関連資料 実習日誌
履修条件	
履修上の注意	<p>1 回目～4 回目の授業は、前期の 5 月～7 月に実施する。（予定）</p> <p>実習指導は実習準備の大切な授業である。そのため、本授業では以下の事に十分注意する事。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・欠席時は、事前に教科担当者へ欠席とその理由の報告を行う。 ・特段の理由（病気や出席停止に該当するもの）無く、3 回以上欠席した場合は、実習が可能か否かを学科で協議する場合がある。 ・遅刻や提出物の不備が続いた場合も減点の対象となり、場合によっては実習が可能か否かを協議することがある。 ・欠席した場合は、次回授業の準備に不足が無いよう、自ら考えて行動する事。 ・授業で毎時配布するプリントは、必要箇所の記入をすませ、まとめて綴じておく。 ・授業時間のうち、15 分以上退室すると欠席扱いとなる。
オフィスアワー	授業、会議、実習巡回、出張等が入っていない場合は随時対応します。
備考・メッセージ	レポートや実習に必要な書類などの提出期限厳守

講義科目名称：保育実践演習（教職実践演習）（幼稚園）	授業コード：13355
英文科目名称：Seminar in teacher's training (nursery and kindergarten)	ナンバリング：CE403

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
後期	2年	2	必修・選択	演習
担当教員				
川原ゆかり 陣内 敦 中尾健一郎 花城暢一 友廣憲子 戸田恵理子 滝川由香里 座間味愛理 藤野正和 吉元千加里				

授業概要	<p>①教育・保育に対する使命感や情熱を持つ 子どもから学び共に成長する姿勢を身につける</p> <p>②子どもの成長や安全・健康を第一に考え、適切に行動する</p> <p>③保育者としての自覚に基づき、適切な行動をとる 組織の一員として協力して組織を遂行する 保護者や地域と良好な人間関係を築く</p> <p>④子どもに対して受容的に接し、豊かな交流をおこなう 子どもの発達や心身の状況を理解し、適切な援助をおこなう 子どもと信頼関係を築き、活力ある学級経営をおこなう</p> <p>⑤情報収集力を高めるために、タブレット等を活用し、保育・教育の基本的な知識と保育技能を身につける 保育の援助技術を身につける 子どもの育ちを確かめながら保育計画を立てる</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
確かな専門的知識や技能			
コミュニケーション能力	・社会や組織の一員としての自覚を持ち、良好な人間関係を築くことができる		
課題解決能力	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの成長や安全、健康を第一に考え、適切に行動することができる。 ・教科・保育内容等の内容を理解し、指導法を工夫することができる ・子どもや学級経営などを理解し、適切に行動することができる 	各回の課題シート	60%
主体的に学ぶ力	・保育者としての使命感や責任感を持ち、子どもから学び共に成長しようと努力できる	ポートフォリオファイルの作成状況 口頭発表	20% 20%
合計			100%

補足事項

毎回の課題シート 60%、ポートフォリオファイルの作成状況 20%、口頭発表 20%の割合で評価する

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1 回目	使命感や責任感に関する事項 養護的・教育的愛情等に関する事項① ・オリエンテーション (花城) ・実習の振り返り(自己評価)と保育のPDCAサイクル (実習担当)	面接授業を基本とする	予習：テーマに合わせた実習時の振り返りをする (2h) 復習：配布資料や授業内容をまとめ、ファイルに整理する (2h)
2 回目	使命感や責任感に関する事項 養護的・教育的愛情等に関する事項② ・保育に対する使命感と自己の職責を果たす意思について (実習担当)	面接授業を基本とする	予習：テーマに合わせた実習時の振り返りをする (2h) 復習：配布資料や授業内容をまとめ、ファイルに整理する (2h)
3 回目	使命感や責任感に関する事項 養護的・教育的愛情等に関する事項③ ・実習の振り返りと保育者としての課題(グループ協議) (実習担当)	面接授業を基本とする	予習：テーマに合わせた実習時の振り返りをする (2h) 復習：配布資料や授業内容をまとめ、ファイルに整理する (2h)
4 回目	使命感や責任感に関する事項養護的・教育的愛情等に関する事項④ ・体験の共有(まとめ・発表) (実習担当)	面接授業を基本とする	予習：テーマに合わせた実習時の振り返りをする (2h) 復習：配布資料や授業内容をまとめ、ファイルに整理する (2h)
5 回目	使命感や責任感に関する事項養護的・教育的愛情等に関する事項⑤ ・保育者の持つべき養護的・教育的愛情とは (実習担当)	面接授業を基本とする	予習：テーマに合わせた実習時の振り返りをする (2h) 復習：配布資料や授業内容をまとめ、ファイルに整理する (2h)
6 回目	使命感や責任感に関する事項養護的・教育的愛情等に関する事項⑥ ・保育者として成長するための課題の認識と解決に向けて (実習担当)	面接授業を基本とする	予習：テーマに合わせた実習時の振り返りをする (2h) 復習：配布資料や授業内容をまとめ、ファイルに整理する (2h)
7 回目	社会性や対人関係に関する事項① ・組織の一員としての自覚と職務遂行 (川原)	面接授業を基本とする	予習：テーマに合わせた実習時の振り返りをする (2h) 復習：配布資料や授業内容をまとめ、ファイルに整理する (2h)
8 回目	社会性や対人関係に関する事項② ・少子高齢化と世代間交流 (花城)	面接授業を基本とする	予習：テーマに合わせた実習時の振り返りをする (2h) 復習：配布資料や授業内容をまと

			め、ファイルに整理する（2h）
10 回目	幼児理解や学級経営に関する事項① ・発達障害のある子どもの理解と援助（藤野）	面接授業を基本とする	予習：テーマに合わせた実習時の振り返りをする（2h） 復習：配布資料や授業内容をまとめ、ファイルに整理する（2h）
11 回目	幼児理解や学級経営に関する事項② ・長時間保育と子どもの心身の発達の（戸田）	面接授業を基本とする	予習：テーマに合わせた実習時の振り返りをする（2h） 復習：配布資料や授業内容をまとめ、ファイルに整理する（2h）
12 回目	教科・保育内容等の指導力に関する事項① ・保育の中の表現造形の意義と捉え方（陣内）	面接授業を基本とする	予習：テーマに合わせた実習時の振り返りをする（2h） 復習：配布資料や授業内容をまとめ、ファイルに整理する（2h）
13 回目	教科・保育内容等の指導力に関する事項② ・保育の中の健康の意義と捉え方-特に、子どもの運動発達の課題と運動指導について-（中尾）	面接授業を基本とする	予習：テーマに合わせた実習時の振り返りをする（2h） 復習：配布資料や授業内容をまとめ、ファイルに整理する（2h）
14 回目	教科・保育内容等の指導力に関する事項③ ・保育の中の音楽表現の意義ととらえかた（友廣）	面接授業を基本とする	予習：テーマに合わせた実習時の振り返りをする（2h） 復習：配布資料や授業内容をまとめ、ファイルに整理する（2h）
15 回目	1. 実習の振り返りと保育のPDCA サイクル ①実習における PDCA サイクル（部分・全日実習などにおける PDCA サイクル） ②学生生活における PDCA サイクルなど	面接授業を基本とする	予習：各実習日誌の提出受取・事後指導を済ませておく（2h） 復習：配布資料や授業内容をまとめ、シートに記入する（2h）
16 回目	2. 保育者の持つべき養護的・教育的愛情について 日誌及び振り返りシートを活用した実習の振り返り ① 己課題解決シートへの記入 ② 他 学生（4人程度）と記入内容の共有し、新たな解決の視点を発見する	面接授業を基本とする	予習：テーマに合わせた実習時の振り返りをする（2h） 復習：提示してもらった新たな課題解決方法も加筆し自身の考えと参照できるよう整理する（2h）
17 回目	3. 保育者として成長するための自己課題の認識と解決方法について ・施設・保育所・幼稚園教育実習体験の共有化	面接授業を基本とする	予習：振り返りシートの項目に沿って記入内容を整理する（2h） 復習：配布資料や授業内容をまとめ、ファイルに整理する（2h）

	・ G 討議用個人記入 P への記入		
18 回目	4. 保育者として成長するための課題の認識と解決に向けて (3) 実習体験報告会 (4) 課題整理 ① 討議内容の補足説明・確認 G 討議用個人プリントへ転記	面接授業を基本とする	予習：テーマに合わせた実習時の振り返りをする（2h） 復習：グループ討議での内容を個人プリントへ転記し提出する（2h）
19 回目	ポートフォリオファイルの作成 資料をまとめポートフォリオファイルを作成する	面接授業を基本とする	予習：テーマに合わせた実習時の振り返りをする（2h） 復習：配布資料や授業内容をまとめ、ファイルに整理する（2h）
20 回目	口頭発表と学習の振り返り 口頭発表シートを作成し、発表を行い、レポートをまとめる	面接授業を基本とする	予習：テーマに合わせた実習時の振り返りをする（2h） 復習：配布資料や授業内容をまとめ、ファイルに整理する（2h）

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	各担当の教員の内容において、必要に応じて資料などを配布する
履修条件	特になし
履修上の注意	自らの保育研究の課題解決のために、主体的な学修姿勢を心掛けること。
オフィスアワー	各授業担当教員が授業の前後に教室で質問を受け付ける
備考・メッセージ	毎回の資料および課題シートについてはファイルに綴じておくこと。

講義科目名称：卒業研究 I	授業コード：52151～52159
英文科目名称：Seminar for graduation research I	ナンバリング：CE304

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期	2年	1	選択	演習
担当教員				
中尾健一郎 花城暢一 陣内 敦 友廣憲子 戸田恵理子 滝川由香里 座間味愛理 藤野正和 吉元千加里 (末岡まゆり)				

授業概要	<p>①自ら課題にするゼミナールを選択する 地域活動や講演会等に参加し問題意識を持つ 文献などから現代の保育・教育に関する課題を理解する</p> <p>②子育て支援機関の現状を知る 子育て支援機関の役割について考察する 保育・教育関連機関の連携の現状について理解を深める</p> <p>③ゼミ活動における議論を通し自らの興味関心を探る 自己の保育観・保育者観を見つめる ゼミで取り組むテーマを見つける</p> <p>④地域の保育・教育機関を訪問し調査する 実地研修に参加する 調査の方法を習得する</p> <p>⑤調査した結果や研修で学んだことをまとめる 調査結果や研修にて修得したことをもとに議論し、理解を深める 新たな課題を見つけ解決策を模索する</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
確かな専門的知識 や技能			
コミュニケーション 能力			
課題解決能力	<ul style="list-style-type: none"> ・保育に関する現代の社会的課題について問題意識を持つことができる ・保育の現場で実際に起こっている課題を捉え、それについて考えることができる ・情報収集力を高めるため、タブレット等を活用し、自らの追求すべき研究課題を発見することができる ・地域の保育実践現場を見学し、課題の現状分析を行うことができる ・保育の現場で得た学習内容とこれまでの学習内容を有機的に関連付けることができる 	授業への参加・態度 取り組みへの積極性・協調性	40% 60%

主体的に学ぶ力			
			合計 100%
補足事項			
授業への参加・態度 40%、取り組みへの積極性・協調性 60%の割合で、ゼミごとに評価する			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
分野1 中尾	子どもの健康と運動遊びについて考える ・健康と運動の関係について体験を通して理解する ・地域の運動遊び環境について体験を通して理解する ・様々な環境に応じた運動遊びを計画する ※課題提出方法ならびに提出日は別途指示する	面接授業を基本とする	予習：毎回の活動内容に関する資料を収集し、調べておく（0.5時間） 復習：毎回の活動内容を振り返り、改善点をまとめておくこと（0.5時間）
分野2 花城	地域の子育て環境について考える ～地域交流・フィールドワークを通して～ ・地域の子育て環境や様々な取り組みについて考える ・地域の自然や公園等を調査し、子育てと自然環境の関わりについて考察する ・地域の自然環境を活かした遊びの教材開発を通して保育者に必要な資質を身に付ける ※課題提出方法ならびに提出日は別途指示する	面接授業を基本とする	予習：毎回の活動内容に関する資料を収集し、調べておく（0.5時間） 復習：毎回の活動内容を振り返り、改善点をまとめておくこと（0.5時間）
分野3 陣内	造形を通じた子育て支援 造形ワークショップ実践による子どもと子育て事情の理解について ・造形活動における子どもの情操と創造性の発達についての理解 ・子どもいっしょに作って遊べる造形教材の開発 ※課題提出方法ならびに提出日は別途指示する	面接授業を基本とする	予習：毎回の活動内容に関する資料を収集し、調べておく（0.5時間） 復習：毎回の活動内容を振り返り、改善点をまとめておくこと（0.5時間）
分野4 友廣	保育における音楽教育を考える ・保育における音楽活動について理解する ・保護者や子どもたちとの交流を通じた音楽活動を実践する ・様々な身体表現を理解する ※課題提出方法ならびに提出日は別途指示する	面接授業を基本とする	予習：毎回の活動内容に関する資料を収集し、調べておく（0.5時間） 復習：毎回の活動内容を振り返り、改善点をまとめておくこと（0.5時間）
分野5 戸田	子どもとあそびについて ・子どもが「あそぶ」ことについて ・子どもの年齢・発達などに応じた保育教材を考え制作する	面接授業を基本とする	予習：毎回の活動内容に関する資料を収集し、調べておく（0.5時間） 復習：毎回の活動内容を振り返り、改善点をまとめておくこと（0.5時間）

	<ul style="list-style-type: none"> ・「子ども」や「保育」に関するワークショップ等に参加し、様々な保育資源を知る ※課題提出方法ならびに提出日は別途指示する		繰り返し、改善点をまとめておくこと（0.5時間）
分野6 滝川	生命（いのち）の教育について <ul style="list-style-type: none"> ・生命の誕生について理解する。 ・生命を育むために必要な要素について理解する。 ※課題提出方法ならびに提出日は別途指示する	面接授業を基本とする	予習：毎回の活動内容に関する資料を収集し、調べておく（0.5時間） 復習：毎回の活動内容を振り返り、改善点をまとめておくこと（0.5時間）
分野7 座間味	ピア・グループ活動の体験 <ul style="list-style-type: none"> ・保育者としてピア関係を構築する意義を理解する ・自己表現と集団の凝集性を高めるワークを体験する ※課題提出方法ならびに提出日は別途指示する	面接授業を基本とする	予習：毎回の活動内容に関する資料を収集し、調べておく（0.5時間） 復習：毎回の活動内容を振り返り、改善点をまとめておくこと（0.5時間）
分野8 藤野	子どもの発達と障害 <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの発達に関する学習や調査を行う ・子どもの発達を体験を通して学ぶ 障害児に対する支援や関わりについて学ぶ ※課題提出方法ならびに提出日は別途指示する	面接授業を基本とする	予習：毎回の活動内容に関する資料を収集し、調べておく（0.5時間） 復習：毎回の活動内容を振り返り、改善点をまとめておくこと（0.5時間）
分野9 吉元	保育者と保護者の関わりについて <ul style="list-style-type: none"> ・保育者の役割について学ぶ ・保護者との関わりについて体験を通して学ぶ ・地域の子育て環境について体験を通して知る 	面接授業を基本とする	予習：毎回の活動内容に関する資料を収集し、調べておく（0.5時間） 復習：毎回の活動内容を振り返り、改善点をまとめておくこと（0.5時間）

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	各担当の教員の内容において、必要に応じて資料などを配布する
履修条件	特になし
履修上の注意	自らの保育研究の課題解決のために、主体的な学修姿勢を心掛けること。
オフィスアワー	各ゼミ担当教員が授業の前後に質問を受け付ける
備考・メッセージ	各ゼミの活動においては主体的な学ぶ姿勢をもち、地域に必要とされる保育人材になるため資質向上に努めること

講義科目名称：卒業研究Ⅱ	授業コード：52351～52359
英文科目名称：Seminar for graduation researchⅡ	ナンバリング：CE404

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期	2年	1	選択	演習
担当教員				
中尾健一郎 花城暢一 陣内 敦 友廣憲子 戸田恵理子 滝川由香里 座間味愛理 藤野正和 吉元千加里 (末岡まゆり)				

授業概要	<p>①設定したテーマについて調査学習する 関連事項について文献資料などを収集し熟読する 各教科が横断的に関連していることを理解する</p> <p>②議論の際に他者の意見を聞く姿勢を学ぶ 結論を導き出していく過程を学ぶ 情報リテラシーについて理解する</p> <p>③問題を解決するために様々な視点の情報を収集する 様々な立場からの意見を聞く 自己の意見を再構成する方法を学ぶ</p> <p>④取り組んで行く課題を自己の問題として考察する 調べた内容をまとめ発表する お互いに発表要項をまとめる</p> <p>⑤卒業研究活動報告会で他ゼミの発表を聞く 発表内容について理解を深める ゼミ仲間と協力して取り組んだことを振り返る</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
確かな専門的知識や技能			
コミュニケーション能力			
課題解決能力	<ul style="list-style-type: none"> ・保育に関する自発的、科目横断的な学習能力を身につけている ・課題解決のための対応・判断方法などについて検討する力を身につけている ・情報収集能力を高めるために、タブレット等を活用し、多視的な観点によって課題を考察することができる ・地域の保育現場で活用するための知識・技能を習得し、自らその習得内容を確認することができる ・表現力や人間関係力を向上させ、他者理解を広げることができる 	授業への参加・態度 活動報告集の資料	60% 40%
主体的に学ぶ力			
合計			100%
補足事項			

授業への参加・態度 40%、活動報告資料 30%、活動報告会の発表 30%の割合で、ゼミごとに評価する

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
分野1 中尾	運動遊びの企画・実践 <ul style="list-style-type: none"> ・健康と運動の関係について体験を通して理解する ・地域の運動遊び環境について体験を通して理解する ・活動の体験を生かし、運動遊びを考案し、実践する 	面接授業を基本とする	予習：毎回の活動内容に関する資料を収集し、調べておく（0.5時間） 復習：毎回の活動内容を振り返り、改善点をまとめておくこと（0.5時間）
分野2 花城	地域の子育て環境について考える ～地域交流・フィールドワークを通して～ <ul style="list-style-type: none"> ・地域の子育て環境や様々な取組みについて考える ・地域の自然や公園等を調査し、子育てと自然環境の関わりについて考察する ・地域の自然環境を活かした遊びの教材開発を通して保育者に必要な資質を身に付ける ・地域の子ども達との交流活動を企画運営し、フィールドワークを実施する 	面接授業を基本とする	予習：毎回の活動内容に関する資料を収集し、調べておく（0.5時間） 復習：毎回の活動内容を振り返り、改善点をまとめておくこと（0.5時間）
分野3 陣内	造形を通じた子育て支援 造形ワークショップ実践による子どもと子育て事情の理解について <ul style="list-style-type: none"> ・造形活動における子どもの情操と創造性の発達についての理解 ・子どもいっしょに作って遊べる造形教材の開発 ・子どもや保護者とのコミュニケーション能力の涵養 	面接授業を基本とする	予習：毎回の活動内容に関する資料を収集し、調べておく（0.5時間） 復習：毎回の活動内容を振り返り、改善点をまとめておくこと（0.5時間）
分野4 友廣	保育における音楽教育を考える <ul style="list-style-type: none"> ・保育における音楽活動について理解する ・保護者や子どもたちとの交流を通じた音楽活動を実践する ・様々な身体表現を理解する ・保育現場で子どもたちに音楽活動を実践する 	面接授業を基本とする	予習：毎回の活動内容に関する資料を収集し、調べておく（0.5時間） 復習：毎回の活動内容を振り返り、改善点をまとめておくこと（0.5時間）
分野5 戸田	子どもとあそびについて <ul style="list-style-type: none"> ・子どもが「あそぶ」ことについて ・子どもの年齢・発達などに応じた保育教材を考え制作する ・子どもの主体的なあそびに大切な保育の環境を考える ・制作した保育教材を保育場面において活 	面接授業を基本とする	予習：毎回の活動内容に関する資料を収集し、調べておく（0.5時間） 復習：毎回の活動内容を振り返り、改善点をまとめておくこと（0.5時間）

	用し、改良点等の再考（再製作）を行う ・「子ども」や「保育」に関するワークショップ等に参加し習得した保育者に必要な要素をまとめる		
分野6 滝川	生命（いのち）の教育について ・生命の誕生について理解する ・生命を育むために必要な要素について理解する ・生命にまつわる教育についての考察を深める ・生命にまつわる教育の実践をする	面接授業を基本とする	予習：毎回の活動内容に関する資料を収集し、調べておく（0.5時間） 復習：毎回の活動内容を振り返り、改善点をまとめておくこと（0.5時間）
分野7 座間味	ピア・グループ活動の企画 ・保育者としてピア関係を構築する意義を理解する ・自己表現と集団の凝集性を高めるワークを体験する ・安心して自己表現ができる工夫や集団の凝集性を高める要素を理解する ・ピア・グループ活動を企画、実施する	面接授業を基本とする	予習：毎回の活動内容に関する資料を収集し、調べておく（0.5時間） 復習：毎回の活動内容を振り返り、改善点をまとめておくこと（0.5時間）
分野8 藤野	子どもの発達と障害 ・子どもの発達に関する学習や調査を通して、子どもの発達の様相を理解する ・様々な活動の実践を通して子どもの発達を体験的に学ぶ ・障害児の育ちにあわせた関わりや支援について学ぶ	面接授業を基本とする	予習：毎回の活動内容に関する資料を収集し、調べておく（0.5時間） 復習：毎回の活動内容を振り返り、改善点をまとめておくこと（0.5時間）
分野9 吉元	保育者と保護者の関わりについて ・保育の場における保護者のニーズを調査する ・調査結果をもとに子どもたちとの交流活動を企画する	面接授業を基本とする	予習：毎回の活動内容に関する資料を収集し、調べておく（0.5時間） 復習：毎回の活動内容を振り返り、改善点をまとめておくこと（0.5時間）

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	各担当の教員の内容において、必要に応じて資料などを配布する
履修条件	特になし
履修上の注意	自らの保育研究の課題解決のために、主体的な学修姿勢を心掛けること。
オフィスアワー	各ゼミ担当教員が授業の前後に質問を受け付ける
備考・メッセージ	各ゼミの活動においては主体的な学修姿勢をもち、地域に必要とされる保育人材になるため資質向上に努めること

講義科目名称： 国際コミュニケーション演習 I	授業コード：
英文科目名称： Practical Global Communication I	ナンバリング： B S 3 0 2

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期	2年	2単位	選択	講義
担当教員				
Caroline Kim (キム・キャロライン)				

授業概要	<p>This course provides students with basic English conversation skills and targeted English needed for working in a childcare environment. Students will learn every day, practical vocabulary, and phrases. Students will lead and participate in activities, role play, learn games and songs that will help them develop situation-specific language and skills in the working environment. At the end of the course, students can strengthen and improve vocabulary and expressions and gain overall confidence to use English on the job.</p>
------	---

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	<ul style="list-style-type: none"> Students can achieve cross-cultural knowledge and coping skills. Students can understand the other person's intentions and deliver their feelings. 	<ul style="list-style-type: none"> グループワーク 	5%
確かな専門的知識 や技能	<ul style="list-style-type: none"> Students can improve the English conversation skill required for nursery school job tasks. Students can deliver a presentation in English. 	<ul style="list-style-type: none"> プレゼンテーション 	10%
コミュニケーション能力	<ul style="list-style-type: none"> Students can learn essential English communication phrases regarding childcare content. 	<ul style="list-style-type: none"> 定期試験 	60%
課題解決能力	<ul style="list-style-type: none"> Students can strengthen time and task management skills that improve student learning. 	<ul style="list-style-type: none"> 課題の提出 	10%
主体的に学ぶ力	<ul style="list-style-type: none"> Students can understand that English conversation skills need expertise for childcare teachers or childcare officials. 	<ul style="list-style-type: none"> 授業参加・態度 	15%
合計			100%
補足事項			
<p>・本授業では、定期試験 60%、授業参加・態度 15%、課題の提出 10%、プレゼンテーション 10%、グループワーク 5%の割合で評価する。</p>			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	Orientation Intro about the course, self-introduction	in-person	予習 : Check vocabulary and grammar from Unit 1 復習 : N/A
2回目	Unit 1 First Step to Childcare English	in-person	予習 : Check vocabulary and grammar from the next unit. 復習 : Assignment
3回目	Unit 2 Welcome to Minato Nursery School!	in-person	予習 : Check vocabulary and grammar from the next unit. 復習 : Assignment
4回目	Unit 3 Time & Numbers	in-person	予習 : Check vocabulary and grammar from the next unit. 復習 : Assignment
5回目	Unit 4 Directions	in-person	予習 : Check vocabulary and grammar from the next unit. 復習 : Assignment
6回目	Unit 4 Dream Nursery School Project 1	in-person	予習 : Check vocabulary and grammar from the next unit. 復習 : Assignment
7回目	Unit 4 Dream Nursery School Project 2	in-person	予習 : Prepare for the presentation 復習 : Draw nursery school
8回目	Presentation Review Presentation Day Review Unit 1 - 4	in-person	予習 : Prepare for the presentation 復習 : Assignment
9回目	Unit 5 Davy Meets His classmate Takashi	in-person	予習 : Check vocabulary and grammar from the next unit. 復習 : Assignment
10回目	Unit 6 Dropping Davy Off and Picking him up	in-person	予習 : Check vocabulary and grammar from the next unit. 復習 : Assignment
11回目	Unit 7 Jobs at Nursery School	in-person	予習 : Check vocabulary and grammar from the next unit. 復習 : Assignment
12回目	Unit 8 Lunchtime	in-person	予習 : Check vocabulary and grammar from the next unit.

			復習 : Assignment
13 回目	Unit 9 Toilet Dialog	in-person	予習 : Check vocabulary and grammar from the next unit. 復習 : Assignment
14 回目	Unit 10 Fighting	in-person	予習 : Check vocabulary and grammar from the next unit. 復習 : Assignment
15 回目	Review Unit 5 - 10	in-person	予習 : Check vocabulary and grammar from the next unit. 復習 : Assignment
16 回目	定期試験		

科目 (教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教科書:「保育の英会話 Childcare English」 赤松直子 ISBN 978-4-89347-077-5
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	なし <ul style="list-style-type: none"> 授業に関する質問は授業の前・後に直接に質す、メール等でメッセージする。(carolinekim930@gmail.com)
備考・メッセージ	<ul style="list-style-type: none"> 対面授業が出来ない状況にはリモートで授業の対応可能。(リモート授業を行う場合、評価法を変更する可能性がある。) 必ず予習・復習して授業に参加する。 課題提出は締め切り厳守 欠席した場合、クラスアドバイザーの先生が代わりにしてくれるわけではないので、学生が必ず担当教師に連絡をする。 授業計画 (シラバス)に沿って授業を進行するのが原則であるが、受講している学生の理解度・実態によってスケジュールや内容等を、やむを得ず変更する場合があります。 This class will be conducted primarily in English. Students should have a strong desire and willingness to learn and use English. Please note that this syllabus is subject to change based on the needs of the class.

講義科目名称： 国際コミュニケーション演習 II	授業コード：
英文科目名称： Practical Global Communication II	ナンバリング： B S 4 0 2

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期	2年	2単位	選択	講義
担当教員				
Caroline Kim (キム・キャロライン)				

授業概要	<p>This course provides students with basic English conversation skills and targeted English needed for working in a childcare environment. Students will learn every day, practical vocabulary and phrases. Students will lead and participate in activities, role play, learn games and songs that will help them develop situation-specific language and skills in the working environment. At the end of the course, students can strengthen and improve vocabulary and expressions and gain overall confidence to use English on the job.</p>
------	--

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	<ul style="list-style-type: none"> Students can achieve cross-cultural knowledge and coping skills. Students can understand the other person's intentions and deliver their feelings. 	<ul style="list-style-type: none"> グループワーク 	5%
確かな専門的知識や技能	<ul style="list-style-type: none"> Students can improve the English conversation skill required for nursery school job tasks. Students can deliver a presentation in English. 	<ul style="list-style-type: none"> プレゼンテーション 	20%
コミュニケーション能力	<ul style="list-style-type: none"> Students can learn essential English communication phrases regarding childcare content. 	<ul style="list-style-type: none"> 定期試験 	60%
課題解決能力	<ul style="list-style-type: none"> Students can strengthen time and task management skills that improve student learning. 	<ul style="list-style-type: none"> 課題の提出 	5%
主体的に学ぶ力	<ul style="list-style-type: none"> Students can understand that English conversation skills need expertise for childcare teachers or childcare officials. 	<ul style="list-style-type: none"> 授業参加・態度 	10%
合計			100%
補足事項			

・本授業では、定期試験 60%、授業参加・態度 10%、課題の提出 5%、プレゼンテーション 20%、グループワーク 5%の割合で評価する。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1 回目	Orientation Introduction about the course and goals Explain upcoming project	in-person	Not Applicable (N/A)
2 回目	Unit 11 Injuries and Illness	in-person	予習 : Check vocabulary and grammar from the next unit. 復習 : Assignment
3 回目	Unit 12 Telephone Calls	in-person	予習 : Check vocabulary and grammar from the next unit. 復習 : Assignment
4 回目	Practice Conversation practice Unit 11 - 12	in-person	予習 : Check vocabulary and grammar from the next unit. 復習 : Assignment
5 回目	Unit 13 Field Trip	in-person	予習 : Check vocabulary and grammar from the next unit. 復習 : Assignment
6 回目	Practice Write a letter to parents about field trip	in-person	予習 : Check vocabulary and grammar from the next unit. 復習 : Assignment
7 回目	Unit 14 Baby Care	in-person	予習 : Check vocabulary and grammar from the next unit. 復習 : Assignment
8 回目	Unit 15 Graduation Day	in-person	予習 : Check vocabulary and grammar from the next unit. 復習 : Assignment
9 回目	Practice Write a diploma and a note to students	in-person	予習 : Check vocabulary and grammar from the next unit. 復習 : Assignment
10 回目	Review Unit 11 - 15	in-person	予習 : Check vocabulary and grammar from the next unit. 復習 : Assignment
11 回目	Holidays National Holidays and celebrations	in-person	予習 : Check vocabulary and grammar from the next unit. 復習 : Assignment
12 回目	Holidays	in-person	予習 : Prepare presentation

	Introduce Japanese holiday in English		復習 : Assignment
13 回目	Presentation Presentation Day	in-person	予習 : Prepare presentation 復習 : Assignment
14 回目	Movie Watch a movie related to kindergarten	in-person	予習 : Check vocabulary and grammar from the next unit. 復習 : Assignment
15 回目	Movie Movie worksheet	in-person	予習 : Check vocabulary and grammar from the next unit. 復習 : Assignment
16 回目	定期試験		

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	教科書：「保育の英会話 Childcare English」 赤松直子 ISBN 978-4-89347-077-5
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	<ul style="list-style-type: none"> 授業に関する質問は授業の前・後に直接に質す、メール等で質問や聞き合わせ。（carolinekim930@gmail.com） 学生の希望によって相談可能。
備考・メッセージ	<ul style="list-style-type: none"> 対面授業が出来ない状況にはリモートで授業の対応可能。（リモート授業を行う場合、評価法を変更する可能性がある。） 必ず予習・復習して授業に参加する。 課題提出は締切厳守 欠席した場合、クラスアドバイザーの先生が代わりにしてくれるわけではないので、学生が必ず担当教師に連絡をする。 授業計画（シラバス）に沿って授業を進行するのが原則であるが、受講している学生の理解度・実態によってスケジュールや内容等を、やむを得ず変更する場合があります。 This class will be conducted primarily in English. Students should have a strong desire and willingness to learn and use English. Please note that this syllabus is subject to change based on the needs of the class.